

**BladeSymphony**

**Virtage Navigator ユーザーズガイド**  
**操作リファレンス編**

**Revision 3.60**

**HITACHI**

## 重要なお知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載、複写することは固くお断わりします。
- 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 他社ソフトウェアのインストール作業は、お客様責任で行っていただきますようお願いいたします。ただし、弊社が止むを得ないと判断する理由により、お客様から事前の書面によるインストール作業の代行依頼がある場合のみ、弊社が了承することを条件として作業を代行いたします。

## 登録商標と商標について

Adobe、Adobeロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

## 版權について

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

All Rights Reserved, Copyright (C) 2010, 2014, Hitachi, Ltd.

# BladeSymphony Virtage Navigator

本資料は、BladeSymphony Virtage Navigator V03-06 に対応している操作リファレンス編です。  
なお、本資料での「」は参照を表しています。

## 目次

1	ログイン.....	2
2	Main ウィンドウメニューバー .....	3
3	Profile .....	12
4	LPAR 設定.....	15
5	モニタリング.....	54
6	構成ビューア.....	122
7	LPAR マイグレーション .....	132
8	ファームウェア更新.....	154
9	Remote LPAR Control.....	162
10	ソリューション.....	167
11	メッセージ一覧.....	172
11.1	共通メッセージ .....	173
11.2	LPAR 設定用メッセージ .....	179
11.3	モニタリング用メッセージ.....	199
11.4	ファームウェア更新用メッセージ.....	200
11.5	ソリューション用メッセージ.....	201
11.6	LPAR マイグレーション用メッセージ .....	207
11.7	Remote LPAR Control 用メッセージ .....	230
12	変更来歴.....	233

# 1 ログイン

※1 参照モードで操作及び表示が可能な項目を示す

※2 導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	参照 (※1)	導入/変更 Ver. (※2)
1	Login ウィンドウ		○	V01-00
2	User ID テキストボックス	ユーザ ID を入力	○	V01-00
3	Password テキストボックス	パスワードを入力	○	V01-00
4	Login ボタン	本ウィンドウを閉じ、Main ウィンドウを開く	○	V01-00

## 2 Main ウィンドウメニューバー

※1 参照モードで操作及び表示が可能な項目を示す

※2 導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	参照 (※1)	導入/変更 Ver. (※2)
1	Main ウィンドウ(メニューバー)		○	V01-00
2	File(F)メニュー	Exit(X) Alt+X メニューを開く	○	V01-00
3	Exit(X) Alt+X メニュー	Virtage Navigator を終了	○	V01-00
4	Setting(S)メニュー	Option(O) Alt+O メニューを開く	○	V01-00
5	Option(O) Alt+O メニュー	Option ウィンドウを開く	○	V01-00
6	Security Alt+S メニュー	Security Setting ウィンドウを開く	○	V03-06
7	Operation Mode	操作モードを設定	○	V03-02
8	Normal Alt+N メニュー	通常操作モードに設定する	○	V03-02
9	Reference Alt+R メニュー	参照モードに設定する	○	V03-02
10	Help(H)メニュー	About(A) Alt+A メニューを開く	○	V01-00
11	Get Technical Information(T) Alt+T メニュー	Virtage Navigator の技術情報を採取する	○	V02-00
12	Trouble メニュー	Trouble (Single)ウィンドウ、Trouble (Multi)ウィンドウ、またはTrouble (Packet)ウィンドウの選択	○	V03-06
13	Single(D) Alt+D メニュー	Trouble ウィンドウ (Single)を開く	○	V03-04
14	Multi(M) Alt+M メニュー	Trouble ウィンドウ (Multi)を開く	○	V03-04
15	Packet(L) Alt+L メニュー	Trouble ウィンドウ (Packet)を開く	○	V03-06
16	About(A) Alt+A メニュー	Version Information ウィンドウを開く	○	V01-00

17	Option ウィンドウ		○	V01-00
18	HVM メニュー		○	V01-00
19	HVM Connection メニュー		○	V01-00
20	TimeOut Limit テキストボックス	HVM 接続時のタイムアウト時間を設定(単位:秒) デフォルト設定は 15 秒	○	V01-00
21	Communication IP Address コンボボックス	HVM 接続 IP アドレスの指定 デフォルト設定は “Not set” (指定しない)	○	V01-00
22	SVP メニュー		○	V02-00
23	SVP Connection メニュー		○	V02-00
24	TimeOut Limit テキストボックス	SVP 接続時のタイムアウト時間を設定(単位:秒) デフォルト設定は 15 秒	○	V02-00
25	Migration Service メニュー		○	V01-00
26	Migration Service Status メニュー		○	V01-00
27	Status	Migration Service の状態を表示	○	V01-00
28	Error Message テキストボックス	【Status が Error の場合】 メッセージを表示	○	V01-00
29	Stop ボタン	Migration Service を停止	×	V01-00
30	Restart ボタン	Migration Service を再開	×	V01-00
31	Migration Service Configuration メニュー		○	V01-00
32	Migration Service Port テキストボックス	Migration Service のポートを設定 デフォルト設定は 23400	○	V01-00

33	Migration Option メニュー		○	V01-00
34	OS Shutdown Setting メニュー		○	V01-00
35	TimeOut Limit テキストボックス	リモートシャットダウンのタイムアウト時間を設定 (単位: 分) デフォルト設定は 5 分	○	V01-00
36	Storage Login Setting メニュー		○	V03-01
37	TimeOut Limit テキストボックス	Storage ログインのタイムアウト時間を設定 (単位: 秒) デフォルト設定は 60 秒	○	V03-01
38	Login Delay Time テキストボックス	FC ログイン後の待機時間を設定 (単位: 秒) デフォルト設定は 3 秒	○	V03-02
39	Logout Delay Time テキストボックス	FC ログアウト後の待機時間を設定 (単位: 秒) デフォルト設定は 3 秒	○	V03-02
40	Retry Count テキストボックス	SCSI コマンドをリトライする数 (単位: 回) デフォルト設定は 0 回	○	V03-02
41	Retry Interval テキストボックス	SCSI コマンドをリトライする際の間隔 (単位: 秒) デフォルト設定は 10 秒	○	V03-02
42	Memory Transfer メニュー		○	V03-02
43	TimeOut Limit テキストボックス	メモリ転送タイムアウト時間を設定 (単位: 秒) デフォルト設定は 900 秒	○	V03-02
44	VRAM Transfer チェックボックス	VRAM データを転送する/しないの設定 デフォルト設定チェックあり	○	V03-02
45	Storage Navigator Modular Setting メニュー		○	V03-01
46	TimeOut Limit テキストボックス	Hitachi Storage Navigator Modular 2 CLI との接続タイムアウト時間を設定 (単位: 秒) デフォルト設定は 30 秒	○	V03-01
47	Path テキストボックス	Hitachi Storage Navigator Modular 2 CLI の格納場所を指定	○	V03-01
48	Open ボタン	サブウインドウ (フォルダーの参照ウインドウ) を開く	○	V03-01
49	フォルダの参照ウインドウ		○	V03-01
50	[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-01

51	Performance メニュー		○	V01-00
52	Processor Resources メニュー		○	V01-00
53	Auto ラジオボタン	Virtage Navigator が使用するプロセッサを動的に変更する Virtage Navigator ラジオボタンを有効にする Other Application ラジオボタンを有効にする	○	V01-00
54	Virtage Navigator (Default) ラジオボタン	Virtage Navigator の動作を優先する (デフォルト)	○	V01-00
55	Other Application ラジオボタン	Virtage Navigator 以外のアプリケーションやサービスの動作を優先する	○	V01-00
56	Specify the processor count ラジオボタン	Virtage Navigator が使用するプロセッサをプロセッサの個数で指定 コンボボックスを有効にする	○	V01-00
57	コンボボックス	使用するプロセッサの個数を指定 デフォルト設定は 1	○	V01-00
58	Specify the processor number ラジオボタン	Virtage Navigator が使用するプロセッサをプロセッサ番号で指定 リストボックスを有効にする	○	V01-00
59	リストボックス	使用するプロセッサ番号を指定	○	V01-00



60	Other メニュー		○	V01-00
61	SSH Component Setting メニュー		○	V01-00
62	Path テキストボックス	plink.exe の格納場所を指定 デフォルト設定は¥VirNavi¥bin	○	V01-00
63	Open ボタン	サブウインドウ(ファイルを開くウインドウ)を開く	○	V01-00
64	ファイルを開くウインドウ		○	V01-00
65	[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V01-00
66	Terminal Application Setting メニュー		○	V02-00
67	Path テキストボックス	ttermpro.exe の格納場所を指定	○	V02-00
68	Open ボタン	サブウインドウ(ファイルを開くウインドウ)を開く	○	V02-00
69	ファイルを開くウインドウ		○	V02-00
70	[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V02-00
71	R-KVM Application (ReClient) メニュー		○	V02-00
72	Path テキストボックス	リモートコンソールアプリケーションのインストールパスを表示する	○	V02-00
73	Version テキストボックス	リモートコンソールアプリケーションのバージョンを表示する	○	V02-00
74	Authentication Information File Setting メニュー		○	V03-06
75	Path テキストボックス	認証情報ファイルの格納場所を表示する	○	V03-06
76	Open ボタン	サブウインドウ(ファイルを開くウインドウ)を開く	○	V03-06
77	ファイルを開くウインドウ		○	V03-06
78	[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-06
79	Apply ボタン	設定を保存	×	V01-00
80	OK ボタン	設定を保存して、本ウインドウを閉じる	×	V01-00
81	Cancel ボタン	設定を保存せず、本ウインドウを閉じる	○	V01-00

82	Security Setting ウィンドウ		○	V03-06
83	Virtage Navigator Security Settings メニュー		○	V03-06
84	HVM IP Address 列	接続対象の HVM の IP アドレスを表示します。	○	V03-06
85	Protocol 列	接続対象の HVM との通信で使用するプロトコルを指定します。	○	V03-06
86	Verification 列	接続対象の HVM との通信で TLS プロトコルを使用する場合に、証明書を検証するかどうかを指定します。	○	V03-06
87	Login User Name 列	接続対象の HVM にログインする際に使用するユーザアカウントを指定します。	○	V03-06
88	Login Password 列	接続対象の HVM にログインする際に使用するユーザアカウント用のパスワードを指定します。	○	V03-06
89	Connection Test 列	接続対象の HVM との通信テストを実施します。また、通信テストの状況が示されます。	○	V03-06
90	HVM Security Settings メニュー		○	V03-06
91	I/F Name 列	HVM の通信対象を表示します。	○	V03-06
92	Level 列	通信のセキュリティ強度を表示します。	○	V03-06
93	Verification 列	サーバ証明書の検証の無効/有効を示します。	○	V03-06
94	Authentication 列	ユーザ認証の無効/有効を示します。	○	V03-06
95	Save ボタン	設定を保存します。	○	V03-06
96	Close ボタン	本ウィンドウを閉じます。	○	V03-06

97	Trouble (Single) ウィンドウ		○	V02-04/A
98	Setting フレーム		○	V02-04/A
99	GetHVMPerfMon チェックボックス	【チェックあり】HVM 統計情報採取を行う 【チェックなし】HVM 統計情報採取を行わない	○	V02-04/A
100	Different file each date. ラジオボタン	日付ごとにファイルに出力（デフォルト）	○	V03-04
101	All data to One File. ラジオボタン	全データを1つのファイルに出力	○	V03-04
102	GetHVMDump チェックボックス	【チェックあり】HVM ダンプ採取を行う 【チェックなし】HVM ダンプ採取を行わない	○	V02-04/A
103	HVM IP Address コンボボックス	対象 HVM の IP Address を選択する	○	V02-04/A
104	Count テキストボックス	実行回数を設定する	○	V02-04/A
105	Interval テキストボックス	実行間隔を設定する	○	V02-04/A
106	Folder Path テキストボックス	出力先フォルダパスを表示する	○	V02-04/A
107	Select ボタン	出力先フォルダパスを選択する	○	V02-04/A
108	Selected Drive Size テキストボックス	出力先のディスクサイズを表示する	○	V02-04/A
109	Selected Drive Free Size テキストボックス	出力先の空きディスクサイズを表示する	○	V02-04/A
110	Limit Data Size テキストボックス	実行結果の限界サイズを設定する	○	V02-04/A
111	Start ボタン	HVM 統計情報、HVM ダンプ採取を開始する	○	V02-04/A
112	Stop ボタン	HVM 統計情報、HVM ダンプ採取を停止する	○	V02-04/A
113	Status メニュー		○	V02-04/A
114	Start Time	HVM 統計情報、HVM ダンプ採取を開始した時間を表示する	○	V02-04/A
115	Status	ステータスを表示する Run: 実行中 Stop: 停止中 Error: 採取失敗	○	V02-04/A
116	Time	経過時間を表示する	○	V02-04/A
117	Count	実行回数を表示する	○	V02-04/A
118	Data Size	採取サイズを表示する	○	V02-04/A
119	Max Time	一回あたりの最大時間を表示する	○	V02-04/A

120	Trouble (Multi) ウィンドウ		○	V03-04
121	GetHVMPerfMon チェックボックス	【チェックあり】HVM 統計情報採取を行う 【チェックなし】HVM 統計情報採取を行わない	○	V03-04
122	Different file each date. ラジオボタン	日付ごとにファイルに出力（デフォルト）	○	V03-04
123	All data to One File. ラジオボタン	全データを1つのファイルに出力	○	V03-04
124	GetHVMDump チェックボックス	【チェックあり】HVM ダンプ採取を行う 【チェックなし】HVM ダンプ採取を行わない	○	V03-04
125	Folder Path テキストボックス	出力先フォルダパスを表示する	○	V03-04
126	Select ボタン	出力先フォルダパスを選択する	○	V03-04
127	Limit Data Size テキストボックス	実行結果の限界サイズを設定する	○	V03-04
128	Selected Drive Size テキストボックス	出力先のディスクサイズを表示する	○	V03-04
129	Selected Drive Free Size テキストボックス	出力先の空きディスクサイズを表示する	○	V03-04
130	HVM List フレーム		○	V03-04
131	チェックボックス	PerfMon Setting グループボックス、Dump Setting グループボックス、Action グループ ボックスの操作の対象 HVM を選択する 【チェックあり】操作対象 HVM 【チェックなし】操作対象外 HVM	○	V03-04
132	HVM ID	対象 HVM の HVM ID を表示する	○	V03-04
133	HVM IP	対象 HVM の HVM IP アドレスを表示する	○	V03-04
134	PerfMon Status	HVM 統計情報採取の状態を表示する	○	V03-04
135	Dump Status	HVM ダンプ採取の状態を表示する	○	V03-04
136	PerfMon Count	HVM 統計情報を採取する回数を設定する	○	V03-04
137	PerfMon Interval (s)	HVM 統計情報を採取する間隔を設定する	○	V03-04
138	Dump Count	HVM ダンプを採取する回数を設定する	○	V03-04
139	Dump Interval (s)	HVM ダンプを採取する間隔を設定する	○	V03-04
140	Start	HVM 統計情報と HVM ダンプ、またはそのどちらかの採取を始める	○	V03-04
141	Stop	HVM 統計情報と HVM ダンプ、またはそのどちらかの採取を止める	○	V03-04
142	PerfMon Setting フレーム		○	V03-04
143	Set Count ボタン	HVM 統計情報を採取する回数を設定する	○	V03-04
144	Set Interval ボタン	HVM 統計情報を採取する間隔を設定する	○	V03-04
145	Dump Setting フレーム		○	V03-04
146	Set Count ボタン	HVM ダンプを採取する回数を設定する	○	V03-04
147	Set Interval ボタン	HVM ダンプを採取する間隔を設定する	○	V03-04
148	Trouble Action フレーム		○	V03-04
149	Start ボタン	HVM 統計情報と HVM ダンプ、またはそのどちらかの採取を始める	○	V03-04
150	Stop ボタン	HVM 統計情報と HVM ダンプ、またはそのどちらかの採取を止める	○	V03-04

151	Trouble (Packet) ウィンドウ		○	V03-06
152	Setting フレーム		○	V03-06
153	HVM IP Address:	パケットキャプチャの対象 HVM の IP アドレスを選択する	○	V03-06
154	NIC:	パケットキャプチャの対象ネットワークセグメントを選択する	○	V03-06
155	LPAR:	パケットキャプチャの対象 LPAR 番号を選択する	○	V03-06
156	VNIC#:	パケットキャプチャの対象 VNIC System No. を選択する	○	V03-06
157	Folder Path: テキストボックス	パケットキャプチャしたデータの格納フォルダを表示する	○	V03-06
158	Select ボタン	パケットキャプチャしたデータの格納フォルダを選択する	○	V03-06
159	Filtering Setting フレーム		○	V03-06
160	データグリッドビュー		○	V03-06
161	Filtering Factor 列	フィルタリング要素を選択する	○	V03-06
162	Target 列	送信元データと送信先データのどちらのパケットをキャプチャするのかを指定する	○	V03-06
163	Value 列	フィルタリング要素の値を入力する	○	V03-06
164	Operation 列	論理演算子を選択する	○	V03-06
165	Create ボタン	フィルタリング条件を作成する	○	V03-06
166	Clear ボタン	作成済、作成中のすべてのフィルタリング条件を削除する	○	V03-06
167	テキストボックス	作成済のフィルタリング条件を表示する	○	V03-06
168	Start ボタン	パケットキャプチャを開始する	○	V03-06
169	Stop ボタン	パケットキャプチャを停止する	○	V03-06
170	Status メニュー		○	V03-06
171	Status	ステータスを表示する Run: 実行中 Stop: 停止中 Error: 採取失敗	○	V03-06
172	Time	パケットキャプチャを開始してからの経過時間を表示する	○	V03-06
173	Start Time	パケットキャプチャを開始した時間を表示する	○	V03-06
174	Stop Time	パケットキャプチャを終了した時間を表示する	○	V03-06
175	Data Size (MB)	採取サイズを表示する	○	V03-06
176	Version Information ウィンドウ		○	V01-00
177	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00

### 3 Profile

※1 参照モードで操作及び表示が可能な項目を示す

※2 導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	参照 (※1)	導入/変更 Ver. (※2)
1	Main ウィンドウ (Profile タブ)		○	V01-00
2	Menu フレーム		○	V01-00
3	Add ボタン	Configuration Registration ウィンドウを開く	×	V01-00
4	Delete ボタン	サブウィンドウ (Delete HVM ウィンドウ) を開く	×	V01-00
5	Delete HVM ウィンドウ (Main ウィンドウの Delete ボタンクリック時に開くウィンドウ)		×	V01-00
6	OK ボタン	サブウィンドウ (Delete HVM ウィンドウ) を開く	×	V01-00
7	キャンセルボタン	選択した機器の削除を取り止める	×	V01-00
8	Delete HVM ウィンドウ (Delete HVM ウィンドウの OK ボタンクリック時に開くウィンドウ)		×	V01-00
9	OK ボタン	選択した機器を削除	×	V01-00
10	キャンセルボタン	選択した機器の削除を取り止める	×	V01-00
11	Update ボタン/Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	【Update ボタンをクリックした場合】 登録した HVM 情報を更新 【Update Cancel ボタンをクリックした場合】 HVM 情報の更新を取り止める	○	V01-00
12	System Configuration フレーム		○	V01-00
13	ツリービュー	(1) 詳細情報を表示する項目 (Chassis、HVM) を 選択 (選択した項目の詳細情報はリストに表 示) (2) 削除対象の HVM を選択	○	V01-00
14	リスト	ツリービューで選択した項目の詳細情報を表 示	○	V01-00

15	Configuration Registration ウィンドウ		×	V03-06
16	Machinery Choice フレーム		×	V01-00
17	Machinery コンボボックス	探索する機器の種類を選択 (現在サポートしているのは、HVM のみ)	×	V01-00
18	Target Information フレーム		×	V03-06
19	IP Address フレーム		×	V03-06
20	Range of Targets チェック ボックス	【チェックあり】 IP アドレスを範囲指定できる 【チェックなし】 IP アドレスは1つのみにする	×	V03-06
21	From テキストボックス	探索範囲の始まりの IP アドレスを指定	×	V01-00
22	To テキストボックス	探索範囲の終わりの IP アドレスを指定	×	V01-00
23	Protocol フレーム		×	V03-06
24	TLS チェックボックス	TLS プロトコルを使用して HVM を探索	×	V03-06
25	TCP チェックボックス	TCP プロトコルを使用して HVM を探索	×	V03-06
26	UDP チェックボックス	UDP プロトコルを使用して HVM を探索	×	V03-06
27	Verification チェックボ ックス	対象 HVM を探索する際に、証明書の検証を実施す るかどうかを指定	×	V03-06
28	Login フレーム		×	V03-06
29	User Authentication チェ ックボックス	対象 HVM を探索する際に、ユーザ認証を実施する かどうかを指定	×	V03-06
30	User Name: テキストボック ス	ユーザ認証の際に、使用するユーザ名を指定	×	V03-06
31	Password: テキストボック ス	ユーザ認証の際に使用するユーザ名用のパスワ ードを指定	×	V03-06
32	TimeOut Limit: テキストボックス	HVM に発行する1つのコマンドに対して設定する タイムアウト時間を入力(単位: 秒) デフォルト設定は 10 秒	×	V03-06
33	Search ボタン	機器を探索 検知した機器は、Machinery List リストに表示 【範囲指定した IP アドレスを探索している最 中】 サブウィンドウ (Searching the IP address ウィ ンドウ) を開く	×	V01-00
34	Searching the IP address ウィンドウ		×	V01-00
35	Cancel ボタン	機器探索を中止	×	V01-00
36	Machinery List リスト		×	V01-00
37	チェックボックス	登録する機器を選択 デフォルトでは、チェックあり	×	V01-00
38	Add ボタン	Machinery List で選択した機器を登録 サブウィンドウ (Confirmation ウィンドウ) を開 く	×	V01-00
39	Confirmation ウィンドウ		×	V01-00
40	OK ボタン	選択した機器を登録 サブウィンドウ (Registering the HVM ウィンド ウ) を開く	×	V01-00
41	キャンセルボタン	選択した機器の登録を取り止める	×	V01-00
42	Registering the HVM ウィンドウ		×	V01-00

43		Cancel ボタン	選択した機器の登録を中止	×	V01-00
44		Close ボタン	【Machinery List に HVM がある場合】 サブウインドウ (Confirmation ウインドウ) を開く  【Machinery List に HVM がない場合】 機器登録を終了する	×	V01-00
45		Confirmation ウインドウ		×	V01-00
46		OK ボタン	機器登録を終了する	×	V01-00
47		キャンセルボタン	本ウインドウを閉じる (機器登録を継続する)	×	V01-00



## 4 LPAR 設定

※1 参照モードで操作及び表示が可能な項目を示す

※2 導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	参照 (※1)	導入/変更 Ver. (※2)
1	Main ウィンドウ (LPAR Configuration タブ)		○	V02-00
2	System List フレーム		○	V02-00
3	コンボボックス	LPAR 設定対象のシステム構成を選択する 選択したシステムの構成を HVM Select フレーム内のツリービューに表示する	○	V02-00
4	Edit ボタン	System Edit ウィンドウを開く	×	V02-00
5	Update ボタン/Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	【Update ボタンをクリックした場合】 登録した HVM 情報を更新 【Update Cancel ボタンをクリックした場合】 HVM 情報の更新を取り止める	○	V02-00
6	HVM Select フレーム		○	V02-00
7	ツリービュー	LPAR 設定対象の項目 (Chassis、HVM) を選択する	○	V02-00
8	Initial Setup ボタン	Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	×	V02-00
9	Make LPAR ボタン	Make LPAR ウィンドウを開く	×	V02-00
10	HVM Console ボタン	HVM Console ウィンドウを開く	○	V02-00
11	Related Console ボタン	Related Console ウィンドウを開く	○	V02-00
12	Initial Setup of HVM ウィンドウ		×	V02-00
13	Start Initial Setup 操作メニュー		×	V02-00
14	Next ボタン	Select Chassis 操作フレームに進む	×	V02-00
15	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	×	V02-00
16	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		×	V02-00
17	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	×	V02-00
18	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00

19	Select Chassis 操作メニュー		×	V02-00
20	Chassis Select メニュー		×	V02-00
21	Input SVP Information ラジオボタン	SVP Information を指定可能にする	×	V02-00
22	Select SVP by Chassis ID ラジオボタン	既登録の Chassis 情報を SVP Information に 表示する (SVP 情報は指定不可になる)	×	V02-00
23	コンボボックス	既登録の Chassis 情報を選択する (Select SVP by Chassis ID ラジオボタンが 選択されている場合に活性化する)	×	V02-00
24	Delete ボタン	既登録の Chassis 情報を削除する (Select SVP by Chassis ID ラジオボタンが 選択されている場合に活性化する)	×	V02-00
25	SVP Information メニュー		×	V02-00
26	IP Address テキストボックス	Chassis の IP Address を指定する	×	V02-00
27	User ID テキストボックス	Chassis の User ID を指定する	×	V02-00
28	Password テキストボックス	Chassis の Password を指定する	×	V02-00
29	Back ボタン	Start Initial Setup 操作フレームに戻る	×	V02-00
30	Next ボタン	Chassis Detection ウィンドウを開く	×	V02-00
31	Select Chassis ウィンドウ		×	V02-00
32	OK ボタン	Chassis Detection ウィンドウを開く	×	V02-00
33	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
34	Chassis Detection ウィンドウ		×	V02-00
35	OK ボタン	Select Partition 操作フレームに進む	×	V02-00
36	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開 く	×	V02-00
37	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		×	V02-00
38	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	×	V02-00
39	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00

40	Select Partition 操作メニュー		×	V02-00
41	Partition 一覧	Partition を選択する	×	V02-00
42	Information メニュー		×	V02-00
43	Partition Number	選択された Partition Number を表示する	×	V02-00
44	Power Status	選択された Partition の電源状態を表示する	×	V02-00
45	Mode	選択された Partition の OS Mode を表示する	×	V02-00
46	HVM メニュー		×	V02-00
47	HVM ID	HVM ID を表示する	×	V02-00
48	IP Address	HVM の IP Address を表示する	×	V02-00
49	Firmware Version メニュー		×	V02-00
50	SVP	SVP の Firmware Version を表示する	×	V02-00
51	HVM	HVM の Firmware Version を表示する	×	V02-00
52	BMC	BMC の Firmware Version を表示する	×	V02-00
53	BIOS/EFI	BIOS/EFI の Firmware Version を表示する	×	V02-00
54	Refresh ボタン	選択可能な Partition 一覧を更新する	×	V02-00
55	Back ボタン	Select Chassis 操作フレームに戻る	×	V02-00
56	Next ボタン	Select Partition ウィンドウを開く	×	V02-00
57	Select Partition ウィンドウ		×	V02-00
58	OK ボタン	HVM Setting 操作フレームに進む	×	V02-00
59	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
60	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	×	V02-00
61	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		×	V02-00
62	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	×	V02-00
63	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00

64	HVM Setting 操作メニュー		×	V02-00
65	Management LAN Settings メニュー		×	V02-00
66	HVM IP Address テキストボックス	HVM の IP Address を指定する	×	V02-00
67	Subnet Mask テキストボックス	Subnet Mask を指定する	×	V02-00
68	Default Gateway テキストボックス	Default Gateway を指定する	×	V02-00
69	VNIC System No メニュー		×	V02-00
70	VNIC System No. テキストボックス	VNIC System No. を指定する	×	V02-00
71	アイコン	Note for VNIC System No ウィンドウを開く	×	V02-00
72	Note for VNIC System No ウィンドウ		×	V02-00
73	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
74	HVM ID メニュー		×	V02-00
75	HVM ID テキストボックス	HVM ID を指定する	×	V02-00
76	アイコン	Note for HVM ID ウィンドウを開く	×	V02-00
77	Note for HVM ID ウィンドウ		×	V02-00
78	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
79	CLI IP Address メニュー		×	V02-01
80	CLIx IP Address テキストボックス	CLI1~HVM CLI8 の IP Address を指定する	×	V02-01
81	Back ボタン	Select Partition 操作フレームに戻る	×	V02-00
82	Next ボタン	HVM Setting ウィンドウを開く	×	V02-00
83	HVM Setting ウィンドウ		×	V02-00
84	OK ボタン	Settings & Power ON 操作フレームに進む	×	V02-00
85	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
86	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	×	V02-00
87	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		×	V02-00
88	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	×	V02-00
89	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00

90	Settings & Power ON 操作メニュー		×	V02-00
91	Chassis メニュー		×	V02-00
92	IP Address	Chassis の IP Address を表示する	×	V02-00
93	Partition メニュー		×	V02-00
94	Partition #	Partition Number を表示する	×	V02-00
95	OS Mode	Partition の OS Mode を表示する	×	V02-00
96	HVM メニュー		×	V02-00
97	IP Address	HVM の IP Address を表示する	×	V02-00
98	Subnet Mask	Subnet Mask を表示する	×	V02-00
99	Default Gateway	Default Gateway を表示する	×	V02-00
100	VNIC System No	VNIC System No. を表示する	×	V02-00
101	HVM ID	HVM ID を表示する	×	V02-00
102	Back ボタン	HVM Setting 操作フレームに戻る	×	V02-00
103	Next ボタン	Wait for HVM Ready 操作フレームに進む	×	V02-00
104	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	×	V02-00
105	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		×	V02-00
106	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	×	V02-00
107	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
108	Wait for HVM Ready 操作メニュー		×	V02-00
109	Chassis メニュー		×	V02-00
110	IP Address	Chassis の IP Address を表示する	×	V02-00
111	Partition メニュー		×	V02-00
112	Partition #	Partition Number を表示する	×	V02-00
113	HVM メニュー		×	V02-00
114	HVM ID	HVM ID を表示する	×	V02-00
115	IP Address	HVM の IP Address を表示する	×	V02-00
116	アイコン	Help ウィンドウを開く	×	V02-00
117	Help ウィンドウ		×	V02-00
118	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
119	System Console(web) ボタン	System Console(web)に接続するための入力ウィンドウを開く	×	V02-00
120	System Console(Telnet) ボタン	Wait for HVM Ready ウィンドウを開く	×	V02-00
121	Wait for HVM Ready ウィンドウ		×	V02-00
122	OK ボタン	本ウィンドウを閉じ、System Console(Telnet)に接続するための入力ウィンドウを開く	×	V02-00
123	R-KVM Console ボタン	Wait for HVM Ready ウィンドウを開く	×	V02-00
124	Wait for HVM Ready ウィンドウ		×	V02-00
125	OK ボタン	本ウィンドウを閉じ、R-KVM Console に接続するための入力ウィンドウを開く	×	V02-00
126	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	×	V02-00
127	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		×	V02-00
128	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	×	V02-00
129	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00

130		Register to Profile 操作メニュー		×	V02-00
131		Chassis メニュー		×	V02-00
132		IP Address	Chassis の IP Address を表示する	×	V02-00
133		Partition メニュー		×	V02-00
134		Partition #	Partition Number を表示する	×	V02-00
135		HVM メニュー		×	V02-00
136		HVM ID	HVM ID を表示する	×	V02-00
137		IP Address	HVM の IP Address を表示する	×	V02-00
138		Next ボタン	Make LPAR 操作フレームに進む	×	V02-00
139		Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	×	V02-00
140		Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		×	V02-00
141		OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	×	V02-00
142		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00

143	Make LPAR 操作メニュー		×	V02-00
144	LPAR count	Make LPAR ウィンドウの「LPAR count」の説明をご参照ください	×	V02-00
145	How to make LPARs	Make LPAR ウィンドウの「How to make LPARs」の説明をご参照ください	×	V02-00
146	Processor count	Make LPAR ウィンドウの「Processor count」の説明をご参照ください	×	V02-00
147	Memory size [GB]	Make LPAR ウィンドウの「Memory size [GB]」の説明をご参照ください	×	V02-00
148	NIC card count	Make LPAR ウィンドウの「NIC card count」の説明をご参照ください	×	V02-00
149	HBA card count	Make LPAR ウィンドウの「HBA card count」の説明をご参照ください	×	V02-00
150	Confirm	Make LPAR ウィンドウの「Confirm」の説明をご参照ください	×	V02-00
151	System Parameter メニュー	Make LPAR ウィンドウの「System Parameter フレーム」の説明をご参照ください	×	V02-00
152	LPAR Condition メニュー	Make LPAR ウィンドウの「LPAR Condition フレーム」の説明をご参照ください	×	V02-00
153	Processor Condition メニュー	Make LPAR ウィンドウの「Processor Condition フレーム」の説明をご参照ください	×	V02-00
154	Memory Condition メニュー	Make LPAR ウィンドウの「Memory Condition フレーム」の説明をご参照ください	×	V02-00
155	NIC Condition メニュー	Make LPAR ウィンドウの「NIC Condition フレーム」の説明をご参照ください	×	V02-00
156	HBA Condition メニュー	Make LPAR ウィンドウの「HBA Condition フレーム」の説明をご参照ください	×	V02-00
157	Update ボタン	HVM 構成情報を更新する	×	V02-00
158	Next ボタン	LPAR Operation 操作フレームに進む	×	V02-00
159	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	×	V02-00
160	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		×	V02-00
161	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	×	V02-00
162	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00

163	LPAR Operation 操作メニュー		×	V02-00
164	LPAR 一覧	LPAR を選択する	×	V02-00
165	Activate ボタン	Activate ウィンドウを開く	×	V02-00
166	Activate ウィンドウ		×	V02-00
167	OK ボタン	LPAR を Activate し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
168	Deactivate ボタン	Deactivate ウィンドウを開く	×	V02-00
169	Deactivate ウィンドウ		×	V02-00
170	OK ボタン	LPAR を Deactivate し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
171	R-KVM Console ボタン	USB Attach/Detach ウィンドウを開く	×	V02-00
172	USB Attach/Detach ウィンドウ		×	V02-00
173	OK ボタン	USB を Attach/Detach し、本ウィンドウを閉じ、R-KVM に接続するための入力ウィンドウを開く	×	V02-00
174	Cancel ボタン	USB を Attach/Detach せず、本ウィンドウを閉じ、USB Attach/Detach ウィンドウを開く	×	V02-00
175	USB Attach/Detach ウィンドウ		×	V02-00
176	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
177	Information メニュー		×	V02-00
178	LPAR #	LPAR Number を表示する	×	V02-00
179	Power Status	LPAR の Power Status を表示する	×	V02-00
180	Memory Size	LPAR の Memory Size を表示する	×	V02-00
181	Processor	LPAR の Processor Mode と Processor 数を表示する	×	V02-00
182	USB メニュー		×	V02-00
183	USB 一覧	LPAR が使用している USB の一覧を表示する	×	V02-00
184	HBA メニュー		×	V02-00
185	HBA 一覧	LPAR が使用している HBA の一覧を表示する	×	V02-00
186	NIC メニュー		×	V02-00
187	NIC 一覧	LPAR が使用している NIC の一覧を表示する	×	V02-00
188	Update ボタン	HVM 構成情報を更新する	×	V02-00
189	Save ボタン	Save HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
190	Save HVM Configuration ウィンドウ		×	V02-00
191	OK ボタン	HVM 構成情報を保存し、本ウィンドウを閉じ、Save HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
192	Save HVM Configuration ウィンドウ		×	V02-00
193	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
194	Cancel ボタン	HVM 構成情報を保存せず、本ウィンドウを閉じ、Save HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
195	Save HVM Configuration ウィンドウ		×	V02-00
196	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
197	Back ボタン	Make LPAR 操作フレームに戻る	×	V02-00
198	Close ボタン	Close Initial Setup of HVM ウィンドウを開く	×	V02-00
199	Close Initial Setup of HVM ウィンドウ		×	V02-00
200	OK ボタン	設定内容を保存せずに Initial Setup of HVM ウィンドウを閉じる	×	V02-00
201	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00



202	Make LPAR ウィンドウ		×	V02-00
203	コンボボックス	表示するウィンドウ (Make LPAR ウィンドウ/ HVM Console ウィンドウ/Related Console ウィンドウ) を選択する	×	V02-00
204	HVM Information フレーム		×	V02-00
205	HVM ID	HVM ID を表示する	×	V02-00
206	HVM IP	HVM の IP Address を表示する	×	V02-00
207	Update (U) ボタン	HVM 構成情報を更新する	×	V02-00
208	Make LPAR フレーム		×	V02-00
209	LPAR count		×	V02-00
210	コンボボックス	作成する LPAR 数を指定する	×	V02-00
211	How to make LPARs		×	V02-00
212	Use default parameter ラジオボタン	以下項目に規定値を表示する (以下項目が指定不可になる) ・ プロセッサ数:2 ・ メモリ容量:1GB ・ NIC カードの枚数:1 枚 ・ HBA カードの枚数:1 枚	×	V02-00
213	Use custom parameter ラジオボタン	プロセッサ数、メモリ容量、NIC カードの枚数、HBA カードの枚数を指定可能にする	×	V02-00
214	Processor count		×	V02-00
215	コンボボックス	プロセッサ数を指定する	×	V02-00
216	Memory size [GB]		×	V02-00
217	コンボボックス	メモリ容量を指定する	×	V02-00
218	NIC card count		×	V02-00
219	コンボボックス	NIC カードの枚数を指定する	×	V02-00
220	HBA count		×	V02-01
221	Port ラジオボタン	HBA ポート数を指定する	×	V02-01
222	Card ラジオボタン	HBA カード数を指定する	×	V02-01
223	コンボボックス	HBA カードの枚数を指定する	×	V02-00
224	Confirm		×	V02-00
225	LPAR 設定一覧	指定した LPAR 数、プロセッサ数、メモリ容量、NIC カードの枚数 HBA カードの枚数を表示する	×	V02-00
226	Create LPARs		×	V02-00
227	Create ボタン	LPAR を作成する	×	V02-00
228	Save HVM Configuration		×	V02-00
229	Save ボタン	Save Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
230	Save Configuration ウィンドウ		×	V02-00
231	OK ボタン	HVM 構成情報を保存し、本ウィンドウを閉じ Save Configuration Finish ウィンドウを開く	×	V02-00
232	Save Configuration Finish ウィンドウ		×	V02-00
233	OK ボタン	HVM 構成情報の保存を中断し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
234	Cancel ボタン	HVM 構成情報を保存せず、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00

235			System Parameter メニュー	×	V02-00
236			LPAR メニュー	×	V02-00
237		Defined	LPAR 定義数を表示する	×	V02-00
238		Remain	LPAR 未定義数(定義可能最大数 - 定義数)を表示する	×	V02-00
239			Processor メニュー	×	V02-00
240		Total	共有プロセッサ定義数と占有プロセッサ定義数の合計を表示する	×	V02-00
241		Share Proc	共有プロセッサ定義数を表示する	×	V02-00
242		Dedicate Proc	占有プロセッサ定義数を表示する	×	V02-00
243			Memory メニュー	×	V02-00
244		User Total	使用メモリの総容量を表示する	×	V02-00
245		Assign Total	定義メモリの総容量を表示する	×	V02-00
246		Remain	未使用メモリの容量を表示する	×	V02-00
247			LPAR Condition メニュー	×	V02-00
248			Processor Condition メニュー	×	V02-00
249			Memory Condition メニュー	×	V02-00
250			NIC Condition メニュー	×	V02-00
251			HBA Condition メニュー	×	V02-00

252	HVM Console ウィンドウ		○	V02-00
253	コンボボックス	Make LPAR ウィンドウの「コンボボックス」の説明をご参照ください	○	V02-00
254	HVM Information フレーム	Make LPAR ウィンドウの「HVM Information フレーム」の説明をご参照ください	○	V02-00
255	Update (U) ボタン	Make LPAR ウィンドウの「Update ボタン」の説明をご参照ください	○	V02-00
256	HVM Console 選択操作メニュー		○	V02-00
257	HVM Menu ボタン	Menu フレームに移行する	○	V02-00
258	コンボボックス	表示するスクリーンを選択する	○	V02-00
259	<< Prev. ボタン	登録スクリーン順序が1つ前のスクリーンを表示する 登録スクリーン順序は以下のとおり (00) HVM Main Menu (01) Logical Partition Configuration (02) Logical Processor Configuration (03) Physical Processor Configuration (04) PCI Device Information (05) PCI Device Assignment (06) VNIC Assignment (07) Shared FC Assignment (08) Allocated FC Information (09) System Configuration (10) System Service State (11) Date and Time (12) HVM Options (15) HVM System Logs (16) Firmware Version Information (17) Boot Setting	○	V02-01
260	Next >>ボタン	登録スクリーン順序が1つ後のスクリーンを表示する 登録スクリーン順序は「<< Prev. ボタン」をご参照ください	○	V02-00

261	スクリーン		○	V02-00
262	Menu スクリーン		○	V02-00
263	Menu フレーム		○	V02-00
264	Logical Partition Configuration	LPAR の名称やプロセッサ数、メモリ容量などを設定します	○	V02-00
265	Logical Processor Configuration	各 LPAR に対して論理プロセッサの設定を行います	○	V02-00
266	Physical Processor Configuration	物理プロセッサの構成や状態を表示します	○	V02-00
267	PCI Device Information	PCI デバイスの情報を表示します	○	V02-00
268	PCI Device Assignment	各 LPAR に対して PCI デバイスの割り当てを行います	○	V02-00
269	VNIC Assignment	各 LPAR に対して仮想 NIC の割り当てを行います	○	V02-00
270	Shared FC Assignment	各 LPAR に対して共有モードの FC アダプタの割り当てを行います	○	V02-00
271	Allocated FC Information	実装されている FC アダプタの構成情報を表示します	○	V02-00
272	System Configuration	HVM システムの構成設定を行います	○	V02-00
273	System Service State	HVM システムのサービス状態を示します	○	V02-00
274	Date And Time	HVM システムや LPAR の時刻を設定します	○	V02-04/A
275	HVM Options	HVM オプション機能を設定します	○	V02-00
276	HVM System Logs	HVM で発生した様々なイベントを表示します	○	V02-00
277	Firmware Version Information	各コンポーネントのファームウェアバージョンを表示します	○	V02-00
278	Boot Setting	各 LPAR の Boot 設定を行います。	○	V02-01
279	Active LPAR ボタン	Activate LPAR ウィンドウを開く	×	V02-00
280	Activate LPAR ウィンドウ		×	V02-00
281	LPAR Select フレーム		×	V02-00
282	選択可能 LPAR 一覧	選択 (Activate) 可能な LPAR 一覧から Activate する LPAR を選択する	×	V02-00
283	OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
284	HVM Configuration ウィンドウ		×	V02-00
285	OK ボタン	LPAR を Activate し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
286	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
287	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
288	Deactive LPAR ボタン	Deactivate LPAR ウィンドウを開く	×	V02-00

289			Deactivate LPAR ウィンドウ	×	V02-00	
290			LPAR Select フレーム	×	V02-00	
291			選択可能 LPAR 一覧	選択 (Deactivate) 可能な LPAR 一覧から Deactivate する LPAR を選択する	×	V02-00
292			OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
293			HVM Configuration ウィンドウ	×	V02-00	
294			OK ボタン	LPAR を Deactivate し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
295			Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
296			Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
297			Reactive LPAR ボタン	Reactivate LPAR ウィンドウを開く	×	V02-00
298			Reactivate LPAR ウィンドウ	×	V02-00	
299			LPAR Select フレーム	×	V02-00	
300			選択可能 LPAR 一覧	選択 (Reactivate) 可能な LPAR 一覧から Reactivate する LPAR を選択する	×	V02-00
301			OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
302			HVM Configuration ウィンドウ	×	V02-00	
303			OK ボタン	LPAR を Reactivate し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
304			Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
305			Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
306			Add LPAR ボタン	Add LPAR ウィンドウを開く	×	V02-00
307			Add LPAR ウィンドウ	×	V02-00	
308			LPAR Select フレーム	×	V02-00	
309			選択可能 LPAR 一覧	選択 (定義) 可能な LPAR 一覧から定義する LPAR を 選択する	×	V02-00
310			OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
311			HVM Configuration ウィンドウ	×	V02-00	
312			OK ボタン	LPAR を定義し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
313			Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
314			Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
315			Remove LPAR ボタン	Remove LPAR ウィンドウを開く	×	V02-00
316			Remove LPAR ウィンドウ	×	V02-00	
317			LPAR Select フレーム	×	V02-00	
318			選択可能 LPAR 一覧	選択 (削除) 可能な LPAR 一覧から削除する LPAR を 選択する	×	V02-00
319			OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
320			HVM Configuration ウィンドウ	×	V02-00	
321			OK ボタン	LPAR を削除し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
322			Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
323			Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
324			Screen ボタン	LPAR Screen ウィンドウを開く	×	V02-00

325					LPAR Screen ウィンドウ	×	V02-00
326					LPAR Select フレーム	×	V02-00
327				選択可能 LPAR 一覧	選択 (LPAR Screen 表示) 可能な LPAR 一覧から LPAR Screen に表示する LPAR を選択する	×	V02-00
328				OK ボタン	LPAR Screen を開く	×	V02-00
329				Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
330				Remote KVM ボタン	リモートコンソールに接続するための入力ウィンドウを開く	×	V02-00
331				Save Config ボタン	Save Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
332					Save Configuration ウィンドウ	×	V02-00
333				OK ボタン	HVM 構成情報を保存し、本ウィンドウを閉じ Save Configuration Finish ウィンドウを開く	×	V02-00
334					Save Configuration Finish ウィンドウ	×	V02-00
335				OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
336				Cancel ボタン	HVM 構成情報の保存を中断し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00

337		Logical Partition Configuration スクリーン	○	V02-00
338		Logical Partition Configuration メニュー	○	V02-00
339		# LPAR 番号を表示する	○	V02-00
340		Name LPAR 名称を表示・変更する	○	V02-00
341		Status LPAR のステータスを表示する	○	V02-00
342		Schedule スケジューリングモードを表示・変更する	○	V02-00
343		Proc LPAR に割り当てる論理プロセッサ数を表示・変更する	○	V02-00
344		Group# プロセッサグループ番号を表示・変更する	○	V02-00
345		Service Ratio LPAR が物理プロセッサを使用する時間(サービス時間)の相対的な配分を 1 ~ 999 の範囲の値で表示・変更する	○	V02-00
346		Memory Memory Size ウィンドウを開く ただし、Guest NUMA が ' Y ' の場合は、NUMA Memory Allocation ウィンドウを開く	○	V03-05
347		NUMA Memory Allocation ウィンドウ	○	V03-05
348		NUMA Memory Allocation フレーム	○	V03-05
349		# LPAR 番号を表示する	○	V03-05
350		Node# Node 番号を表示する	○	V03-05
351		Memory Size (MB) メモリサイズを表示する ダブルクリックすると、Memory Size ウィンドウを表示する	○	V03-05
352		Memory size (MB) フレーム	○	V03-05
353		LPAR#xx 選択している LPAR のメモリサイズを表示する	○	V03-05
354		Node#x 選択している Node のメモリサイズを表示する	○	V03-05
355		Total NUMA メモリの合計サイズを表示する	○	V03-05
356		OK ボタン 変更したメモリ容量を反映し、本ウィンドウを閉じる	○	V03-05
357		Cancel ボタン 本ウィンドウを閉じる	○	V03-05
358		Memory Size ウィンドウ	○	V02-00
359		Input the memory size in GB メニュー	○	V02-00
360		memory size in GB メモリ容量の設定を 0.25GB 単位で増減する	○	V02-00
361		The memory size in MB メニュー	○	V02-00
362		+1024 ボタン メモリ容量の設定を 1024MB 単位で増やす	○	V02-00
363		+256 ボタン メモリ容量の設定を 256MB 単位で増やす	○	V02-00
364		-256 ボタン メモリ容量の設定を 256MB 単位で減らす	○	V02-00
365		-1024 ボタン メモリ容量の設定を 1024MB 単位で減らす	○	V02-00
366		memory size in MB 変更中のメモリ容量を表示する	○	V02-00

367					Information メニュー		○	V02-00
368					Maximum Size	LPAR に割り当てられているメモリの総量を表示する	○	V02-00
369					Effective Max	LPAR が使用できるメモリの残容量を MB 単位で表示する	○	V02-00
370					Allocate Status	変更中のメモリ容量で LPAR が Activate 可能であることを表示する	○	V02-00
371					OK ボタン	変更したメモリ容量を反映し、本ウインドウを閉じる	○	V02-00
372					Cancel ボタン	本ウインドウを閉じる	○	V02-00
373					VNIC Count	LPAR に割り当てられた仮想 NIC 数を表示する	○	V02-00
374					Processor Node	現在割り当てられているプロセッサノード番号の状態 【EFI の NUMA が無効の場合】 LPAR に割り当てられたプロセッサノードを表示します。プロセッサノードは設定できません。 【Deactivate 時】 A : LPAR を Activate した時に、ノードが自動的に選択されることを示します。 【Activate 時】 A : ノードが自動的に選択されていることを示します。 【EFI の NUMA が有効の場合】 LPAR に割り当てられたプロセッサノードを表示します。プロセッサノードは設定できません。 【Deactivate 時】 A : LPAR を Activate した時に、ノードが自動的に選択されることを示します。 【Activate 時】 数字 : 表示されているノードだけが割り当てられていることを示します。 M : 複数のノードが割り当てられていることを示します。	○	V03-00/D



375	Memory Node	<p>現在割り当てられているメモリノード番号の状態</p> <p>【EFI の NUMA が無効の場合】</p> <p>LPAR に割り当てられたメモリノードを表示します。メモリノードは設定できません。</p> <p>【Deactivate 時】</p> <p>A : LPAR を Activate したときノードが自動的に選択され、空きメモリが昇順に割り当てられます。</p> <p>【Activate 時】</p> <p>A : ノードが自動的に選択され、空きメモリが昇順に割り当てられています。</p> <p>【EFI の NUMA が有効、および LPAR の NUMA が無効の場合】</p> <p>LPAR に割り当てるメモリノードを設定します。</p> <p>【Deactivate 時】</p> <p>A : LPAR を Activate したときノードが自動的に選択され、空きメモリが昇順に割り当てられます。</p> <p>数字 : LPAR を Activate したとき、設定されたノードの空きメモリが昇順に割り当てられます。設定されたノード以外のメモリは割り当てられません。</p> <p>【Activate 時】</p> <p>数字 : 表示されているノードだけが割り当てられています。</p> <p>M : 複数のノードが割り当てられています。</p> <p>【EFI の NUMA が有効、および LPAR の NUMA が有効の場合】</p> <p>LPAR に割り当てられたメモリノードを表示します。メモリノードは設定できません。</p> <p>NM : LPAR の NUMA が有効であることを示します。</p>	○	V03-00/D
376	Idle Detection	論理プロセッサのアイドル状態を検出する機能の有効/無効を表示・変更する	○	V02-00
377	Auto Act	HVM 起動時の LPAR 自動 Activate 設定を表示・変更する	○	V02-00
378	Auto Clear SEL	論理 SEL の自動クリア機能の有効/無効を表示・変更する	○	V02-00
379	Proc Capping	プロセッサキャッピング機能の有効/無効を表示・変更する	○	V02-00
380	Virtual Console	仮想 COM コンソール機能の有効/無効、または VC 番号表示・変更する	○	V02-00
381	Pre-Boot Firmware	Pre-boot ファームウェアを表示する	○	V02-00
382	Guest NUMA	<p>ゲスト NUMA の有効/無効を設定します。</p> <p>'Y' : ゲスト NUMA を有効にします。</p> <p>'N' : ゲスト NUMA を無効にします。</p>	○	V03-05

383			Logical Information メニュー		○	V02-00
384			Assign Total	LPAR に割り当てられている各資源総量を表示する	○	V02-00
385			Act Total	LPAR が使用している (Activate 状態) の各資源総量を表示する	○	V02-00
386			Remain	LPAR が使用できるメモリの残容量を MB 単位で表示する	○	V02-00
387			Physical Information メニュー		○	V02-00
388			User Memory	LPAR に割り当てできるメモリの総量を MB 単位で表示する	○	V02-00
389			Processors	物理プロセッサの総数を表示する	○	V02-00
390			Shared	共有モードの物理プロセッサの総数を表示する	○	V02-00
391			Dedicate	占有モードの物理プロセッサの総数を表示する	○	V02-00
392			Memory Allocate ボタン	Memory Allocation Display ウィンドウを開く	○	V02-00
393			Memory Allocation Display ウィンドウ		○	V02-00
394			Memory Allocation Display フレーム		○	V02-00
395			メモリ使用状況一覧	メモリの使用状況を表示する	○	V02-00
396			Activate LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Activate LPAR ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
397			Deactivate LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Deactivate LPAR ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
398			Reactivate LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Reactivate LPAR ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
399			Add LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Add LPAR ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
400			Remove LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Remove LPAR ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
401			Screen ボタン	Menu スクリーンの「Screen ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
402			Remote KVM ボタン	Menu スクリーンの「Remote KVM ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
403			Cancel ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	○	V02-00
404			HVM Configuration ウィンドウ		○	V02-00
405			OK ボタン	本スクリーンでの変更を無効にし、本ウィンドウを閉じる	○	V02-00
406			Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V02-00
407			Commit ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
408			HVM Configuration ウィンドウ		×	V02-00
409			OK ボタン	本スクリーンでの変更を有効にし、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
410			Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
411			Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00

412		Logical Processor Configuration スクリーン	○	V02-00
413		Logical Processor Configuration メニュー	○	V02-00
414		View Data メニュー	○	V02-02
415		#	○	V02-00
416		Name	○	V02-00
417		Status	○	V02-00
418		Schedule	○	V02-00
419		Proc	○	V02-00
420		Group#	○	V02-00
421		Logical Processor Number	○	V02-00
422		Cancel ボタン	○	V02-00
423		Commit ボタン	×	V02-00
424		Save Config ボタン	×	V02-00

425	Physical Processor Configuration スクリーン		○	V02-00
426	Physical Processor Configuration メニュー		○	V02-00
427	Proc#	物理プロセッサ番号を表示する	○	V02-00
428	Blade#	物理プロセッサが搭載されているサーバブレード番号を表示する	○	V02-00
429	Socket#	サーバブレード内のソケット番号を表示する	○	V02-00
430	Core#	コア番号を表示する	○	V02-00
431	Thread#	スレッド番号を表示する	○	V02-00
432	Core State	コアのステータスを表示する	○	V02-00
433	Proc Status	物理プロセッサのステータスを表示する	○	V02-00
434	Group#	プロセッサグループ番号を表示・変更する	○	V02-00
435	Schedule	当該物理プロセッサのスケジューリングモードを表示する	○	V02-00
436	Freq(GHz)	物理プロセッサの現在の動作周波数を表示する	○	V02-00
437	Node#	物理プロセッサのノード番号を表示する ただし、NUMA が無効の場合は、' - 'を表示する	○	V03-02
438	Processor Group Configuration メニュー		○	V02-00
439	Group#	プロセッサグループ番号を表示する	○	V02-00
440	Group Name	プロセッサグループ名称を表示・変更する	○	V02-00
441	Total Core	コア数の総数を表示する	○	V02-00
442	Shared Core	共有モードのコア数を表示する	○	V02-00
443	Dedicate Core	占有モードのコア数を表示する	○	V02-00

444		Add Group ボタン	Add Processor Group ウィンドウを開く	×	V02-00
445			Add Processor Group ウィンドウ	×	V02-00
446			Group Number Select フレーム	×	V02-00
447		選択可能 Processor Group 一覧	選択(定義)可能な Processor Group 一覧から定義 する Processor Group を選択する	×	V02-00
448		OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
449			HVM Configuration ウィンドウ	×	V02-00
450		OK ボタン	Processor Group を定義し、本ウィンドウを閉じ る	×	V02-00
451		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
452		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
453		Remove Group ボタン	Remove Processor Group ウィンドウを開く	×	V02-00
454			Remove Processor Group ウィンドウ	×	V02-00
455			Group Number Select フレーム	×	V02-00
456		選択可能 Processor Group 一覧	選択(削除)可能な Processor Group 一覧から定義 する Processor Group を選択する	×	V02-00
457		OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
458			HVM Configuration ウィンドウ	×	V02-00
459		OK ボタン	Processor Group を削除し、本ウィンドウを閉じ る	×	V02-00
460		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
461		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
462		Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの 「Cancel ボタン」の説明をご参照ください	○	V02-00
463		Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの 「Commit ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
464		Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説 明をご参照ください	○	V02-00

465		PCI Device Information スクリーン	○	V02-00
466		PCI Device Information メニュー	○	V02-00
467		PCI# PCI デバイスを識別するために HVM が付加した番号を表示する	○	V02-00
468		Slot# 当該 PCI デバイスが搭載されているスロット番号を表示する	○	V02-00
469		Bus# PCI コンフィギュレーション空間のバス番号を表示する	○	V03-00/A
470		Dev# PCI コンフィギュレーション空間のデバイス番号を表示する	○	V03-00/A
471		Func# PCI コンフィギュレーション空間のファンクション番号を表示する	○	V03-00/A
472		LPAR# 当該 PCI デバイスが割り当てられている LPAR 番号、または割り当て状況を表示する	○	V02-00
473		Shared NIC# 当該 PCI デバイスが共有 NIC である場合、共有 NIC 番号を表示する	○	V02-00
474		Device Type 当該 PCI デバイスの種類を表示する	○	V02-00
475		Device Name 当該 PCI デバイスの名称を表示する	○	V02-00
476		Vendor 当該 PCI デバイスのベンダ名称を表示する	○	V02-00
477		Mapping Info ボタン PCI Device Mapping Information ウィンドウを開く	○	V02-02
478		Save Config ボタン Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	○	V02-00

479				PCI Device Mapping Information ウィンドウ	○	V02-02
480				Select LPAR [Multiple Selection]メニュー	○	V02-02
481			#	LPAR 番号を表示する	○	V02-02
482			Name	LPAR 名称を表示する	○	V02-02
483			Status	LPAR のステータスを表示する	○	V02-02
484				PCI Device Mapping Information	○	V02-02
485			<->ボタン	Host PciConfig と LPAR PciConfig の表示を入れ替える	○	V02-02
486			#	LPAR 番号を表示する	○	V02-02
487			Device Type	当該 PCI デバイスの種類を表示する	○	V02-02
488			Schedule	当該 PCI デバイスのスケジューリングモードを表示する	○	V02-02
489			ID	物理 PCI デバイスのスケジューリングモードが共有モードの場合、その LPAR が使用している ID を表示する 当該 PCI デバイスが共有 NIC である場合、共有 NIC のネットワークセグメントの識別子を表示する 仮想 NIC である場合、仮想 NIC のネットワークセグメントの識別子を表示する 共有 FC である場合、vfcID を表示する	○	V02-02
490			Slot#	【Host PciConfig】 物理 PCI デバイスの物理搭載位置を表示する 【LPAR PciConfig】 論理 PCI デバイスの搭載位置を表示する	○	V02-02
491			PCI Config Address	【Host PciConfig】 物理 PCI デバイス、および仮想 NIC の PCI コンフィグアドレスを表示する 【LPAR PciConfig】 LPAR 上で見える論理 PCI デバイスの PCI コンフィグアドレスを表示する	○	V02-02
492			Matching	物理 PCI デバイスまたは仮想 NIC の PCI コンフィグアドレスと、LPAR 上で見える論理 PCI デバイスの PCI コンフィグアドレスが一致している場合は「Matched」を、一致していない場合は「UnMatched」を表示する	○	V02-02
493			Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00

494		PCI Device Assignment スクリーン	○	V02-00
495		PCI Device Assignment メニュー	○	V02-00
496		# LPAR 番号を表示する	○	V02-00
497		Name LPAR 名称を表示する	○	V02-00
498		Status LPAR のステータスを表示する	○	V02-00
499		PCI# PCI デバイスを識別するために HVM が付加した番号を表示する	○	V02-00
500		Type PCI デバイスの種類を表示する	○	V02-00
501		Schedule PCI デバイスのスケジューリングモードを表示・変更する	○	V02-00
502		PCI Device Assignment 各 LPAR に PCI デバイスの割り当てを表示・変更する	○	V02-00
503		Selected PCI Device Information メニュー	○	V02-00
504		PCI# PCI デバイスを識別するために HVM が付加した番号を表示する	○	V02-00
505		Slot# スロット番号を表示する	○	V02-00
506		Bus# PCI コンフィギュレーション空間のバス番号を表示する	○	V02-00
507		Dev# PCI コンフィギュレーション空間のデバイス番号を表示する	○	V02-00
508		Func# PCI コンフィギュレーション空間のファンクション番号を表示する	○	V02-00
509		Device Name デバイス名称を表示する	○	V02-00
510		Vendor ベンダ名称を表示する	○	V02-00
511		Attach/Detach ボタン USB Attach/Detach ウィンドウを開く	×	V02-00
512		USB Attach/Detach ウィンドウ	×	V02-00
513		OK ボタン USB Attach/Detach を実施し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
514		Cancel ボタン 本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
515		Set/Reset ボタン USB Auto Allocation Set/Reset ウィンドウを開く USB Auto Allocation to LPAR が Enable の時に表示される	×	V02-04/A
516		USB Auto Allocation Set/Reset ウィンドウ	×	V02-04/A
517		OK ボタン USB 自動 Attach 設定の Set/Reset の切り替えを実施し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-04/A
518		Cancel ボタン 本ウィンドウを閉じる	×	V02-04/A
519		Cancel ボタン Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明をご参照ください	○	V02-00
520		Commit ボタン Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
521		Save Config ボタン Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00



522		VNIC Assignment スクリーン	○	V02-00
523		VNIC Assignment メニュー	○	V02-00
524		Assign Mode メニュー	○	V02-02
525		NIC Information メニュー	○	V03-01
526		#	○	V02-00
527		Name	○	V02-00
528		Status	○	V02-00
529		Device Type	○	V02-04/A
530		Total	○	V02-00
531		Virtual NIC Number	○	V02-00
532		Virtual NIC Setting メニュー	○	V02-00
533		#	○	V02-00
534		Name	○	V02-00
535		VNIC#	○	V02-00
536		MAC Address	○	V02-00
537		Segment	○	V02-00
538		Shared NIC#	○	V02-00
539		VLAN Mode	○	V02-00
540		VLANID	○	V02-00
541		Promiscuous Mode	○	V02-00
542		Packet Filter	○	V02-00
543		TXRATE	○	V03-03

544				NIC Information スクリーン	○	V03-01
545			No.	インデックス番号を表示する	○	V03-01
546			PCI#	PCI デバイスを識別するためにHVMが付加した番号を表示する	○	V03-01
547			Device	PCI デバイスの種類を表示する	○	V03-01
548			Slot#	スロット番号を表示する	○	V03-01
549			Type	PCI デバイス名称を表示する	○	V03-01
550			Port#	Port 番号を表示する	○	V03-01
551			Schedule	スケジューリングモードを表示する	○	V03-01
552			Segment	仮想 NIC の割り当て番号を表示する	○	V03-01
553			Detail チェックボックス	NIC 情報の詳細情報を表示する	○	V03-01
554			Close ボタン	本ウインドウを閉じる	○	V03-02
555			Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明をご参照ください	○	V02-00
556			Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
557			Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00

558		Shared FC Assignment スクリーン	○	V02-00
559		Shared FC Assignment メニュー	○	V02-00
560		# LPAR 番号を表示する	○	V02-00
561		Name LPAR 名称を表示する	○	V02-00
562		Status LPAR のステータスを表示する	○	V02-00
563		Shared FC# 共有 FC 番号を表示する	○	V02-00
564		Slot# FC が接続されている PCI スロット番号を表示する	○	V02-00
565		Port# 共有 FC のポート番号を表示する	○	V02-00
566		Status 共有 FC ポートの状態を表示する	○	V02-00
567		Shared FC Assignment 各 LPAR に対して共有 FC ポートの割り当てを表示・変更する 共有 FC ポートの割り当ては、カーソルで選択した共有 FC ポートに対して、vfcID を設定する	○	V02-00
568		Shared Virtual FC Port WWN Information / Boot Function Setting メニュー	○	V02-00
569		Shared FC# 共有 FC 番号を表示する	○	V02-00
570		# LPAR 番号を表示する	○	V02-00
571		Name LPAR 名称を表示する	○	V02-00
572		vfcID 当該共有 FC に設定されている vfcWWN-ID を表示する	○	V02-00
573		WWPN 当該共有 FC の WWPN を表示する	○	V02-00
574		WWNN 当該共有 FC の WWNN を表示する	○	V02-00
575		Migration WWPN マイグレーション実施時に一時的に使用する当該 FC の World Wide Port Name を表示する	○	V03-00/E
576		Migration WWNN マイグレーション実施時に一時的に使用する当該 FC の World Wide Node Name を表示する	○	V03-00/E
577		Boot Function 当該共有 FC の Boot Function を表示・変更する	○	V02-01
578		Cancel ボタン Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明をご参照ください	○	V02-00
579		Commit ボタン Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
580		Save Config ボタン Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00

581			Allocated FC Information スクリーン	○	V02-00
582			Allocated FC Information メニュー	○	V02-00
583		vfc Seed info.	WWN 生成に使用している Vfc シード情報を表示する	○	V02-00
584		#	LPAR 番号を表示する	○	V02-00
585		Slot#	FC が接続されている物理 Slot 番号を表示する	○	V02-00
586		Port#	FC の Port 番号を表示する	○	V02-00
587		Schedule	FC のスケジューリングモードを表示する	○	V02-00
588		vfcID	割り当て FC が共有モードの場合は、設定されている vfcWWNID を表示する	○	V02-00
589		WWPN	FC の World Wide Port Name を表示する	○	V02-00
590		WWNN	FC の World Wide Node Name を表示する	○	V02-00
591		Migration WWPN	マイグレーション実施時に一時的に使用する FC の World Wide Port Name を表示する	○	V03-00/E
592		Migration WWNN	マイグレーション実施時に一時的に使用する FC の World Wide Node Name を表示する	○	V03-00/E
593		Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00

594	System Configuration スクリーン		○	V02-00
595	System Configuration メニュー		○	V02-00
596	HVM メニュー		○	V02-00
597	HVM ID	HVM を識別する ID を表示・変更する	○	V02-00
598	HVM IP Address	HVM IP Address を表示・変更する	○	V02-00
599	Subnet Mask	サブネットマスクを表示・変更する	○	V02-00
600	Default Gateway	Default Gateway の IP Address を表示・変更する	○	V02-00
601	SVP IP Address	SVP の IP Address を表示する (BS500 と BS2500 でのみ表示される)	○	V02-04/A
602	Alert Language	HVM のアラートメッセージの言語を表示・設定する (BS2000、BS320、および BS500 でのみ表示される)	○	V02-00
603	Virtual Console Port	LPAR ゲストコンソールに Telnet 接続する TCP ポート を表示・設定する	○	V02-00
604	Hvm Operating Mode	HVM 動作モードを表示・変更する	○	V02-02
605	Management Path	管理パスに使用する NIC の PCI デバイス番号を 表示・変更する	○	V02-00
606	VNIC System No.	仮想 NIC の MAC アドレスの一部として使用する値 (すべての HVM システムと重複しない値) を表示・設 定する	○	V02-00
607	BSM メニュー		○	V02-00
608	BSMx IP Address	JP1/ServerConductor/Blade Server Manager (BSM) IP Address を表示・変更する (BS2000、BS320、および BS500 でのみ表示される)	○	V02-00
609	BSMx Alert Port	JP1/ServerConductor/Blade Server Manager (BSM) Alert Port を表示・変更する (BS2000、BS320、および BS500 でのみ表示される)	○	V02-00
610	HVM CLI メニュー		○	V02-01
611	HVM CLIx IP Address	HVM CLI IP Address を表示・変更する	○	V02-01
612	Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの 「Cancel ボタン」の説明をご参照ください	○	V02-00
613	Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの 「Commit ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
614	Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明を ご参照ください	×	V02-00

615			System Service State スクリーン	○	V02-00
616			System Service State メニュー	○	V02-00
617			System Service メニュー	○	V02-00
618			SVP Access      Service Processor (SVP) アクセスの状態を表示する	○	V02-00
619			BSM Access (BS2000、BS320、 および BS500 の場 合) Mgmt I/F (BS2500 の場合)	○	V03-05
620			HA Monitor      HA Monitor アクセスの状態を表示する	○	V02-00
621			NTP      NTP サーバアクセスの状態を表示する	○	V02-02
622			Hardware Component メニュー	○	V02-00
623			BMC Access      物理 Baseboard Management Controller (BMC) の状態 を表示する	○	V02-00
624			Internal Path State メニュー	○	V02-00
625			Connect      内部パスの接続成否を Success/Fail で表示する	○	V02-00
626			Link      内部パスのリンク状態を Yes/No で表示する	○	V02-00
627			Service State List	○	V02-02
628			Split Style メニ ュー	○	V02-02
629			View Style メニ ュー	○	V02-02
630			Virtual LAN Segment State メニュー	○	V02-00
631			Port#/NIC#      ポート番号、NIC 番号を表示する	○	V02-00
632			Virtual LAN Segment State      仮想 LAN セグメントの状態を表示する	○	V02-00
633			Shared PCI Device Port State メニュー		V02-00
634			Type      PCI Device Assignment スクリーンでスケジューリン グモードが共有になっている PCI デバイスの種類を 表示する	○	V02-00
635			NIC#      Type が N の場合、共有 NIC 番号 (1~8) を表示する	○	V02-00
636			Port#/Slot#      ポート番号 (0、1、2、3)、スロット番号を表示する	○	V02-00
637			Shared PCI Device Port State      PCI Device Assignment スクリーンでスケジューリン グモードが共有になっている PCI デバイスの状態を 表示する	○	V02-00

638		Force Recovery ボタン	Force Recovery ウィンドウを開く	×	V02-00
639			Force Recovery ウィンドウ	×	V02-00
640		OK ボタン	強制リカバリを実施し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
641		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
642		HVM Shutdown ボタン	HVM Shutdown ウィンドウを開く	×	V02-00
643			HVM Shutdown ウィンドウ	×	V02-00
644		OK ボタン	HVM を Shutdown し、HVM Shutdown Finish ウィンドウを開く	×	V02-00
645			HVM Shutdown Finish ウィンドウ	×	V02-00
646		OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
647		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
648		HVM Reboot ボタン	HVM Reboot ウィンドウを開く	×	V02-02
649			HVM Reboot ウィンドウ	×	V02-02
650		OK ボタン	HVM を再起動し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-02
651		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-02
652		Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00

653		Date And Time スクリーン	○	V02-04/A
654		Date And Time メニュー	○	V02-04/A
655		# LPAR 番号を表示する	○	V02-04/A
656		Name LPAR 名称を表示する	○	V02-04/A
657		Status LPAR のステータスを表示する	○	V02-04/A
658		LPAR RTC Date And Time LPAR の RTC 時刻を表示する	○	V02-04/A
659		Last Activated LPAR の最終 Act 時刻を表示する	○	V02-04/A
660		Last Deactivated LPAR の最終 Deact 時刻を表示する	○	V02-04/A
661		Time Difference(s) System RTC と LPAR RTC との差分を表示する	○	V02-04/A
662		Check Status 時刻ずれのステータスを表示する	○	V02-04/A
663		System Date And Time メニュー	○	V02-04/A
664		System Time システム装置時刻 (物理 RTC 時刻) を表示する	○	V02-04/A
665		System Time Zone HVM システム時刻ゾーンを表示・変更する	○	V02-04/A
666		NTP Setting メニュー	○	V02-04/A
667		Time Setting Import NTP 設定をインポートしている先を表示する	○	V02-04/A
668		Time Sync 時刻同期設定を表示・変更する	○	V02-04/A
669		NTP Server1 NTP サーバ 1 の IP Address を表示・変更する	○	V02-04/A
670		NTP Server2 NTP サーバ 2 の IP Address を表示・変更する	○	V02-04/A
671		NTP NTP の状態を表示する	○	V02-04/A
672		Import SVP ボタン SVP に設定してある NTP 設定をインポートする	×	V02-04/A
673		Import BMC ボタン BMC に設定してある NTP 設定をインポートする (BS2000、BS500、および BS2500 で表示される)	×	V02-04/A
674		Adjust Time ボタン LPAR の RTC 時刻と SEL 時刻をシステム時刻に合わせる HVM システム時刻または UTC 時刻に合わせます	×	V02-04/A



675				LPAR to adjust time on ウインドウ	×	V02-04/A
676				Select Source time フレーム	×	V03-03
677				<div>コンボボックス</div> <div>LPAR の RTC 時刻と SEL 時刻を HVM システム時刻または UTC 時刻に合わせます このとき、変更対象の LPAR の最終 Activate RTC 時刻、最終 Deactivate RTC 時刻、最終更新 RTC 時刻がクリアされます  HVM System Time: LPAR の RTC 時刻と SEL 時刻を HVM システム時刻に合わせます Specified Zone: 指定した Time Zone で、LPAR の RTC 時刻と SEL 時刻を HVM システム時刻に合わせます UTC: LPAR の RTC 時刻と SEL 時刻を UTC 時刻に合わせます</div>	×	V03-03
678				Zone フレーム	×	V03-03
679				<div>コンボボックス</div> <div>LPAR に設定するタイムゾーンを選択します</div>	×	V03-03
680				LPAR Select フレーム	×	V02-04/A
681				<div>Multiple Selection チェックボックス</div> <div>RTC 時刻と SEL 時刻をシステム時刻に合わせる対象の LPAR を 1 つまたは複数にするよう設定します チェックあり: 複数 LPAR 選択モード チェックなし: 1LPAR 選択モード</div>	×	V02-04/A
682				<div>#</div> <div>LPAR 番号を表示します</div>	×	V02-04/A
683				<div>Name</div> <div>LPAR 名称を表示します</div>	×	V02-04/A
684				OK ボタン	×	V02-04/A
685				Cancel ボタン	×	V02-04/A
686				Cancel ボタン	○	V02-04/A
687				Commit ボタン	×	V02-04/A
688				Save Config ボタン	×	V02-04/A

689		HVM Options スクリーン		○	V02-00
690		System Control メニュー		○	V02-00
691		Pre-State Auto Activation	HVM システムのシャットダウンを行わないで HVM が再起動した場合、LPAR を再起動前と同じ状態に復帰させるかを表示・設定する	○	V02-00
692		HVM Auto Shutdown	すべての LPAR が Deactivate 状態になったとき、HVM システムのシャットダウンを行うかどうかを表示・設定する	○	V02-00
693		Shutdown State	HVM システムのシャットダウン状態を表示する	○	V02-00
694		HVM Error Watching	HVM 自身のハングアップ状態を検出するかを表示・設定する	○	V02-00
695		PhyCPU C-State (>=C3)	省電力機能を有効にするかを表示・設定する	○	V02-04/A
696		USB Auto Allocation to LPAR	USB の自動 Attach 設定を有効にするかを表示・設定する	○	V02-04/A
697		Save Changed Config Format	構成情報自動保存機能を有効にするかを表示・設定する	○	V02-04/A
698		HVM Timer Counter Base	タイマカウンタを算出する際にベースとなる値を表示・設定する (BS2000、BS320、および BS520X サーバブレードを除く BS500 でのみ表示される)	○	V03-01
699		Save Time Config	HVM システム時刻、および LPAR 時刻が補正された場合、補正した時刻情報を物理 RTC および HVM 構成情報に自動保存するかどうかを設定する	○	V03-03

700		Clear NVRAM ボタン	Clear NVRAM ウィンドウを開く	×	V02-00
701		Clear NVRAM ウィンドウ		×	V02-00
702		LPAR Select フレーム		×	V02-00
703		選択可能 LPAR 一覧	選択 (NVRAM の初期化) 可能な LPAR 一覧から定義する LPAR を選択する	×	V02-00
704		OK ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
705		HVM Configuration ウィンドウ		×	V02-00
706		OK ボタン	NVRAM を初期化し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
707		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
708		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
709		HVM Dump ボタン	HVM Configuration ウィンドウを開く	×	V02-00
710		HVM Configuration ウィンドウ		×	V02-00
711		OK ボタン	HVM Dump を採取し、本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
712		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-00
713		Guest OS Dump ボタン	Guest OS Dump ウィンドウを表示する	×	V03-02
714		Guest OS Dump ウィンドウ		×	V03-02
715		LPAR Select フレーム	ゲスト OS ダンプを採取する LPAR を選択する	×	V03-02
716		OK ボタン	ゲスト OS ダンプを採取し、本ウィンドウを閉じる	×	V03-02
717		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-02
718		Cancel ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Cancel ボタン」の説明をご参照ください	○	V02-00
719		Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00
720		Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-00

721		HVM System Logs スクリーン	○	V02-00
722		HVM System Logs メニュー	○	V02-00
723		チェックボックス	○	V02-01
724		MultiSort	○	V02-01
725		SysLog Update ボタン	○	V02-00
726		チェックボックス	○	V02-00
727		Error	○	V02-00
728		Warning	○	V02-00
729		Info	○	V02-00
730		Level	○	V02-00
731		Date	○	V02-00
732		Time	○	V02-00
733		Event	○	V02-00
734		Detail	○	V02-00
735		Save Config ボタン	×	V02-00
736		Firmware Version Information スクリーン	○	V02-00
737		Firmware Version Information メニュー	○	V02-00
738		System Firmware メニュー	○	V02-00
739		HVM Firmware (Active)	○	V02-00
740		HVM Firmware (Alternate)	○	V02-00
741		BIOS	○	V02-00
742		BMC	○	V02-00
743		HVM License Information メニュー	○	V02-00
744		HVM Model	○	V02-00
745		HVM Serial No.	○	V02-00
746		Valid Through	○	V02-00
747		Hitachi Fibre Channel Firmware	○	V02-00
748		Slot#	○	V02-00
749		Save Config ボタン	×	V02-00

750		Boot Setting スクリーン		○	V02-01
751		コンボボックス	ブート設定対象の LPAR を選択する	○	V02-01
752		Boot Order Update ボタン	ブートオーダを更新する	×	V02-01
753		Boot Order	設定済みブートデバイスのリストを表示する	○	V02-01
754		↑ ボタン	ブートデバイスの優先順位を上げる	○	V02-01
755		↓ ボタン	ブートデバイスの優先順位を下げる	○	V02-01
756		↑ Add ボタン	ブートデバイスリストに追加	○	V02-01
757		↓ Remove ボタン	ブートデバイスリストから削除	○	V02-01
758		Excluded Boot Order	未設定ブートデバイスのリストを表示する	○	V02-01
759		FC HBA Setting	ブートデバイスの HBA の Boot Enable を表示・更新する	○	V02-01
760		Boot Device List Setting	ブートデバイスの HBA の Boot Device List を表示・更新する	○	V02-01
761		Active LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Active LPAR ボタン」の説明をご参照ください	×	V03-01
762		Deactive LPAR ボタン	Menu スクリーンの「Deactive LPAR ボタン」の説明をご参照ください	×	V03-01
763		Attach/Detach ボタン	USB Attach/Detach ウィンドウを開く	×	V03-02
764		USB Attach/Detach ウィンドウ		×	V03-02
765		OK ボタン	USB Attach/Detach を実施し、本ウィンドウを閉じる	×	V03-02
766		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-02
767		Set/Reset ボタン	USB Auto Allocation Set/Reset ウィンドウを開く USB Auto Allocation to LPAR が Enable の時に表示される	×	V03-02
768		USB Auto Allocation Set/Reset ウィンドウ		×	V03-02
769		OK ボタン	USB Attach/Detach を実施し、本ウィンドウを閉じる	×	V03-02
770		Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-02
771		Screen ボタン	Menu スクリーンの「Screen ボタン」の説明をご参照ください	×	V03-01
772		Remote KVM ボタン	Menu スクリーンの「Remote KVM ボタン」の説明をご参照ください	×	V03-01
773		Commit ボタン	Logical Partition Configuration スクリーンの「Commit ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-01
774		Save Config ボタン	Menu スクリーンの「Save Config ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-01

775	Related Console ウィンドウ		○	V02-00
776	コンボボックス	Make LPAR ウィンドウの「コンボボックス」の説明 をご参照ください	○	V02-00
777	HVM Information フレーム	Make LPAR ウィンドウの「HVM Information フレーム」 の説明をご参照ください	○	V02-00
778	Update(U) ボタン	Make LPAR ウィンドウの「Update ボタン」の説明を ご参照ください	○	V02-00
779	Chassis Information メニュー		○	V02-00
780	Chassis ID	シャーシの ID を表示する	○	V02-00
781	Chassis Type	シャーシの種別を表示する	○	V02-00
782	Chassis S/N	シャーシのシリアル番号を表示する	○	V02-00
783	SVP Information メニュー		○	V02-00
784	SVP IP Address	SVP の IP アドレスを表示する	○	V02-00
785	User ID	SVP のユーザアカウントを表示する	○	V02-00
786	Update Time	SVP を更新した時間を表示する	○	V02-00
787	Partition Information メニュー		○	V02-00
788	Partition#	パーティション番号を表示する	○	V02-00
789	Blade SerialNo	パーティションのシリアル番号を表示する	○	V02-00
790	BMC IP Address	BMC の IP アドレスを表示する	○	V02-00
791	BMC User ID	BMC のユーザアカウントを表示する	○	V02-00
792	R-KVM Application	リモート KVM で使用するアプリケーションを表示す る	○	V03-00/A
793	HVM Information メニュー		○	V02-00
794	HVM ID	HVM の ID を表示する	○	V02-00
795	HVM IP Address	HVM の IP アドレスを表示する	○	V02-00
796	F/W Version	HVM のファームウェアバージョンを表示する	○	V02-00
797	System Console (Web) ボタン	SVP の System Console (Web) を開く	×	V02-00
798	System Console (Telnet) ボ タン	SVP の System Console (Telnet) を開く	×	V02-00
799	ServerBlade Console (Web) ボ タン	ServerBlade Console (Web) を開く	×	V02-00
800	HVM Screen ボタン	HVM Console を開く	×	V02-00

801	Set SVP Info ボタン	Set SVP Info ウィンドウを開く	×	V02-01
802	Set SVP Info ウィンドウ		×	V02-01
803	SVP IP Address テキストボックス	SVP IP Address を入力	×	V02-01
804	User ID テキストボックス	User ID を入力	×	V02-01
805	Password テキストボックス	Password を入力	×	V02-01
806	HTTP/HTTPS ラジオボタン	SVP システムコンソール (Web) の表示の際に使用するプロトコルを選択	×	V03-02
807	OK ボタン	入力内容を反映して Set SVP Info ウィンドウを閉じる	×	V02-01
808	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Set SVP Info ウィンドウを閉じる	×	V02-01
809	Set BMC Info ボタン	Set BMC Info ウィンドウを開く	×	V02-01
810	Set BMC Info ウィンドウ		×	V02-01
811	BMC IP Address テキストボックス	BMC IP Address を入力	×	V02-01
812	User ID テキストボックス	User ID を入力	×	V02-01
813	Password テキストボックス	Password を入力	×	V02-01
814	HTTP/HTTPS ラジオボタン	サーバブレード Web コンソールの表示の際に使用するプロトコルを選択	×	V03-04
815	R-KVM Application コンボボックス	リモート KVM で使用するアプリケーション設定する	×	V03-00/A
816	OK ボタン	入力内容を反映して Set BMC Info ウィンドウを閉じる	×	V02-01
817	Cancel ボタン	入力内容を反映しないで Set BMC Info ウィンドウを閉じる	×	V02-01

## 5 モニタリング

※1 参照モードで操作及び表示が可能な項目を示す

※2 導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	参照 (※1)	導入/変更 Ver. (※2)
1	Main ウィンドウ (Monitoring タブ)		○	V01-00
2	HVM List フレーム		○	V02-02
3	チェックボックス	<p>【チェックをつける】</p> <p>複数 HVM 操作ボタンの操作対象になる            複数 HVM 操作ボタンは、以下のフレームに含まれるボタン            (1) List Operation フレーム            (2) Monitor Action フレーム            (3) Graph Viewer フレーム (ただし、Use BackUp ボタンを除く)            ※ヘッダのチェックボックスにチェックをつけると            すべての HVM が操作対象になる</p> <p>【チェックを外す】</p> <p>複数 HVM 操作ボタンの操作対象から外れる            ※ヘッダのチェックボックスからチェックを外すと            すべての HVM が操作対象から外れる</p>	○	V01-00
4	HVM ID 列	HVM ID を表示	○	V01-00
5	HVM IP 列	HVM IP アドレスを表示	○	V01-00
6	Status 列	<p>モニタリングのステータスを表示</p> <p>Total: モニタリング機能を利用できる HVM 数を表示</p> <p>Run: モニタリング中の HVM 数を表示</p> <p>Stop: モニタリングを停止している HVM 数を表示</p> <p>Fail: モニタリングに失敗している HVM 数を表示</p> <p>Error: モニタリングのエラー停止中の HVM 数を表示</p>	○	V01-00
7	Interval (s) 列ボタン	Set Interval ウィンドウを開く	○	V01-00
8	Start Monitor 列 Start ボタン	モニタリングを開始	○	V01-00
9	Stop Monitor 列 Stop ボタン	モニタリングを停止	○	V01-00
10	Realtime View 列 View ボタン	CPU Realtime Viewer ウィンドウを開く	○	V02-00
11	History View 列 View ボタン	CPU History Viewer ウィンドウを開く	○	V02-00
12	Information 列 Information ボタン	Monitor Information ウィンドウを開く	○	V01-00
13	Log Manage 列 Log Manage ボタン	Monitor Log Management ウィンドウを開く	○	V01-00
14	Threshold 列 Threshold ボタン	Monitor Threshold Management ウィンドウを開く	○	V01-00



15		AutoClear 列	履歴情報自動削除の有効/無効を表示する	○	V01-00
16		AutoBackUp 列	履歴情報自動バックアップの有効/無効を表示する	○	V01-00
17		AutoAverage 列	ユーザ時間設定した履歴情報自動集計の有効/無効を表示する	○	V01-00
18		Threshold Check 列	しきい値監視の有効/無効を表示する	○	V01-00
19		List Operation フレーム	本フレーム内のボタンはチェックのついたすべての HVM に適用	○	V01-00
20		Set Interval ボタン	Set Interval ウィンドウを開く	○	V01-00
21		Log Manage ボタン	Monitor Log Management ウィンドウを開く	○	V01-00
22		Threshold ボタン	Monitor Threshold Management ウィンドウを開く	○	V01-00
23		Monitor Action フレーム	本フレーム内のボタンはチェックのついたすべての HVM に適用	○	V01-00
24		Start ボタン	サブウィンドウ (Monitor Start ウィンドウ) を開く	○	V01-00
25		Monitor Start ウィンドウ		○	V01-00
26		リスト	モニタリング開始対象の HVM を表示	○	V01-00
27		OK ボタン	リスト表示した HVM のモニタリングを開始し 本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
28		Cancel ボタン	リスト表示した HVM のモニタリングの開始を取り止め 本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
29		Stop ボタン	サブウィンドウ (Monitor Stop ウィンドウ) を開く	○	V01-00
30		Monitor Stop ウィンドウ		○	V01-00
31		リスト	モニタリング停止対象の HVM を表示	○	V01-00
32		OK ボタン	リスト表示した HVM のモニタリングを停止し 本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
33		Cancel ボタン	リスト表示した HVM のモニタリングの停止を取り止め 本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
34		Graph Viewer フレーム	本フレーム内のボタンはチェックのついたすべての HVM に適用	○	V01-00
35		Realtime ボタン	【1 つの HVM にチェックをつけている場合】 CPU Realtime Viewer ウィンドウを開く 【複数の HVM にチェックをつけている場合】 CPU Realtime Viewer [ Multi ] ウィンドウを開く	○	V02-00
36		History ボタン	CPU History Viewer ウィンドウを開く	○	V02-00
37		Use Backup ボタン	サブウィンドウ (フォルダの参照ウィンドウ) を開く	○	V01-00
38		フォルダの参照ウィンドウ		○	V01-00
39		[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V01-00

40	Set Interval ウィンドウ		○	V01-00
41	リスト	サンプリング間隔指定対象の HVM を表示	○	V01-00
42	Interval (1-300) テキストボックス	サンプリング間隔を入力 (単位: 秒) デフォルト設定は 10 秒	○	V01-00
43	OK ボタン	サンプリング間隔を入力値に設定し、本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
44	Cancel ボタン	サンプリング間隔を設定せず、本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
45	Monitor Information ウィンドウ		○	V01-00
46	HVM Information フレーム	HVM ID と HVM IP アドレスを表示	○	V01-00
47	Monitor Information フレーム	Status、Logging Start Time および Logging Last Update を表示	○	V01-00
48	Last Error Message テキストボックス	最新のエラーメッセージを表示	○	V01-00
49	Refresh ボタン	Monitor Information フレーム内の表示を更新	○	V01-00
50	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00

51	CPU Realtime Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウ		○	V02-00
52	メニューリスト(Graph Style)		○	V01-00
53	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V01-00
54	Line	折れ線グラフで表示	○	V01-00
55	Bar	棒グラフで表示	○	V01-01
56	メニューリスト(Graph Size)		○	V01-00
57	Auto Size	Logical CPU グラフでウィンドウサイズをチェックし表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	○	V01-00
58	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	○	V01-00
59	Window Width	Logical CPU グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ1行1LPAR ずつ表示	○	V01-00
60	メニューリスト(Data Change)	条件 1、2 を満たす場合メニューリストに Data Change が加わる (条件 1、2 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V01-01
61	Normal (Rate)	LPAR ごとにグラフ表示(デフォルト)	○	V01-00
62	Group (Rate)	プロセッサグループごとにグラフ表示	○	V01-01
63	Normal (Core/Thread)	LPAR の CPU 使用数ごとにグラフ表示	○	V02-03
64	Group (Core/Thread)	プロセッサグループの CPU 使用数ごとにグラフ表示	○	V03-02
65	メニューリスト(Legend)		○	V01-00
66	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V01-00
67	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V01-00
68	メニューリスト(Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V01-01
69	ON	CPU 不足率を表示	○	V01-00
70	OFF	CPU 不足率を非表示(デフォルト)	○	V01-00
71	メニューリスト(Refresh Interval)		○	V01-00
72	1 sec	グラフ更新を1秒にする	○	V01-00
73	5 sec	グラフ更新を5秒にする(デフォルト)	○	V01-00
74	10 sec	グラフ更新を10秒にする	○	V01-00
75	HVM Information フレーム		○	V01-00
76	HVM ID	HVM ID を表示	○	V01-00
77	HVM IP	HVM IP アドレスを表示	○	V01-00
78	I/O View フレーム		○	V02-00
79	NIC ボタン	NIC Realtime Viewer ウィンドウを開く	○	V02-00
80	HBA ボタン	HBA Realtime Viewer ウィンドウを開く	○	V03-00/A
81	Physical CPU Summary グラフ		○	V01-00
82	メニューリスト(Graph Style)		○	V01-01
83	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V01-00
84	Line	LPAR ごとに折れ線グラフで表示	○	V01-00
85	Bar	棒グラフで表示	○	V01-01

86		メニューリスト (Usage Rate)		○	V02-02
87		System Base	全物理 CPU 基準で表示 (デフォルト)	○	V02-02
88		Resource Base (Graph Style が Bar の 場合のみ)	CPU リソース基準で表示	○	V02-02
89		メニューリスト (Legend)		○	V01-00
90		ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V01-00
91		OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V01-00
92		メニューリスト (Insuff)	条件 1、3 を満たす場合、メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V01-01
93		ON	CPU 不足率を表示	○	V01-00
94		OFF	CPU 不足率を非表示 (デフォルト)	○	V01-01
95		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Rate)、または Group (Rate) 時	○	V02-03
96		100	グラフの表示領域を 100 に変更する (デフォルト)	○	V01-01
97		50	グラフの表示領域を 50 に変更する	○	V01-01
98		20	グラフの表示領域を 20 に変更する	○	V01-01
99		10	グラフの表示領域を 10 に変更する	○	V01-01
100		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Core/Thread)、 または Group (Core/Thread) 時	○	V02-03
101		256	グラフの表示領域を 256 に変更する	○	V02-03
102		128	グラフの表示領域を 128 に変更する	○	V02-03
103		64	グラフの表示領域を 64 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
104		32	グラフの表示領域を 32 に変更する	○	V02-03
105		16	グラフの表示領域を 16 に変更する	○	V02-03
106		8	グラフの表示領域を 8 に変更する	○	V02-03
107		4	グラフの表示領域を 4 に変更する	○	V02-03

108	メニューリスト (LPAR Sort)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに LPAR Sort が加わる	○	V01-01
109	OFF	ソートしないでグラフ表示	○	V01-01
110	All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
111	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
112	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
113	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する (デフォルト)	○	V02-02
114	ON	CPU 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	○	V01-01
115	All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
116	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
117	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
118	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
119	Top	CPU 使用率が高い順に項目をグラフ表示	○	V02-02
120	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
121	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
122	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
123	メニューリスト (Value)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Value が加わる	○	V01-01
124	ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V01-01
125	OFF	数値表示を無効にする	○	V01-01
126	グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V01-00
127	コンテキストメニュー		○	V01-00
128	Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V01-00
129	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	○	V01-00
130	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	○	V01-00
131	View Each CPU	Each CPU Realtime Viewer [HVM_ID : HVM IP] ウィンドウの表示 条件 1、4 を満たす場合、コンテキストメニューに View Each CPU が加わる (条件 1、4 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V02-02
132	Each CPU Realtime Viewer ウィンドウ		○	V02-02
133	メニューリスト (Legend)		○	V02-02
134	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-02
135	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-02
136	メニューリスト (Scale)		○	V02-02
137	100	グラフの表示領域を 100 に変更する (デフォルト)	○	V02-02
138	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	○	V02-02
139	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	○	V02-02
140	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	○	V02-02

141				メニューリスト (Sort)	○	V02-02
142			OFF	ソートしないでグラフ表示	○	V02-02
143			All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
144			80	80個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
145			40	40個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
146			20	20個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
147			10	10個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する (デフォルト)	○	V02-02
148			ON	CPU 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	○	V02-02
149			All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する (デフォルト)	○	V02-02
150			80	80個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
151			40	40個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
152			20	20個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
153			10	10個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
154			Top	CPU 使用率が高い順に項目をグラフ表示	○	V02-02
155			80	80個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
156			40	40個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
157			20	20個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
158			10	10個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-02
159				メニューリスト (Value)	○	V02-02
160			ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-02
161			OFF	数値表示を無効にする	○	V02-02
162			グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V02-02
163				コンテキストメニュー	○	V02-02
164			Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-02
165			View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Each CPU) を表示	○	V02-02
166			View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Each CPU) を表示	○	V02-02
167			Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-02
168			レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	○	V02-02
169			View Snap Graph	サブウィンドウ (CPU Realtime Viewer ウィンドウ) を表示	○	V02-03
170			Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-02
171			レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	○	V02-02
172				色の設定ウィンドウ	○	V02-02
173				[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]	○	V02-02

174	LPAR Select フレーム (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group Select フレーム (メニューリストの Data Change が Group の場合)	<p>【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択</p> <p>【Group Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する Group を選択</p>	○	V01-01
175	ALL チェックボックス	<p>■メニューリストの Data Change が Normal の場合</p> <p>【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける</p> <p>【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す</p> <p>■メニューリストの Data Change が Group の場合</p> <p>【チェック】 すべての Group チェックボックスにチェックをつける</p> <p>【チェックを外す】 すべての Group チェックボックスからチェックを外す</p>	○	V01-01
176	LPAR チェックボックス nn (nn=01～60) (メニューリストの Data Change で Normal が選択されている場合) /Group チェックボックス nn (nn=00～15) (メニューリストの Data Change で Group が選択されている場合)	<p>【チェックあり】 グラフ表示</p> <p>【チェックなし】 グラフ表示しない</p>	○	V01-01

177	LPAR:nn[Logical CPU] グラフ		○	V01-00
178	メニューリスト (Graph Style)		○	V01-01
179	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V01-00
180	Line	折れ線グラフで表示	○	V01-00
181	Bar	棒グラフで表示	○	V02-02
182	メニューリスト (Graph Size)		○	V01-00
183	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V01-00
184	Fixed Size	固定サイズで表示	○	V01-00
185	Window Width	グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1 行 1 LPAR ずつ表示	○	V01-00
186	メニューリスト (Usage Rate)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Rate) 時	○	V01-01
187	Resource Base	CPU リソース基準で表示 (デフォルト)	○	V02-02
188	System Base	全物理 CPU 基準で表示	○	V01-00
189	Service Rate Base	サービス率基準で表示	○	V01-00
190	メニューリスト (Usage Rate)	メニューリスト (Data Change) が Group (Rate) 時	○	V01-01
191	Group Base	プロセッサグループに割り当てられたリソース基準で表示 (デフォルト表示)	○	V01-01
192	System Base	全物理 CPU 基準で表示	○	V01-01
193	メニューリスト (Usage Rate)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Core/Thread) 時	○	V02-03
194	System Base	全物理 CPU 基準で表示 (デフォルト表示)	○	V02-03
195	メニューリスト (Usage Rate)	メニューリスト (Data Change) が Group (Core/Thread) 時	○	V03-02
196	System Base	全物理 CPU 基準で表示 (デフォルト表示)	○	V03-02



197		メニューリスト (Legend)	○	V01-00
198	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V01-00
199	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V01-00
200	メニューリスト (Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V01-01
201	ON	CPU 不足率を表示	○	V01-00
202	OFF	CPU 不足率を非表示 (デフォルト)	○	V01-00
203	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Rate)、または Group (Rate) 時	○	V02-03
204	100	グラフの表示領域を 100 に変更する (デフォルト)	○	V02-02
205	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	○	V02-02
206	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	○	V02-02
207	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	○	V02-02
208	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Core/Thread)、または Group (Core/Thread) 時	○	V02-03
209	64	グラフの表示領域を 64 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
210	32	グラフの表示領域を 32 に変更する	○	V02-03
211	16	グラフの表示領域を 16 に変更する	○	V02-03
212	8	グラフの表示領域を 8 に変更する	○	V02-03
213	4	グラフの表示領域を 4 に変更する	○	V02-03
214	メニューリスト (CPU Sort)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに CPU Sort が加わる	○	V03-04
215	OFF	ソートしないでグラフ表示	○	V03-04
216	All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V03-04
217	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V03-04
218	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V03-04
219	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する (デフォルト)	○	V03-04
220	ON	CPU 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	○	V03-04
221	All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する (デフォルト)	○	V03-04
222	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V03-04
223	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V03-04
224	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V03-04
225	Top	CPU 使用率が高い順に項目をグラフ表示	○	V03-04
226	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V03-04
227	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V03-04

228		10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V03-04
229		メニューリスト (Value)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Value が加わる	○	V02-02
230		ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-02
231		OFF	数値表示を無効にする	○	V02-02
232		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V01-00
233		コンテキストメニュー		○	V01-00
234		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V01-00
235		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	○	V01-00
236		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	○	V01-00
237		View Each CPU	Each CPU Realtime Viewer[HVM_ID : HVM IP]ウィンドウの表示 条件 1、4 を満たす場合、コンテキストメニューに View Each CPU が加わる (条件 1、4 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V02-02
238		View Snap Graph	サブウィンドウ (CPU Realtime Snap Viewer ウィンドウ) を表示	○	V02-03
239		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-02
240		レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	○	V02-02
		色の設定ウィンドウ		○	V02-02
241			[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]	○	V02-02

242	CPU Realtime Snap Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウ		○	V02-03
243	メニューリスト(Graph Style)		○	V02-03
244	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V02-03
245	Line	折れ線グラフで表示	○	V02-03
246	メニューリスト(Graph Size)		○	V02-03
247	Auto Size	Logical CPU グラフでウィンドウサイズをチェックし表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	○	V02-03
248	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	○	V02-03
249	Window Width	Logical CPU グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ1行1LPAR ずつ表示	○	V02-03
250	メニューリスト(Data Change)	条件 1、2 を満たす場合メニューリストに Data Change が加わる (条件 1、2 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V02-03
251	Normal (Rate)	LPAR ごとにグラフ表示(デフォルト)	○	V02-03
252	Group (Rate)	プロセッサグループごとにグラフ表示	○	V02-03
253	Normal (Core/Thread)	LPAR の CPU 使用数ごとにグラフ表示	○	V02-03
254	Group (Core/Thread)	プロセッサグループの CPU 使用数ごとにグラフ表示	○	V03-02
255	メニューリスト(Legend)		○	V02-03
256	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V02-03
257	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03
258	メニューリスト(Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V02-03
259	ON	CPU 不足率を表示	○	V02-03
260	OFF	CPU 不足率を非表示(デフォルト)	○	V02-03
261	HVM Information フレーム		○	V02-03
262	HVM ID	HVM ID を表示	○	V02-03
263	HVM IP	HVM IP アドレスを表示	○	V02-03
264	I/O View フレーム		○	V02-03
265	NIC ボタン	NIC Realtime Snap Viewer ウィンドウを開く	○	V02-03
266	HBA ボタン	HBA Realtime Snap Viewer ウィンドウを開く	○	V03-00/A
267	Physical CPU Summary グラフ		○	V02-03
268	メニューリスト(Graph Style)		○	V02-03
269	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V02-03
270	Line	LPAR ごとに折れ線グラフで表示	○	V02-03
271	メニューリスト(Usage Rate)		○	V02-03
272	System Base	全物理 CPU 基準で表示(デフォルト)	○	V02-03
273	メニューリスト(Legend)		○	V02-03
274	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V02-03
275	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03

276		メニューリスト (Insuff)	条件 1、3 を満たす場合、メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V02-03
277		ON	CPU 不足率を表示	○	V02-03
278		OFF	CPU 不足率を非表示 (デフォルト)	○	V02-03
279		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Rate)、または Group (Rate) 時	○	V02-03
280		100	グラフの表示領域を 100 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
281		50	グラフの表示領域を 50 に変更する	○	V02-03
282		20	グラフの表示領域を 20 に変更する	○	V02-03
283		10	グラフの表示領域を 10 に変更する	○	V02-03
284		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Core/Thread)、または Group (Rate) 時	○	V02-03
285		256	グラフの表示領域を 256 に変更する	○	V02-03
286		128	グラフの表示領域を 128 に変更する	○	V02-03
287		64	グラフの表示領域を 64 に変更する	○	V02-03
288		32	グラフの表示領域を 32 に変更する	○	V02-03
289		16	グラフの表示領域を 16 に変更する	○	V02-03
290		8	グラフの表示領域を 8 に変更する	○	V02-03
291		4	グラフの表示領域を 4 に変更する	○	V02-03
292		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V02-03

293		コンテキストメニュー		○	V02-03
294		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-03
295		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	○	V02-03
296		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical CPU Summary ウィンドウ) を表示	○	V02-03
297		View Each CPU	サブウィンドウ (Each CPU History Viewer ウィンドウ) を表示	○	V03-04
298		View Bar Graph	サブウィンドウ (CPU History Bar Viewer ウィンドウ) を表示	○	V02-03
299		Each CPU History Viewer ウィンドウ		○	V03-04
300		HVM Information フレーム	HVM ID と HVM IP アドレスを表示	○	V03-04
301		HVM ID	HVM ID を表示	○	V03-04
302		HVM IP	HVM IP を表示	○	V03-04
303		Operation フレーム		○	V03-04
304		Prev. ボタン	現在表示されている時間の一つ前のデータを表示する	○	V03-04
305		Next ボタン	現在表示されている時間の一つ後のデータを表示する	○	V03-04
306		スクロールバー	表示したい時間を選択する	○	V03-04
307		Show ボタン	スクロールバーで選択した時間を表示する	○	V03-04
308		コンテキストメニュー		○	V03-04
309		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V03-04
310		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Each CPU) を表示	○	V03-04
311		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Each CPU) を表示	○	V03-04
312		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V03-04
313		レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	○	V03-04
314		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-03
315		レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	○	V02-03
316		色の設定ウィンドウ		○	V02-03
317		[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V02-03

318	LPAR Select フレーム (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group Select フレーム (メニューリストの Data Change が Group の場合)	【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択 【Group Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する Group を選択	○	V02-03
319	ALL チェックボックス	■メニューリストの Data Change が Normal の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Data Change が Group の場合 【チェック】 すべての Group チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての Group チェックボックスからチェックを外す	○	V02-03
320	LPAR チェックボックス nn (nn=01~60) (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group チェックボックス nn (nn=00~15) (メニューリストの Data Change が Group の場合)	【チェックあり】 グラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	○	V02-03
321	LPAR:nn[Logical CPU] グラフ		○	V02-03
322	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-03
323	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V02-03
324	Line	折れ線グラフで表示	○	V02-03
325	メニューリスト (Graph Size)		○	V02-03
326	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V02-03
327	Fixed Size	固定サイズで表示	○	V02-03
328	Window Width	グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1 行 1LPAR ずつ表示	○	V02-03
329	メニューリスト (Usage Rate)		○	V02-03
330	Resource Base	CPU リソース基準で表示 (デフォルト)	○	V02-03
331	System Base	全物理 CPU 基準で表示	○	V02-03
332	Service Rate Base	サービス率基準で表示	○	V02-03
333	メニューリスト (Legend)		○	V02-03
334	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
335	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03
336	メニューリスト (Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V02-03
337	ON	CPU 不足率を表示	○	V02-03
338	OFF	CPU 不足率を非表示 (デフォルト)	○	V02-03

339		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Rate)、または Group (Rate) 時	○	V02-03
340		100	グラフの表示領域を 100 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
341		50	グラフの表示領域を 50 に変更する	○	V02-03
342		20	グラフの表示領域を 20 に変更する	○	V02-03
343		10	グラフの表示領域を 10 に変更する	○	V02-03
344		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Core/Thread)、または Group (Core/Thread) 時	○	V02-03
345		64	グラフの表示領域を 64 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
346		32	グラフの表示領域を 32 に変更する	○	V02-03
347		16	グラフの表示領域を 16 に変更する	○	V02-03
348		8	グラフの表示領域を 8 に変更する	○	V02-03
349		4	グラフの表示領域を 4 に変更する	○	V02-03
350		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V02-03
351		コンテキストメニュー		○	V02-03
352		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-03
353		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	○	V02-03
354		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	○	V02-03
355		View Each CPU	Each CPU Realtime Viewer[HVM_ID : HVM IP] ウィンドウの表示 条件 1、4 を満たす場合、コンテキストメニューに View Each CPU が加わる (条件 1、4 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V02-02
356		View Bar Graph	サブウィンドウ (CPU History Bar Viewer ウィンドウ) を表示	○	V02-03
357		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-03
358		レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	○	V02-03
359		色の設定ウィンドウ		○	V02-03
360		[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V02-03

361	NIC Realtime Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウ		○	V02-00
362	メニューリスト(Graph Style)		○	V02-00
363	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V02-00
364	Line	折れ線グラフで表示	○	V02-00
365	Bar	棒グラフで表示	○	V02-00
366	メニューリスト(Graph Size)		○	V02-00
367	Auto Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	○	V02-00
368	Fixed Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V02-00
369	Window Width	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1行1LPAR ずつ表示	○	V02-00
370	メニューリスト(Graph Data)		○	V02-00
371	NIC Port	NIC のポートごとに表示(デフォルト)	○	V02-00
372	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V02-00
373	メニューリスト(Legend)		○	V02-00
374	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V02-00
375	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-00
376	メニューリスト(Usage)		○	V02-00
377	Usage (Mbps)	NIC の使用量を表示(デフォルト)	○	V02-00
378	Usage Rate (%)	NIC の使用率を表示	○	V02-00
379	メニューリスト(Refresh Interval)		○	V02-00
380	1 sec	グラフ更新を1秒にする	○	V02-00
381	5 sec	グラフ更新を5秒にする(デフォルト)	○	V02-00
382	10 sec	グラフ更新を10秒にする	○	V02-00
383	Physical NIC Summary グラフ		○	V02-00
384	メニューリスト(Graph Style)		○	V02-00
385	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V02-00
386	Line	LPAR ごとに折れ線グラフで表示	○	V02-00
387	Bar	棒グラフで表示	○	V02-00
388	メニューリスト(Legend)		○	V02-00
389	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V02-00
390	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-00



391	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V02-03
392	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する(デフォルト)	○	V02-00
393	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V02-00
394	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V02-03
395	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V02-03
396	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V02-03
397	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V02-00
398	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V02-03
399	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V02-03
400	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V02-03
401	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V02-00
402	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V02-03
403	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V02-03
404	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V02-03
405	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V02-03
406	100 %	グラフの表示領域を 100 %に変更する(デフォルト)	○	V02-00
407	50 %	グラフの表示領域を 50 %に変更する	○	V02-00
408	20 %	グラフの表示領域を 20 %に変更する	○	V02-00
409	10 %	グラフの表示領域を 10 %に変更する	○	V02-00
410	メニューリスト (Value)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Value が加わる	○	V02-00
411	ON	数値表示を有効にする(デフォルト)	○	V02-00
412	OFF	数値表示を無効にする	○	V02-00
413	メニューリスト (NIC Sort)	Graph Style が Bar の場合のみ メニューリストに NIC Sort が加わる	○	V02-00
414	OFF	ソートしないでグラフ表示(デフォルト)	○	V02-00
415	ON	NIC 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	○	V02-00
416	Top 10	NIC 使用率が高い順に 10 項目をグラフ表示	○	V02-00
417	メニューリスト (Usage Rate)	Usage が Usage Rate (%) の場合のみ メニューリストに Usage Rate が加わる	○	V02-00
418	Total Base	Physical NIC Summary グラフを HVM 全体基準で表示(デフォルト)	○	V02-00
419	Port Base	Physical NIC Summary グラフを Port 基準で表示 (メニューリスト (Graph Style) が Line または Bar の場合 Port 基準で表示)	○	V02-00
420	グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V02-00
421	コンテキストメニュー		○	V02-00
422	Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-00
423	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical NIC Summary ウィンドウ) を表示	○	V02-00
424	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical NIC Summary ウィンドウ) を表示	○	V02-00
425	View Snap Data	サブウィンドウ (View Snap Data for Physical NIC Summary ウィンドウ) を表示	○	V02-00
426	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-02

427	NIC Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	<p>【NIC Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する NIC Port を選択</p> <p>【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択</p>	○	V02-00
428	ALL チェックボックス	<p>■メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合</p> <p>【チェック】 すべての NIC Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての NIC Port チェックボックスからチェックを外す</p> <p>■メニューリストの Graph Data が LPAR の場合</p> <p>【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す</p>	○	V02-00
429	NIC Port チェックボックス (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR チェックボックス (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	<p>【チェックあり】 選択されているもののみグラフ表示</p> <p>【チェックなし】 グラフ表示しない</p>	○	V02-00
430	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		○	V02-00
431	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-00
432	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V02-00
433	Line	折れ線グラフで表示	○	V02-00
434	Bar	棒グラフで表示	○	V02-00
435	メニューリスト (Graph Size)		○	V02-00
436	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V02-00
437	Fixed Size	グラフを固定サイズで表示	○	V02-00
438	Window Width	Physical NIC Summary グラフと同じサイズで表示	○	V02-00
439	メニューリスト (Graph Data)		○	V02-00
440	NIC Port	NIC のポートごとに表示 (デフォルト)	○	V02-00
441	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V02-00
442	メニューリスト (Legend)		○	V02-00
443	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-00
444	OFF	グラフ色の凡示を無効にする	○	V02-00

445		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V02-03
446		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V02-00
447		10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V02-00
448		7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V02-03
449		5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V02-03
450		2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V02-03
451		1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V02-00
452		750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V02-03
453		500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V02-03
454		250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V02-03
455		100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V02-00
456		75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V02-03
457		50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V02-03
458		25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V02-03
459		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V02-03
460		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する	○	V02-00
461		100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V02-00
462		50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V02-00
463		20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V02-00
464		10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V02-00
465		コンテキストメニュー		○	V02-00
466		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-00
467		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V02-00
468		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V02-00
469		View Snap Data	サブウィンドウ (View Snap Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V02-00
470		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-02

471	NIC Realtime Snap Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウ		○	V02-03
472	メニューリスト(Graph Style)		○	V02-03
473	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V02-03
474	Line	折れ線グラフで表示	○	V02-03
475	メニューリスト(Graph Size)		○	V02-03
476	Auto Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	○	V02-03
477	Fixed Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V02-03
478	Window Width	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1行 1LPAR ずつ表示	○	V02-03
479	メニューリスト(Graph Data)		○	V02-03
480	NIC Port	NIC のポートごとに表示(デフォルト)	○	V02-03
481	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V02-03
482	メニューリスト(Legend)		○	V02-03
483	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V02-03
484	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03
485	メニューリスト(Usage)		○	V02-03
486	Usage(Mbps)	NIC の使用量を表示(デフォルト)	○	V02-03
487	Usage Rate(%)	NIC の使用率を表示	○	V02-03
488	Physical NIC Summary グラフ		○	V02-03
489	メニューリスト(Graph Style)		○	V02-03
490	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V02-03
491	Line	LPAR ごとに折れ線グラフで表示	○	V02-03
492	メニューリスト(Legend)		○	V02-03
493	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V02-03
494	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03
495	メニューリスト(Scale)		○	V02-03
496	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する(デフォルト)	○	V02-03
497	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V02-03
498	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V02-03
499	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V02-03
500	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V02-03
501	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V02-03
502	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V02-03
503	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V02-03
504	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V02-03
505	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V02-03
506	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V02-03
507	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V02-03
508	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V02-03

509		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V02-03
510		100 %	グラフの表示領域を 100 %に変更する (デフォルト)	○	V02-03
511		50 %	グラフの表示領域を 50 %に変更する	○	V02-03
512		20 %	グラフの表示領域を 20 %に変更する	○	V02-03
513		10 %	グラフの表示領域を 10 %に変更する	○	V02-03
514		メニューリスト (Usage Rate)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V02-03
515		Total Base	Physical NIC Summary グラフを HVM 全体基準で表示	○	V02-03
516		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V02-03
517		コンテキストメニュー		○	V02-03
518		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-03
519		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical NIC Summary ウィンドウ) を表示	○	V02-03
520		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical NIC Summary ウィンドウ) を表示	○	V02-03
521		View Bar Graph	サブウィンドウ (NIC History Bar Viewer ウィンドウ) を表示	○	V02-03
522		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-03
523		NIC Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【NIC Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する NIC Port を選択 【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択	○	V02-03
524		ALL チェックボックス	■メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合 【チェック】 すべての NIC Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての NIC Port チェックボックスからチェックを外す  ■メニューリストの Graph Data が LPAR の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す	○	V02-03
525		NIC Port チェックボックス (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR チェックボックス (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【チェックあり】 選択されているもののみグラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	○	V02-03

526	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		○	V02-03
527	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-03
528	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V02-03
529	Line	折れ線グラフで表示	○	V02-03
530	メニューリスト (Graph Size)		○	V02-03
531	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V02-03
532	Fixed Size	グラフを固定サイズで表示	○	V02-03
533	Window Width	Physical NIC Summary グラフと同じサイズで表示	○	V02-03
534	メニューリスト (Graph Data)		○	V02-03
535	NIC Port	NIC のポートごとに表示 (デフォルト)	○	V02-03
536	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V02-03
537	メニューリスト (Legend)		○	V02-03
538	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
539	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03
540	メニューリスト (Scale) メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時		○	V02-03
541	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V02-03
542	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V02-03
543	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V02-03
544	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V02-03
545	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V02-03
546	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V02-03
547	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V02-03
548	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V02-03
549	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V02-03
550	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V02-03
551	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V02-03
552	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V02-03
553	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V02-03
554	メニューリスト (Scale) メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時		○	V02-03
555	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V02-03
556	100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V02-03
557	50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V02-03
558	20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V02-03
559	10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V02-03
560	コンテキストメニュー		○	V02-03
561	Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-03
562	View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウインドウ) を表示	○	V02-03
563	View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウインドウ) を表示	○	V02-03
564	View Bar Graph	サブウインドウ (NIC History Bar Viewer ウインドウ) を表示	○	V02-03
565	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-03

566	HBA Realtime Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウ		○	V03-00/A
567	メニューリスト(Graph Style)		○	V03-00/A
568	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V03-00/A
569	Line	折れ線グラフで表示	○	V03-00/A
570	Bar	棒グラフで表示	○	V03-00/A
571	メニューリスト(Graph Size)		○	V03-00/A
572	Auto Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	○	V03-00/A
573	Fixed Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V03-00/A
574	Window Width	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1行 1LPAR ずつ表示	○	V03-00/A
575	メニューリスト(Graph Data)		○	V03-00/A
576	HBA Port	HBA のポートごとに表示(デフォルト)	○	V03-00/A
577	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V03-00/A
578	メニューリスト(Legend)		○	V03-00/A
579	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V03-00/A
580	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A
581	メニューリスト(Usage)		○	V03-00/A
582	Usage (Mbps)	HBA の使用量を表示(デフォルト)	○	V03-00/A
583	Usage Rate (%)	HBA の使用率を表示	○	V03-00/A
584	メニューリスト(Refresh Interval)		○	V03-00/A
585	1 sec	グラフ更新を 1 秒にする	○	V03-00/A
586	5 sec	グラフ更新を 5 秒にする(デフォルト)	○	V03-00/A
587	10 sec	グラフ更新を 10 秒にする	○	V03-00/A



588	Physical HBA Summary グラフ		○	V03-00/A
589	メニューリスト (Graph Style)		○	V03-00/A
590	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
591	Line	LPAR ごとに折れ線グラフで表示	○	V03-00/A
592	Bar	棒グラフで表示	○	V03-00/A
593	メニューリスト (Legend)		○	V03-00/A
594	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
595	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A
596	メニューリスト (Scale)    メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時		○	V03-00/A
597	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
598	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V03-00/A
599	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V03-00/A
600	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V03-00/A
601	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V03-00/A
602	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V03-00/A
603	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V03-00/A
604	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V03-00/A
605	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V03-00/A
606	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V03-00/A
607	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V03-00/A
608	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V03-00/A
609	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V03-00/A
610	メニューリスト (Scale)    メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時		○	V03-00/A
611	100 %	グラフの表示領域を 100 %に変更する	○	V03-00/A
612	50 %	グラフの表示領域を 50 %に変更する	○	V03-00/A
613	20 %	グラフの表示領域を 20 %に変更する	○	V03-00/A
614	10 %	グラフの表示領域を 10 %に変更する	○	V03-00/A
615	メニューリスト (Value)    Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Value が加わる		○	V03-00/A
616	ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
617	OFF	数値表示を無効にする	○	V03-00/A
618	メニューリスト (HBA Sort)    Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに HBA Sort が加わる		○	V03-00/A
619	OFF	ソートしないでグラフ表示	○	V03-00/A
620	ON	HBA 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	○	V03-00/A
621	Top 10	HBA 使用率が高い順に 10 項目をグラフ表示	○	V03-00/A
622	メニューリスト (Usage Rate)    Usage が Usage Rate (%) の場合のみ、メニューリストに Usage Rate が加わる		○	V03-00/A
623	Total Base	Physical HBA Summary グラフを HVM 全体基準で表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
624	Port Base	Physical HBA Summary グラフを Port 基準で表示 (メニューリスト (Graph Style) が Line または Bar の場合 Port 基準で表示)	○	V03-00/A



625		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V03-00/A
626		コンテキストメニュー		○	V03-00/A
627		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V03-00/A
628		View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for Physical HBA Summary ウインドウ) を表示	○	V03-00/A
629		View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for Physical HBA Summary ウインドウ) を表示	○	V03-00/A
630		View Snap Data	サブウインドウ (View Snap Data for Physical HBA Summary ウインドウ) を表示	○	V03-00/A
631		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V03-00/A
632		HBA Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【HBA Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する HBA Port を選択 【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択	○	V03-00/A
633		ALL チェックボックス	■メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合 【チェック】 すべての HBA Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての HBA Port チェックボックスからチェックを外す  ■メニューリストの Graph Data が LPAR の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す	○	V03-00/A
634		HBA Port チェックボックス (メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合) /LPAR チェックボックス (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【チェックあり】 選択されているもののみグラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	○	V03-00/A

635	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		○	V03-00/A
636	メニューリスト (Graph Style)		○	V03-00/A
637	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
638	Line	折れ線グラフで表示	○	V03-00/A
639	Bar	棒グラフで表示	○	V03-00/A
640	メニューリスト (Graph Size)		○	V03-00/A
641	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
642	Fixed Size	グラフを固定サイズで表示	○	V03-00/A
643	Window Width	Physical HBA Summary グラフと同じサイズで表示	○	V03-00/A
644	メニューリスト (Graph Data)		○	V03-00/A
645	HBA Port	HBA のポートごとに表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
646	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V03-00/A
647	メニューリスト (Value)	Graph Style が Bar の場合のみ、メニューリストに Value が加わる	○	V03-00/A
648	ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
649	OFF	数値表示を無効にする	○	V03-00/A
650	メニューリスト (Legend)		○	V03-00/A
651	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
652	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A

653		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V03-00/A
654		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
655		10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V03-00/A
656		7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V03-00/A
657		5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V03-00/A
658		2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V03-00/A
659		1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V03-00/A
660		750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V03-00/A
661		500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V03-00/A
662		250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V03-00/A
663		100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V03-00/A
664		75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V03-00/A
665		50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V03-00/A
666		25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V03-00/A
667		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V03-00/A
668		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
669		100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V03-00/A
670		50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V03-00/A
671		20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V03-00/A
672		10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V03-00/A
673		コンテキストメニュー		○	V03-00/A
674		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V03-00/A
675		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for HBA:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
676		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for HBA:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
677		View Snap Data	サブウィンドウ (View Snap Data for HBA:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
678		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V03-00/A

679	HBA Realtime Snap Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウ		○	V03-00/A
680	メニューリスト(Graph Style)		○	V03-00/A
681	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V03-00/A
682	Line	折れ線グラフで表示	○	V03-00/A
683	メニューリスト(Graph Size)		○	V03-00/A
684	Auto Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	○	V03-00/A
685	Fixed Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V03-00/A
686	Window Width	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1行 1LPAR ずつ表示	○	V03-00/A
687	メニューリスト(Graph Data)		○	V03-00/A
688	HBA Port	HBA のポートごとに表示(デフォルト)	○	V03-00/A
689	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V03-00/A
690	メニューリスト(Legend)		○	V03-00/A
691	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V03-00/A
692	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A
693	メニューリスト(Usage)		○	V03-00/A
694	Usage (Mbps)	HBA の使用量を表示(デフォルト)	○	V03-00/A
695	Usage Rate (%)	HBA の使用率を表示	○	V03-00/A
696	Physical HBA Summary グラフ		○	V03-00/A
697	メニューリスト(Graph Style)		○	V03-00/A
698	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V03-00/A
699	Line	LPAR ごとに折れ線グラフで表示	○	V03-00/A
700	メニューリスト(Legend)		○	V03-00/A
701	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V03-00/A
702	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A
703	メニューリスト(Scale)		○	V03-00/A
704	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する(デフォルト)	○	V03-00/A
705	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V03-00/A
706	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V03-00/A
707	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V03-00/A
708	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V03-00/A
709	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V03-00/A
710	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V03-00/A
711	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V03-00/A
712	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V03-00/A
713	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V03-00/A
714	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V03-00/A
715	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V03-00/A
716	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V03-00/A

717		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V03-00/A
718		100 %	グラフの表示領域を 100 %に変更する	○	V03-00/A
719		50 %	グラフの表示領域を 50 %に変更する	○	V03-00/A
720		20 %	グラフの表示領域を 20 %に変更する	○	V03-00/A
721		10 %	グラフの表示領域を 10 %に変更する	○	V03-00/A
722		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V03-00/A
723		コンテキストメニュー		○	V03-00/A
724		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V03-00/A
725		View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for Physical HBA Summary ウインドウ) を表示	○	V03-00/A
726		View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for Physical HBA Summary ウインドウ) を表示	○	V03-00/A
727		View Bar Graph	サブウインドウ (HBA History Bar Viewer ウインドウ) を表示	○	V03-00/A
728		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V03-00/A
729		HBA Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【HBA Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する HBA Port を選択 【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択	○	V03-00/A
730		ALL チェックボックス	■メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合 【チェック】 すべての HBA Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての HBA Port チェックボックスからチェックを外す  ■メニューリストの Graph Data が LPAR の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す	○	V03-00/A
731		HBA Port チェックボックス (メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合) /LPAR チェックボックス (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【チェックあり】 選択されているもののみグラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	○	V03-00/A
732		HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		○	V03-00/A
733		メニューリスト (Graph Style)		○	V03-00/A
734		Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
735		Line	折れ線グラフで表示	○	V03-00/A

736		メニューリスト (Graph Size)		○	V03-00/A
737		Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
738		Fixed Size	グラフを固定サイズで表示	○	V03-00/A
739		Window Width	Physical HBA Summary グラフと同じサイズで表示	○	V03-00/A
740		メニューリスト (Graph Data)		○	V03-00/A
741		HBA Port	HBA のポートごとに表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
742		LPAR	LPAR ごとに表示	○	V03-00/A
743		メニューリスト (Legend)		○	V03-00/A
744		ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
745		OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A
746		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V03-00/A
747		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
748		10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V03-00/A
749		7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V03-00/A
750		5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V03-00/A
751		2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V03-00/A
752		1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V03-00/A
753		750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V03-00/A
754		500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V03-00/A
755		250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V03-00/A
756		100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V03-00/A
757		75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V03-00/A
758		50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V03-00/A
759		25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V03-00/A
760		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V03-00/A
761		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
762		100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V03-00/A
763		50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V03-00/A
764		20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V03-00/A
765		10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V03-00/A
766		コンテキストメニュー		○	V03-00/A
767		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V03-00/A
768		View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for HBA:xxx Port:n/LPAR:nn ウインドウ) を表示	○	V03-00/A
769		View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for HBA:xxx Port:n/LPAR:nn ウインドウ) を表示	○	V03-00/A
770		View Bar Graph	サブウインドウ (HBA History Bar Viewer ウインドウ) を表示	○	V03-00/A

771	CPU History Viewer[HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウ		○	V01-00
772	メニューリスト (File)		○	V01-01
773	Log Management	Monitor Log Management ウィンドウを開く	○	V01-00
774	メニューリスト (Graph Style)		○	V01-01
775	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V01-00
776	Line	LPAR ごとに折れ線グラフで表示	○	V01-00
777	メニューリスト (Graph Size)		○	V01-00
778	Auto Size	Logical CPU グラフでウィンドウサイズをチェックし表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V01-00
779	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	○	V01-00
780	Window Width	Logical CPU グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ 1 行 1LPAR ずつ表示	○	V01-00
781	メニューリスト (Data Change)	条件 1、2 を満たす場合メニューリストに Data Change が加わる (条件 1、2 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V01-01
782	Normal (Rate)	LPAR ごとにグラフ表示 (デフォルト)	○	V01-00
783	Group (Rate)	プロセッサグループごとにグラフ表示	○	V01-01
784	Normal (Core/Thread)	LPAR の CPU 使用数ごとにグラフ表示	○	V02-03
785	Group (Core/Thread)	プロセッサグループの CPU 使用数ごとにグラフ表示	○	V03-02
786	メニューリスト (Legend)		○	V01-00
787	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V01-00
788	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V01-00
789	メニューリスト (Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V01-01
790	ON	CPU 不足率を表示	○	V01-00
791	OFF	CPU 不足率を非表示 (デフォルト)	○	V01-00
792	HVM Information フレーム		○	V01-00
793	HVM ID	HVM ID を表示	○	V01-00
794	HVM IP	HVM IP を表示	○	V01-00
795	I/O View フレーム		○	V02-00
796	NIC ボタン	NIC History Viewer ウィンドウを開く	○	V02-00
797	HBA ボタン	HBA History Viewer ウィンドウを開く	○	V03-00/A
798	Scroll Zoom フレーム		○	V01-00
799	Reset ボタン	グラフのズーム表示を解除	○	V01-00
800	History Setting フレーム		○	V01-00
801	Specific ラジオボタン	Specific: コンボボックスを入力可能にする (デフォルト)	○	V01-00
802	Specific コンボボックス	表示する日付、表示開始時刻、表示時間を指定	○	V01-01
803	Span ラジオボタン	Span: コンボボックスを入力可能にする	○	V01-00
804	Span コンボボックス	表示する期間を指定	○	V01-00

805		Graph View Type フレーム		○	V01-00
806		Interval ラジオボタン	サンプリング間隔で表示 (1 日間まで表示可能)	○	V01-00
807		5Minutes ラジオボタン	5 分平均データで表示 (31 日間まで表示可能)	○	V01-00
808		1Hour ラジオボタン	1 時間平均データで表示 (デフォルト)	○	V01-00
809		User ラジオボタン	ユーザ指定時間平均データで表示	○	V01-00
810		Show ボタン	設定した内容でグラフを表示	○	V01-00
811		Physical CPU Summary グラフ		○	V01-00
812		メニューリスト (Graph Style)		○	V01-01
813		Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V01-00
814		Line	LPAR ごとに折れ線グラフで表示	○	V01-00
815		メニューリスト (Usage Rate)		○	V02-02
816		System Base	全物理 CPU 基準で表示 (デフォルト)	○	V02-02
817		メニューリスト (Legend)		○	V01-00
818		ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V01-00
819		OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V01-00
820		メニューリスト (Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V01-01
821		ON	CPU 不足率を表示	○	V01-00
822		OFF	CPU 不足率を非表示 (デフォルト)	○	V01-00
823		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Rate)、または Group (Rate) 時	○	V02-03
824		100	グラフの表示領域を 100 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
825		50	グラフの表示領域を 50 に変更する	○	V02-03
826		20	グラフの表示領域を 20 に変更する	○	V02-03
827		10	グラフの表示領域を 10 に変更する	○	V02-03
828		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Core/Thread)、または Group (Core/Thread) 時	○	V02-03
829		256	グラフの表示領域を 256 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
830		128	グラフの表示領域を 128 に変更する	○	V02-03
831		64	グラフの表示領域を 64 に変更する	○	V02-03
832		32	グラフの表示領域を 32 に変更する	○	V02-03
833		16	グラフの表示領域を 16 に変更する	○	V02-03
834		8	グラフの表示領域を 8 に変更する	○	V02-03
835		4	グラフの表示領域を 4 に変更する	○	V02-03
836		グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V01-00



837	コンテキストメニュー		○	V01-00
838	Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V01-00
839	View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for Physical CPU Summary ウインドウ) を表示	○	V01-00
840	View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for Physical CPU Summary ウインドウ) を表示	○	V01-00
841	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-02
842	View Bar Graph	サブウインドウ (CPU History Bar Viewer ウインドウ) を表示	○	V02-03
843	レジェンド	色の設定ウインドウの表示	○	V02-02
844	色の設定ウインドウ		○	V02-02
845	[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V02-02
846	LPAR Select フレーム (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group Select フレーム (メニューリストの Data Change が Group の場合)	【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択  【Group Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する Group を選択	○	V01-01
847	ALL チェックボックス	■メニューリストの Data Change が Normal の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す  ■メニューリストの Data Change が Group の場合 【チェック】 すべての Group チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての Group チェックボックスからチェックを外す	○	V01-01
848	LPAR チェックボックス nn (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group チェックボックス nn (メニューリストの Data Change が Group の場合))	【チェックあり】 グラフ表示  【チェックなし】 グラフ表示しない	○	V01-01
849	LPAR:nn[Logical CPU] グラフ		○	V01-00
850	メニューリスト (Graph Style)		○	V01-01
851	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V01-00
852	Line	折れ線グラフで表示	○	V01-00
853	メニューリスト (Graph Size)		○	V01-00
854	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V01-00
855	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	○	V01-00
856	Window Width	Physical CPU Summary グラフと同じサイズで表示	○	V01-00

857		メニューリスト (Usage Rate)	○	V01-01
858		Resource Base CPU リソース基準で表示(デフォルト)	○	V02-02
859		System Base 全物理 CPU 基準で表示	○	V01-00
860		Service Rate Base サービス率基準で表示	○	V01-00
861		メニューリスト (Legend)	○	V01-00
862		ON グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V01-00
863		OFF グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V01-00
864		メニューリスト (Insuff) 条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V01-01
865		ON CPU 不足率を表示	○	V01-00
866		OFF CPU 不足率を非表示(デフォルト)	○	V01-00
867		メニューリスト (Scale) メニューリスト (Data Change) が Normal (Rate)、または Group (Rate) 時	○	V02-03
868		100 グラフの表示領域を 100 に変更する(デフォルト)	○	V02-03
869		50 グラフの表示領域を 50 に変更する	○	V02-03
870		20 グラフの表示領域を 20 に変更する	○	V02-03
871		10 グラフの表示領域を 10 に変更する	○	V02-03
872		メニューリスト (Scale) メニューリスト (Data Change) が Normal (Core/Thread)、ま たは Group (Core/Thread) 時	○	V02-03
873		64 グラフの表示領域を 64 に変更する(デフォルト)	○	V02-03
874		32 グラフの表示領域を 32 に変更する	○	V02-03
875		16 グラフの表示領域を 16 に変更する	○	V02-03
876		8 グラフの表示領域を 8 に変更する	○	V02-03
877		4 グラフの表示領域を 4 に変更する	○	V02-03
878		グラフ 【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V01-00
879		コンテキストメニュー	○	V01-00
880		Copy クリップボードにグラフをコピー	○	V01-00
881		View Max/Ave サブウィンドウ (View Max/Ave Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	○	V01-00
882		View Raw Data サブウィンドウ (View Raw Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウィンドウ) を表示	○	V01-00
883		View Bar Graph サブウィンドウ (CPU History Bar Viewer ウィンドウ) を表示	○	V02-03
884		Reset Color レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-02
885		レジェンド 色の設定ウィンドウの表示	○	V02-02
886		色の設定ウィンドウ	○	V02-02
887		[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]	○	V02-02

888	CPU History Bar Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウ		○	V02-03
889	メニューリスト(Graph Style)		○	V02-03
890	Bar	棒グラフで表示(デフォルト)	○	V02-03
891	メニューリスト(Graph Size)		○	V02-03
892	Auto Size	Logical CPU グラフでウィンドウサイズをチェックし表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	○	V02-03
893	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	○	V02-03
894	Window Width	Logical CPU グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ 1 行 1LPAR ずつ表示	○	V02-03
895	メニューリスト (Data Change)	条件 1、2 を満たす場合メニューリストに Data Change が加わる (条件 1、2 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V02-03
896	Normal (Rate)	LPAR ごとにグラフ表示(デフォルト)	○	V02-03
897	Group(Rate)	プロセッサグループごとにグラフ表示	○	V02-03
898	Normal (Core/Thread)	LPAR の CPU 使用数ごとにグラフ表示	○	V02-03
899	Group (Core/Thread)	プロセッサグループの CPU 使用数ごとにグラフ表示	○	V03-02
900	メニューリスト (Legend)		○	V02-03
901	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V02-03
902	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03
903	メニューリスト (Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V02-03
904	ON	CPU 不足率を表示	○	V02-03
905	OFF	CPU 不足率を非表示(デフォルト)	○	V02-03
906	HVM Information フレーム		○	V02-03
907	HVM ID	HVM ID を表示	○	V02-03
908	HVM IP	HVM IP を表示	○	V02-03
909	Operation フレーム		○	V02-03
910	Prev. ボタン	現在表示されている時間の一つ前のデータを表示する	○	V02-03
911	Next ボタン	現在表示されている時間の一つ後のデータを表示する	○	V02-03
912	スクロールバー	表示したい時間を選択する	○	V02-03
913	Show ボタン	スクロールバーで選択した時間を表示する	○	V02-03
914	Physical CPU Summary グラフ		○	V02-03
915	メニューリスト(Graph Style)		○	V02-03
916	Bar	棒グラフで表示(デフォルト)	○	V02-03
917	メニューリスト (Usage Rate)		○	V02-03
918	System Base	全物理 CPU 基準で表示(デフォルト)	○	V02-03
919	Resource Base	CPU リソース基準で表示	○	V02-03
920	メニューリスト (Legend)		○	V02-03
921	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V02-03
922	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03
923	メニューリスト (Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)	○	V02-03
924	ON	CPU 不足率を表示	○	V02-03
925	OFF	CPU 不足率を非表示(デフォルト)	○	V02-03

926	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Rate)、または Group (Rate) 時	○	V02-03
927	100	グラフの表示領域を 100 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
928	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	○	V02-03
929	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	○	V02-03
930	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	○	V02-03
931	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Data Change) が Normal (Core/Thread)、または Group (Core/Thread) 時	○	V02-03
932	256	グラフの表示領域を 256 に変更する	○	V02-03
933	128	グラフの表示領域を 128 に変更する	○	V02-03
934	64	グラフの表示領域を 64 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
935	32	グラフの表示領域を 32 に変更する	○	V02-03
936	16	グラフの表示領域を 16 に変更する	○	V02-03
937	8	グラフの表示領域を 8 に変更する	○	V02-03
938	4	グラフの表示領域を 4 に変更する	○	V02-03
939	メニューリスト (Sort)		○	V02-03
940	OFF	ソートしないでグラフ表示 (デフォルト)	○	V02-03
941	All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する (デフォルト)	○	V02-03
942	80	80 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
943	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
944	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
945	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
946	ON	CPU 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	○	V02-03
947	All	すべてのレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する (デフォルト)	○	V02-03
948	80	80 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
949	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
950	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
951	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
952	Top	CPU 使用率が高い順に項目をグラフ表示	○	V02-03
953	80	80 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
954	40	40 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
955	20	20 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
956	10	10 個のレジェンドが表示できるようグラフサイズを変更する	○	V02-03
957	メニューリスト (Value)		○	V02-03
958	ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
959	OFF	数値表示を無効にする	○	V02-03

960	グラフ	【右クリック】コンテキストメニューを表示	○	V02-03
961	コンテキストメニュー		○	V02-03
962	Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-03
963	View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for Physical CPU Summary ウインドウ) を表示	○	V02-03
964	View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for Physical CPU Summary ウインドウ) を表示	○	V02-03
965	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-03
966	レジェンド	色の設定ウインドウの表示	○	V02-03
967	色の設定ウインドウ		○	V02-03
968	[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V02-03
969	LPAR Select フレーム (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group Select フレーム (メニューリストの Data Change が Group の場合)	【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択  【Group Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する Group を選択	○	V02-03
970	ALL チェックボックス	■メニューリストの Data Change が Normal の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す  ■メニューリストの Data Change が Group の場合 【チェック】 すべての Group チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての Group チェックボックスからチェックを外す	○	V02-03
971	LPAR チェックボックス nn (メニューリストの Data Change が Normal の場合) /Group チェックボックス nn (メニューリストの Data Change が Group の場合))	【チェックあり】 グラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	○	V02-03

972	LPAR:nn[Logical CPU] グラフ		○	V02-03
973	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-03
974	Bar	棒グラフで表示 (デフォルト)	○	V02-03
975	メニューリスト (Graph Size)		○	V02-03
976	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V02-03
977	Fixed Size	Logical CPU グラフを固定サイズで表示	○	V02-03
978	Window Width	Physical CPU Summary グラフと同じサイズで表示	○	V02-03
979	メニューリスト (Usage Rate)		○	V02-03
980	Resource Base	CPU リソース基準で表示 (デフォルト)	○	V02-03
981	System Base	全物理 CPU 基準で表示	○	V02-03
982	Service Rate Base	サービス率基準で表示	○	V02-03
983	メニューリスト (Legend)		○	V02-03
984	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
985	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03
986	メニューリスト (Insuff)		○	V02-03
		条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照ください)		
987	ON	CPU 不足率を表示	○	V02-03
988	OFF	CPU 不足率を非表示 (デフォルト)	○	V02-03
989	メニューリスト (Scale)		○	V02-03
		メニューリスト (Data Change) が Normal (Rate)、または Group (Rate) 時		
990	100	グラフの表示領域を 100 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
991	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	○	V02-03
992	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	○	V02-03
993	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	○	V02-03
994	メニューリスト (Scale)		○	V02-03
		メニューリスト (Data Change) が Normal (Core/Thread)、または Group (Core/Thread) 時		
995	64	グラフの表示領域を 64 に変更する (デフォルト)	○	V02-03
996	32	グラフの表示領域を 32 に変更する	○	V02-03
997	16	グラフの表示領域を 16 に変更する	○	V02-03
998	8	グラフの表示領域を 8 に変更する	○	V02-03
999	4	グラフの表示領域を 4 に変更する	○	V02-03
1000	メニューリスト (Value)		○	V02-03
1001	ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
1002	OFF	数値表示を無効にする	○	V02-03

1003		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V02-03
1004		コンテキストメニュー		○	V02-03
1005		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-03
1006		View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウインドウ) を表示	○	V02-03
1007		View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for LPAR:nn[Logical CPU] ウインドウ) を表示	○	V02-03
1008		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-03
1009		レジェンド	色の設定ウインドウの表示	○	V02-03
1010		色の設定ウインドウ		○	V02-03
1011		[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V02-03

1012	NIC History Viewer[HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウ		○	V02-00
1013	メニューリスト (File)		○	V02-00
1014	Log Management	Monitor Log Management ウィンドウを開く	○	V02-00
1015	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-00
1016	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V02-00
1017	Line	折れ線グラフで表示	○	V02-00
1018	メニューリスト (Graph Size)		○	V02-00
1019	Auto Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V02-00
1020	Fixed Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V02-00
1021	Window Width	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1 行 1LPAR ずつ表示	○	V02-00
1022	メニューリスト (Graph Data)		○	V02-00
1023	NIC Port	NIC のポートごとに表示 (デフォルト)	○	V02-00
1024	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V02-00
1025	メニューリスト (Legend)		○	V02-00
1026	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-00
1027	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-00
1028	メニューリスト (Usage)		○	V02-00
1029	Usage (Mbps)	NIC の使用量を表示 (デフォルト)	○	V02-00
1030	Usage Rate (%)	NIC の使用率を表示	○	V02-00
1031	HVM Information フレーム		○	V02-00
1032	HVM ID	HVM ID を表示	○	V02-00
1033	HVM IP	HVM IP を表示	○	V02-00
1034	Scroll Zoom フレーム		○	V02-00
1035	Reset ボタン	グラフのズーム表示を解除	○	V02-00
1036	History Setting フレーム		○	V02-00
1037	Specific ラジオボタン	Specific: コンボボックスを入力可能にする (デフォルト)	○	V02-00
1038	Specific コンボボックス	表示する日付、表示開始時刻、表示時間を指定	○	V02-00
1039	Span ラジオボタン	Span: コンボボックスを入力可能にする	○	V02-00
1040	Span コンボボックス	表示する期間を指定	○	V02-00
1041	Graph View Type フレーム		○	V02-00
1042	Interval ラジオボタン	サンプリング間隔で表示 (1 日間まで表示可能)	○	V02-00
1043	5Minutes ラジオボタン	5 分平均データで表示 (31 日間まで表示可能)	○	V02-00
1044	1Hour ラジオボタン	1 時間平均データで表示 (デフォルト)	○	V02-00
1045	User ラジオボタン	ユーザ指定時間平均データで表示	○	V02-00
1046	Show ボタン	設定した内容でグラフを表示	○	V02-00
1047	Physical NIC Summary グラフ		○	V02-00
1048	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-00
1049	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V02-00
1050	Line	NIC Port ごとに折れ線グラフで表示	○	V02-00
1051	メニューリスト (Legend)		○	V02-00
1052	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-00
1053	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-00



1054	メニューリスト (Usage Rate)	Usage が Usage Rate(%) の場合のみ メニューリストに Usage Rate が加わる	○	V02-00
1055	Total Base	Physical NIC Summary グラフを HVM 全体基準で表示 (デフォルト)	○	V02-00
1056	Port Base	Physical NIC Summary グラフを Port 基準で表示 (メニューリスト(Graph Style)が Line の場合に Port 基準 で表示)	○	V02-00
1057	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V02-03
1058	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する(デフォ ルト)	○	V02-03
1059	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V02-03
1060	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V02-03
1061	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V02-03
1062	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V02-03
1063	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V02-03
1064	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V02-03
1065	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V02-03
1066	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V02-03
1067	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V02-03
1068	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V02-03
1069	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V02-03
1070	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V02-03
1071	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate(%) 時	○	V02-03
1072	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する(デフォ ルト)	○	V02-03
1073	100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V02-03
1074	50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V02-03
1075	20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V02-03
1076	10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V02-03
1077	グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V02-00
1078	コンテキストメニュー		○	V02-00
1079	Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-00
1080	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical NIC Summary ウィンドウ) を表示	○	V02-00
1081	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical NIC Summary ウィンドウ) を表示	○	V02-00
1082	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-02
1083	View Bar Graph	サブウィンドウ (NIC History Bar Viewer ウィンドウ) を表 示	○	V02-03

1084	NIC Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【NIC Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する NIC Port を選択 【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択	○	V02-00
1085	ALL チェックボックス	■メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合 【チェック】 すべての NIC Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての NIC Port チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Graph Data が LPAR の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す	○	V02-00
1086	NIC Port チェックボックス (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR チェックボックス (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【チェックあり】 選択されているもののみグラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	○	V02-00
1087	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		○	V02-00
1088	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-00
1089	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V02-00
1090	Line	折れ線グラフで表示	○	V02-00
1091	メニューリスト (Graph Size)		○	V02-00
1092	Auto Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウインドウサイズを チェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V02-00
1093	Fixed Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V02-00
1094	Window Width	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の 横幅サイズに合わせ、1 行 1LPAR ずつ表示	○	V02-00
1095	メニューリスト (Graph Data)		○	V02-00
1096	NIC Port	NIC のポートごとに表示 (デフォルト)	○	V02-00
1097	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V02-00
1098	メニューリスト (Legend)		○	V02-00
1099	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-00
1100	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-00

1101		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V02-03
1102		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V02-03
1103		10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V02-03
1104		7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V02-03
1105		5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V02-03
1106		2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V02-03
1107		1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V02-03
1108		750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V02-03
1109		500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V02-03
1110		250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V02-03
1111		100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V02-03
1112		75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V02-03
1113		50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V02-03
1114		25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V02-03
1115		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V02-03
1116		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V02-03
1117		100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V02-03
1118		50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V02-03
1119		20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V02-03
1120		10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V02-03
1121		グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V02-00
1122		コンテキストメニュー		○	V02-00
1123		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-00
1124		View Max/Ave	サブウインドウ (View Max/Ave Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウインドウ) を表示	○	V02-00
1125		View Raw Data	サブウインドウ (View Raw Data for NIC:xxx Port:n/LPAR:nn ウインドウ) を表示	○	V02-00
1126		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-02
1127		View Bar Graph	サブウインドウ (NIC History Bar Viewer ウインドウ) を表示	○	V02-03

1128	NIC History Bar Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウインドウ		○	V02-03
1129	メニューリスト(Graph Style)		○	V02-03
1130	Bar	棒グラフで表示(デフォルト)	○	V02-03
1131	メニューリスト(Graph Size)		○	V02-03
1132	Auto Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウインドウサイズをチェックし表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	○	V02-03
1133	Fixed Size	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V02-03
1134	Window Width	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ 1 行 1LPAR ずつ表示	○	V02-03
1135	メニューリスト(Graph Data)		○	V02-03
1136	NIC Port	NIC のポートごとに表示(デフォルト)	○	V02-03
1137	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V02-03
1138	メニューリスト(Legend)		○	V02-03
1139	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V02-03
1140	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03
1141	メニューリスト (Usage Rate)	Usage が Usage Rate(%) の場合のみ、メニューリストに Usage Rate が加わる	○	V02-03
1142	Total Base	Physical NIC Summary グラフを HVM 全体基準で表示(デフォルト)	○	V02-03
1143	Port Base	Physical NIC Summary グラフを Port 基準で表示(メニューリスト(Graph Style)が Line の場合に Port 基準で表示)	○	V02-03
1144	HVM Information フレーム		○	V02-03
1145	HVM ID	HVM ID を表示	○	V02-03
1146	HVM IP	HVM IP を表示	○	V02-03
1147	Operation フレーム		○	V02-03
1148	Prev. ボタン	現在表示されている時間の一つ前のデータを表示する	○	V02-03
1149	Next ボタン	現在表示されている時間の一つ後のデータを表示する	○	V02-03
1150	スクロールバー	表示したい時間を選択する	○	V02-03
1151	Show ボタン	スクロールバーで選択した時間を表示する	○	V02-03
1152	Physical NIC Summary グラフ		○	V02-03
1153	メニューリスト(Graph Style)		○	V02-03
1154	Bar	棒グラフで表示(デフォルト)	○	V02-03
1155	メニューリスト(Legend)		○	V02-03
1156	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V02-03
1157	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03

1158		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V02-03
1159		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V02-03
1160		10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V02-03
1161		7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V02-03
1162		5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V02-03
1163		2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V02-03
1164		1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V02-03
1165		750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V02-03
1166		500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V02-03
1167		250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V02-03
1168		100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V02-03
1169		75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V02-03
1170		50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V02-03
1171		25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V02-03
1172		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V02-03
1173		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V02-03
1174		100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V02-03
1175		50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V02-03
1176		20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V02-03
1177		10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V02-03
1178		メニューリスト (Value)		○	V02-03
1179		ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
1180		OFF	数値表示を無効にする	○	V02-03
1181		メニューリスト (NIC Sort)	Graph Style が Bar の場合のみ メニューリストに NIC Sort が加わる	○	V02-03
1182		OFF	ソートしないでグラフ表示	○	V02-03
1183		ON	NIC 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	○	V02-03
1184		Top 10	NIC 使用率が高い順に 10 項目をグラフ表示	○	V02-03
1185		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V02-03
1186		コンテキストメニュー		○	V02-03
1187		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-03
1188		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical NIC Summary ウィンドウ) を表示	○	V02-03
1189		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical NIC Summary ウィンドウ) を表示	○	V02-03
1190		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-03
1191		レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	○	V02-03
1192		色の設定ウィンドウ		○	V02-03
1193		[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V02-03

1194	NIC Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【NIC Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する NIC Port を選択 【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択	○	V02-03
1195	ALL チェックボックス	■メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合 【チェック】 すべての NIC Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての NIC Port チェックボックスからチェックを外す  ■メニューリストの Graph Data が LPAR の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す	○	V02-03
1196	NIC Port チェックボックス nn (メニューリストの Graph Data が NIC Port の場合) /LPAR チェックボックス nn (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【チェックあり】 グラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	○	V02-03
1197	NIC:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		○	V02-03
1198	メニューリスト (Graph Style)		○	V02-03
1199	Bar	棒グラフで表示 (デフォルト)	○	V02-03
1200	メニューリスト (Graph Size)		○	V02-03
1201	Auto Size	ウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V02-03
1202	Fixed Size	Logical NIC グラフを固定サイズで表示	○	V02-03
1203	Window Width	Physical NIC Summary グラフと同じサイズで表示	○	V02-03
1204	メニューリスト (Graph Data)		○	V02-03
1205	NIC Port	NIC のポートごとに表示 (デフォルト)	○	V02-03
1206	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V02-03
1207	メニューリスト (Legend)		○	V02-03
1208	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
1209	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V02-03
1210	メニューリスト (Value)		○	V02-03
1211	ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V02-03
1212	OFF	数値表示を無効にする	○	V02-03

1213		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V02-03
1214		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V02-03
1215		10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V02-03
1216		7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V02-03
1217		5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V02-03
1218		2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V02-03
1219		1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V02-03
1220		750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V02-03
1221		500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V02-03
1222		250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V02-03
1223		100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V02-03
1224		75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V02-03
1225		50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V02-03
1226		25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V02-03
1227		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V02-03
1228		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V02-03
1229		100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V02-03
1230		50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V02-03
1231		20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V02-03
1232		10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V02-03
1233		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V02-03
1234		コンテキストメニュー		○	V02-03
1235		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V02-03
1236		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for NIC:xx Port:nn ウィンドウ) を表示	○	V02-03
1237		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for NIC:xx Port:nn ウィンドウ) を表示	○	V02-03
1238		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V02-03
1239		レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	○	V02-03
1240		色の設定ウィンドウ		○	V02-03
1241		[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V02-03



1242	HBA History Viewer[HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウ		○	V03-00/A
1243	メニューリスト (File)		○	V03-00/A
1244	Log Management	Monitor Log Management ウィンドウを開く	○	V03-00/A
1245	メニューリスト (Graph Style)		○	V03-00/A
1246	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1247	Line	折れ線グラフで表示	○	V03-00/A
1248	メニューリスト (Graph Size)		○	V03-00/A
1249	Auto Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1250	Fixed Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V03-00/A
1251	Window Width	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1 行 1LPAR ずつ表示	○	V03-00/A
1252	メニューリスト (Graph Data)		○	V03-00/A
1253	HBA Port	HBA のポートごとに表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1254	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V03-00/A
1255	メニューリスト (Legend)		○	V03-00/A
1256	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
1257	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A
1258	メニューリスト (Usage)		○	V03-00/A
1259	Usage (Mbps)	HBA の使用量を表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1260	Usage Rate (%)	HBA の使用率を表示	○	V03-00/A
1261	HVM Information フレーム		○	V03-00/A
1262	HVM ID	HVM ID を表示	○	V03-00/A
1263	HVM IP	HVM IP を表示	○	V03-00/A
1264	Scroll Zoom フレーム		○	V03-00/A
1265	Reset ボタン	グラフのズーム表示を解除	○	V03-00/A
1266	History Setting フレーム		○	V03-00/A
1267	Specific ラジオボタン	Specific: コンボボックスを入力可能にする (デフォルト)	○	V03-00/A
1268	Specific コンボボックス	表示する日付、表示開始時刻、表示時間を指定	○	V03-00/A
1269	Span ラジオボタン	Span: コンボボックスを入力可能にする	○	V03-00/A
1270	Span コンボボックス	表示する期間を指定	○	V03-00/A
1271	Graph View Type フレーム		○	V03-00/A
1272	Interval ラジオボタン	サンプリング間隔で表示 (1 日間まで表示可能)	○	V03-00/A
1273	5Minutes ラジオボタン	5 分平均データで表示 (31 日間まで表示可能)	○	V03-00/A
1274	1Hour ラジオボタン	1 時間平均データで表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1275	User ラジオボタン	ユーザ指定時間平均データで表示	○	V03-00/A
1276	Show ボタン	設定した内容でグラフを表示	○	V03-00/A
1277	Physical HBA Summary グラフ		○	V03-00/A
1278	メニューリスト (Graph Style)		○	V03-00/A
1279	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1280	Line	HBA Port ごとに折れ線グラフで表示	○	V03-00/A
1281	メニューリスト (Legend)		○	V03-00/A
1282	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
1283	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A



1284	メニューリスト (Usage Rate)	Usage が Usage Rate (%) の場合のみ メニューリストに Usage Rate が加わる	○	V03-00/A
1285	Total Base	Physical HBA Summary グラフを HVM 全体基準で表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1286	Port Base	Physical HBA Summary グラフを Port 基準で表示 (メニューリスト (Graph Style) が Line の場合に Port 基準 で表示)	○	V03-00/A
1287	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V03-00/A
1288	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォ ルト)	○	V03-00/A
1289	10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1290	7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1291	5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1292	2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1293	1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1294	750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V03-00/A
1295	500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1296	250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V03-00/A
1297	100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V03-00/A
1298	75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V03-00/A
1299	50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V03-00/A
1300	25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V03-00/A
1301	メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V03-00/A
1302	Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォ ルト)	○	V03-00/A
1303	100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V03-00/A
1304	50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V03-00/A
1305	20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V03-00/A
1306	10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V03-00/A
1307	グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V03-00/A
1308	コンテキストメニュー		○	V03-00/A
1309	Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V03-00/A
1310	View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical HBA Summary ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
1311	View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical HBA Summary ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
1312	Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V03-00/A
1313	View Bar Graph	サブウィンドウ (HBA History Bar Viewer ウィンドウ) を表 示	○	V03-00/A

1314	HBA Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【HBA Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する HBA Port を選択 【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択	○	V03-00/A
1315	ALL チェックボックス	■メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合 【チェック】 すべての HBA Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての HBA Port チェックボックスからチェックを外す ■メニューリストの Graph Data が LPAR の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す	○	V03-00/A
1316	HBA Port チェックボックス (メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合) /LPAR チェックボックス (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【チェックあり】 選択されているもののみグラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	○	V03-00/A
1317	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		○	V03-00/A
1318	メニューリスト(Graph Style)		○	V03-00/A
1319	Stack	積み上げグラフで表示(デフォルト)	○	V03-00/A
1320	Line	折れ線グラフで表示	○	V03-00/A
1321	メニューリスト(Graph Size)		○	V03-00/A
1322	Auto Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウインドウサイズをチェックし、表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	○	V03-00/A
1323	Fixed Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V03-00/A
1324	Window Width	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ、1 行 1LPAR ずつ表示	○	V03-00/A
1325	メニューリスト(Graph Data)		○	V03-00/A
1326	HBA Port	HBA のポートごとに表示(デフォルト)	○	V03-00/A
1327	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V03-00/A
1328	メニューリスト(Legend)		○	V03-00/A
1329	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V03-00/A
1330	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A

1331		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V03-00/A
1332		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
1333		10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1334		7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1335		5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1336		2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1337		1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1338		750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V03-00/A
1339		500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1340		250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V03-00/A
1341		100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V03-00/A
1342		75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V03-00/A
1343		50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V03-00/A
1344		25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V03-00/A
1345		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V03-00/A
1346		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
1347		100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V03-00/A
1348		50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V03-00/A
1349		20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V03-00/A
1350		10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V03-00/A
1351		グラフ	【ドラッグ】 グラフをズーム 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V03-00/A
1352		コンテキストメニュー		○	V03-00/A
1353		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V03-00/A
1354		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for HBA:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
1355		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for HBA:xxx Port:n/LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
1356		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V03-00/A
1357		View Bar Graph	サブウィンドウ (HBA History Bar Viewer ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A

1358	HBA History Bar Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウ		○	V03-00/A
1359	メニューリスト(Graph Style)		○	V03-00/A
1360	Bar	棒グラフで表示(デフォルト)	○	V03-00/A
1361	メニューリスト(Graph Size)		○	V03-00/A
1362	Auto Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし表示可能なサイズで自動表示(デフォルト)	○	V03-00/A
1363	Fixed Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V03-00/A
1364	Window Width	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ 1 行 1LPAR ずつ表示	○	V03-00/A
1365	メニューリスト(Graph Data)		○	V03-00/A
1366	HBA Port	HBA のポートごとに表示(デフォルト)	○	V03-00/A
1367	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V03-00/A
1368	メニューリスト(Legend)		○	V03-00/A
1369	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V03-00/A
1370	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A
1371	メニューリスト (Usage Rate)	Usage が Usage Rate(%) の場合のみ、メニューリストに Usage Rate が加わる	○	V03-00/A
1372	Total Base	Physical HBA Summary グラフを HVM 全体基準で表示(デフォルト)	○	V03-00/A
1373	Port Base	Physical HBA Summary グラフを Port 基準で表示 (メニューリスト(Graph Style)が Line の場合に Port 基準で表示)	○	V03-00/A
1374	HVM Information フレーム		○	V03-00/A
1375	HVM ID	HVM ID を表示	○	V03-00/A
1376	HVM IP	HVM IP を表示	○	V03-00/A
1377	Operation フレーム		○	V03-00/A
1378	Prev. ボタン	現在表示されている時間の一つ前のデータを表示する	○	V03-00/A
1379	Next ボタン	現在表示されている時間の一つ後のデータを表示する	○	V03-00/A
1380	スクロールバー	表示したい時間を選択する	○	V03-00/A
1381	Show ボタン	スクロールバーで選択した時間を表示する	○	V03-00/A
1382	Physical HBA Summary グラフ		○	V03-00/A
1383	メニューリスト(Graph Style)		○	V03-00/A
1384	Bar	棒グラフで表示(デフォルト)	○	V03-00/A
1385	メニューリスト(Legend)		○	V03-00/A
1386	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする(デフォルト)	○	V03-00/A
1387	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A

1388		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V03-00/A
1389		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
1390		10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1391		7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1392		5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1393		2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1394		1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1395		750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V03-00/A
1396		500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1397		250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V03-00/A
1398		100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V03-00/A
1399		75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V03-00/A
1400		50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V03-00/A
1401		25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V03-00/A
1402		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V03-00/A
1403		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
1404		100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V03-00/A
1405		50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V03-00/A
1406		20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V03-00/A
1407		10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V03-00/A
1408		メニューリスト (Value)		○	V03-00/A
1409		ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
1410		OFF	数値表示を無効にする	○	V03-00/A
1411		メニューリスト (HBA Sort)	Graph Style が Bar の場合のみ メニューリストに HBA Sort が加わる	○	V03-00/A
1412		OFF	ソートしないでグラフ表示	○	V03-00/A
1413		ON	HBA 使用率が高い順にソートしてグラフ表示	○	V03-00/A
1414		Top 10	HBA 使用率が高い順に 10 項目をグラフ表示	○	V03-00/A
1415		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V03-00/A
1416		コンテキストメニュー		○	V03-00/A
1417		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V03-00/A
1418		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for Physical HBA Summary ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
1419		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for Physical HBA Summary ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
1420		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V03-00/A
1421		レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	○	V03-00/A
1422		色の設定ウィンドウ		○	V03-00/A
1423		[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-00/A

1424	HBA Port Select フレーム (メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合) /LPAR Select フレーム (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【HBA Port Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する HBA Port を選択 【LPAR Select フレームが表示されている場合】 グラフ表示する LPAR を選択	○	V03-00/A
1425	ALL チェックボックス	■メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合 【チェック】 すべての HBA Port チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての HBA Port チェックボックスからチェックを外す  ■メニューリストの Graph Data が LPAR の場合 【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける 【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す	○	V03-00/A
1426	HBA Port チェックボックス nn (メニューリストの Graph Data が HBA Port の場合) /LPAR チェックボックス n (メニューリストの Graph Data が LPAR の場合)	【チェックあり】 グラフ表示 【チェックなし】 グラフ表示しない	○	V03-00/A
1427	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフ		○	V03-00/A
1428	メニューリスト (Graph Style)		○	V03-00/A
1429	Bar	棒グラフで表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1430	メニューリスト (Graph Size)		○	V03-00/A
1431	Auto Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフでウィンドウサイズをチェックし表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1432	Fixed Size	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフを固定サイズで表示	○	V03-00/A
1433	Window Width	HBA:xxx Port:n グラフ/LPAR:nn グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合わせ 1 行 1LPAR ずつ表示	○	V03-00/A
1434	メニューリスト (Graph Data)		○	V03-00/A
1435	HBA Port	HBA のポートごとに表示 (デフォルト)	○	V03-00/A
1436	LPAR	LPAR ごとに表示	○	V03-00/A
1437	メニューリスト (Legend)		○	V03-00/A
1438	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
1439	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする	○	V03-00/A
1440	メニューリスト (Value)		○	V03-00/A
1441	ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V03-00/A
1442	OFF	数値表示を無効にする	○	V03-00/A

1443		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage (Mbps) 時	○	V03-00/A
1444		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
1445		10000 Mbps	グラフの表示領域を 10000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1446		7500 Mbps	グラフの表示領域を 7500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1447		5000 Mbps	グラフの表示領域を 5000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1448		2500 Mbps	グラフの表示領域を 2500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1449		1000 Mbps	グラフの表示領域を 1000Mbps に変更する	○	V03-00/A
1450		750 Mbps	グラフの表示領域を 750Mbps に変更する	○	V03-00/A
1451		500 Mbps	グラフの表示領域を 500Mbps に変更する	○	V03-00/A
1452		250 Mbps	グラフの表示領域を 250Mbps に変更する	○	V03-00/A
1453		100 Mbps	グラフの表示領域を 100Mbps に変更する	○	V03-00/A
1454		75 Mbps	グラフの表示領域を 75Mbps に変更する	○	V03-00/A
1455		50 Mbps	グラフの表示領域を 50Mbps に変更する	○	V03-00/A
1456		25 Mbps	グラフの表示領域を 25Mbps に変更する	○	V03-00/A
1457		メニューリスト (Scale)	メニューリスト (Usage) が Usage Rate (%) 時	○	V03-00/A
1458		Total	グラフの表示領域をポート帯域の合計に変更する (デフォルト)	○	V03-00/A
1459		100 %	グラフの表示領域を 100%に変更する	○	V03-00/A
1460		50 %	グラフの表示領域を 50%に変更する	○	V03-00/A
1461		20 %	グラフの表示領域を 20%に変更する	○	V03-00/A
1462		10 %	グラフの表示領域を 10%に変更する	○	V03-00/A
1463		グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V03-00/A
1464		コンテキストメニュー		○	V03-00/A
1465		Copy	クリップボードにグラフをコピー	○	V03-00/A
1466		View Max/Ave	サブウィンドウ (View Max/Ave Data for LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
1467		View Raw Data	サブウィンドウ (View Raw Data for LPAR:nn ウィンドウ) を表示	○	V03-00/A
1468		Reset Color	レジェンドの色をデフォルトに戻す	○	V03-00/A
1469		レジェンド	色の設定ウィンドウの表示	○	V03-00/A
1470		色の設定ウィンドウ		○	V03-00/A
1471		[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-00/A



1472	Monitor Log Management ウィンドウ		○	V01-00
1473	HVM ツリービュー	HVM をリスト表示	○	V01-00
1474	Date Setting フレーム	設定機能の適応期間を指定 (Manual Backup タブ、Export CSV タブ、または History Clear タブを選択した場合のみ設定可能)	○	V01-00
1475	ALL ラジオボタン	すべての日付が対象	○	V01-00
1476	Specific ラジオボタン	Specific: コンボボックスを入力可能にする	○	V01-00
1477	Specific コンボボックス	指定した日付のみ対象	○	V01-00
1478	Span ラジオボタン	Span: コンボボックスを入力可能にする	○	V01-00
1479	Span コンボボックス	範囲指定した期間のみ対象	○	V01-00
1480	Operation フレーム (Log Setting タブ)		○	V01-00
1481	History Log Setting フレーム		○	V01-00
1482	テキストボックス	履歴情報ログ出力先フォルダを表示	○	V01-00
1483	Select ボタン	履歴情報ログ出力先フォルダを指定 サブウィンドウ (フォルダの参照ウィンドウ) を開く	○	V01-00
1484	フォルダの参照ウィンドウ		○	V01-00
1485	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V01-00
1486	Enable Auto Clear チェックボックス	【チェックあり】 履歴情報ログ Interval ログの自動削除機能を有効にする  【チェックなし】 履歴情報ログ Interval ログの自動削除機能を無効にする	○	V01-00
1487	Date keep Days テキストボックス	履歴情報ログ Interval ログを残しておく日数を指定 (1~100) デフォルト設定は 1 日	○	V01-00
1488	ALL ラジオボタン	すべての集計時間の履歴情報ログを削除対象とする	○	V03-00/A
1489	Interval ラジオボタン	Interval で設定した履歴情報ログのみを削除対象とする	○	V03-00/A
1490	Auto Average History Log フレーム		○	V01-01
1491	Enable Auto Average History Log チェックボックス	【チェックあり】 履歴情報ログの自動平均を有効にしてデータ採取  【チェックなし】 履歴情報ログの自動平均を無効にしてデータ採取	○	V01-00
1492	Setting Time For Average コンボボックス	自動平均する時間間隔を選択 デフォルト設定は 5s	○	V01-00
1493	Monitoring Mode フレーム		○	V03-00/A
1494	HvmShMode ラジオボタン	サンプリング時に HvmSh.exe を使用	○	V03-00/A
1495	HvmGetPerfMode ラジオボタン	サンプリング時に HvmGetPerf.exe を使用	○	V03-00/A
1496	Save ボタン	設定した内容を保存	×	V02-00



1497	Operation フレーム (Auto Backup Setting タブ)	○	V03-00/A
1498	Auto Backup History Log フレーム	○	V03-00/A
1499	Enable Auto Backup チェックボックス	【チェックあり】 履歴情報ログの自動バックアップ機能を有効にする 【チェックなし】 履歴情報ログの自動バックアップ機能を無効にする	○ V03-00/A
1500	Auto Backup Start Time コンボボックス	自動バックアップ機能の開始時間を指定	○ V03-00/A
1501	Auto Backup Folder Selection フレーム	○	V03-00/A
1502	テキストボックス	履歴情報ログのバックアップファイル出力先を表示	○ V03-00/A
1503	Select ボタン	バックアップファイル出力先フォルダを指定 サブウィンドウ (フォルダの参照ウィンドウ) を開く	○ V03-00/A
1504	フォルダの参照ウィンドウ	○	V03-00/A
1505	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]	○	V03-00/A
1506	Auto Backup Detail Setting フレーム	○	V03-00/A
1507	Target Days テキストボックス	バックアップ対象の日数を指定	○ V03-00/A
1508	CPU チェックボックス	【チェックあり】 CPU の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】 CPU の履歴情報をバックアップ対象にしない	○ V03-00/A
1509	NIC チェックボックス	【チェックあり】 NIC の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】 NIC の履歴情報をバックアップ対象にしない	○ V03-00/A
1510	HBA チェックボックス	【チェックあり】 HBA の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】 HBA の履歴情報をバックアップ対象にしない	○ V03-00/A
1511	Interval チェックボックス	【チェックあり】 Interval の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】 Interval の履歴情報をバックアップ対象にしない	○ V03-00/A
1512	5Minutes チェックボックス	【チェックあり】 5Minutes の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】 5Minutes の履歴情報をバックアップ対象にしない	○ V03-00/A
1513	1Hour チェックボックス	【チェックあり】 1Hour の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】 1Hour の履歴情報をバックアップ対象にしない	○ V03-00/A
1514	User チェックボックス	【チェックあり】 User の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】 User の履歴情報をバックアップ対象にしない	○ V03-00/A

1515					File Format フレーム	○	V03-00/A
1516					Format1 ラジオボタン	履歴情報を従来どおりの形式でバックアップする	○ V03-00/A
1517					Format2 ラジオボタン	履歴情報をカスタマイズした形式でバックアップする ※この形式で、履歴情報のグラフ表示はできません	○ V03-00/A
1518					Format2 Setting フレーム (Format2 を選択した場合のみ設定可能)		○ V03-00/A
1519					Log Start Time コンボボックス	バックアップする履歴情報の開始時間を指定	○ V03-00/A
1520					Log Time コンボボックス	履歴情報の開始時間から 何時間分バックアップするか指定	○ V03-00/A
1521					Different file at each date ボタン	履歴情報を日付フォルダごとにバックアップする ※従来どおりの形でバックアップする	○ V03-00/A
1522					All data to One File ボタン	履歴情報を実行日フォルダに種類ごとに 1 ファイルでバックアップする ※1 ファイルでバックアップするため、ファイルサイズが大きくなる可能性があります。	○ V03-00/A
1523					File Name フレーム		○ V03-00/A
1524					Extended Name テキストボックス	ファイル名に付加する名前を設定する	○ V03-00/A
1525					Check File Name ボタン	バックアップされるファイル名一覧を表示する	○ V03-00/A
1526					Output Contents フレーム		○ V03-00/A
1527					Record Seconds チェックボックス	【チェックあり】 バックアップする履歴情報で秒の書き込みを行う  【チェックなし】 バックアップする履歴情報で秒の書き込みを行わない  (Interval と User の場合 チェックなしでも秒の書き込みを行う)	○ V03-00/A
1528					Add Column Header チェックボックス	【チェックあり】 バックアップする履歴情報に カラムヘッダ情報の書き込みを行う  【チェックなし】 バックアップする履歴情報に カラムヘッダ情報の書き込みを行わない	○ V03-00/A
1529					Save ボタン	設定した内容を保存	× V03-00/A

1530	Operation フレーム (Manual BackUp タブ)		○	V01-00
1531	BackUp Folder Selection フレーム		○	V01-00
1532	テキストボックス	履歴情報ログ出力先フォルダを表示	○	V01-00
1533	Select ボタン	履歴情報ログ出力先フォルダを指定	○	V01-00
1534	Manual Backup Detail Setting フレーム		○	V01-00
1535	CPU チェックボックス	【チェックあり】CPU の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】CPU の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A
1536	NIC チェックボックス	【チェックあり】NIC の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】NIC の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A
1537	HBA チェックボックス	【チェックあり】HBA の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】HBA の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A
1538	Interval チェックボックス	【チェックあり】Interval の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】Interval の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A
1539	5Minutes チェックボックス	【チェックあり】5Minutes の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】5Minutes の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A
1540	1Hour チェックボックス	【チェックあり】1Hour の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】1Hour の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A
1541	User チェックボックス	【チェックあり】User の履歴情報をバックアップ対象にする 【チェックなし】User の履歴情報をバックアップ対象にしない	○	V03-00/A
1542	File Format フレーム		○	V03-00/A
1543	Format1 ラジオ ボタン	履歴情報を従来どおりの形式でバックアップする	○	V03-00/A
1544	Format2 ラジオ ボタン	履歴情報をカスタマイズした形式でバックアップする ※この形式で、履歴情報のグラフ表示はできません	○	V03-00/A
1545	Format2 Setting フレーム (Format2 を選択した場合のみ設定可能)		○	V03-00/A
1546	Log Start Time コンボボッ クス	バックアップする履歴情報の開始時間を指定	○	V03-00/A
1547	Log Time コンボボッ クス	履歴情報の開始時間から何時間分バックアップするか指定	○	V03-00/A
1548	Different file at each date ラジオボタ ン	履歴情報を日付フォルダごとにバックアップする ※従来どおりの形でバックアップする	○	V03-00/A
1549	All data to One File ラジオボタ ン	履歴情報を実行日フォルダに種類ごとに 1 ファイルでバックアップする ※1 ファイルでバックアップするため ファイルサイズが大きくなる可能性がある	○	V03-00/A

1550					File Name フレーム	○	V03-00/A
1551					Extended Name テキストボックス	○	V03-00/A
1552					Check File Name ボタン	○	V03-00/A
1553					Output Contents フレーム	○	V03-00/A
1554					Record Seconds チェックボックス	○	V03-00/A
					【チェックあり】 バックアップする履歴情報で秒の書き込みを行う 【チェックなし】 バックアップする履歴情報で秒の書き込みを行わない (Interval と User の場合 チェックなしでも秒の書き込みを行う)		
1555					Add Column Header チェックボックス	○	V03-00/A
					【チェックあり】 バックアップする履歴情報に カラムヘッダの書き込みを行う 【チェックなし】 バックアップする履歴情報に カラムヘッダの書き込みを行わない		
1556					Execute ボタン	○	V01-00

1557	Operation フレーム (Export CSV タブ)		○	V01-00
1558	Export Folder Selection フレーム		○	V01-00
1559	テキストボックス	CSV ファイル出力先フォルダを表示	○	V01-00
1560	Select ボタン	バックアップファイル出力先フォルダを指定 サブウィンドウ(フォルダの参照ウィンドウ)を 開く	○	V01-00
1561	フォルダの参照ウィンドウ		○	V01-00
1562	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V01-00
1563	Output Unit Setting フレーム		○	V01-00
1564	All data to One File. ボタン	全データを 1 つのファイルに出力(デフォルト)	○	V01-00
1565	Different file at each date. ボタン	日付ごとにファイルに出力	○	V01-00
1566	Output Target Selection フレーム		○	V01-00
1567	コンボボックス	出力するデータのリソース種を選択	○	V02-02
1568	Interval ラジオボタン	収集した履歴情報ログの出力を指定	○	V01-00
1569	5Minutes ラジオボタン	履歴情報ログの 5 分平均データの出力を指定	○	V01-00
1570	1Hour ラジオボタン	履歴情報ログの 1 時間平均データの出力を指定	○	V01-00
1571	User ラジオボタン	履歴情報ログのユーザ指定時間平均データの出力を指定	○	V01-00
1572	Execute ボタン	設定した内容で実行	○	V01-00
1573	Operation フレーム (History Clear タブ)		○	V01-00
1574	Clear Target Selection フレーム		○	V01-00
1575	ALL ラジオボタン	すべての集計時間の履歴情報ログを対象とする	○	V01-00
1576	Interval ラジオボタン	Interval で設定した履歴情報ログを削除対象とする	○	V01-00
1577	Execute ボタン	設定した内容で実行	×	V01-00
1578	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00

1579	Monitor Threshold Management ウィンドウ		○	V01-00
1580	HVM ツリービュー	HVM をリスト表示	○	V01-00
1581	Operation フレーム (Threshold Setting タブ)		○	V01-00
1582	Threshold Monitoring フレーム	Auto Average History Log が有効時しきい値監視を行う	○	V01-00
1583	Enable Threshold Monitoring チェックボックス	【チェックあり】 しきい値設定を有効にする 【チェックなし】 しきい値設定を無効にする	○	V01-00
1584	Setting Time For Average コンボボックス	自動平均する時間間隔(しきい値監視時間間隔)を選択 デフォルト設定は 5s	○	V01-01
1585	Threshold Mode フレーム		○	V01-01
1586	One Threshold Mode ラジオボタン	しきい値を 1 つ設定	○	V01-00
1587	Two Threshold Mode ラジオボタン	しきい値を 2 つ設定 (デフォルト)	○	V01-00
1588	Threshold Count (1-100) テキストボックス	しきい値超過回数を入力 デフォルト設定は 1	○	V01-00
1589	Save ボタン	設定を保存	×	V02-00
1590	Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ)		○	V01-01
1591	Physical CPU Threshold Setting フレーム		○	V01-01
1592	Caution (1-100) テキストボックス (Physical CPU Threshold)	物理 CPU 使用率の注意しきい値を入力 (Two Threshold Mode のみ設定可能) デフォルト設定は 80	○	V01-00
1593	Error (1-100) テキストボックス (Physical CPU Threshold)	物理 CPU 使用率のエラーしきい値を入力 デフォルト設定は 95	○	V01-00
1594	ON チェックボックス (Physical CPU Threshold)	【チェックあり】 物理 CPU 使用率のしきい値設定を有効にする 【チェックなし】 物理 CPU 使用率のしきい値設定を無効にする	○	V01-00
1595	Caution (1-999) テキストボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff))	物理 CPU 不足率の注意しきい値を入力 (Monitoring Mode が HvmShMode であり Two Threshold Mode のみ設定可能) デフォルト設定は 160	○	V01-00
1596	Error (1-999) テキストボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff))	物理 CPU 不足率のエラーしきい値を入力 (Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能) デフォルト設定は 190	○	V01-00
1597	ON チェックボックス (Physical CPU Threshold: (Insuff))	【チェックあり】 物理 CPU 不足率のしきい値設定を有効にする 【チェックなし】 物理 CPU 不足率のしきい値設定を無効にする (Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能)	○	V01-00
1598	Save ボタン	設定を保存	×	V01-00

1599	Operation フレーム (LPAR Threshold タブ)		○	V01-01
1600	LPAR Threshold Setting フレーム		○	V01-01
1601	LPAR Threshold フレーム		○	V01-00
1602	ALL チェックボックス	<p>【チェック】 すべての LPAR チェックボックスにチェックをつける</p> <p>【チェックを外す】 すべての LPAR チェックボックスからチェックを外す</p>	○	V01-00
1603	LPAR チェックボックス nn (nn=01~60)	<p>【チェックあり】 しきい値設定の対象になる</p> <p>【チェックなし】 しきい値設定の対象から外れる</p>	○	V01-00
1604	Resource Base ON チェックボックス	論理 CPU 使用率 (CPU リソース基準) にしきい値を設定	○	V02-02
1605	System Base ON チェックボックス	論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) にしきい値を設定	○	V01-00
1606	Insuff ON チェックボックス	<p>論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) 率にしきい値を設定</p> <p>(Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能)</p>	○	V01-00
1607	All Setting Mode チェックボックス	<p>【チェックあり】 下のリストに ALL を表示</p>	○	V01-00
1608	リスト (※ALL でしきい値設定をすると、すべての LPAR に適用される)		○	V01-00
1609	LPAR#列ラベル	LPAR 番号を表示	○	V01-00
1610	ON 列チェックボックス	<p>【チェックあり】 しきい値設定モードにする</p> <p>【チェックなし】 しきい値設定モードを解除</p>	○	V01-00
1611	Resource Caution(1-100) 列 テキストボックス	<p>論理 CPU 使用率 (CPU リソース基準) の注意値を設定</p> <p>デフォルト設定は 80</p>	○	V02-02
1612	Resource Error (1-100) 列テキストボックス	<p>論理 CPU 使用率 (CPU リソース基準) のエラー値を設定</p> <p>デフォルト設定は 95</p>	○	V02-02
1613	System Caution(1-100) 列テキストボックス	<p>論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) の注意値を設定</p> <p>デフォルト設定は 80</p>	○	V01-00
1614	System Error (1-100) 列 テキストボックス	<p>論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) のエラー値を設定</p> <p>デフォルト設定は 95</p>	○	V01-00
1615	Insuff Caution(1-100) 列テキストボックス	<p>論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) の注意値を設定</p> <p>(Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能)</p> <p>デフォルト設定は 80</p>	○	V01-00
1616	Insuff Error (1-100) 列 テキストボックス	<p>論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) のエラー値を設定</p> <p>(Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能)</p> <p>デフォルト設定は 95</p>	○	V01-00
1617	Save ボタン	設定を保存	×	V01-00

1618	Operation フレーム (Group Threshold タブ)		○	V01-01
1619	Group Threshold Setting フレーム		○	V01-01
1620	Group Threshold フレーム		○	V01-01
1621	ALL チェックボックス	<p>【チェック】 すべての Group チェックボックスにチェックをつける</p> <p>【チェックを外す】 すべての Group チェックボックスからチェックを外す</p>	○	V01-01
1622	Group チェックボックス nn (nn=00~59)	<p>【チェックあり】 しきい値設定の対象になる</p> <p>【チェックなし】 しきい値設定の対象から外れる</p>	○	V01-01
1623	Group Base ON チェックボックス	論理 CPU 使用率 (サービス率基準) にしきい値を設定	○	V01-01
1624	System Base ON チェックボックス	論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) にしきい値を設定	○	V01-01
1625	Insuff ON チェックボックス	<p>論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) 率にしきい値を設定</p> <p>(Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能)</p>	○	V01-01
1626	All Setting Mode チェックボックス	<p>【チェックあり】 下のリストに ALL を表示</p>	○	V01-01
1627	リスト (※ALL でしきい値設定をすると、すべての LPAR に適用される)		○	V01-01
1628	ON 列チェックボックス	<p>【チェックあり】 しきい値設定モードにする</p> <p>【チェックなし】 しきい値設定モードを解除</p>	○	V01-01
1629	Group Caution (1-100) 列テキストボックス	<p>論理 CPU 使用率 (サービス率基準) の注意値を設定</p> <p>デフォルト設定は 80</p>	○	V01-01
1630	Group Error (1-100) 列テキストボックス	<p>論理 CPU 使用率 (サービス率基準) のエラー値を設定</p> <p>デフォルト設定は 95</p>	○	V01-01
1631	System Caution (1-100) 列テキストボックス	<p>論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) の注意値を設定</p> <p>デフォルト設定は 80</p>	○	V01-01
1632	System Error (1-100) 列テキストボックス	<p>論理 CPU 使用率 (全物理 CPU 基準) のエラー値を設定</p> <p>デフォルト設定は 95</p>	○	V01-01
1633	Insuff Caution (1-100) 列テキストボックス	<p>論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) の注意値を設定</p> <p>(Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能)</p> <p>デフォルト設定は 80</p>	○	V01-01
1634	Insuff Error (1-100) 列テキストボックス	<p>論理 CPU 不足率 (全物理 CPU 基準) のエラー値を設定</p> <p>(Monitoring Mode が HvmShMode のみ設定可能)</p> <p>デフォルト設定は 95</p>	○	V01-01
1635	Save ボタン	設定を保存	×	V01-01



1636	Operation フレーム (Mail タブ)		○	V01-01
1637	Mail Report フレーム		○	V01-00
1638	Enable Mail Report チェックボックス	【チェックあり】 メール通報を有効にする  【チェックなし】 メール通報を無効にする	○	V01-00
1639	Mail Setting フレーム		○	V01-00
1640	Reported Mail Address テキストボックス	通報メール送信先のメールアドレスを入力	○	V01-00
1641	Mail Account テキストボックス	通報メール送信先のメールアドレスのユーザアカウントを入力	○	V01-00
1642	Mail Password チェックボックス	【チェックあり】 Mail Password テキストボックスの有効化  【チェックなし】 Mail Password テキストボックスの無効化	○	V01-01
1643	Mail Password テキストボックス	通報メール送信先のメールアドレスのパスワードを入力	○	V01-00
1644	Mail Server IP Address テキストボックス	メールサーバの IP アドレスを入力 デフォルト設定は 0.0.0.0	○	V01-00
1645	Mail Server Port テキストボックス	メールサーバのポートを入力 デフォルト設定は 0	○	V01-00
1646	Mail Test ボタン	サブウィンドウ (Test Mail Sending ウィンドウを開く)  (以下の 5 項目を入力するとクリック可能になる Reported Mail Address テキストボックス、 Mail Account: テキストボックス、 Mail Password: テキストボックス、 Mail Server IP Address: テキストボックス、 Mail Server Port テキストボックス)	×	V01-00
1647	Test Mail Sending ウィンドウ		×	V01-00
1648	OK ボタン	テストメールを送信	×	V01-00
1649	キャンセルボタン	テストメールの送信を取り止める	×	V01-00
1650	Mail sending success ウィンドウ		×	V01-00
1651	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V01-00
1652	Save ボタン	メール設定を保存 以下の項目を入力すると、クリック可能になる (1) Reported Mail Address テキストボックス (2) Mail Account テキストボックス (3) Mail Password テキストボックス (4) Mail Server IP Address テキストボックス (5) Mail Server Port テキストボックス	×	V02-00
1653	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00

1654	CPU Realtime Viewer[ Multi ]ウィンドウ		○	V01-00
1655	ツリービュー	グラフ表示する HVM を選択	○	V01-00
1656	メニューリスト (Graph Style)		○	V01-01
1657	Stack	積み上げグラフで表示 (デフォルト)	○	V01-00
1658	Line	折れ線グラフで表示	○	V01-00
1659	Bar	棒グラフで表示	○	V01-01
1660	メニューリスト (Graph Size)	Graph Style が Bar 以外の場合のみ メニューリストに Graph Size が加わる	○	V01-00
1661	Auto Size	Physical CPU グラフでウィンドウサイズをチェックし 表示可能なサイズで自動表示 (デフォルト)	○	V01-00
1662	Window Width	Physical CPU グラフの表示を表示領域の横幅サイズに合 わせ 1 行 1 LPAR ずつ表示	○	V01-00
1663	メニューリスト (Legend)		○	V01-00
1664	ON	グラフ色の凡例表示を有効にする	○	V01-00
1665	OFF	グラフ色の凡例表示を無効にする (デフォルト)	○	V01-00
1666	メニューリスト (Data Change)	条件 1、2 を満たす場合メニューリストに Data Change が 加わる (条件 1、2 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照くださ い)	○	V01-01
1667	Normal	LPAR ごとにグラフ表示 (デフォルト)	○	V01-00
1668	Group	プロセッサグループごとにグラフ表示	○	V01-01
1669	メニューリスト (Insuff)	条件 1、3 を満たす場合メニューリストに Insuff が加わる (条件 1、3 は「表 5-1 モニタリング条件」をご参照くださ い)	○	V01-01
1670	ON	CPU 不足率を表示	○	V01-00
1671	OFF	CPU 不足率を非表示 (デフォルト)	○	V01-00
1672	メニューリスト (Refresh Interval)		○	V01-00
1673	1 sec	グラフ更新を 1 秒にする	○	V01-00
1674	5 sec	グラフ更新を 5 秒にする (デフォルト)	○	V01-00
1675	10 sec	グラフ更新を 10 秒にする	○	V01-00
1676	メニューリスト (Scale)	Graph Style が Bar の場合のみメニューリストに Scale が 加わる	○	V01-01
1677	100	グラフの表示領域を 100 に変更する (デフォルト)	○	V01-01
1678	50	グラフの表示領域を 50 に変更する	○	V01-01
1679	20	グラフの表示領域を 20 に変更する	○	V01-01
1680	10	グラフの表示領域を 10 に変更する	○	V01-01
1681	メニューリスト (Value)	Graph Style が Bar の場合のみメニューリストに Value が 加わる	○	V01-01
1682	ON	数値表示を有効にする (デフォルト)	○	V01-01
1683	OFF	数値表示を無効にする	○	V01-01
1684	グラフ	【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V01-00
1685	コンテキストメニュー		○	V01-00
1686	View Detail	HVM Monitor RT Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウを表 示	○	V01-00

表 5-1 モニタリング条件

条件	内容
0	BS1000 であること
1	Monitoring Mode が HvmShMode であること
2	BS2000 : HVM バージョン 58-4x、78-4x 以降の HVM が表示対象 BS320 : HVM バージョン 17-6x 以降の HVM が表示対象 BS500 : すべての HVM バージョンが表示対象 BS2500 : すべての HVM バージョンが表示対象
3	BS2000 : HVM バージョン 57-3x、78-1x 以降の HVM が表示対象 BS320 : HVM バージョン 17-4x 以降の HVM が表示対象 BS500 : すべての HVM バージョンが表示対象 BS2500 : すべての HVM バージョンが表示対象
4	BS2000 : HVM バージョン 58-7x、78-7x 以降の HVM が表示対象 BS320 : HVM バージョン 17-8x 以降の HVM が表示対象 BS500 : すべての HVM バージョンが表示対象 BS2500 : すべての HVM バージョンが表示対象

## 6 構成ビューア

※1 参照モードで操作及び表示が可能な項目を示す

※2 導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	参照 (※1)	導入/ 変更 Ver. (※2)
1	Main ウィンドウ (Viewer タブ)		○	V01-00
2	System List フレーム		○	V01-00
3	コンボボックス	ビューア対象のシステム構成を選択 All configuration (デフォルト) 選択したシステムの構成は System Configuration フレーム内のツリービューに表示	○	V01-00
4	Update ボタン/Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	【Update ボタンをクリックした場合】 選択したシステムに登録されている HVM 情報を更新 【Update Cancel ボタンをクリックした場合】 HVM 情報の更新を取り止める	○	V01-00
5	System Configuration フレーム		○	V01-00
6	ツリービュー	詳細情報を表示する項目 (Chassis、HVM) を選択 (選択した項目の詳細情報はリストに表示)	○	V01-00
7	リスト	ツリービューで選択した項目の詳細情報を表示	○	V01-00
8	Edit ボタン	System Edit ウィンドウを開く	×	V01-00
9	Config List ボタン	System Configuration List ウィンドウを開く	○	V01-00
10	Config View ボタン	System Configuration Image ウィンドウを開く	○	V01-00
11	System Edit ウィンドウ		×	V01-00
12	System Select フレーム		×	V01-00
13	All System 側 ツリービュー	登録されている HVM を表示 編集中のシステム構成に加えるシャーシ、HVM を選択	×	V01-00
14	> ボタン	All System 側で選択したシャーシ、HVM を選択した システム構成に加える	×	V01-00
15	< ボタン	Selected System 側で選択したシャーシ、HVM を選択した システム構成から取り除く	×	V01-00
16	Selected System 側 コンボボックス	編集するシステム構成を選択 【編集中のシステム構成がある場合】 サブウィンドウ (Confirmation ウィンドウ) を開く	×	V01-00
17	Confirmation ウィンドウ		×	V01-00
18	OK ボタン	[編集中のシステム構成の内容を保存せずに 新しいシステム構成を選択]	×	V01-00
19	キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V01-00
20	New ボタン	【編集中のシステム構成がない場合】 サブウィンドウ (New System ウィンドウ) を開く 【編集中のシステム構成がある場合】 サブウィンドウ (Confirmation ウィンドウ) を開く	×	V01-00

21		New System ウィンドウ	×	V01-00
22		テキストボックス 作成するシステム構成の名前を入力	×	V01-00
23		OK ボタン システム構成をテキストボックスに入力した名前で作成	×	V01-00
24		Cancel ボタン システム構成の作成を取り止める	×	V01-00
25		Confirmation ウィンドウ	×	V01-00
26		OK ボタン サブウィンドウ (New System ウィンドウ) を開く [編集中のシステム構成を保存せずに新しいシステム構成を作成]	×	V01-00
27		キャンセルボタン 本ウィンドウを閉じる	×	V01-00
28		Delete ボタン [Selected System 側コンボボックスでシステムが選択されている場合に活性化する] 編集中のシステム構成を消去 サブウィンドウ (Confirmation ウィンドウ) を開く	×	V01-00
29		Confirmation ウィンドウ	×	V01-00
30		OK ボタン システム構成の消去を実行	×	V01-00
31		キャンセルボタン システム構成の消去を取り止める	×	V01-00
32		Selected System 側ツリービュー 編集中のシステム構成から取り除くシャーシ、HVM を選択 >ボタン、<ボタンでシステム構成を編集可能	×	V01-00
33		Save As ボタン サブウィンドウ (Save As ウィンドウ) を開く	×	V01-00
34		Save As ウィンドウ	×	V01-00
35		テキストボックス 編集中のシステム構成の新しい名前を入力	×	V01-00
36		OK ボタン システム構成をテキストボックスに入力した名前で保存	×	V01-00
37		Cancel ボタン システム構成の保存を取り止める	×	V01-00
38		Save ボタン 編集中のシステム構成を保存	×	V01-00
39		Config List ボタン System Configuration List ウィンドウを開く	×	V01-00
40		Config View ボタン System Configuration Image ウィンドウを開く	×	V01-00
41		Close ボタン 【編集中のシステム構成がない場合】 本ウィンドウを閉じる 【編集中のシステム構成がある場合】 サブウィンドウ (Confirmation ウィンドウ) を開く	×	V01-00
42		Confirmation ウィンドウ	×	V01-00
43		OK ボタン [編集中のシステム構成を保存せずに System Edit ウィンドウと本ウィンドウを閉じる]	×	V01-00
44		キャンセルボタン 本ウィンドウを閉じる	×	V01-00

45	System Configuration List ウィンドウ			参照 (※1)	V01-00
46	ツリービュー	HVM List に表示する項目を選択 (選択した項目の詳細情報は HVM List リストに表示)		○	V01-00
47	Item Selection フレーム			○	V01-00
48	コンボボックス	詳細情報を表示する項目の種類を選択			
		No.	項目	種類	サポート (※)
		1	HVM	物理構成情報	V01-00
		2	LPAR	論理構成情報	V01-00
		3	IP	IP アドレス情報	未サポート
4	Firmware Version	ファームウェアバージョン情報	未サポート		
		※サポート: “操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています			
		選択した種類に応じて、以下のチェックボックスが表示される			
49	コンボボックスの選択が “HVM” の場合 (デフォルト)				
50	詳細情報を表示する項目にチェックをつける				
	No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	
	1	ALL	以下全項目	V01-00	
	2	Config	物理サーバ情報	V01-00	
	3	Physical NIC	物理 NIC 情報	V01-00	
	4	Physical HBA	物理 HBA 情報	V01-00	
	5	Physical CPU	物理 CPU 情報	V01-01	
		※サポート: “操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています			
51	コンボボックスの選択が “LPAR” の場合				
52	詳細情報を表示する項目にチェックをつける				
	No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	
	1	ALL	以下全項目	V01-00	
	2	Config	論理サーバ情報	V01-00	
	3	Logical NIC	論理 NIC 情報	V01-00	
	4	Logical HBA	論理 HBA 情報	V01-00	
	5	USB	USB 情報	未サポート	
		※サポート: “操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています			

53	コンボボックスの選択が“IP”の場合																											
54	現在、Show List ボタンのクリック不可(ウインドウ表示不可)																											
	<table><tr><td>No.</td><td>チェックボックス名</td><td>内容</td><td>サポート (※)</td></tr><tr><td>1</td><td>ALL</td><td>以下全項目</td><td>未サポート</td></tr><tr><td>2</td><td>HVM</td><td>HVM の IP アドレス</td><td>未サポート</td></tr><tr><td>3</td><td>LPAR</td><td>LPAR の IP アドレス</td><td>未サポート</td></tr></table>				No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	以下全項目	未サポート	2	HVM	HVM の IP アドレス	未サポート	3	LPAR	LPAR の IP アドレス	未サポート								
	No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
	1	ALL	以下全項目	未サポート																								
	2	HVM	HVM の IP アドレス	未サポート																								
3	LPAR	LPAR の IP アドレス	未サポート																									
※サポート：“操作、表示対象”をサポートしたバージョンを表しています																												
55	コンボボックスの選択が“Firmware Version”の場合																											
56	現在、Show List ボタンのクリック不可(ウインドウ表示不可)																											
	<table><tr><td>No.</td><td>チェックボックス名</td><td>内容</td><td>サポート (※)</td></tr><tr><td>1</td><td>ALL</td><td>以下全項目</td><td>未サポート</td></tr><tr><td>2</td><td>PCI</td><td>PCI カードのファームウェアバージョン</td><td>未サポート</td></tr><tr><td>3</td><td>Blade</td><td>サーバのファームウェアバージョン</td><td>未サポート</td></tr></table>				No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	以下全項目	未サポート	2	PCI	PCI カードのファームウェアバージョン	未サポート	3	Blade	サーバのファームウェアバージョン	未サポート								
	No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
	1	ALL	以下全項目	未サポート																								
	2	PCI	PCI カードのファームウェアバージョン	未サポート																								
3	Blade	サーバのファームウェアバージョン	未サポート																									
※サポート：“操作、表示対象”をサポートしたバージョンを表しています																												
57	Show List ボタン	コンボボックスで選択された種類について、構成情報を表示する	○	V01-00																								
58	HVM List リスト	HVM 固有情報を表示	○	V01-00																								
59	Sort Reset ボタン	HVM List リストに表示された行の並びを初期表示に戻す	○	V01-00																								
60	Export ボタン	Export CSV ウィンドウを表示	○	V01-00																								
61	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00																								
62	Export CSV ウィンドウ			○	V01-00																							
63	以下チェックボックス(HVM、LPAR、IP、およびFirmware Version フレーム内)にチェックをつけた項目の詳細情報が CSV ファイルに出力される			○	V01-00																							
64	ALLCheck チェックボックス	チェックをつけると、以下のチェックボックス(HVM、LPAR、IP およびFirmware Version フレーム内)にチェックをつける チェックを外すと、以下のチェックボックスからチェックを外す	○	V01-00																								
65	HVM フレーム			○	V01-00																							
66	<table><tr><td>No.</td><td>チェックボックス名</td><td>内容</td><td>サポート (※)</td></tr><tr><td>1</td><td>ALL</td><td>以下全項目</td><td>V01-00</td></tr><tr><td>2</td><td>Config</td><td>構成情報</td><td>V01-00</td></tr><tr><td>3</td><td>Physical NIC</td><td>物理 NIC 情報</td><td>V01-00</td></tr><tr><td>4</td><td>Physical HBA</td><td>物理 HBA 情報</td><td>V01-00</td></tr><tr><td>5</td><td>Physical CPU</td><td>物理 CPU 情報</td><td>V01-01</td></tr></table>				No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	以下全項目	V01-00	2	Config	構成情報	V01-00	3	Physical NIC	物理 NIC 情報	V01-00	4	Physical HBA	物理 HBA 情報	V01-00	5	Physical CPU	物理 CPU 情報	V01-01
	No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
	1	ALL	以下全項目	V01-00																								
	2	Config	構成情報	V01-00																								
	3	Physical NIC	物理 NIC 情報	V01-00																								
	4	Physical HBA	物理 HBA 情報	V01-00																								
	5	Physical CPU	物理 CPU 情報	V01-01																								
※サポート：“操作、表示対象”をサポートしたバージョンを表しています																												

67	LPAR フレーム			○	V01-00																							
68	<table><tr><td>No.</td><td>チェックボックス名</td><td>内容</td><td>サポート (※)</td></tr><tr><td>1</td><td>ALL</td><td>以下全項目</td><td>V01-00</td></tr><tr><td>2</td><td>Config</td><td>論理サーバ情報</td><td>V01-00</td></tr><tr><td>3</td><td>Logical NIC</td><td>論理 NIC 情報</td><td>V01-00</td></tr><tr><td>4</td><td>Logical HBA</td><td>論理 HBA 情報</td><td>V01-00</td></tr><tr><td>5</td><td>USB</td><td>USB 情報</td><td>未サポート</td></tr></table>				No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	以下全項目	V01-00	2	Config	論理サーバ情報	V01-00	3	Logical NIC	論理 NIC 情報	V01-00	4	Logical HBA	論理 HBA 情報	V01-00	5	USB	USB 情報	未サポート
	No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
	1	ALL	以下全項目	V01-00																								
	2	Config	論理サーバ情報	V01-00																								
	3	Logical NIC	論理 NIC 情報	V01-00																								
	4	Logical HBA	論理 HBA 情報	V01-00																								
5	USB	USB 情報	未サポート																									
※サポート: “操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています																												
69	IP フレーム			○	V01-00																							
70	<table><tr><td>No.</td><td>チェックボックス名</td><td>内容</td><td>サポート (※)</td></tr><tr><td>1</td><td>ALL</td><td>以下全項目</td><td>未サポート</td></tr><tr><td>2</td><td>HVM</td><td>HVM の IP アドレス</td><td>未サポート</td></tr><tr><td>3</td><td>LPAR</td><td>LPAR の IP アドレス</td><td>未サポート</td></tr></table>				No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	以下全項目	未サポート	2	HVM	HVM の IP アドレス	未サポート	3	LPAR	LPAR の IP アドレス	未サポート								
	No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
	1	ALL	以下全項目	未サポート																								
	2	HVM	HVM の IP アドレス	未サポート																								
3	LPAR	LPAR の IP アドレス	未サポート																									
※サポート: “操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています																												
71	Firmware Version フレーム			○	V01-00																							
72	<table><tr><td>No.</td><td>チェックボックス名</td><td>内容</td><td>サポート (※)</td></tr><tr><td>1</td><td>ALL</td><td>以下全項目</td><td>未サポート</td></tr><tr><td>2</td><td>PCI</td><td>PCI カードのファームウェアバージョン</td><td>未サポート</td></tr><tr><td>3</td><td>Blade</td><td>サーバのファームウェアバージョン</td><td>未サポート</td></tr></table>				No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)	1	ALL	以下全項目	未サポート	2	PCI	PCI カードのファームウェアバージョン	未サポート	3	Blade	サーバのファームウェアバージョン	未サポート								
	No.	チェックボックス名	内容	サポート (※)																								
	1	ALL	以下全項目	未サポート																								
	2	PCI	PCI カードのファームウェアバージョン	未サポート																								
3	Blade	サーバのファームウェアバージョン	未サポート																									
※サポート: “操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています																												
73	Export Folder Selection			○	V01-00																							
74	テキストボックス	CSV ファイルの出力先フォルダを表示	○	V01-00																								
75	Select ボタン	フォルダの参照ウインドウを開く	○	V01-00																								
76	フォルダの参照ウインドウ		○	V01-00																								
77	[本ウインドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V01-00																								
78	Export ボタン	CSV ファイルを指定したフォルダに出力 サブウインドウ (Result ウインドウ) を開く	○	V01-00																								
79	Result ウインドウ		○	V01-00																								
80	OK ボタン	本ウインドウを閉じる	○	V01-00																								
81	Close ボタン	本ウインドウを閉じる	○	V01-00																								



82	HVM Configuration List ウィンドウ		○	V01-00
83	HVM フレーム	詳細情報を表示している項目にチェック	○	V01-00
84	Config チェックボックス	— (非活性)	○	V01-00
85	Physical NIC チェックボックス	— (非活性)	○	V01-00
86	Physical HBA チェックボックス	— (非活性)	○	V01-00
87	CPU チェックボックス	— (非活性)	○	V01-00
88	HVM List リスト	HVM 詳細情報を表示	○	V01-00
89	Sort Reset ボタン	HVM List リストに表示された行の並びを初期設定 に戻す	○	V01-00
90	Export ボタン	サブウィンドウ (Assign Output Device ウィンドウ) を開く	○	V01-00
91	Assign Output Device ウィンドウ		○	V01-00
92	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V01-00
93	Result ウィンドウ		○	V01-00
94	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
95	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
96	LPAR List ウィンドウ		○	V01-00
97	LPAR フレーム	詳細情報を表示している項目にチェック	○	V01-00
98	Config チェックボックス	— (非活性)	○	V01-00
99	Logical NIC チェックボックス	— (非活性)	○	V01-00
100	Logical HBA チェックボックス	— (非活性)	○	V01-00
101	USB チェックボックス	— (非活性)	○	V01-00
102	LPAR List リスト	LPAR データを表示	○	V01-00
103	Show Undefined チェックボックス	【チェックあり】 LPAR Status が “-” (未定義) の LPAR も含んで表示 【チェックなし】 LPAR Status が “-” (未定義) の LPAR は非表示	○	V01-01
104	Sort Reset ボタン	LPAR List リストに表示された行の並びを初期設定 に戻す	○	V01-00
105	Export ボタン	サブウィンドウ (Assign Output Device ウィンドウ) を開く	○	V01-00
106	Assign Output Device ウィンドウ		○	V01-00
107	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V01-00
108	Result ウィンドウ		○	V01-00
109	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
110	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00

111	System Configuration Image ウィンドウ			○	V01-00
112	ツリービュー	作成したシステム構成を表示	○	V01-00	
113	Layout Mode フレーム			○	V01-00
114	コンボボックス	図の表示モードを変更 表示モードの種類は以下のとおり			
		No.	表示モード	内容	サポート (※)
		1	Pan and Zoom (デフォルト)	以下の 2 点の操作が可能なモード (1) 構成図の表示領域の移動 (2) 構成図の拡大・縮小	V01-00
		2	Fit	構成図の表示領域に合わせて表示 (縦横の比率を維持)	V01-00
		3	Stretch	構成図の表示領域に合わせて引き伸 ばす(縦横の比率を変える)	V01-00
		4	Stretch To Width	構成図を表示領域に合わせた幅に引 き伸ばす(縦横の比率を維持)	V01-00
		5	Stretch To Height	構成図を表示領域に合わせた高さに 引き伸ばす(縦横の比率を維持)	V01-00
※サポート: “操作、表示対象” をサポートしたバージョンを表しています					
115	Pan and Zoom コントロール	表示範囲を移動、拡大・縮小	○	V01-00	
116	Image フレーム			○	V01-00
117	ctrl+マウスホイールの前後操作	表示されている図を拡大・縮小	○	V01-00	
118	Chassis アイコン	【ドラッグ&ドロップ】 Chassis アイコンを図中の任意の場所に配置 【クリック】 Chassis Configuration Image ウィンドウに表示するシャーンを選択 (Ctrl + マウスの左ボタンで複数選択可) 【ダブルクリック】 Chassis Configuration Image ウィンドウを開く (選択したシャーンの構成図を Chassis Configuration Image ウィンドウに表示)	○	V01-00	
	Chassis アイコン 内 Blade	【クリック】 HVM Configuration Image ウィンドウに表示するブレードを選択 (Ctrl + マウスの左ボタンで複数選択可) 【ダブルクリック】 HVM Configuration Image ウィンドウを開く (選択した HVM の構成図を HVM Configuration Image ウィンドウに表示)	○	V01-00	
119					

120	Show Detail ボタン	(1)Chassis アイコンを選択した場合 Chassis Configuration Image ウィンドウを開く (選択したシャーシの構成図を Chassis Configuration Image ウィンドウに表示) (2)Blade アイコンを選択した場合 HVM Configuration Image ウィンドウを開く (選択した HVM の構成図を HVM Configuration Image ウィンドウに表示)	○	V01-00
121	Close ボタン	【Chassis Configuration Image ウィンドウ、HVM Configuration Image ウィンドウが開いていた場合】 サブウィンドウ (Confirmation ウィンドウ) を開く 【上記ウィンドウがない場合】 本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
122	Confirmation ウィンドウ		○	V01-00
123	OK ボタン	System Configuration Image ウィンドウ、Chassis Configuration Image ウィンドウ、および HVM Configuration Image ウィンドウを閉じる (本ウィンドウも閉じる)	○	V01-00
124	キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
125	Chassis Configuration Image ウィンドウ		○	V01-00
126	ツリービュー	選択した Chassis 構成を表示 表示モードの種類は以下のとおり	○	V01-00
127	Layout Mode フレーム		○	V01-00
128	コンボボックス	図の表示モードを変更	○	V01-00
129	Pan and Zoom コントロール	表示領域を移動、拡大・縮小	○	V01-00
130	ctrl+マウスホイールの前後操作	表示されている図を拡大・縮小	○	V01-00
131	Blade アイコン	【ドラッグ&ドロップ】 Blade アイコンを図中の任意の場所に配置 【クリック】 HVM Configuration Image ウィンドウに表示するブレードを選択 (Ctrl + マウスの左ボタンで複数選択可) 【ダブルクリック】 HVM Configuration Image ウィンドウを開く (選択した HVM の構成図を HVM Configuration Image ウィンドウに表示) 【右クリック】 コンテキストメニューを表示	○	V01-00

132		コンテキストメニュー		○	V01-00
133		Detail [Config メニュー]	HVM Configuration List ウィンドウを開く (構成情報を表示)	○	V01-00
134		Detail [Physical NIC]	HVM Configuration List ウィンドウを開く (物理 NIC 情報を表示)	○	V01-00
135		Detail [Physical HBA]	HVM Configuration List ウィンドウを開く (物理 HBA 情報を表示)	○	V01-00
136		Detail [Physical CPU]	CPU Configuration List ウィンドウを開く (物理 CPU 情報を表示)	○	V01-01
137		Show Detail ボタン	HVM Configuration Image ウィンドウを開く (選択した HVM の構成図を HVM Configuration Image ウィンドウに表示)	○	V01-00
138		Close ボタン	【HVM Configuration Image ウィンドウが開いていた場合】 サブウィンドウ(Confirmation ウィンドウ)を開く 【上記ウィンドウがない場合】 本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
139		Confirmation ウィンドウ		○	V01-00
140		OK ボタン	Chassis Configuration Image ウィンドウ HVM Configuration Image ウィンドウを閉じる (本ウィンドウも閉じる)	○	V01-00
141		キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
142		HVM Configuration Image ウィンドウ		○	V01-00
143		ツリービュー	選択した HVM 構成を表示 表示モードの種類は以下のとおり	○	V01-00
144		Show Deactivated チェックボックス	【チェックあり】 LPAR Status が “Deactivate” の LPAR も含んで表示 【チェックなし】 LPAR Status が “Deactivate” の LPAR は非表示	○	V02-04/A
145		Show Undefined チェックボックス	【チェックあり】 LPAR Status が “-” (未定義) の LPAR も含んで表示 【チェックなし】 LPAR Status が “-” (未定義) の LPAR は非表示	○	V01-01
146		Layout Mode フレーム		○	V01-00
147		コンボボックス	図の表示モードを変更	○	V01-00
148		Pan and Zoom コントロール	表示領域を移動、拡大・縮小	○	V01-00

149	Layout Mode フレーム		○	V01-00
150	ctrl+マウスホイールの 前後操作	表示されている図を拡大・縮小	○	V01-00
151	LPAR アイコン	<p>【ドラッグ&amp;ドロップ】 LPAR アイコンを図中の任意の場所に配置</p> <p>【クリック】 LPAR List ウィンドウに表示するブレードを選択 (Ctrl + マウスの左ボタンで複数選択可)</p> <p>【右クリック】 コンテキストメニューを表示</p>	○	V01-00
152	コンテキストメニュー		○	V01-00
153	Detail [Config メニュー]	LPAR List ウィンドウを開く (構成情報を表示)	○	V01-00
154	Detail [Logical NIC]	LPAR List ウィンドウを開く (論理 NIC 情報を表示)	○	V01-00
155	Detail [Logical HBA]	LPAR List ウィンドウを開く (論理 HBA 情報を表示)	○	V01-00
156	LPAR Detail ウィンドウ		○	V01-00
157	OK ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
158	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
159	Confirmation ウィンドウ		○	V01-00
160	OK ボタン	HVM Configuration Image ウィンドウを閉じる (本ウィンドウも閉じる)	○	V01-00
161	キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00

## 7 LPAR マイグレーション

※1 参照モードで操作及び表示が可能な項目を示す

※2 導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	参照 (※1)	導入/変更 Ver. (※2)
1	Main ウィンドウ (Migration タブ)		○	V01-00
2	Menu フレーム		○	V01-00
3	Mode Selection フレーム		○	V03-00/E
4	Shutdown ラジオボタン	シャットダウンモードを選択	○	V03-00/E
5	Concurrent Maintenance ラジオボタン	コンカレントメンテナンスモードを選択	○	V03-00/E
6	Migration Menu フレーム		○	V03-00/E
7	Migration ボタン	【シャットダウンモードを選択】 Migration[Shutdown]ウィンドウを開く 【コンカレントメンテナンスモードを選択】 Migration[Concurrent Maintenance]ウィンドウを開く	○	V03-00/E
8	Migration Policy ボタン	Migration Policy ウィンドウを開く	○	V01-00
9	Path Setting ボタン	Migration Path Setting ウィンドウを開く (Mode Selection フレームでコンカレントメンテナンスモードを選択するとクリック可能になる)	○	V03-00/E
10	WWN Setting ボタン	Register Migration WWN Setting ウィンドウを開く (Mode Selection フレームでコンカレントメンテナンスモードを選択するとクリック可能になる)	○	V03-01
11	Update ボタン /Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	【Update ボタンをクリックした場合】 登録した HVM 情報を更新 【Update Cancel ボタンをクリックした場合】 HVM 情報の更新を取り止める	○	V01-00
12	Migration History フレーム		○	V01-00
13	Show LPAR History ボタン	Migration History ウィンドウを表示	○	V02-04/A
14	Migration History リスト	マイグレーション実行履歴を表示	○	V01-00

15	Migration[Shutdown]ウィンドウ		○	V01-00
16	Change Mode ボタン	Migration[Concurrent Maintenance]ウィンドウを開く	○	V03-00/E
17	Target Selection フレーム		○	V01-00
18	<p>〔リカバリが必要な LPAR がある時のみ表示〕</p>  Show the LPARs チェックボックス	<p>【チェックあり】</p> Target フレーム、Target ツリービューを表示 ※Target ツリービューは、リカバリ対象 LPAR のみ表示 <p>【チェックなし】（デフォルト）</p> Source フレーム、Source ツリービュー、Destination フレーム、および Destination ツリービューを表示	○	V01-00
19	<p>〔 Show the LPARs チェックボックスにチェックがない場合利用可能〕</p> Auto チェックボックス	<p>【チェックあり】</p> 移動先 HVM を選択すると、自動で移動先 LPAR を選択 <p>【チェックなし】（デフォルト）</p> 移動先 HVM を選択しても、自動で移動先 LPAR を選択しない	○	V01-01
20	<p>〔 Show the LPARs チェックボックスにチェックがない場合利用可能〕</p> Migratable チェックボックス	<p>【チェックあり】</p> Source ツリービューには ACT または DEACT の LPAR (移動元として選択可能な LPAR) のみ表示 Destination ツリービューには Undefined LPAR (移動先として選択可能な LPAR) のみ表示 <p>【チェックなし】（デフォルト）</p> Source ツリービュー、Destination ツリービューに全 LPAR を表示	○	V01-01
21	<p>〔 Show the LPARs チェックボックスにチェックがない場合利用可能〕</p> Group チェックボックス	<p>【チェックあり】</p> Source ツリービュー、Destination ツリービューに表示する LPAR をプロセスグループごとに表示 <p>【チェックなし】（デフォルト）</p> Source ツリービュー、Destination ツリービューに表示する LPAR をプロセスグループごとに表示しない	○	V01-01
22	Tree View チェックボックス	登録した HVM をツリービューまたはコンボボックスで表示 <p>【チェックあり】（デフォルト）</p> 登録した HVM をツリービューで表示 <p>【チェックなし】</p> 登録した HVM をコンボボックスで表示	○	V01-00

23	Source フレーム	No. 23~29 は、  Show the LPARs チェックボックスにチェックがない場合利用可能	○	V01-00
24	Source ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動元 LPAR を選択	○	V01-00
25	Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】 マイグレーション可能な Chassis、HVM、LPAR を表示 (1) 移動元シャーシを選択 (2) 移動元 HVM を選択 (3) 移動元 LPAR を選択	○	V01-00
26	HVM コンボボックス			V01-00
27	LPAR コンボボックス			V01-00
28	Selected LPAR ラベル	選択した移動元 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	○	V01-01
29	Detail Information リスト	選択した移動元 LPAR の詳細情報を表示	○	V01-00
30	Destination フレーム	No. 30~38 は、  Show the LPARs チェックボックスにチェックがない場合利用可能	○	V01-00
31	Destination ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動先 LPAR を選択	○	V01-00
32	Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】 (1) 移動先シャーシを選択 (2) 移動先 HVM を選択 (3) 移動先 LPAR を選択	○	V01-00
33	HVM コンボボックス			V01-00
34	LPAR コンボボックス			V01-00
35	Group コンボボックス	(4) 割り当てるプロセッサグループを選択 ※ (4) は、HVM バージョン 58-4x、78-4x 以降の HVM を選択している場合利用可能	○	V01-01
36	Selected LPAR ラベル	選択した移動先 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	○	V01-01
37	Group ラベル	選択した移動先 LPAR のプロセッサグループのグループ番号とグループ名称を表示	○	V01-01
38	Detail Information リスト	選択した移動先 LPAR の詳細情報を表示	○	V01-00
39	Target フレーム	No. 39~45 は、  Show the LPARs チェックボックスにチェックがある場合利用可能	○	V01-01
40	Target ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】リカバリする LPAR を選択	○	V01-01
41	Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】 (1) リカバリする LPAR が構築されているシャーシを選択 (2) リカバリする LPAR が構築されている HVM を選択 (3) リカバリする LPAR を選択	○	V01-01
42	HVM コンボボックス			V01-01
43	LPAR コンボボックス			V01-01
44	Selected LPAR ラベル	選択したリカバリ LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	○	V01-01
45	Detail Information リスト	選択したリカバリ LPAR の詳細情報を表示	○	V01-01



46	Migration Setting フレーム		○	V01-00
47	Migration Option フレーム		○	V01-00
48	Shutdown Guest OS (Source) チェックボックス	マイグレーション対象の移動元 LPAR のゲスト OS シャットダウンを伴うか選択 【チェックあり】 シャットダウン実行 【チェックなし】(デフォルト) シャットダウン実行しない	○	V01-00
49	Activate Destination LPAR チェックボックス	マイグレーション後、移動先 LPAR の Activate 実行可否 【チェックあり】(デフォルト) Activate する 【チェックなし】 Activate しない(Deactivated のまま)	○	V01-00
50	Guest OS Information (for remote shutdown) フレーム	Shutdown Guest OS (Source) チェックボックスに 【チェックあり】の場合利用可能	○	V01-00
51	OS Type コンボボックス	OS タイプを選択	○	V01-00
52	IP Address テキストボックス	IP アドレスを入力	○	V01-00
53	User ID テキストボックス	ユーザ ID を入力	○	V01-00
54	Password テキストボックス	パスワードを入力	○	V01-00
55	Forced shutdown チェックボックス	ユーザログイン時のゲスト OS シャットダウンの可否 ゲスト OS が Windows 2008 のみ有効な機能 【チェックあり】 シャットダウン可 【チェックなし】(デフォルト) シャットダウン不可	○	V01-00
56	Save ボタン	Guest OS Information (for remote shutdown) の設定内容を保存 (移動元 LPAR を選択するとクリック可能になる)	×	V01-00
57	Show Config ボタン	Migration Information リストで選択した行の移動元、移動先 LPAR の構成情報を表示 Migration Config Viewer ウィンドウの表示／非表示	○	V01-01
58	Migration Execute ボタン /Recovery Execute ボタン (リカバリが必要な LPAR を選択した場合に Recovery Execute ボタンになる)	Confirmation ウィンドウを開く (本ウィンドウの必要項目を選択・入力するとクリック可能になる)	×	V01-00
59	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00

60	Confirmation ウィンドウ		×	V01-00
61	Source フレーム	【Migration ウィンドウで Migration Execute ボタンをクリックした場合】 設定した移動元 LPAR 情報を表示	×	V01-00
62	Destination フレーム	【Migration ウィンドウで Migration Execute ボタンをクリックした場合】 設定した移動先 LPAR 情報を表示	×	V01-00
63	Target フレーム	【Migration ウィンドウで Recovery Execute ボタンをクリックした場合】 設定したリカバリが必要な LPAR 情報を表示	×	V01-00
64	Migration Option フレーム	設定したオプション機能情報を表示	×	V01-00
65	OK ボタン	【Migration ウィンドウで Migration Execute ボタンをクリックした場合】 本ウィンドウを閉じ、Migration Progress ウィンドウを表示 (Migration を実行) 【Migration ウィンドウで Recovery Execute ボタンをクリックした場合】 本ウィンドウを閉じ、Recovery Progress ウィンドウを表示 (Recovery を実行)	×	V01-00
66	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V01-00
67	Migration Progress ウィンドウ		×	V01-00
68	プログレスバー	マイグレーションの進捗状況を表示	×	V01-00
69	Source フレーム	移動元 LPAR 情報を表示	×	V01-00
70	Destination フレーム	移動先 LPAR 情報を表示	×	V01-00
71	Progress Detail フレーム		×	V01-00
72	リスト	マイグレーションの進捗状況の詳細を表示	×	V01-00
73	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V01-00
74	Recovery Progress ウィンドウ		×	V01-00
75	プログレスバー	リカバリの進捗状況を表示	×	V01-00
76	Target フレーム	リカバリが必要な LPAR 情報を表示	×	V01-00
77	Progress Detail フレーム		×	V01-00
78	リスト	リカバリの進捗状況の詳細を表示	×	V01-00
79	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V01-00

80	Migration[Concurrent Maintenance]ウインドウ		○	V03-00/E
81	Change Mode ボタン	Migration[Shutdown]ウインドウを開く	○	V03-00/E
82	Target Selection フレーム		○	V03-00/E
83	<p>〔リカバリが必要な LPAR が ある時のみ表示〕</p>  Show the LPARs チェックボックス	<p>【チェックあり】 Target フレーム、Target ツリービューを表示 ※Target ツリービューは、リカバリ対象 LPAR のみ表示</p> <p>【チェックなし】（デフォルト） Source フレーム、Source ツリービュー、 Destination フレーム、および Destination ツ リービューを表示</p>	○	V03-00/E
84	<p>〔 Show the LPARs チェックボックスに チェックがない場合利用可能〕</p> <p>Auto チェックボックス</p>	<p>【チェックあり】 移動先 HVM を選択すると、自動で移動先 LPAR を選択</p> <p>【チェックなし】（デフォルト） 移動先 HVM を選択しても、自動で移動先 LPAR を選択しない</p>	○	V03-00/E
85	<p>〔 Show the LPARs チェックボックスに チェックがない場合利用可能〕</p> <p>Migratable チェックボックス</p>	<p>【チェックあり】 Source ツリービューには ACT で WWN が正常の LPAR (移動元として選択可能な LPAR) のみ表示 Destination ツリービューには Undefined LPAR (移動先として選択可能な LPAR) のみ表示</p> <p>【チェックなし】（デフォルト） Source ツリービュー、Destination ツリービ ューに全 LPAR を表示</p>	○	V03-00/E
86	<p>〔 Show the LPARs チェックボックスに チェックがない場合利用可能〕</p> <p>Group チェックボックス</p>	<p>【チェックあり】 Source ツリービュー、Destination ツリービ ューに表示する LPAR をプロセッサグループごと に表示</p> <p>【チェックなし】（デフォルト） Source ツリービュー、Destination ツリービ ューに表示する LPAR をプロセッサグループごと に表示しない</p>	○	V03-00/E
87	Tree View チェックボックス	<p>登録した HVM をツリービューまたは コンボボックスで表示</p> <p>【チェックあり】（デフォルト） 登録した HVM をツリービューで表示</p> <p>【チェックなし】 登録した HVM をコンボボックスで表示</p>	○	V03-00/E

88	Source フレーム	No. 88~94 は、  Show the LPARs チェックボックスにチェックがない場合利用可能	○	V03-00/E
89	Source ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動元 LPAR を選択	○	V03-00/E
90	Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】 マイグレーション可能な Chassis、HVM、LPAR を表示 (1) 移動元 シャーシを選択 (2) 移動元 HVM を選択 (3) 移動元 LPAR を選択	○	V03-00/E
91	HVM コンボボックス			V03-00/E
92	LPAR コンボボックス			V03-00/E
93	Selected LPAR ラベル	選択した移動元 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	○	V03-00/E
94	Detail Information リスト	選択した移動元 LPAR の詳細情報を表示	○	V03-00/E
95	Destination フレーム	No. 95~103 は、  Show the LPARs チェックボックスにチェックがない場合利用可能	○	V03-00/E
96	Destination ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動先 LPAR を選択	○	V03-00/E
97	Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】 (1) 移動先 シャーシを選択 (2) 移動先 HVM を選択 (3) 移動先 LPAR を選択 (4) 割り当てるプロセッサグループを選択 ※ (4) は、HVM バージョン 58-4x、78-4x 以降の HVM を選択している場合利用可能	○	V03-00/E
98	HVM コンボボックス			V03-00/E
99	LPAR コンボボックス			V03-00/E
100	Group コンボボックス			V03-00/E
101	Selected LPAR ラベル	選択した移動先 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	○	V03-00/E
102	Group ラベル	選択した移動先 LPAR のプロセッサグループのグループ番号とグループ名称を表示	○	V03-00/E
103	Detail Information リスト	選択した移動先 LPAR の詳細情報を表示	○	V03-00/E
104	Target フレーム	No. 104~110 は、  Show the LPARs チェックボックスにチェックがある場合利用可能	○	V03-00/E
105	Target ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 リカバリする LPAR を選択	○	V03-00/E
106	Chassis コンボボックス	【Tree View チェックボックスにチェックなし】 (1) リカバリする LPAR が構築されているシャーシを選択 (2) リカバリする LPAR が構築されている HVM を選択 (3) リカバリする LPAR を選択	○	V03-00/E
107	HVM コンボボックス			V03-00/E
108	LPAR コンボボックス			V03-00/E
109	Selected LPAR ラベル	選択したリカバリ LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	○	V03-00/E
110	Detail Information リスト	選択したリカバリ LPAR の詳細情報を表示	○	V03-00/E

111	Migration Setting フレーム		○	V03-00/E
112	Migration Path フレーム		○	V03-00/E
113	Source コンボボックス	移動元 LPAR の Migration Path を選択	○	V03-00/E
114	Destination コンボボックス	移動先 LPAR の Migration Path を選択	○	V03-00/E
115	Rehearsal Execute フレーム		○	V03-00/E
116	Rehearsal ボタン	Confirmation ウィンドウを開く (Migration Path フレームの Source コンボボックスと Destination コンボボックスに Migration Path を選択するとクリック可能になる)	×	V03-00/E
117	Connectivity Test ボタン	Confirmation ウィンドウを開く (Migration Path フレームの Source コンボボックスと Destination コンボボックスに Migration Path を選択するとクリック可能になる)	×	V03-00/E
118	Show Rollback ボタン	Rollback WWN ウィンドウを開く (本ウィンドウの必要項目を選択・入力するとクリック可能になる)	○	V03-00/E
119	Show System Logs ボタン	HVM Console ウィンドウの HVM System Logs スクリーンを開く (Migration Path フレームの Source コンボボックスまたは Destination コンボボックスに Migration Path を選択するとクリック可能になる 両方のコンボボックスに Migration Path を選択してクリックするとスクリーンが 2 枚開く)	○	V03-00/E
120	Show Config ボタン	Migration Information リストで選択した行の移動元、移動先 LPAR の構成情報を表示 Migration Config Viewer ウィンドウの表示／非表示	○	V03-00/E
121	Migration Execute ボタン /Recovery Execute ボタン (リカバリが必要な LPAR を選択した場合に Recovery Execute ボタンになる)	Confirmation ウィンドウを開く (本ウィンドウの必要項目を選択・入力するとクリック可能になる)	×	V03-00/E
122	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V03-00/E

123	Confirmation ウィンドウ		×	V03-00/E
124	Source フレーム	【Migration ウィンドウで Migration Execute ボタン、Rehearsal ボタン、または Connectivity Test ボタンをクリックした場合】 設定した移動元 LPAR 情報を表示	×	V03-00/E
125	Destination フレーム	【Migration ウィンドウで Migration Execute ボタン、Rehearsal ボタン、または Connectivity Test ボタンをクリックした場合】 設定した移動先 LPAR 情報を表示	×	V03-00/E
126	Target フレーム	【Migration ウィンドウで Recovery Execute ボタンをクリックした場合】 設定したリカバリが必要な LPAR 情報を表示	×	V03-00/E
127	Migration Option フレーム	設定したオプション機能情報を表示	×	V03-00/E
128	OK ボタン	【Migration ウィンドウで Migration Execute ボタンをクリックした場合】 本ウィンドウを閉じ、Migration Progress ウィンドウを表示 (Migration を実行) 【Migration ウィンドウで Recovery Execute ボタンをクリックした場合】 本ウィンドウを閉じ、Recovery Progress ウィンドウを表示 (Recovery を実行) 【Migration ウィンドウで Rehearsal ボタンをクリックした場合】 本ウィンドウを閉じ、Migration Progress ウィンドウを表示 (Rehearsal を実行) 【Migration ウィンドウで Connectivity Test ボタンをクリックした場合】 本ウィンドウを閉じ、Test Progress ウィンドウを表示 (Connectivity Test を実行)	×	V03-00/E
129	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-00/E

130	Migration Progress ウィンドウ		×	V03-00/E
131	プログレスバー	マイグレーションの進捗状況を表示	×	V03-00/E
132	Source フレーム	移動元 LPAR 情報を表示	×	V03-00/E
133	Destination フレーム	移動先 LPAR 情報を表示	×	V03-00/E
134	Progress Detail フレーム		×	V03-00/E
135	リスト	マイグレーションの進捗状況の詳細を表示	×	V03-00/E
136	Timeout Extension フレーム		×	V03-00/E
137	Timeout Extension ドメインアップダウン	マイグレーション延長時間(加算時間)の指定 (Migration Process 実行中に指定が可能になる)	×	V03-00/E
138	Extend ボタン	Extend ウィンドウを開く (Migration Process 実行中にクリック可能になる)	×	V03-00/E
139	Cancel Migration ボタン	Cancel Migration ウィンドウを開く (Migration Process 実行中にクリック可能になる)	×	V03-00/E
140	Show Monitor ボタン	Migration Monitor Status ウィンドウを開く (Migration Process 実行中にクリック可能になる)	×	V03-00/E
141	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-00/E
142	Extend ウィンドウ		×	V03-00/E
143	OK ボタン	マイグレーション延長時間を更新する (Timeout Extension フレームの Timeout Extension グループボックスで指定した時間を加算する)	×	V03-00/E
144	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-00/E
145	Cancel Migration ウィンドウ		×	V03-00/E
146	OK ボタン	Migration の実行を中止する	×	V03-00/E
147	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-00/E

148	Migration Monitor Status ウィンドウ		×	V03-00/E
149	Source フレーム	移動元 LPAR 情報を表示	×	V03-00/E
150	Destination フレーム	移動先 LPAR 情報を表示	×	V03-00/E
151	データグリッドビュー	データグリッドビューのデータ、ダーティサイズ表示グラフの移動元 LPAR に残っているメモリサイズおよび転送速度表示グラフの移動先 LPAR への転送速度からメモリ転送状況を確認する	×	V03-00/E
152	ダーティサイズ表示グラフ			V03-00/E
153	転送速度表示グラフ			V03-00/E
154	Recovery Progress ウィンドウ		×	V03-00/E
155	プログレスバー	リカバリの進捗状況を表示	×	V03-00/E
156	Target フレーム	リカバリが必要な LPAR 情報を表示	×	V03-00/E
157	Progress Detail フレーム		×	V03-00/E
158	リスト	リカバリの進捗状況の詳細を表示	×	V03-00/E
159	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-00/E
160	Rollback WWN ウィンドウ		×	V03-00/E
161	WWN Status List フレーム		×	V03-00/E
162	View All LPARs チェックボックス	リストに表示する対象 LPAR の切り替え	×	V03-00/E
163	リスト	WWN の状態を表示	×	V03-00/E
164	Rollback Execute ボタン	Rollback Execute ウィンドウを開く	×	V03-00/E
165	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-00/E
166	Rollback Execute ウィンドウ		×	V03-00/E
167	OK ボタン	ロールバックを実行する	×	V03-00/E
168	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-00/E



169	Migration Policy ウィンドウ		○	V01-00
170	Policy Name コンボボックス	作成済みのポリシー名を選択	○	V01-00
171	New ボタン	サブウィンドウ (New Policy ウィンドウ) を表示 (ポリシー名を入力)	×	V01-00
172	New Policy ウィンドウ		×	V01-00
173	テキストボックス	新しいポリシーの名前を入力	×	V01-00
174	OK ボタン	新しいポリシーをテキストボックスに入力した 名前で作成	×	V01-00
175	Cancel ボタン	新しいポリシーの作成を取り止める	×	V01-00
176	Modify ボタン/Release ボタン (トグルボタン)	【Modify】 ポリシーの内容変更モードにする 【Release】 ポリシーの内容変更モードを終了	×	V01-00
177	Save ボタン	編集したポリシーの内容を保存 (上書き保存)	×	V01-00
178	Save as ボタン	編集したポリシーの内容を保存 (名前を付けて保 存) サブウィンドウ (Save as Policy ウィンドウ) を表 示	×	V01-00
179	Save as Policy ウィンドウ		×	V01-00
180	テキストボックス	保存するポリシーの名前を入力	×	V01-00
181	OK ボタン	編集中のポリシーをテキストボックスに入力し た名前で保存	×	V01-00
182	Cancel ボタン	ポリシーの保存を取り止める	×	V01-00
183	Delete ボタン	サブウィンドウ (Delete ウィンドウ) を表示	×	V01-00
184	Delete ウィンドウ		×	V01-00
185	OK ボタン	ポリシーを削除	×	V01-00
186	キャンセルボタン	ポリシーの削除を取り止める	×	V01-00
187	Execute/Stop ボタン	【Execute】 サブウィンドウ (Confirmation ウィンドウ) を表 示 【Stop】 実行中のマイグレーションが完了した時点で、一 旦ポリシー実行を停止させる 停止後にサブウィンドウ (Confirmation ウィンド ウ) を表示	×	V01-00
188	Confirmation ウィンドウ (Execute ボタンの場合)		×	V01-00
189	OK ボタン	ポリシーを実行 (Migration Progress ウィンドウを表示)	×	V01-00
190	Cancel ボタン	ポリシーの実行を取り止める	×	V01-00
191	Confirmation ウィンドウ (Stop ボタンの場合)		×	V01-00
192	End ボタン	ポリシー実行を終了	×	V01-00
193	Continue ボタン	ポリシー実行を再開する	×	V01-00

194		Policy Information フレーム		○	V01-00
195		Comment テキストボックス	編集集中のポリシーについてのコメントを入力	○	V01-00
196		Add [Shutdown]ボタン	Add Shutdown Migration [ポリシー名] ウィンドウを表示	×	V03-00/E
197		Add [Concurrent Maintenance] ボタン	Add Concurrent Maintenance [ポリシー名] ウィンドウを表示	×	V03-00/E
198		Up ボタン	選択した行のマイグレーション実行順番を1つ前にする	×	V01-00
199		Down ボタン	選択した行のマイグレーション実行順番を1つ後にする	×	V01-00
200		Delete ボタン	選択した行をポリシーから削除(行全体を選択すること)	×	V01-00
201		Show Config ボタン	Migration Information リストで選択した行の、移動元、移動先 LPAR の構成情報を表示 Migration Config Viewer ウィンドウの表示／非表示	○	V01-01
202		Migration Information リスト	マイグレーション実行一覧を表示	○	V01-00

203	Add Shutdown Migration [ポリシー名] ウィンドウ		×	V03-00/E
204	Target Selection フレーム		×	V03-00/E
205	Migratable チェックボックス	<p>【チェックあり】</p> <p>Source ツリービューには ACT または DEACT の LPAR (移動元として選択可能な LPAR) のみ表示</p> <p>Destination ツリービューには Undefined LPAR (移動先として選択可能な LPAR) のみ表示</p> <p>【チェックなし】 (デフォルト)</p> <p>Source ツリービュー、Destination ツリービューに全 LPAR を表示</p>	×	V03-00/E
206	Group チェックボックス	<p>【チェックあり】</p> <p>Source ツリービュー、Destination ツリービューに表示する LPAR をプロセッサグループごとに表示</p> <p>【チェックなし】 (デフォルト)</p> <p>Source ツリービュー、Destination ツリービューに表示する LPAR をプロセッサグループごとに表示しない</p>	×	V03-00/E
207	Tree View チェックボックス	<p>登録 HVM をツリービューまたはコンボボックスで表示</p> <p>【チェックあり】 (デフォルト)</p> <p>登録 HVM をツリービューで表示</p> <p>【チェックなし】</p> <p>登録 HVM をコンボボックスで表示</p>	×	V03-00/E
208	Source フレーム		×	V03-00/E
209	Source ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動元 LPAR を選択	×	V03-00/E
210	Chassis コンボボックス	<p>【Tree View チェックボックスにチェックなし】</p> <p>(1) 移動元 シャーシを選択</p> <p>(2) 移動元 HVM を選択</p> <p>(3) 移動元 LPAR を選択</p>	×	V03-00/E
211	HVM コンボボックス			V03-00/E
212	LPAR コンボボックス			V03-00/E
213	Selected LPAR ラベル	選択した移動元 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	×	V03-00/E
214	Detail Information リスト	選択した移動元 LPAR の詳細情報を表示	×	V03-00/E
215	Destination フレーム		×	V03-00/E
216	Destination ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動先 LPAR を選択	×	V03-00/E
217	Chassis コンボボックス	<p>【Tree View チェックボックスにチェックなし】</p> <p>(1) 移動先 シャーシを選択</p> <p>(2) 移動先 HVM を選択</p> <p>(3) 移動先 LPAR を選択</p> <p>(4) 割り当てるプロセッサグループを選択</p> <p>※ (4) は、HVM バージョン 58-4x、78-4x 以降の HVM を選択している場合利用可能</p>	×	V03-00/E
218	HVM コンボボックス			V03-00/E
219	LPAR コンボボックス			V03-00/E
220	Group コンボボックス			V03-00/E
221	Selected LPAR ラベル	選択した移動先 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	×	V03-00/E
222	Group ラベル	選択した移動先 LPAR のプロセッサグループのグループ番号とグループ名称を表示	×	V03-00/E
223	Detail Information リスト	選択した移動先 LPAR の詳細情報を表示	×	V03-00/E

224		Migration Setting フレーム	×	V03-00/E
225		Migration Option フレーム	×	V03-00/E
226		Shutdown Guest OS (Source) チェックボックス マイグレーション対象の移動元 LPAR のゲスト OS シャットダウンを伴うか選択 【チェックあり】 シャットダウン実行 【チェックなし】(デフォルト) シャットダウン実行しない	×	V03-00/E
227		Activate Destination LPAR チェックボックス マイグレーション後、移動先 LPAR の Activate 実行可否 【チェックあり】(デフォルト) Activate する 【チェックなし】 Activate しない(Deactivated のまま)	×	V03-00/E
228		Guest OS Information (for remote shutdown) フレーム Shutdown Guest OS (Source) チェックボックスに【チェックあり】の場合利用可能	×	V03-00/E
229		OS Type コンボボックス OS タイプを選択	×	V03-00/E
230		IP テキストボックス IP アドレスを入力	×	V03-00/E
231		User ID テキストボックス ユーザ ID を入力	×	V03-00/E
232		Password テキストボックス パスワードを入力	×	V03-00/E
233		Forced shutdown チェックボックス ユーザログイン時のゲスト OS シャットダウンの可否 ゲスト OS が Windows 2008 のみ有効な機能 【チェックあり】 シャットダウン可 【チェックなし】(デフォルト) シャットダウン不可	×	V03-00/E
234		Save ボタン Guest OS Information (for remote shutdown) の設定内容を保存 (移動元 LPAR を選択するとクリック可能になる)	×	V03-00/E
235		Show Config ボタン Migration Information リストで選択した行の移動元、移動先 LPAR の構成情報を表示 Migration Config Viewer ウィンドウの表示／非表示	×	V03-00/E
236		Add ボタン Confirmation ウィンドウを開く (本ウィンドウの必要項目を選択・入力するとクリック可能になる)	×	V03-00/E
237		Close ボタン 本ウィンドウを閉じる	×	V03-00/E
238		Confirmation ウィンドウ	×	V03-00/E
239		Source フレーム 移動元 LPAR 情報を表示	×	V03-00/E
240		Destination フレーム 移動先 LPAR 情報を表示	×	V03-00/E
241		Migration Option フレーム オプション機能情報を表示	×	V03-00/E
242		OK ボタン ポリシーにマイグレーションを登録し、本ウィンドウを閉じる	×	V03-00/E
243		Cancel ボタン 本ウィンドウを閉じる	×	V03-00/E

244	Add Concurrent Maintenance [ポリシー名] ウィンドウ		×	V03-00/E
245	Target Selection フレーム		×	V03-00/E
246	Migratable チェックボックス	<p>【チェックあり】</p> <p>Source ツリービューには ACT または DEACT の LPAR (移動元として選択可能な LPAR) のみ表示</p> <p>Destination ツリービューには Undefined LPAR (移動先として選択可能な LPAR) のみ表示</p> <p>【チェックなし】 (デフォルト)</p> <p>Source ツリービュー、Destination ツリービューに全 LPAR を表示</p>	×	V03-00/E
247	Group チェックボックス	<p>【チェックあり】</p> <p>Source ツリービュー、Destination ツリービューに表示する LPAR をプロセッサグループごとに表示</p> <p>【チェックなし】 (デフォルト)</p> <p>Source ツリービュー、Destination ツリービューに表示する LPAR をプロセッサグループごとに表示しない</p>	×	V03-00/E
248	Tree View チェックボックス	<p>登録 HVM をツリービューまたはコンボボックスで表示</p> <p>【チェックあり】 (デフォルト)</p> <p>登録 HVM をツリービューで表示</p> <p>【チェックなし】</p> <p>登録 HVM をコンボボックスで表示</p>	×	V03-00/E
249	Source フレーム		×	V03-00/E
250	Source ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動元 LPAR を選択	×	V03-00/E
251	Chassis コンボボックス	<p>【Tree View チェックボックスにチェックなし】</p> <p>(1) 移動元 シャーシ を選択</p> <p>(2) 移動元 HVM を選択</p> <p>(3) 移動元 LPAR を選択</p>	×	V03-00/E
252	HVM コンボボックス			V03-00/E
253	LPAR コンボボックス			V03-00/E
254	Selected LPAR ラベル	選択した移動元 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	×	V03-00/E
255	Detail Information リスト	選択した移動元 LPAR の詳細情報を表示	×	V03-00/E
256	Destination フレーム		×	V03-00/E
257	Destination ツリービュー	【Tree View チェックボックスにチェックあり】 移動先 LPAR を選択	×	V03-00/E
258	Chassis コンボボックス	<p>【Tree View チェックボックスにチェックなし】</p> <p>(1) 移動先 シャーシ を選択</p> <p>(2) 移動先 HVM を選択</p> <p>(3) 移動先 LPAR を選択</p> <p>(4) 割り当てるプロセッサグループを選択</p> <p>※ (4) は、HVM バージョン 58-4x、78-4x 以降の HVM を選択している場合利用可能</p>	×	V03-00/E
259	HVM コンボボックス			V03-00/E
260	LPAR コンボボックス			V03-00/E
261	Group コンボボックス			V03-00/E
262	Selected LPAR ラベル	選択した移動先 LPAR の LPAR 番号と LPAR 名称を表示	×	V03-00/E
263	Group ラベル	選択した移動先 LPAR のプロセッサグループのグループ番号とグループ名称を表示	×	V03-00/E
264	Detail Information リスト	選択した移動先 LPAR の詳細情報を表示	×	V03-00/E

265		Migration Setting フレーム		×	V03-00/E
266		Migration Path フレーム		×	V03-00/E
267		Source コンボボックス	移動元 LPAR の Migration Path を選択	×	V03-00/E
268		Destination コンボボックス	移動先 LPAR の Migration Path を選択	×	V03-00/E
269		Rehearsal Execute フレーム		×	V03-00/E
270		Rehearsal ボタン	Confirmation ウィンドウを開く (Migration Path フレームの Source コンボボックスと Destination コンボボックスで Migration Path を選択すると、クリック可能になる)	×	V03-00/E
271		Connectivity Test ボタン	Confirmation ウィンドウを開く (Migration Path フレームの Source コンボボックスと Destination コンボボックスで Migration Path を選択すると、クリック可能になる)	×	V03-00/E
272		Show Rollback ボタン	Rollback WWN ウィンドウを開く (本ウィンドウの必要項目を選択・入力するとクリック可能になる)	×	V03-00/E
273		Show System Logs ボタン	HVM Console ウィンドウの HVM System Logs スクリーンを開く (Migration Path フレームの Source コンボボックスまたは Destination コンボボックスに Migration Path を選択するとクリック可能になる 両方のコンボボックスに Migration Path を選択してクリックするとスクリーンが2枚開く)	×	V03-00/E
274		Show Config ボタン	Migration Information リストで選択した行の移動元、移動先 LPAR の構成情報を表示 Migration Config Viewer ウィンドウの表示／非表示	×	V03-00/E
275	Add ボタン	Confirmation ウィンドウを開く (本ウィンドウの必要項目を選択・入力するとクリック可能になる)	×	V03-00/E	
276	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-00/E	
277	Confirmation ウィンドウ			×	V03-00/E
278	Source フレーム	移動元 LPAR 情報を表示	×	V03-00/E	
279	Destination フレーム	移動先 LPAR 情報を表示	×	V03-00/E	
280	Migration Option フレーム	オプション機能情報を表示	×	V03-00/E	
281	OK ボタン	ポリシーにマイグレーションを登録し、本ウィンドウを閉じる	×	V03-00/E	
282	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-00/E	

283	Migration Config Viewer ウィンドウ		○	V01-00
284	All チェックボックス	【チェックあり】すべての項目を表示する 【チェックなし】すべての項目を非表示にする 【未確定】表示と非表示の項目がある	○	V03-00/D
285	Error チェックボックス	【チェックあり】エラーの項目を表示する 【チェックなし】エラーの項目を非表示にする	○	V03-00/D
286	Warning チェックボックス	【チェックあり】警告の項目を表示する 【チェックなし】警告の項目を非表示にする	○	V03-00/D
287	OK チェックボックス	【チェックあり】正常の項目を表示する 【チェックなし】正常の項目を非表示にする	○	V03-00/D
288	Unchecked チェックボックス	【チェックあり】未確認の項目を表示する 【チェックなし】未確認の項目を非表示にする	○	V03-00/D
289	Unknown チェックボックス	【チェックあり】不明の項目を表示する 【チェックなし】不明の項目を非表示にする	○	V03-00/D
290	Server Configuration リスト	移動元、移動先 LPAR のサーバ構成情報を表示	○	V01-00
291	HBA Configuration リスト	移動元、移動先 LPAR の HBA 構成情報を表示	○	V01-00
292	NIC Configuration リスト	移動元、移動先 LPAR の NIC 構成情報を表示	○	V01-00
293	Export to CSV ボタン	Export to CSV ウィンドウを表示 (CSV に出力)	○	V01-00
294	Export to CSV ウィンドウ		○	V01-00
295	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V01-00
296	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00
297	Migration Path Setting ウィンドウ		○	V03-00/E
298	HVM Selection フレーム		○	V03-00/E
299	ツリービュー	Migration Path 設定対象の項目 (Chassis、HVM) を選択する	○	V03-00/E
300	Information フレーム		○	V03-00/E
301	Chassis	ツリービューで選択したシャーシの情報 ※ツリービューでシャーシを選択したときのみ表示	○	V03-00/E
302	HVM Information	ツリービューで選択した HVM の情報 ※ツリービューで HVM を選択したときのみ表示	○	V03-00/E
303	Selection Migration Path Information	ツリービューで選択したシャーシまたは HVM の Migration Path 情報	○	V03-00/E
304	Migration Path List フレーム		○	V03-00/E
305	Add Row ボタン	Migration Path をリストに追加する	○	V03-00/E
306	Del Rows ボタン	選択した Migration Path をリストから削除する	○	V03-00/E
307	リスト	作成した Migration Path を表示する	○	V03-00/E
308	Save ボタン	Migration Path Setting の設定内容を保存	×	V03-00/E
309	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V03-00/E

310	Configuration Registration ウィンドウ		×	V03-01
311	Machinery Choice フレーム		×	V03-01
312	Machinery コンボボックス	探索する機器の種類を選択 (現在サポートしているのは、Storage のみ)	×	V03-01
313	Input Condition フレーム		×	V03-01
314	IP Range Specification チェックボックス	【チェックあり】 IP アドレスを範囲指定できる 【チェックなし】 IP アドレスは1つのみにする	×	V03-01
315	From テキストボックス	探索範囲の始まりの IP アドレスを指定	×	V03-01
316	To テキストボックス	探索範囲の終わりの IP アドレスを指定	×	V03-01
317	Time Out テキストボックス	1つの IP アドレス探索ごとに設けるタイムアウト 時間を入力(単位:秒) デフォルト設定は 10 秒	×	V03-01
318	Search ボタン	機器を探索 検知した機器は、Machinery List リストに表示 【範囲指定した IP アドレスを探索している最中】 サブウィンドウ (Searching the IP address ウィンドウ)を開く	×	V03-01
319	Searching the IP address ウィンドウ		×	V03-01
320	Cancel ボタン	機器探索を中止	×	V03-01
321	Machinery List リスト		×	V03-01
322	チェックボックス	登録する機器を選択 デフォルトでは、チェックあり	×	V03-01
323	Add ボタン	Machinery List で選択した機器を登録 サブウィンドウ(Confirmation ウィンドウ)を開く	×	V03-01
324	Confirmation ウィンドウ		×	V03-01
325	OK ボタン	選択した機器を登録 サブウィンドウ(Registering the HVM ウィンドウ)を開く	×	V03-01
326	キャンセルボタン	選択した機器の登録を取り止める	×	V03-01
327	Registering the Storage ウィンドウ		×	V03-01
328	Cancel ボタン	選択した機器の登録を中止	×	V03-01
329	Close ボタン	【Machinery List に HVM がある場合】 サブウィンドウ(Confirmation ウィンドウ)を開く 【Machinery List に HVM がない場合】 機器登録を終了する	×	V03-01
330	Confirmation ウィンドウ		×	V03-01
331	OK ボタン	機器登録を終了する	×	V03-01
332	キャンセルボタン	本ウィンドウを閉じる(機器登録を継続する)	×	V03-01



333	Storage Password Setting ウィンドウ		○	V03-01
334	Password Setting フレーム		○	V03-01
335	Administration Mode チェックボックス	<b>【チェックあり】</b> Administration Mode のパスワードを使用する <b>【チェックなし】</b> Administration Mode のパスワードを使用しない	×	V03-01
336	Password テキストボックス	Administration Mode のパスワードを設定する	×	V03-01
337	Unit Name	登録されているストレージ名	×	V03-01
338	Security Type	パスワードの種類 デフォルトは Not used	×	V03-01
339	User ID	選択したパスワードの種類に対してのユーザ ID	×	V03-01
340	Password	選択したパスワードの種類に対してのパスワード	×	V03-01
341	Save password setting チェックボックス	<b>【チェックあり】</b> 入力したパスワードを保存する <b>【チェックなし】</b> 入力したパスワードを保存しない 既存の保存したパスワードも消去する	×	V03-01
342	OK ボタン	パスワードの入力を終了する	○	V03-01
343	キャンセルボタン	パスワードの入力を取りやめる	○	V03-01

344	Register Migration WWN Setting ウィンドウ		○	V03-01
345	All ラジオボタン	表示可能なすべてのマイグレーション WWN を表示する	○	V03-01
346	Not Registered ラジオボタン	登録されていないマイグレーション WWN を表示する	○	V03-01
347	Registered ラジオボタン	登録されているマイグレーション WWN を表示する	○	V03-01
348	Update ボタン	HVM と Storage の情報を更新する	○	V03-01
349	HVM Selection フレーム		○	V03-01
350	ツリービュー	表示対象の項目 (Chassis、HVM、LPAR) を選択する	○	V03-01
351	Storage Selection フレーム		○	V03-01
352	ツリービュー	表示対象の項目 (Storage) を選択する	○	V03-01
353	WWN List フレーム		○	V03-01
354	Display Mode ラジオボタン	リスト中の表示形式を切り替える Single Row:1 つの WWPN が登録されているストレージマシンのすべてのポートを 1 行で表示する Multiple Rows:ストレージマシンに登録されているポートを 1 行ずつ表示する	○	V03-01
355	Detail チェックボックス	リスト中の詳細情報の表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中の詳細情報を表示する 【チェックなし】(デフォルト) リスト中の詳細情報を表示しない	○	V03-01
356	Select チェックボックス	【チェックをつける】操作対象にする 【チェックを外す】操作対象から外す	○	V03-01
357	Last Status 列	最終ステータスを表示	○	V03-01
358	Chassis ID 列	Chassis ID を表示	○	V03-01
359	HVM IP Address 列	HVM IP Address を表示	○	V03-01
360	HVM ID 列	HVM ID を表示	○	V03-01
361	LPAR No. 列	LPAR Number を表示	○	V03-01
362	Slot No. 列	Slot Number を表示	○	V03-01
363	Port No. 列	Port Number を表示	○	V03-01
364	vfcID 列	FC に設定されている vfcWWN-ID を表示	○	V03-01
365	WWPN 列	FC の WWPN を表示	○	V03-01
366	State(Vfc) 列	FC の WWPN の登録状況を表示	○	V03-01
367	Migration WWPN 列	マイグレーション WWPN を表示	○	V03-01
368	State(Mig) 列	マイグレーション WWPN の登録状況を表示	○	V03-01
369	Assignable(Mig) 列	過去のログイン状況を表示	○	V03-01
370	Unit Name 列	ユニット名を表示	○	V03-01
371	Host Group Port No. 列	ホストグループ Port Number を表示	○	V03-01
372	Host Group No. 列	ホストグループ Number を表示	○	V03-01
373	Host Group Name 列	ホストグループ名を表示	○	V03-01
374	Storage Type 列	ストレージタイプを表示	○	V03-01
375	WWPN Nickname 列	FC の WWPN のニックネームを表示	○	V03-01
376	Migration WWPN Nickname 列	マイグレーション WWPN のニックネームを表示	○	V03-01
377	Array IP Address/Host Name/Device Name ctIO 列	ストレージのコントローラ 0 の Array IP Address またはホスト名またはデバイス名を表示	○	V03-01

378	Array IP Address/Host Name/Device Name ct11 列	ストレージのコントローラ 1 の Array IP Address またはホスト名またはデバイス名を表示	○	V03-01
379	Add Storage ボタン	Configuration Registration ウィンドウを表示する	×	V03-01
380	Password Setting ボタン	Storage Password Setting ウィンドウを表示する	×	V03-01
381	Add ボタン	Confirmation ウィンドウを表示する	×	V03-01
382	Confirmation ウィンドウ		×	V03-01
383	OK ボタン	選択されたマイグレーション WWPN をストレージ に登録する	×	V03-01
384	Cancel ボタン	マイグレーション WWPN 登録を取りやめる	×	V03-01
385	Nickname ボタン	Nickname Setting ウィンドウを表示する	×	V03-01
386	Nickname Setting ウィンドウ		×	V03-01
387	Nickname List フレーム		×	V03-01
388	Default ボタン	すべてのニックネームをデフォルト値に設定	×	V03-01
389	Clear ボタン	すべてのニックネームを空文字に設定	×	V03-01
390	Nickname List リスト	選択されたマイグレーション WWPN のニックネーム一覧を表示	×	V03-01
391	Execute ボタン	選択されたマイグレーション WWPN のニックネーム をストレージに設定する	×	V03-01
392	Cancel ボタン	ニックネームの設定を取りやめる	×	V03-01
393	Delete	Confirmation ウィンドウを表示する		
394	Confirmation ウィンドウ		×	V03-01
395	OK ボタン	選択されたマイグレーション WWPN をストレージ から削除する	×	V03-01
396	Cancel ボタン	マイグレーション WWPN 削除を取りやめる	×	V03-01
397	Export CSV ボタン	サブウィンドウ (Input CSV Filename ウィンドウ) を開く	○	V03-01
398	Input CSV Filename ウィンドウ		○	V03-01
399	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-01
400	Close ボタン	Register Migration WWN Setting ウィンドウを閉 じる	○	V03-01
401	Last update time ステータス	最終更新時間を表示する	○	V03-01
402	Not Registered ステータス	未登録状態数を表示する	○	V03-01
403	Registered ステータス	登録状態数を表示する	○	V03-01
404	Unknown ステータス	不明状態数を表示する	○	V03-01
405	Total ステータス	すべての総数を表示する	○	V03-01
406	Migration History ウィンドウ		○	V01-00
407	リスト	LPAR ごとにマイグレーションの移動履歴 (HVM ID、 LPAR No.) を表示する (1 ページで 5 回分の履歴を表示)	○	V01-00
408	<< ボタン	最初のページを表示	○	V01-00
409	< ボタン	1 つ前のページを表示	○	V01-00
410	> ボタン	次のページを表示	○	V01-00
411	>> ボタン	最終ページを表示	○	V01-00
412	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V01-00

## 8 ファームウェア更新

※1 参照モードで操作及び表示が可能な項目を示す

※2 導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	参照 (※1)	導入/変更 Ver. (※2)
1	Main ウィンドウ (F/W Update タブ)		○	V02-01
2	Menu フレーム		○	V02-01
3	F/W Update ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) を開く	×	V02-01
4	Show Version ボタン	Firmware Version List ウィンドウを開く	○	V02-01
5	F/W Update History フレーム		○	V02-01
6	Detail チェックボックス	F/W Update History リスト中の詳細情報の表示 / 非表示を切り替える 【チェックあり】 F/W Update History リスト中に詳細情報を表示する 【チェックなし】 (デフォルト) F/W Update History リスト中に詳細情報を表示しない	○	V02-01
7	Show F/W Update History チェックボックス	F/W Update History ウィンドウの表示 / 非表示を切り替える 【チェックあり】 F/W Update History ウィンドウを表示する 【チェックなし】 (デフォルト) F/W Update History ウィンドウを表示しない	○	V02-01
8	F/W Update History リスト	ファームウェア更新履歴を表示する	○	V02-01
9	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード)		×	V02-01
10	System List フレーム		×	V02-01
11	コンボボックス	HVM ファームウェア更新対象のシステム構成を選択する All configuration (デフォルト) 選択したシステムの構成は HVM List フレーム内のツリービューに表示する	×	V02-01
12	Update ボタン / Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	【Update ボタンをクリックした場合】 選択したシステムに登録されている HVM 情報を更新する 【Update Cancel ボタンをクリックした場合】 HVM 情報の更新を取り止める	×	V02-01
13	HVM List フレーム		×	V02-01
14	ツリービュー	詳細情報を表示する項目 (Chassis、HVM) を選択する (選択した項目の詳細情報はリストに表示する)	×	V02-01
15	リスト (Chassis、HVM 情報)	ツリービューで選択した項目 (Chassis、HVM) の詳細情報を表示する	×	V02-01
16	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step2 : Select Update Version ウィザード) を進む	×	V02-01

17	Close ボタン	Close HVM Firmware Update ウィンドウを開く	×	V02-01
18	Close HVM Firmware Update ウィンドウ (Close ボタンをクリックした場合)		×	V02-01
19	OK ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウを閉じる	×	V02-01
20	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-01
21	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step2 : Select Update Version ウィザード)		×	V02-01
22	BladeSymphony 2000-DP チェックボックス	更新後の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェア選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】 (デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	×	V02-01
23	コンボボックス	更新後の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアバージョンを選択する	×	V02-01
24	Select ボタン	更新後の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアの登録ディレクトリを指定する	×	V02-01
25	BladeSymphony 2000-MP チェックボックス	更新後の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェア選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】 (デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	×	V02-01
26	コンボボックス	更新後の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェアバージョンを選択する	×	V02-01
27	Select ボタン	更新後の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェアの登録ディレクトリを指定する	×	V02-01
28	BladeSymphony 320 チェックボックス	更新後の BladeSymphony 320 用 HVM ファームウェア選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】 (デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	×	V02-01
29	コンボボックス	更新後の BladeSymphony 320 用 HVM ファームウェアバージョンを選択する	×	V02-01
30	Select ボタン	更新後の BladeSymphony 320 用 HVM ファームウェアの登録ディレクトリを指定する	×	V02-01
31	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) に戻る	×	V02-01
32	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step3 : Select Target Version ウィザード) に進む	×	V02-01

33	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) の「Close ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-01
34	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step3 : Select Target Version ウィザード)		×	V02-01
35	BladeSymphony 2000-DP チェックボックス	更新対象の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM 選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】(デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	×	V02-01
36	コンボボックス (Target HVM F/W Version : From)	更新対象の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアバージョン(最古)を選択する	×	V02-01
37	Target Range チェックボックス	更新対象の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアバージョン(最新)選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】(デフォルト) HVM ファームウェアバージョン(最新)選択を有効にする 【チェックなし】 HVM ファームウェアバージョン(最新)選択を無効にする	×	V02-01
38	コンボボックス (Target HVM F/W Version : To)	更新対象の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアバージョン(最新)を選択する	×	V02-01
39	Update Version	更新後の BladeSymphony 2000-DP 用 HVM ファームウェアバージョンを表示する	×	V02-01
40	BladeSymphony 2000-MP チェックボックス	更新対象の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM 選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】(デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	×	V02-01
41	コンボボックス (Target HVM F/W Version : From)	更新対象の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェアバージョン(最古)を選択する	×	V02-01
42	Target Range チェックボックス	更新対象の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェアバージョン(最新)選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】(デフォルト) HVM ファームウェアバージョン(最新)選択を有効にする 【チェックなし】 HVM ファームウェアバージョン(最新)選択を無効にする	×	V02-01
43	コンボボックス (Target HVM F/W Version : To)	更新対象の BladeSymphony 2000-MP 用 HVM ファームウェアバージョン(最新)を選択する	×	V02-01

44	Update Version	更新後の BladeSymphony2000-MP 用 HVM ファームウェアバージョンを表示する	×	V02-01
45	BladeSymphony 320 チェックボックス	更新対象の BladeSymphony 320 用 HVM 選択の有効/無効を切り替える 【チェックあり】 HVM ファームウェア選択を有効にする 【チェックなし】(デフォルト) HVM ファームウェア選択を無効にする	×	V02-01
46	コンボボックス (Target HVM F/W Version : From)	更新対象の BladeSymphony320 用 HVM ファームウェアバージョン(最古)を選択する	×	V02-01
47	Target Range チェックボックス	更新対象の BladeSymphony320 用 HVM ファーム ウェアバージョン(最新)選択の有効/無効を切 り替える 【チェックあり】(デフォルト) HVM ファームウェアバージョン(最新)選択を有 効にする 【チェックなし】 HVM ファームウェアバージョン(最新)選択を無 効にする	×	V02-01
48	コンボボックス (Target HVM F/W Version : To)	更新対象の BladeSymphony320 用 HVM ファームウェアバージョン(最新)を選択する	×	V02-01
49	Update Version	更新後の BladeSymphony320 用 HVM ファームウェアバージョンを表示する	×	V02-01
50	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step2 : Select Update Version ウィザード) に戻る	×	V02-01
51	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step4 : Select Target HVM ウィザード)に進 む	×	V02-01
52	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) の「Close ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-01

53	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step4 : Select Target HVM ウィザード)		×	V02-01
54	Select HVM List フレーム		×	V02-01
55	ツリービュー		×	V02-01
56	チェックボックス	更新対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 更新対象の HVM に選択する 【チェックなし】 更新対象の HVM に選択しない	×	V02-01
57	リスト		×	V02-01
58	Detail チェックボックス	リスト中の HVM の詳細情報の表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中の HVM の詳細情報を表示する 【チェックなし】(デフォルト) リスト中の HVM の詳細情報を表示しない	×	V02-01
59	チェックボックス	更新対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 更新対象の HVM に選択する 【チェックなし】 更新対象の HVM に選択しない	×	V02-01
60	リスト (更新対象 HVM 情報)		×	V02-01
61	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step3 : Select Target Version ウィザード) に戻る	×	V02-01
62	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step5 : Set Verup License Key ウィザード) に進む	×	V02-01
63	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) の「Close ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-01
64	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step5 : Set Verup License Key ウィザード)		×	V02-01
65	Select Verup License Key File ボタン	バージョンアップ用ライセンスキーファイルを選択する	×	V02-01
66	Verup License Key Setting List フレーム		×	V02-01
67	Detail チェックボックス	リスト中 (更新対象 HVM 情報) の詳細情報の表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中 (更新対象 HVM 情報) に詳細情報を表示する 【チェックなし】(デフォルト) リスト中 (更新対象 HVM 情報) に詳細情報を表示しない	×	V02-01
68	リスト (更新対象 HVM 情報)		×	V02-01
69	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step4 : Select Target HVM ウィザード) に戻る	×	V02-01



70	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step6 : Check Connection ウィザード)に進む	×	V02-01
71	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) の「Close ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-01
72	HVM Firmware Update ウィンドウ(Step6 : Check Connection ウィザード)		×	V02-01
73	Password Setting List フレーム		×	V02-01
74	Detail チェックボックス	リスト中(更新対象 HVM 情報)の詳細情報の 表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中(更新対象 HVM 情報)に詳細情報を表示 する 【チェックなし】(デフォルト) リスト中(更新対象 HVM 情報)に詳細情報を表示 しない	×	V02-01
75	リスト(更新対象 HVM 情報)	更新対象 HVM 情報を表示、HVM Web システムの ログインパスワードを入力する	×	V02-01
76	Information ボタン	Information ウィンドウを開く 本ボタンは Next ボタンクリック後に表示され る	×	V02-01
77	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step5 : Set Verup License Key ウィザード) に戻る	×	V02-01
78	Next ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step7 : Execute Update ウィザード)に進む 本ボタンクリックにより HVM Web システムとの 接続確認を行うためウィザードの更新までに 少々時間を要します	×	V02-01
79	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) の「Close ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-01

80	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step7 : Execute Update ウィザード)		×	V02-01
81	HVM F/W Update List フレーム		×	V02-01
82	Detail チェックボックス	リスト中 (更新対象 HVM 情報) の詳細情報の表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中 (更新対象 HVM 情報) に詳細情報を表示する 【チェックなし】 (デフォルト) リスト中 (更新対象 HVM 情報) に詳細情報を表示しない	×	V02-01
83	リスト (更新対象 HVM 情報)	更新対象 HVM 情報を表示する	×	V02-01
84	Back ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step6 : Check Connection ウィザード) に戻る	×	V02-01
85	Next ボタン	Confirm ウィンドウを開く	×	V02-01
86	Close ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) の「Close ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-01
87	Confirm ウィンドウ (Next ボタンをクリックした場合)		×	V02-01
88	OK ボタン	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step8 : Update Status ウィザード) に進み HVM ファームウェアの更新を実行する	×	V02-01
89	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-01
90	HVM Firmware Update ウィンドウ (Step8 : Update Status ウィザード)		×	V02-01
91	HVM F/W Update List フレーム		×	V02-01
92	Detail チェックボックス	リスト中 (更新対象 HVM 情報) の詳細情報の表示/非表示を切り替える 【チェックあり】 リスト中 (更新対象 HVM 情報) に詳細情報を表示する 【チェックなし】 (デフォルト) リスト中 (更新対象 HVM 情報) に詳細情報を表示しない	×	V02-01
93	チェックボックス	更新対象の HVM を選択する 【チェックあり】 更新対象の HVM に選択する 【チェックなし】 (デフォルト) 更新対象の HVM に選択しない	×	V02-01
94	リスト (更新対象 HVM 情報)	更新対象 HVM 情報を表示する	×	V02-01
95	Information ボタン	Information ウィンドウを開く	×	V02-01
96	Retry ボタン	HVM ファームウェアの更新を再実行する 本ボタンは HVM ファームウェア更新が異常終了した場合に有効になる	×	V02-01
97	Finish ボタン	Close ウィンドウを開く 本ボタンは HVM ファームウェア更新が正常終了した場合に有効になる	×	V02-01
98	Close ボタン	Close ウィンドウを開く	×	V02-01
99	Close ウィンドウ (Finish ボタン、Close ボタンをクリックした場合)		×	V02-01

100		OK ボタン	本ウインドウ、HVM Firmware Update ウインドウを閉じる	×	V02-01
101		Cancel ボタン	本ウインドウを閉じる	×	V02-01
102	Firmware Version List ウインドウ			○	V02-01
103		System List フレーム	HVM Firmware Update ウインドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) の「System List フレーム」の説明をご参照ください	○	V02-01
104		Update ボタン/Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	HVM Firmware Update ウインドウ (Step1 : Select System Config ウィザード) の「Update ボタン/Update Cancel ボタン」の説明をご参照ください	○	V02-01
105		Export ボタン	F/W Version List の表示内容を CSV ファイルに出力する	○	V02-01
106		F/W Version List	HVM の詳細情報を表示する	○	V02-01
107		Close ボタン	本ウインドウを閉じる	○	V02-01
108	F/W Update History ウインドウ			○	V02-01
109		リスト	HVM ごとにファームウェアの更新履歴 (HVM ID、ファームウェアバージョン) を表示する (1 ページで 5 回分の履歴を表示)	○	V02-01
110		<< ボタン	最初のページを表示する	○	V02-01
111		< ボタン	1 つ前のページを表示する	○	V02-01
112		> ボタン	次のページを表示する	○	V02-01
113		>> ボタン	最終ページを表示する	○	V02-01
114		Close ボタン	本ウインドウを閉じる	○	V02-01

## 9 Remote LPAR Control

※1 参照モードで操作及び表示が可能な項目を示す

※2 導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	参照 (※1)	導入/変更 Ver. (※2)
1	Main ウィンドウ (Remote LPAR Control タブ)		○	V03-02
2	Menu フレーム		○	V03-02
3	Status アイコン	サービスの状態を表示する	○	V03-02
4	Update ボタン /Update Cancel ボタン (Update 実行中は Update Cancel ボタンになる)	【Update ボタンをクリックした場合】 登録した HVM 情報を更新 【Update Cancel ボタンをクリックした場合】 HVM 情報の更新を取り止める	○	V01-00
5	Remote LPAR Control Menu フレーム		○	V03-02
6	Setting ボタン	Remote LPAR Control Setting ウィンドウを表示する	○	V03-02
7	Edit User ボタン	Remote LPAR Control User Setting ウィンドウを表示する	○	V03-02
8	Service Status ボタン	Remote LPAR Control Service Status ウィンドウを表示する	○	V03-02

9	Remote LPAR Control Setting ウィンドウ		○	V03-02
10	Web Server Connection メニュー		○	V03-02
11	TCP Server Port テキストボックス	Web サーバとの通信で利用する TCP ポートを設定する	○	V03-02
12	Web Server IP Address1 テキストボックス	管理サーバとの通信で利用する Web サーバの IP アドレスを設定する	○	V03-02
13	Web Server IP Address2 テキストボックス	管理サーバとの通信で利用する Web サーバの IP アドレスを設定する	○	V03-02
14	Web Server IP Address3 テキストボックス	管理サーバとの通信で利用する Web サーバの IP アドレスを設定する	○	V03-02
15	Web Server IP Address4 テキストボックス	管理サーバとの通信で利用する Web サーバの IP アドレスを設定する	○	V03-02
16	Web Application Setting メニュー		○	V03-02
17	Max No. of Users	Web アプリケーションに接続する最大 OS 管理者数	○	V03-02
18	TimeOut	Web アプリケーションの接続タイムアウト時間	○	V03-02
19	HVM Web System Setting メニュー		○	V03-02
20	Show ボタン	HVM Web System Setting ウィンドウを表示する	○	V03-02
21	HVM Web System Setting ウィンドウ	登録された HVM 用の HVM Web システムのユーザ ID またはパスワードを表示する	○	V03-02
22	Password Setting フレーム		○	V03-02
23	HVM IP Address 列	HVM IP アドレスを表示する	○	V03-02
24	HVM ID 列	HVM ID を表示する	○	V03-02
25	User ID 列	ユーザ ID を表示する	○	V03-02
26	Password 列	パスワードを表示する	○	V03-02
27	OK ボタン	設定した内容を反映し、本ウィンドウを閉じる	×	V03-02
28	Cancel ボタン	設定した内容をキャンセルする	○	V03-02
29	OK ボタン	設定した内容を反映し、本ウィンドウを閉じる	×	V03-02
30	Cancel ボタン	設定した内容をキャンセルする	○	V03-02

31	Remote LPAR Control User Setting ウィンドウ		○	V03-02
32	User Information フレーム		○	V03-02
33	Display Mode ラジオボタン	ユーザ情報の表示モードを選択する All: 全ユーザを表示する User: 選択されたユーザ情報のみを表示する	○	V03-02
34	Registered User List フレーム		○	V03-02
35	User ID 列	登録したユーザのユーザ ID を表示する	○	V03-02
36	HVM IP Address 列	【Display Mode が All の場合のみ表示】 HVM IP アドレスを表示する	○	V03-02
37	HVM ID 列	【Display Mode が All の場合のみ表示】 HVM ID を表示する	○	V03-02
38	#列	【Display Mode が All の場合のみ表示】 LPAR 番号を表示する	○	V03-02
39	LPAR Name 列	【Display Mode が All の場合のみ表示】 LPAR 名称を表示する	○	V03-02
40	Host Name 列	【Display Mode が All の場合のみ表示】 設定したホスト名を表示する	○	V03-02
41	LPAR List フレーム		○	V03-02
42	HVM IP Address 列	【Display Mode が User の場合のみ表示】 HVM IP アドレスを表示する	○	V03-02
43	HVM ID 列	【Display Mode が User の場合のみ表示】 HVM ID を表示する	○	V03-02
44	#列	【Display Mode が User の場合のみ表示】 LPAR 番号を表示する	○	V03-02
45	LPAR Name 列	【Display Mode が User の場合のみ表示】 LPAR 名称を表示する	○	V03-02
46	Host Name 列	【Display Mode が User の場合のみ表示】 設定したニックネームを表示する	○	V03-02
47	List Operation フレーム		×	V03-02
48	Add User ボタン	Remote LPAR Control User Setting ウィンドウ (編集用) を表示する	×	V03-02
49	Edit User ボタン	Edit User ウィンドウを表示する	×	V03-02
50	Edit User ウィンドウ		×	V03-02
51	User ID 列	変更するユーザ ID を選択する	×	V03-02
52	OK ボタン	【変更するユーザ ID を選択した場合のみ活性】 Remote LPAR Control User Setting ウィンドウ (編集用) を表示する	×	V03-02
53	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-02
54	Remove User ボタン	Remove User ウィンドウを表示する	×	V03-02
55	Remove User ウィンドウ		×	V03-02
56	チェックボックス列	削除するユーザ ID を選択する	×	V03-02
57	User ID 列	削除するユーザ ID を選択する	×	V03-02
58	OK ボタン	【削除するユーザ ID を選択した場合のみ活性】 選択したユーザ ID を削除する	×	V03-02
59	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V03-02

60	Export CSV ボタン	Input CSV Filename ウィンドウを表示する	○	V03-02
61	Input CSV Filename ウィンドウ		○	V03-02
62	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		○	V03-02
63	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V03-02
64	Remote LPAR Control User Setting ウィンドウ(編集用)		×	V03-02
65	User ID テキストボックス	ユーザ ID を入力する	×	V03-02
66	Password テキストボックス	パスワードを入力する	×	V03-02
67	LPAR Selection フレーム		×	V03-02
68	ツリービュー	OS 管理者に操作許可を与える LPAR を選択する	×	V03-02
69	Selected LPAR フレーム		×	V03-02
70	HVM IP Address 列	選択された LPAR を含む HVM の IP アドレスを表示する	×	V03-02
71	HVM ID 列	選択された LPAR を含む HVM の HVM ID を表示する	×	V03-02
72	#列	選択された LPAR の番号を表示する	×	V03-02
73	LPAR Name 列	選択された LPAR の名称を表示する	×	V03-02
74	Host Name 列	選択された LPAR に設定したニックネームを表示する	×	V03-02
75	OK ボタン	編集内容を保存し、本ウィンドウを閉じる	×	V03-02
76	Cancel ボタン	編集内容を破棄し、本ウィンドウを閉じる	×	V03-02

77	Remote LPAR Control Service Status ウィンドウ		○	V03-02
78	Service Status フレーム	サービスの状態や OS 管理者のログイン状態を表示する	○	V03-02
79	Status アイコン	サービスの状態を表示する	○	V03-02
80	Start ボタン	サービスをスタートする	×	V03-02
81	Stop ボタン	サービスをストップする	×	V03-02
82	User List フレーム		○	V03-02
83	チェックボックス列	【チェックあり】 Event Log フレームにイベントログが表示される 【チェックなし】 Event Log フレームにイベントログが表示されない	○	V03-02
84	User ID 列	Virtage Navigator に登録された OS 管理者のユーザ ID を表示する	○	V03-02
85	Status 列	Web アプリケーションへの接続状態を表示する	○	V03-02
86	Login Time 列	Web アプリケーションへの最終ログイン時刻を表示する	○	V03-02
87	Last Access Time 列	Web アプリケーションの最終操作時刻を表示する	○	V03-02
88	List Operation フレーム		×	V03-02
89	Disconnect ボタン	User List フレーム内のチェックボックスにチェックをつけたユーザの Web アプリケーションへの接続を切断する	×	V03-02
90	Event Log フレーム		○	V03-02
91	Level 列	イベントのレベルを表示する	○	V03-02
92	Date 列	イベントが発生した日時を表示する	○	V03-02
93	Code 列	イベントコードを表示する	○	V03-02
94	User ID 列	イベントが発生した OS 管理者のユーザ ID を表示する	○	V03-02
95	Type 列	イベントのタイプを表示する	○	V03-02
96	Event 列	イベントの内容を表示する	○	V03-02
97	Action 列	イベントに対して講じるべき対策を表示する	○	V03-02
98	Close ボタン	Remote LPAR Control Service Status ウィンドウを閉じる	○	V03-02



# 10 ソリューション

※1 参照モードで操作及び表示が可能な項目を示す

※2 導入または表示位置/名称を変更した最終バージョンを示す

No.	操作、表示対象	説明	参照 (※1)	導入/ 変更 Ver. (※2)
1	Main ウィンドウ (Solution タブ)		○	V02-03
2	Easy Start ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step1 : Load HVM Setting File ウィザード)を開く	×	V02-03
3	Easy Start History ボタン	Easy Start History ウィンドウを開く	○	V02-03
4	Easy Start ウィンドウ (Step1 : Load HVM Setting File ウィザード)		×	V02-03
5	HVM List フレーム		×	V02-03
6	Import ボタン	HVM 設定ファイルを選択してください ウィンドウを開く	×	V02-03
7	HVM 設定ファイルを選択してください、ウィンドウ (Easy Start ウィンドウの Import ボタンクリック時に開くウィンドウ)		×	V02-03
8	開くボタン	選択した HVM 設定ファイルを読み込む	×	V02-03
9	キャンセルボタン	HVM 設定ファイルの読み込みを取り止める	×	V02-03
10	Delete ボタン	Confirm ウィンドウを開く	×	V02-03
11	Confirm ウィンドウ		×	V02-03
12	リスト	削除対象の HVM を表示	×	V02-03
13	OK ボタン	削除対象の HVM をリストより削除	×	V02-03
14	Cancel ボタン	HVM の削除を取り止める	×	V02-03
15	リスト		×	V02-03
16	チェックボックス	設定対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 設定対象の HVM に選択する 【チェックなし】 設定対象の HVM に選択しない	×	V02-03
17	リスト (設定対象 HVM 情報)	設定対象 HVM の情報を表示する	×	V02-03
18	Next ボタン	Load HVM Setting File を開く	×	V02-03
19	Load HVM Setting File ウィンドウ (Next ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
20	YES ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step2 : Connection to SVP ウィザード)に進む	×	V02-03
21	NO ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
22	Close ボタン	Close ウィンドウを開く	×	V02-03
23	Close ウィンドウ (Close ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
24	OK ボタン	Easy Start ウィンドウを閉じる	×	V02-03
25	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03

26	Easy Start ウィンドウ (Step2 : Connection to SVP ウィザード)		×	V02-03
27	HVM List フレーム		×	V02-03
28	リスト		×	V02-03
29	チェックボックス	設定対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 設定対象の HVM に選択する 【チェックなし】 設定対象の HVM に選択しない	×	V02-03
30	リスト (設定対象 HVM 情報)	設定対象 HVM の情報を表示、SVP ログイン用に SVP IP アドレス、SVP ログインユーザ ID、および SVP ログインパスワードを入力する	×	V02-03
31	Back ボタン	Confirm ウィンドウを開く	×	V02-03
32	Confirm ウィンドウ (Back ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
33	OK ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step1 : Load HVM Setting File ウィザード)に戻る	×	V02-03
34	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
35	Next ボタン	【実行対象の HVM がある場合】 Confirm ウィンドウを開く 【実行対象の HVM がない場合】 Easy Start ウィンドウ (Step3 : Initial Setting ウィザード)に進む	×	V02-03
36	Confirm ウィンドウ (Next ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
37	OK ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step3 : Initial Setting ウィザード)に進む	×	V02-03
38	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
39	Close ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step1 : Load HVM Setting File ウィザード)の「Close ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-03
40	Easy Start ウィンドウ (Step3 : Initial Setting ウィザード)		×	V02-03
41	HVM List フレーム		×	V02-03
42	リスト		×	V02-03
43	チェックボックス	設定対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 設定対象の HVM に選択する 【チェックなし】 設定対象の HVM に選択しない	×	V02-03
44	リスト (設定対象 HVM 情報)	設定対象 HVM の情報を表示する	×	V02-03
45	Stop ボタン (実行中の HVM の Step が HVM Powering ON になっている時のみ表示)	Stop HVM ウィンドウを開く	×	V02-03

46	Stop HVM ウィンドウ (Stop ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
47	Powering HVM List フレーム		×	V02-03
48	リスト		×	V02-03
49	チェックボックス	処理停止対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 処置停止対象の HVM に選択する 【チェックなし】 処理停止対象の HVM に選択しない	×	V02-03
50	リスト (処理停止対象 HVM 情報)	処理停止対象 HVM の情報を表示する	×	V02-03
51	OK ボタン	処理停止対象 HVM の実行を停止する	×	V02-03
52	Cancel ボタン	処理停止対象 HVM の実行の停止を取り止める	×	V02-03
53	Back ボタン	Confirm ウィンドウを開く	×	V02-03
54	Confirm ウィンドウ (Back ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
55	OK ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step2 : Connection to SVP ウィザード) に戻る	×	V02-03
56	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
57	Next ボタン	【実行対象の HVM がある場合】 Confirm ウィンドウを開く 【実行対象の HVM がない場合】 Easy Start ウィンドウ (Step4 : LPAR Setting ウィザード)に進む	×	V02-03
58	Confirm ウィンドウ (Next ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
59	OK ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step4 : LPAR Setting ウィザード)に進む	×	V02-03
60	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
61	Close ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step1 : Load HVM Setting File ウィザード)の「Close ボタン」の説明をご参照ください	×	V02-03

62	Easy Start ウィンドウ (Step4 : LPAR Setting ウィザード)		×	V02-03
63	HVM List フレーム		×	V02-03
64	リスト		×	V02-03
65	チェックボックス	設定対象の HVM を選択する 【チェックあり】(デフォルト) 設定対象の HVM に選択する 【チェックなし】 設定対象の HVM に選択しない	×	V02-03
66	アイコン	エラーや警告がある時にダブルクリック するとエラーや警告の詳細ウィンドウを 表示する	×	V02-03
67	コンボボックス	設定完了後の HVM 搭載ブレードの 電源状態を選択する	×	V02-03
68	リスト (設定対象 HVM 情報)	設定対象 HVM の情報を表示する	×	V02-03
69	View ボタン	Configuration Comparison ウィンドウを 開く	×	V02-03
70	Configuration Comparison ウィンドウ (View ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
71	Report ボタン	サブウィンドウ (フォルダの参照ウイン ドウ) を開く	×	V02-03
72	フォルダの参照ウィンドウ		×	V02-03
73	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		×	V02-03
74	Configuration Comparison List フレーム		×	V02-03
75	リスト	HVM 設定ファイルと設定対象 HVM (設定前 のみ) の差分情報を表示する	×	V02-03
76	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
77	Back ボタン	Confirm ウィンドウを開く	×	V02-03
78	Confirm ウィンドウ (Back ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
79	OK ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step3 : Initial Setting ウィザード) に戻る	×	V02-03
80	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
81	Next ボタン	Confirm ウィンドウを開く	×	V02-03
82	Confirm ウィンドウ (Next ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
83	OK ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step5 : Setting Result ウィザード) に 進む	×	V02-03
84	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
85	Close ボタン	Easy Start ウィンドウ (Step1 : Load HVM Setting File ウィザ ード) の「Close ボタン」の説明をご参照 ください	×	V02-03

86	Easy Start ウィンドウ (Step5 : Setting Result ウィザード)		×	V02-03
87	HVM List フレーム		×	V02-03
88	リスト		×	V02-03
89	リスト (設定対象 HVM 情報)	設定対象 HVM の情報を表示する	×	V02-03
90	View ボタン	Configuration Comparison ウィンドウを開く	×	V02-03
91	Configuration Comparison ウィンドウ		×	V02-03
92	Report ボタン	サブウィンドウ (フォルダの参照ウィンドウ) を開く	×	V02-03
93	フォルダの参照ウィンドウ		×	V02-03
94	[本ウィンドウは Windows の標準機能に準拠]		×	V02-03
95	Configuration Comparison List フレーム		×	V02-03
96	リスト	HVM 設定ファイルと設定対象 HVM (設定前と設定後) の差分情報を表示する	×	V02-03
97	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
98	Finish ボタン	Confirm ウィンドウを開く	×	V02-03
99	Confirm ウィンドウ (Finish ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
100	OK ボタン	本ウィンドウ、Easy Start ウィンドウを閉じる	×	V02-03
101	Cancel ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
102	Easy Start History ウィンドウ		○	V02-03
103	Easy Start History List フレーム		○	V02-03
104	アイコン	エラーや警告がある時にダブルクリックするとエラーや警告の詳細ウィンドウを表示する	○	V02-03
105	リスト	Easy Start の実行履歴を表示する	○	V02-03
106	Delete ボタン	Easy Start History ウィンドウを開く	×	V02-03
107	Easy Start History ウィンドウ (Delete ボタンをクリックした場合)		×	V02-03
108	Yes ボタン	選択中の実行履歴を削除する	×	V02-03
109	No ボタン	本ウィンドウを閉じる	×	V02-03
110	Close ボタン	本ウィンドウを閉じる	○	V02-03

# 11 メッセージ一覧

本章では、Virtage Navigator が出力するメッセージを紹介します。

メッセージについては、メッセージコードの先頭の 4 桁をご確認いただくことにより、Virtage Navigator のどの機能のメッセージに相当するのか判断することができます。

表 11-1 メッセージコードの分類

メッセージコード 先頭 4 桁	Virtage Navigator 機能
0000	共通(※)
1000	共通(※)
2000	LPAR 設定
2002	共通(※)
2003	LPAR 設定
2004	共通(※)
3000	LPAR 設定
3001	LPAR 設定
3002	LPAR 設定
3005	共通(※)
3006	ソリューション
4000	モニタリング
5000	ファームウェア更新
6xxx	LPAR マイグレーション
7xxx	Remote LPAR Control

※メッセージが Virtage Navigator の複数の機能で使われていることを意味する

## 11.1 共通メッセージ

Virtage Navigator の複数の機能で使用するメッセージは表 11-2 のとおりです。

表 11-2 複数機能で使用するメッセージ

メッセージ内に記載されている {x} については補足内容をご参照ください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
00000000	Success.	—	—
10000001	HVM 情報の更新に失敗しました。 HVM IP Address: {0} HVM の電源状態やネットワーク状況を確認してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000002	HVM の起動が完了しているにもかかわらず、HVM 情報が取得できない場合は以下を確認してください。 1. HVM に登録されている IP アドレスの設定値が正しいこと。 2. このコンピュータの IP アドレスが BSM IP アドレスまたは CLI IP アドレスとして登録されていること。 3. このコンピュータと HVM 間のネットワークに問題がないこと。 4. このコンピュータに複数の IP アドレスが登録されている場合、Option 画面 - HVM Connection - Communicate IP Address に、HVM との通信に使用する IP アドレスが登録してあること。  確認後、本メッセージウィンドウを閉じてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000003	HVM 情報が最新ではない可能性があります。 HVM の電源状態やネットワーク状況を確認し、Update 操作を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000010	使用可能ライセンス時の上限 {0} を超えたため、HVM 情報の登録に失敗しました。 HVM IP Address : {1} Profile から、不要な HVM 登録を削除してください。	{0}:使用可能 HVM 数 {1}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000011	HVM 情報の保存に失敗しました。 HVM IP Address : {0} ディスクの容量やアクセス状況を確認してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000012	HVM 情報の保存に失敗しました。 HVM IP Address : {0} 利用可能メモリが不足しています。 下記を実施しても改善されない場合は、Virtage Navigator を再起動してください。 ・他のアプリケーションを終了させてください。 ・Virtage Navigator の他のウィンドウを閉じてください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000013	HVM 情報の保存に失敗しました。 HVM IP Address : {0} ----- Internal error occurred. Status : {1}	{0}:HVM の IP アドレス  {1}:内部ステータス	弊社サポートサービスへお問い合わせください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
10000014	複数の操作が実行されているため、処理がタイムアウトしました。 HVM IP Address : {0} しばらく経ってから、再度実行してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
10000020	HVM の構成情報の保存中にアプリケーションの内部障害が発生しました。	—	弊社サポートサービスへお問い合わせください。
10000021	情報の保存に失敗しました。 ディスクの容量やアクセス状況を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000022	履歴ログの保存に失敗しました。 ディスクの容量やアクセス状況を確認してください。 もう一度、履歴ログの保存を行う場合は OK をクリックしてください。履歴ログの保存をあきらめる場合は Cancel をクリックしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10000030	Get Technical Information is completed.	—	—
10000031	Stop the Get Technical Information. Are you sure? Retry if stopped.	—	処理を中断した場合は、再度実行してください。
10000032	Failed to Get Technical Information. Detail: {0} Check the folder and computer, and retry.	{0}:VirtGetLogs のエラーメッセージ	情報の出力先状態を確認後、再度実行してください。
10000033	Failed to Get Technical Information. Check the folder and computer, and retry.	—	情報の出力先状態を確認後、再度実行してください。
10000034	Trouble Menu has completed.	—	—
10000035	Trouble Menu has failed. detail: {0} Check output destination folder and status of computer running Virtage Navigator, and then retry the failed operation.	{0}: HvmSh のエラーメッセージ	メッセージに従い、対処してください。
10000036	Trouble Menu has failed. Check output destination folder and status of computer running Virtage Navigator, and then retry the failed operation.	—	メッセージに従い、対処してください。
10000037	“Trouble Menu” has been canceled.	—	—
1000003F	Internal error occurred. Reboot the program and retry.	—	Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。
1000010x	R-KVM Application (ReClient) が検出できませんでした。 R-KVM Application (ReClient) のインストール状況を確認してください。	X:0,1 (内部ステータス)	メッセージに従い、対処してください。
1000011x	Internet Explorer の起動時にエラーが発生しました。 Internet Explorer のインストール状況を確認してください。	X: 内部ステータス	メッセージに従い、対処してください。
10000200	Terminal Application のパスが設定されていません。 Option 画面 - Other - Terminal Application Setting - Path に、Application の実行ファイルを設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。



コード	メッセージ	補足内容	対処方法
10000201	Terminal Applicationのパスにファイルが存在していません。 Option 画面 - Other - Terminal Application Setting - Path の設定を確認してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
1000020F	Terminal Application の起動時にエラーが発生しました。 画面を閉じてから、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
10000210	必要なマクロファイルが存在しません。 ファイル名 : {0} ユーザズガイドに従って、マクロファイルを作成してくだ さい。	{0} : マクロファイル 名称	メッセージに従い、対 処してください。
10000211	指定された HVM に対して、本機能はサポートされていません。 HVM IP Address : {0} サポート状況を確認してください。	{0} : HVM の IP アド レス	メッセージに従い、対 処してください。
10000300	“Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5” might not be installed. Check if the software is correctly installed.	—	メッセージに従い、対 処してください。
10001000	実行中の処理は中断され、未保存のデータは保存されません。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対 処してください。
10001001	画面を閉じてよろしいですか？	—	メッセージに従い、対 処してください。
10001002	エラー終了した HVM があります。 リトライを行わずに画面を閉じます。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対 処してください。
10001003	終了処理を行っています。 しばらくお待ちください。	—	—
10001004	実行中の処理を中断して、画面を閉じます。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対 処してください。
10002000	未保存のデータは保存されません。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対 処してください。
10002001	前回指定したフォルダパスの読み込み中に内部エラーが発生 しました。 Virtage Navigator を再起動してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
10002002	指定したフォルダパスの保存中に内部エラーが発生しまし た。 Virtage Navigator を再起動してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
10002003	前回指定したフォルダパスの読み込みに失敗しました。 フォルダ指定画面ではデスクトップが初期表示されます。 前回指定したフォルダを初期表示するにはVirtage Navigator を再起動してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
10002004	指定したフォルダパスの保存に失敗しました。 指定したフォルダパスは Virtage Navigator の再起動時に読 み込まれません。 指定したフォルダパスを保存するには、 Virtage Navigator を再起動し、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
10002005	前回指定したフォルダパスの読み込みに失敗しました。 Virtage Navigator インストールフォルダ ¥VirNavi¥FWUpdateFiles¥HVM¥ {0} が初期表示されます。	{0} : フォルダ名 BS320 BS2000MP BS2000DP	—

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
10002006	設定情報の保存に失敗しました。(SaveOperationFile.xml) V-Navi を再起動し Get Technical Information を実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10002007	設定情報の読み込みに失敗しました。 (SaveOperationFile.xml) Get Technical Information を実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10003000	HVM へのログインに失敗しました。 {0}	{0}: HvmSh のエラーメッセージ	ログインユーザ名とログインパスワードを見直し、HvmSh エラーメッセージに従い、対処してください。
10003001	HVM からのログアウトに失敗しました。 {0}	{0}: HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージに従い、対処してください。
10003002	Invalid {0}. Reason : {1} Input valid {0}.	{0}: ログインユーザ名 {1}: 詳細エラー内容	メッセージを確認し、対処してください。
10003003	Invalid {0}. Reason : {1} Input valid {0}.	{0}: ログインパスワード {1}: 詳細エラー内容	メッセージを確認し、対処してください。
10003004	セキュリティ設定の保存を行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
10003005	入力値に不正な値があります。 正しい値を入力後、保存してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
10003006	セキュリティ設定の保存に失敗しました。 : {0} ディスクの容量やアクセス状況を確認してください。	{0}: パラメータ値	メッセージに従い、対処してください。
10003007	入力値の読み込みに失敗しました。 : {0} Virtage Navigator を再起動してください。	{0}: パラメータ値	メッセージに従い、対処してください。
10003008	ユーザアカウントのデータが設定されていません。	—	セキュリティ設定をしてください。
10003009	HVM との通信テストでエラーが発生しました。 詳細 : {0} 設定値を確認後、再実行してください。	{0}: パラメータ値	メッセージに従い、対処してください。
1000300A	変更内容を保存していません。変更内容はクリアされます。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
1000300B	Invalid {0}. Reason : {1} Input valid {0}.	{0}: ログインユーザ名 {1}: 詳細エラー内容	メッセージを確認し、対処してください。
1000300C	{0} が空文字です。	{0}: ログインユーザ名	設定を確認してください。
1000300D	{0} が空文字です。	{0}: ログインパスワード	設定を確認してください。
1000300E	入力値に以下の警告があります。 {0} このまま保存してもよろしいですか？	{0}: 詳細エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
1000300F	Invalid {0}. Reason : {1} Input valid {0}.	{0}: ログインユーザ名 {1}: 詳細エラー内容	メッセージを確認し、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
10003FFF	内部エラーが発生しました。 {0}	{0}： 詳細エラー内容	V-Navi を再起動して、再度実施してください。
20020001	シャーシの種類が識別できませんでした。 シャーシの種類がサポート対象か確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20020002	マネジメントモジュールのファームウェアのバージョンが識別できませんでした。 マネジメントモジュールのファームウェアバージョンがサポート対象か確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20020003	未サポートの OS モードが設定されました。	—	OS モードの設定を確認してください。
20020004	VNIC System No の設定が正しくありません。 VNIC System No の設定を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
2002FFFF	マネジメントモジュールとの通信中に障害が発生しました。 マネジメントモジュールのファームウェアバージョンと、ネットワークの接続を確認し、再度操作を実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20040001	シャーシ情報が見つかりませんでした。 IP アドレスの設定を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20040002	操作対象の BMC の IP アドレスが見つかりませんでした。	—	—
20040003	SVP の情報が見つかりませんでした。 SVP の情報を登録してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20040004	操作対象のブレードの BMC 情報が見つかりませんでした。 ブレードの BMC 情報を登録してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050101	SVP にログインできませんでした。 SVP の IP アドレス、または SVP の F/W Version を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050102	接続タイムアウトしました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050103	SVP との接続に失敗しました。 対象コマンド： {0} 通信状態を確認後、再度実行してください。	{0}： 内部使用コマンド名称	メッセージに従い、対処してください。
30050105	{0} で SVP から失敗応答がありました。 Command： {1} SlotNo： {2} Code： {3} Message： {4} 状態確認後、再度実行してください。	{0}： 内部使用コマンド説明 {1}： 内部使用コマンド名称 {2}： 対象 Partition 番号 {3}： 内部使用コマンド種別 {4}： 内部使用コマンドのエラーメッセージ	メッセージに従い、対処してください。
30050106	コマンド ({0}) の解析に失敗しました。 {1} コマンドの条件を確認してください。	{0}： 内部コマンド名称 {1}： 内部コマンド名称	メッセージに従い、対処してください。
30050107	既にログイン中です。 ログアウト後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30050108	SVP とのセッションが切れました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050109	実行に必要なパラメータが設定されていません。 設定値を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050110	接続数の限界を超えています。 接続数を減らしてから再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050111	SVP にログインできませんでした。 SVP のユーザ ID、またはパスワードを確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
300501FF	内部エラーが発生しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050201	SVP の FTP サーバにログインできませんでした。 IP アドレス、ユーザ名、パスワードを確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050202	接続タイムアウトしました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050203	ファイルの転送に失敗しました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050204	転送タイムアウトしました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050205	ファイルが存在しません。 転送元のファイルを確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050206	保存用ディレクトリが存在しません。 作成しますか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30050207	ファイルの転送に失敗しました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30050208	ファイルの削除に失敗しました。 ファイルが存在するか確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
300502FF	内部エラーが発生しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
FFFFF101	Internal error. : Invalid Parameter. {0} : {1}	{0} : パラメータ名称 {1} : パラメータ値	弊社サポートサービスへお問い合わせください。
FFFFF102	Timeout error occurred. (Lock) しばらく経ってから、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
FFFFF0FB	{0} の処理中に内部障害が発生しました。	{0} : 処理内容	弊社サポートサービスへお問い合わせください。
FFFFF0FC	ユーザ操作により、キャンセルされました。	—	—
FFFFF0FD	{0} 画面の操作で内部障害が発生しました。 一度画面を閉じてから、もう一度操作を行ってください。	{0} : 画面名称	メッセージに従い、対処してください。
FFFFF0FE	Unknown internal error.	—	弊社サポートサービスへお問い合わせください。
FFFFF0FF	Unknown internal error. : Internal Code : {0}	{0} : 内部ステータス	弊社サポートサービスへお問い合わせください。

## 11.2 LPAR 設定用メッセージ

LPAR 設定で使用するメッセージは表 11-3 のとおりです。

表 11-3 LPAR 設定で使用するメッセージ

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20000101	共有 NIC が存在しません。 NIC のスケジュールモードを共有にしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000102	設定された数の LPAR を作成できません。 {0} LPAR 以下の値を設定してください。	{0} : 作成可能 LPAR 数	メッセージに従い、対処してください。
20000103	内部エラーが発生しました。HVM IP Address : {0} Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	{0} : HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
20000104	割り当て可能な共有 NIC が不足しています。 共有 NIC のセグメント状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000105	割り当て可能な共有 FC が不足しています。 共有 FC のポート状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000107	最大 LPAR 数まで定義されているため、LPAR を作成できません。 LPAR 定義されている LPAR 数を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000108	割り当てプロセッサ数が不正です。 {0} プロセッサから {1} プロセッサの値を設定してください。	{0} : 割り当て共有プロセッサ数の最小値 {1} : 割り当て共有プロセッサ数の最大値	メッセージに従い、対処してください。
20000109	割り当てメモリ容量が不正です。 {0} MB から {1} MB の値を設定してください。	{0} : 割り当てメモリ容量の最小値 {1} : 割り当てメモリ容量の最大値	メッセージに従い、対処してください。
20000110	共有 FC が存在しません。 FC のスケジュールモードを共有に設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000111	割り当てメモリ容量の単位が不正です。 {0} MB 単位で設定してください。	{0} : 割り当てメモリ容量の単位	メッセージに従い、対処してください。
20000401	他の端末から構成情報が変更されました。LPAR 番号 : {0} Update を実行後、再度 LPAR 数の設定から処理を実行してください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
20000402	LPAR No. {0} の設定変更が失敗しました。 {1} 再度 LPAR 数の設定から処理を実行してください。	{0} : LPAR 番号 {1} : 詳細エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
20000501	LPAR の削除に失敗しました。LPAR 番号 : {0} 再度、処理を実行してください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
20000601	構成情報の保存に失敗しました。HVM IP Address : {0} 再度構成情報の保存を実行してください。	{0} : HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
20000701	本機能がサポートする最大 LPAR 数まで定義されています。 LPAR 定義されている LPAR 数を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20000801	LPAR の削除が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20000802	LPAR の追加が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20000803	LPAR 名の設定が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000804	メモリの変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000805	プロセッサの変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000806	共有 NIC の変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000807	PCI デバイスの変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000808	論理プロセッサアイドル検出機能の更新が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000809	自動 Activate の変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000810	論理 SEL の自動クリアの変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000811	プロセッサキャッピング機能の変更が失敗しました。 LPAR 番 号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000812	仮想 COM の変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000813	Pre-boot ファームウェアの変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0} {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000814	LPAR の論理プロセッサの割り当て変更が失敗しました。 LPAR 番号 : {0}, プロセッサ番号 : {1} {2}	{0} : LPAR 番号 {1} : プロセッサ番号 {2} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000815	プロセッサグループ名の設定が失敗しました。 プロセッサグ ループ番号 : {0} {1}	{0} : プロセッサグル ープ番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000816	物理プロセッサコアのグループ変更が失敗しました。 プロセ ッサグループ番号 : {0}, プロセッサ番号 : {1} {2}	{0} : プロセッサグル ープ番号 {1} : プロセッサ番号 {2} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20000817	物理プロセッサの縮退が失敗しました。プロセッサ番号 : {0} {1}	{0}:プロセッサ番号 {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000818	パケットフィルタの設定が失敗しました。セグメント番号 : {0} {1}	{0}:セグメント番号 {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000819	パケットフィルタの設定が失敗しました。セグメント番号 : {0} Update を実行し、再度実行してください。	{0}:セグメント番号	メッセージに従い、対 処してください。
20000820	システム情報の設定が失敗しました。 {0}	{0}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000821	他の端末より LPAR 情報が更新されています。LPAR 番号 : {0} Update を実行し、再度実行してください。	{0}:LPAR 番号	メッセージに従い、対 処してください。
20000822	LPAR の更新情報の取得に失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000823	USB デバイスの更新が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000824	LPAR の追加が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000825	LPAR の削除が失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000826	プロセッサグループの追加が失敗しました。Group 番号 : {0} {1}	{0}:プロセッサグル ープ番号 {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000827	プロセッサグループの削除が失敗しました。Group 番号 : {0} {1}	{0}:プロセッサグル ープ番号 {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000828	LPAR のゲスト NUMA の更新が失敗しました。	LPAR 番号 : {0}	—
20000829	LPAR の NUMA ノードのメモリ割り当てが失敗しました。	LPAR 番号 : {0}	—
20000830	LPAR のゲストアイドルモードの更新が失敗しました。	LPAR 番号 : {0}	—
20000901	共有 FC の割り当て更新に失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:LPAR 番号 {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。
20000A01	PCI スケジュールモードの変更は失敗しました。HVM IP Address : {0} {1}	{0}:HVM の IP アド レス {1}:メッセージ	メッセージに従い、対 処してください。
20000B01	ユーザ要求処理が失敗しました。HVM IP Address : {0} {1}	{0}:HVM の IP アド レス {1}:HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジー覧に従い、対処し てください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20000B02	ユーザ要求処理がタイムアウトしました。HVM IP Address : {0} 再度、処理を実行してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
20000C01	LPAR の追加に失敗しました。LPAR 番号 : {0} 再度、処理を実行してください。	{0}:LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
20000E01	共有 NIC のデバイス数設定が不正です。HVM IP Address : {0} {1} デバイス以下の共有 NIC を設定してください。	{0}:HVM の IP アドレス {1}:共有 NIC デバイスの最大数	メッセージに従い、対処してください。
20000E02	共有 HBA のデバイス数設定が不正です。HVM IP Address : {0} {1} デバイス以下の共有 HBA を設定してください。	{0}:HVM の IP アドレス {1}:共有 HBA デバイスの最大数	メッセージに従い、対処してください。
20000F01	他の端末から構成情報が変更されたため、{0} 個目の LPAR 作成に失敗しました。 Update を実行し、再度 LPAR 数の設定から処理を実行してください。	{0}: LPAR 作成に失敗した LPAR の作成順	メッセージに従い、対処してください。
20000F02	{0} 個目の LPAR 作成に失敗しました。 Update を実行し、再度 LPAR 数の設定から処理を実行してください。	{0}: LPAR 作成に失敗した LPAR の作成順	メッセージに従い、対処してください。
20000xFF	内部エラーが発生しました。HVM IP Address : {0} Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	X=4-6, A-F (内部ステータス) {0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
20000xFF	内部エラーが発生しました。LPAR 番号 : {0} Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	X=8, 9 (内部ステータス) {0}:LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
20001001	HVM オプションの設定が失敗しました。HVM IP Address : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20001101	システム時刻の変更は失敗しました。HVM IP Address : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20001102	LPAR の SEL 時刻の変更は失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20001103	LPAR の時刻合わせに失敗しました。LPAR 番号 : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
20001201	HVM のタイムゾーンの変更に失敗しました。HVM IP Address : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。



コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20001202	HVM のタイムゾーンの変更に失敗しました。 HVM IP Address : {0} {1}	{0}:HVM の IP アドレス {1}:HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
200012FF	内部エラーが発生しました。 HVM IP Address : {0} Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	{0}:HVM の IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
2000FF01	ユーザ要求により処理を中断しました。	—	—
2000FFFF	内部エラーが発生しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030001	情報の更新は成功しましたが、内部エラーが発生しました。	—	弊社サポートサービスへお問い合わせください。
20030003	IP アドレスの形式に違反しています。 数値とドットで構成される Ipv4 アドレスを設定してください。 (XXX. XXX. XXX. XXX)	—	メッセージに従い、対処してください。
20030004	使用しているコンピュータの IP アドレスが、 管理サーバとして SVP に登録されていません。 管理サーバとして SVP に IP アドレスを登録しない場合、 HVM 起動後の操作ができません。 続行しますか？	—	メッセージに従い、対処してください。
20030005	使用しているコンピュータの IP アドレスが、 管理サーバとして SVP に登録されてなく CLI IP Address にも登録されていません。 IP アドレスを登録しない場合、 HVM 起動後の操作ができません。 続行しますか？	—	メッセージに従い、対処してください。
20030200	以下のシャーシを検出しました。 ----- {0}	{0}:シャーシ情報	—
20030201	設定された IP アドレスの SVP は既に登録されているため、設定を上書きします。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
20030202	未サポートのシャーシが検出されました。 Detected Chassis Type: {0} サポート状況を確認してください。	{0}:シャーシ種別	メッセージに従い、対処してください。
20030203	シャーシが選択されていません。	—	—
20030204	以下のシャーシの登録を削除します。 ----- {0} よろしいですか？	{0}:シャーシ情報	メッセージに従い、対処してください。
20030300	Partition が選択されていません。 Partition を選択してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030301	設定された Partition は搭載されていません。 Partition の状態を確認し、Refresh を実施してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030302	設定された Partition は初期化中です。 Partition の状態を確認し、Refresh を実施してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20030303	設定された Partition でエラーが発生しています。 Partition のエラー状態を回復し、 Refresh を実施してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030304	設定された Partition の状態が取得できません。 Partition の状態を確認し、Refresh を実施してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030310	設定された Partition の電源が ON、または OFF ではありません。 電源状態を確認し、Refresh を実施してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030311	設定された Partition の電源が OFF ではありません。 電源状態を確認し、Refresh を実施してください。 なお、電源状態が OFF 以外の Partition を操作するには、 HVM 情報を Profile に登録しておく必要があります。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030312	設定された Partition の電源が OFF ではありません。 電源状態を確認し、Refresh を実施してください。 OS モードが HVM 以外の Partition を操作するには、 電源状態が OFF である必要があります。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030320	設定された Partition に対応する HVM 情報が Profile に登録 されています。 前回の HVM 情報の Update から、以下の操作が行われていない ことを確認してください。 ・ HVM スクリーン等による HVM IP アドレスの変更。 ・ HVM 構成情報のリストア、クリア。 ・ ブレード搭載位置の変更。 これらの操作が行われた場合、以降の操作が正常に行えな くなりますので、Cancel をクリックして、Main ウィンドウの Profile タブから HVM を削除してください。 構成が一致している場合は OK をクリックしてください。	—	メッセージに従い、 対処してください。
20030350	ファームウェアのバージョン組み合わせはよろしいですか？ 未サポートのファームウェアに本機能を適用すると、 設定が適用されない場合があります。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030402	HVM ID に設定できる最大文字数は 16 文字です。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030404	設定された IP アドレスは既に使用されています。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030405	VNIC System No に設定できる値は 1-128 です。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030406	設定された VNIC System No は既に使用されています。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030407	必要項目が設定されていません。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030409	サブネットマスクの形式に違反しています。 数値とドットで構成される IPv4 アドレスのサブネットマスク を設定してください。 (XXX.XXX.XXX.XXX)	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20030410	設定されたブレードの HVM 情報が Profile から検出できないためこの操作は実行できません。 Profile に HVM を登録してから、再度実行してください。 既に登録されている場合は、HVM 情報の Update を実施してから再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030480	VNIC System No は、仮想 NIC の MAC アドレス (デフォルト値) の重複を防ぐため、MAC アドレス生成に使用されます。 VNIC System No は、BS1000、BS2000、BS320 などを含むすべてのシステム装置でユニークな値としてください。 他の HVM と重複した場合、LPAR の仮想 NIC の MAC アドレスが重複し、LPAR 上でのネットワーク通信ができなくなります。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030481	HVM ID は、複数の HVM システムが存在する場合、それぞれを識別するため設定します。 HVM ID は、BS1000、BS2000、BS320 などを含むすべてのシステム装置でユニークな値としてください。設定しない場合は、HVM IP アドレスから自動生成されます。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030500	設定されたブレードの電源が OFF ではありません。 電源状態を確認し、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030501	OS モードを識別できませんでした。 Partition の状態を確認し、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030502	電源 ON 監視をしています。 {0} 秒間経ちましたが、電源が ON になりませんでした。 継続して監視を続ける場合は、OK を選択してください。 監視をやめて、手動で電源を ON にする場合は Cancel を選択してください。 Cancel を選択すると、HVM の起動監視が開始されます。 なお、メモリの搭載量や Pre-configure の設定によっては時間がかかる場合があります。	{0} : 電源 ON 監視時間	メッセージに従い、対処してください。
20030503	電源 ON 監視をスキップしますがよろしいですか？ OK を選択する場合は、必ず手動で電源を ON にしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030504	HVM の起動に必要な BIOS 設定は、設定済みですか？	—	BIOS 設定が未設定の場合は、設定してください。
20030505	電源 ON の確認後、R-KVM Console (ReClient) が自動的に起動されるのでログインに必要なユーザ ID、パスワード等の情報を用意してください。 R-KVM Console の起動後、サーバブレードにログインし、ユーザズガイドに従い、BIOS セットアップメニューから設定を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
20030506	対象の Partition で Pre-configure が未実行のため、処理を続行できません。 Pre-configure を実行後、再実行してください。 Pre-configure の実行方法については、ブレード装置のユーザズガイドを参照してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
20030507	HVM のシステムタイムゾーンの設定に失敗しました。 Time Zone : {0} リトライしますか？ リトライを行う場合は、 Yes を選択してください。 No を選択すると、 タイムゾーンの設定を行わないで次の画面に進みます。 その場合は、 後ほど手動でタイムゾーンの設定を行ってください。 設定方法はユーザーズガイドを参照してください。	{0} : Time Zone	メッセージに従い、 対処してください。
20030508	HVM の時刻設定に失敗しました。 リトライしますか？ リトライを行う場合は、 Yes を選択してください。 No を選択すると、 時刻設定を行わないで次の画面に進みます。 その場合は、 後ほど手動で時刻設定を行ってください。 設定方法はユーザーズガイドを参照してください。	—	メッセージに従い、 対処してください。
20030600	LPAR ({0}) に Virtual Console が設定されていません。 LPAR に Virtual Console を割り当て、 Update を実施してください。	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、 対処してください。
20030601	LPAR が選択されていません。	—	—
20030602	LPAR が Activate されていません。	—	—
20030603	LPAR ({0}) に、 R-KVM に使用する USB デバイスが割り当てられていません。 R-KVM に使用する USB デバイスを割り当て、 Update を実施してください。	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、 対処してください。
20030604	LPAR ({0}) に、 USB デバイスが割り当てられていません。 USB デバイスの割り当てを確認してください。	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、 対処してください。
20030605	LPAR {0} の USB デバイスを {1} します。 よろしいですか？	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称 {1} : “Attach” or “Detach”	メッセージに従い、 対処してください。
20030606	LPAR {0} の USB デバイスを Detach 後、 LPAR {1} の USB デバイスを Attach します。 よろしいですか？	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称 {1} : LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、 対処してください。
20030607	R-KVM に使用する USB デバイスの識別ができませんでした。	—	—
20030620	継続して HVM Console による操作を行いますか？	—	メッセージに従い、 対処してください。
30000101	メモリの設定値が正しくありません。 256MB (0.25GB) 単位で設定してください。	—	メッセージに従い、 対処してください。
30000102	メモリの設定値が使用可能メモリ量を超えています。 使用可能メモリ量の範囲内で設定してください。 使用可能メモリ量 : {0} GB [ {1} MB ]	{0} : 利用可能メモリ (単位 GB) {1} : 利用可能メモリ (単位 MB)	メッセージに従い、 対処してください。
3000A001	SVP 情報が見つからないため、 処理を続行できません。 SVP 情報を登録してください。	—	メッセージに従い、 対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
3000A002	設定された IP アドレスは 既に他の HVM として登録されています。 登録済み HVM ID: {0} 設定値を確認してください。	{0}: 登録済み HVM ID	メッセージに従い、対処してください。
3000A003	設定された IP アドレスは 既に他の BMC として登録されています。 登録済み シャーシ ID: {0} パーティション: {1} 変更を行いますか？	{0}: 登録済み シャーシ ID {1}: パーティション番号	メッセージに従い、対処してください。
3000A004	設定された IP アドレスは 既に他の SVP として登録されています。 登録済み シャーシ ID: {0} 設定値を確認してください。 登録済みシャーシの情報は Initial Setup 機能を使用して確認してください。	{0}: 登録済み シャーシ ID	メッセージに従い、対処してください。
3000A00A	指定された操作は、 対象ブレードではサポートされていません。 サポート状況を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30010101	対象の LPAR 情報の検索に失敗しました。 編集画面をいったん閉じて、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30010102	対象のデバイスの動作モードが {0} ではありません。 対象のデバイスの動作モードを確認してください。	{0}: “Dedicate” or “Share”	メッセージに従い、対処してください。
30010103	割り当て可能な VNIC 番号がありません。 対象 LPAR の共有 NIC を減らすか、 VNIC 番号の割り当てを確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30010104	割り当て対象の物理 NIC の検索に失敗しました。 HVM 情報の Update を実施し、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30010105	割り当て可能な共有 NIC がありません。 デバイスの動作モードを変更して 共有デバイスを増やしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30010110	割り当て対象の物理 HBA の検索に失敗しました。 HVM 情報の Update を実施し、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30010111	対象の共有 HBA に vfcID の空きがありません。 不要な割り当てを解除するか、他の HBA を設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020100	不正なデータが登録されているため、 更新処理を実行できません。 Update ボタンをクリックし、再度設定を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020101	LPAR 名に不正な文字が登録されています。 LPAR 名に使用できる文字は、' 0' ~ '9' , ' a' ~ 'z' , ' A' ~ 'Z' , ' - ' , ' _ ' です。 LPAR 名の先頭に使える文字は、' a' ~ 'z' , ' A' ~ 'Z' となります。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020102	LPAR 名が重複しています。重複 LPAR No : {0} LPAR 名を変更してください。	{0}: LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
30020103	割り当てプロセッサ数が適切ではありません。 {0} 以下の値を設定してください。	{0}: 割り当て可能プロセッサ数の最大値	メッセージに従い、対処してください。
30020104	Activate 中の変更はできません。 Deactivate 後、変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30020105	占有プロセッサの場合、変更はできません。 共有プロセッサへ変更後、設定の変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020106	サービス率が適切ではありません。 1以上の値を設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020107	サービス率変更時、スケジュールモードを変更できません。	—	—
30020108	Activate 中の占有プロセッサに対し、変更はできません。 Deactivate 後、変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020109	Activate 中の LPAR に対し、 スケジュールモードと、プロセッサグループを 同時に変更できません。 一旦コミット処理を実行するか、または Deactivate 後、 設定変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020110	プロセッサキャッピング変更時、スケジュールモードを「S」 から「D」へ変更できません。	—	—
30020111	変更内容がコミットされるまで、変更前の LPAR 名と重複する 値を設定する事はできません。重複 LPAR No: {0} 一旦コミット処理を実行後、LPAR 名の変更を行ってください。	{0} : LPAR No.	メッセージに従い、対処してください。
30020112	共有プロセッサの場合、変更はできません。 占有プロセッサへ変更後、設定の変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020113	ゲスト NUMA の有効/無効の設定変更時、スケジュールモード を「D」から「S」へ変更できません。	—	—
30020114	論理プロセッサのアイドル状態を検出する機能が有効の場合、 変更はできません。 無効に変更後、設定の変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020115	ゲストアイドルモードの設定変更時、スケジュールモードを 「D」から「S」へ変更できません。	—	—
30020116	ゲストアイドルモードの設定変更時、論理プロセッサのアイ ドル状態を検出する機能を有効には変更できません。	—	—
30020117	ゲスト NUMA が有効の場合、変更はできません。 無効に変更後、設定の変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020118	メモリの NUMA ノード番号の設定変更時、ゲスト NUMA の設定 を変更できません。 一旦コミット処理を実行後、ゲスト NUMA の設定の変更してく ださい。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020200	不正なデータが登録されているため、 更新処理を実行できません。 Update ボタンをクリックし、再度設定を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020201	割り当てプロセッサ番号が重複しています。重複割り当て Processor No : {0} LPAR 内で重複しないプロセッサ番号に変更してください。	{0} : プロセッサ番号	メッセージに従い、対処してください。
30020202	割り当てプロセッサ番号が適切ではありません。 0～{0}のプロセッサ番号、または “A” (Auto) を設定してく ださい。	{0} : 割り当て可能プ ロセッサ数の最大値	メッセージに従い、対処してください。
30020203	プロセッサを占有で割り当てている場合、 Activate 中の変更はできません。 Deactivate 後、変更を行ってください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020204	割り当てプロセッサ範囲外のため、変更はできません。 割り当てプロセッサ数変更後、設定を変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30020205	ゲスト NUMA が有効の場合, ""A"" (Auto) に変更できません. 無効に変更後, 設定の変更を行ってください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
30020300	不正なデータが登録されているため, 更新処理を実行できません. Update ボタンをクリックし, 再度設定を行ってください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
30020301	プロセッサグループ名に不正な文字が登録されています. プロセッサグループ名に使用できる文字は, ' 0' ~ ' 9' , ' a' ~ ' z' , ' A' ~ ' Z' , ' - ' , ' _ ' で す. プロセッサグループ名の先頭に使える文字は, ' a' ~ ' z' , ' A' ~ ' Z' となります.	—	メッセージに従い, 対処してください.
30020302	プロセッサグループ名が重複しています. 重複 Group No : {0} 重複しない名称に変更してください.	{0}: プロセッサグループ番号	メッセージに従い, 対処してください.
30020303	割り当て LPAR が起動中のため変更はできません. 対象 LPAR を Deactivate 後, 変更を行ってください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
30020304	ライセンスコア不足数を超える予備コアの指定はできません. 不足数: {0} 不足数を超えない範囲で設定してください.	{0}: ライセンスコア不足数	メッセージに従い, 対処してください.
30020305	変更内容がコミットされるまで, 変更前のプロセッサグループ名と重複する値を設定する事は できません. 重複 Group No : {0} 一旦コミット処理を実行後, プロセッサグループ名の変更を 行ってください.	{0}: プロセッサグループ番号	メッセージに従い, 対処してください.
30020500	不正なデータが登録されているため, 更新処理を実行できません. 設定値を確認してください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
30020501	{0} が変更されています. Commit を行ってから変更してください.	{0}: "Scheduling Mode (Schedule)" or "Device Assignment"	メッセージに従い, 対処してください.
30020502	Attach/Detach は, 選択した PCI Device が USB で LPAR が Activate 中の時しか実行できません. 選択を変更してください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
30020503	Attach/Detach は, PCI Device (USB) が未割り当ての時は実行 できません. 選択を変更してください.	—	メッセージに従い, 対処してください.
30020504	選択対象が不正なため, Attach/Detach を実行できません. Attach/Detach は以下の条件を満たす場合に実行する事が できます. ・ LPAR に USB が割り当てられている場合. ・ PCI Device が USB の場合. ・ LPAR が Activate 中の場合. ・ USB が排他共有の場合. "	—	メッセージに従い, 対処してください.

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30020505	選択対象が不正なため、Set/Reset を実行できません。 Set/Reset は以下の条件を満たす場合に実行する事ができます。 ・ LPAR に USB が割り当てられている場合。 ・ PCI Device が USB の場合。 ・ USB が排他共有の場合。 ”	—	メッセージに従い、対処してください。
30020600	不正なデータが登録されているため、 更新処理を実行できません。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020601	不正な MAC アドレスです。 正しい MAC アドレスを設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020602	MAC アドレスが重複しています。 重複しない MAC アドレスに変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020610	不正な VLAN ID です。 VLAN ID は 1～4094 の範囲内で最大 {0} 個 {1} 設定できます。	{0} : 設定可能な VLAN ID 数 {1} : VLAN Mode	メッセージに従い、対処してください。
30020611	VLAN Mode (Tag) が {0} の時は、 VLAN ID の最大設定可能数は {1} 個です。 設定数を {2} 個までにしてください。	{0} : VLAN Mode {1} : VLAN ID の最大設定可能数 {2} : VLAN ID の最大設定可能数	メッセージに従い、対処してください。
30020612	VLAN ID が設定されていません。 VLAN ID を設定してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020613	VLAN Mode (Tag) が {0} の時は、VLAN ID を設定できません。 VLAN Mode (Tag) を {1} に変更してください。	{0} : VLAN Mode {1} : VLAN Mode	メッセージに従い、対処してください。
300206F0	本設定はネットワークセグメント識別子毎の設定です。 変更してもよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
300206F1	変更内容がコミットされるまで、変更前の MAC アドレスと重複する値を設定する事はできません。重複 LPAR No : {0} 重複 VNIC No : {1} 一旦コミット処理を実行後、MAC アドレスの変更を行ってください。	{0} : LPAR No. {1} : VNIC No.	メッセージに従い、対処してください。
30020700	不正なデータが登録されているため、 更新処理を実行できません。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020900	設定範囲が不正です。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020901	設定された IP アドレスは既に使用されています。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020902	HVM の IP アドレスが変更されると Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなります。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020903	HVM の IP アドレスが変更されると Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなります。 変更してもよろしいですか？ 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。



コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30020904	{0} の IP アドレスが変更されると Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなります。 設定値を確認してください。	{0} : “BSMx” (x=1-4)	メッセージに従い、対処してください。
30020905	管理サーバの IP アドレスが未登録のため、 Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなります。 変更してもよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30020906	HVM の Subnet Mask が変更されると Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなる可能性があります。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020907	HVM の Default Gateway が変更されると Virtage Navigator は Virtage に接続できなくなる可能性があります。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020908	HVM の動作モードが変更されると、 コミットと同時に構成情報の保存と HVM のリブートを実行します。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020909	HVM の動作モードが変更されると、 コミットと同時に構成情報の保存を実行します。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002090A	HVM の動作モードが変更されると、 コミットと同時に構成情報の保存と HVM のリブートを実行します。 変更してもよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
3002090B	HVM の動作モードが変更されると、 コミットと同時に構成情報の保存を実行します。 変更してもよろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
3002090C	HVM のリブートが必要となるため、 Activate 中の LPAR が存在する場合、変更する事ができません。 すべての LPAR を Deactivate 後、 HVM の動作モードを変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002090D	HVM ID が不正です。 設定値を入力してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30020B00	Date And Time の取得に失敗しました。	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30020B01	SVP から NTP の設定をインポートします。 よろしいですか？	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30020B02	BMC から NTP の設定をインポートします。 よろしいですか？	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30020B03	選択した LPAR の時刻をシステム時刻に合わせます。 よろしいですか？	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30020B04	選択した LPAR の時刻を {0} に合わせます。 よろしいですか？	{0} : “HVM System Time”, “Specified Zone”, or “UTC”	—
30020C00	HVM オプションの取得に失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30020C01	HVM オプションの取得を中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30020F00	システムログの取得に失敗しました。 {0}	{0}: HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30020F01	システムログの取得を中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021200	未コミット状態です。変更内容はクリアされます。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021201	{0} を {1} します。 よろしいですか？	{0}: “LPAR 番号 : LPAR 名称” or “プロ セッサグループ番 号 : プロセッサグル ープ名称” {1}: “Activate” , “Deactivate” , “Reactivate” , “Add” , or “Remove”	メッセージに従い、対処してください。
30021202	コミット処理を行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021203	Force Recovery 処理を行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021204	HVM システムのシャットダウンを行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021205	構成情報の保存を行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021206	{0} の NVRAM を消去 (初期化) します。 よろしいですか？	{0}: LPAR 番号: LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
30021207	LPAR {0} から LPAR {1} へ NVRAM のコピーを行います。 よろしいですか？	0: LPAR 番号 1: LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
30021208	HVM のダンプを SVP へ出力します。 過去に作成したダンプファイルがある場合、上書きされます。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021209	未コミット状態のため、 処理を継続する事ができません。 コミット処理、または Update 処理を行った後、 再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021210	{0} の USB デバイスを {1} します。 よろしいですか？	{0}: LPAR 番号 : LPAR 名称 {1}: “Attach” or “Detach”	メッセージに従い、対処してください。
30021211	HVM System Logs へ移動します。 SysLog Update ボタンをクリックし、ダンプの出力結果を確認 してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30021212	{0} の USB デバイスを Detach 後, {1} の USB デバイスを Attach します。 よろしいですか？	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称 {1} : LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、対 処してください。
30021213	選択した機能は、現在未サポートとなっております。	—	—
30021214	設定が変更されていないため、 コミット処理を行う事ができません。	—	—
30021215	{0} に、R-KVM で使用する USB デバイスが割り当てられていま せん。 対象 LPAR を Deactivate 後、PCI Device Assignment で R-KVM に使用する USB デバイスの割り当てを行ってください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、 対処してください。
30021216	{0} に、R-KVM で使用する USB デバイスが割り当てられていま せん。 PCI Device Assignment で R-KVM に使用する USB デバイスの割 り当てを行ってください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、 対処してください。
30021217	{0} の R-KVM を実行します。 よろしいですか？ また、 以降に Activate、または Reactivate を実行した LPAR に、 R-KVM は Attach されます。	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、 対処してください。
30021218	{0} の USB デバイスを Detach 後、 {1} の R-KVM を実行します。 よろしいですか？ また、 以降に Activate、または Reactivate を実行した LPAR に、 R-KVM は Attach されます。	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称 {1} : LPAR 番号 : LPAR 名称	メッセージに従い、 対処してください。
3002121F	未コミットの内容は保存されません。 構成情報の保存を行ってよろしいですか？	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021222	選択した機能は、対象の HVM で未サポートとなっております。 ファームウェアの更新を実施し、 最新のファームウェアを使用してください。	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021223	HVM システムのリブートを行います。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021224	HVM システムのシャットダウンを行います。 未保存のデータは保存されません。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021225	HVM システムのリブートを行います。 未保存のデータは保存されません。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021226	VF NIC が割り当たっている Activate 中の LPAR があります。 Force Recovery 処理を行うと、VF NIC の利用ができなくなり ます。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、 対処してください。
30021300	メモリ割り当て情報の取得に失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30021301	LPAR No. {0} の Add に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021302	プロセッサグループ (Group No. {0}) の Add に失敗しました。 {1}	{0} : プロセッサグル ープ番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021303	HVM システム状態の取得に失敗しました。 {0}	0: HvmSh のエラーメ ッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021304	HVM システム状態の更新に失敗しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
30021305	HVM システムのシャットダウンに失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021306	Force Recovery に失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021307	HVM システムのシャットダウン要求を実行しました。	—	—
30021308	Force Recovery が正常終了しました。	—	—
30021309	構成情報の保存に失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
3002130A	構成情報の保存は正常終了しました。	—	—
3002130B	NVRAM のクリアに失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
3002130C	NVRAM のクリアは正常終了しました。	—	—
3002130D	NVRAM のコピーに失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
3002130E	NVRAM のコピーは正常終了しました。	—	—
3002130F	HVM ダンプの出力に失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021310	HVM ダンプを SVP に出力しました。	—	—
30021311	論理 NIC の情報取得が失敗しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
30021312	USB デバイス (LPAR No. {0}) の Attach に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセー ジ一覧に従い、対処し てください。
30021313	Update を中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対 処してください。
30021314	Cancel を中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対 処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30021315	Force Recovery を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021316	構成情報保存処理を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update 処理を実行し、 再度構成情報保存処理を実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021317	HVM システムのシャットダウンを中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、ブレードの電源を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021318	LPAR の Activate を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021319	LPAR の Deactivate を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002131A	LPAR の Reactivate を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002131B	LPAR の追加処理を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002131C	LPAR の削除を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002131D	プロセッサグループの追加処理を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002131E	プロセッサグループの削除処理を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002131F	PCI デバイスの Attach を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30021320	PCI デバイスの Detach を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021321	NVRAM のクリアを中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update 処理を実行し、再度 NVRAM のクリアを実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021322	NVRAM のコピーを中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update 処理を実行し、再度 NVRAM のコピーを実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021323	HVM ダンプの出力を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、HVM System Logs で実行結果を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021324	コミット処理を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021325	メモリ割り当て情報の取得を中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30021326	LPAR No. {0} の Remove に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021327	LPAR No. {0} の Activate に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021328	LPAR No. {0} の Deactivate に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021329	LPAR No. {0} の Reactivate に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021330	プロセッサグループ(Group No. {0}) の Remove に失敗しました。 {1}	{0} : プロセッサグループ番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021331	USB デバイス (LPAR No. {0}) の Detach に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021332	Boot Order (LPAR No. {0}) の取得に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラーメッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021333	Boot Order の取得に失敗しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30021335	Boot Order (LPAR No. {0}) の設定に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021336	Boot Order (LPAR No. {0}) の設定に失敗しました。 対象 LPAR を Deactivate 後、 EFI ブートデバイスの設定を行ってください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
30021338	FC (LPAR No. {0}) の設定に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021339	Boot Order (LPAR No. {0}) の設定に失敗しました。 Virtage Navigator を再起動後、再度実行してください。	{0} : LPAR 番号	メッセージに従い、対処してください。
3002133A	HVM システムのリブートに失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	メッセージに従い、対処してください。
3002133B	構成情報を更新後、 HVM システムのリブート要求を実行しました。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。 (リブートに要する時間は、HVM システムの構成によって異なります。)
3002133C	HVM システムのリブートを中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、ブレードの電源を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。 (リブートに要する時間は、HVM システムの構成によって異なります。)
3002133D	HVM システムのリブート要求を実行しました。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。 (リブートに要する時間は、HVM システムの構成によって異なります。)
3002133E	Adjust LPAR Time を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
3002133F	USB デバイス自動 Attach 設定 (LPAR No. {0}) の Set/Reset に失敗しました。 {1}	{0} : LPAR 番号 {1} : HvmSh のエラー メッセージ	HvmSh エラーメッセージ一覧に従い、対処してください。
30021340	USB デバイス自動 Attach 設定の Set/Reset を中断します。 よろしいですか？ 中断を行った場合、実行結果を確認する事ができません。 数分後、Update ボタンをクリックし状態を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30021341	{0} の USB デバイス自動 Attach 設定を {1} します。 よろしいですか？	{0} : LPAR 番号 : LPAR 名称 {1} : “Set” or “Reset”	—

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30021342	Guest OS Dump の採取に失敗しました。 {0}	{0} : HvmSh のエラー メッセージ	
30021343	Guest OS Dump を採取しました。	—	—
30021344	Guest OS Dump の出力を中断します。 よろしいですか？	—	—
30021345	LPAR が Deact の場合は実行できません	—	—
30021346	本操作により、NMI 割り込みを LPAR に対して発行して、 ゲスト OS のメモリダンプを採取します。 ダンプの採取はゲスト OS にダメージを与える可能性もあるた め、この操作を行う場合は注意が必要です。 実行してもよろしいですか？	—	—
30021400	WWPN は 16 桁で設定を行わないとエラーになります。 設定値を確認してください。 -----	—	メッセージに従い、対 処してください。
30021401	不正なデータが登録されているため、 更新処理を実行できません。 設定値を確認してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
30021402	不正な {0} です。 {1} は先頭を iqn. xxxx にして、 xxxx の部分を 4 文字以上で設定してください。	{0} : 不正な項目名 {1} : 不正な項目名	メッセージに従い、対 処してください。
30021403	不正な {0} です。 正しい {1} を設定してください。	{0} : 不正な項目名 {1} : 不正な項目名	メッセージに従い、対 処してください。
30021404	不正な {0} です。 {1} は 12 文字以上、16 文字以下で設定してください。	{0} : 不正な項目名 {1} : 不正な項目名	メッセージに従い、対 処してください。
30021405	デフォルトの値を設定します。 よろしいですか？	—	—
30021406	不正な {0} です。 CHAP Secret と Reverse CHAP Secret は 違う値を設定してください。	{0} : 不正な項目名	メッセージに従い、対 処してください。



## 11.3 モニタリング用メッセージ

モニタリングで使用するメッセージは表 11-4 のとおりです。

表 11-4 モニタリングで使用するメッセージ

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
40000101	対象の HVM が見つかりませんでした. HVM の Update を実施して、再度実行してください.	—	メッセージに従い、対処してください.

## 11.4 ファームウェア更新用メッセージ

ファームウェア更新で使用されるメッセージは表 11-5 のとおりです。

表 11-5 ファームウェア更新で使用されるメッセージ

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
50000101	ファームウェアの更新処理を開始します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。
50000102	HVM F/W Version が未指定の場合、 次のステップに進むことができません。 HVM F/W Version を指定するか、対象から外してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
50000103	{0} 用の HVM F/W が見つかりませんでした。 HVM F/W があるフォルダを選択してください。	{0} : サーバブレード種別	メッセージに従い、対処してください。
50000104	HVM F/W の更新処理が正常終了後、 HVM 構成情報の取得が失敗しました。 Virtage Navigator の情報が最新ではないため Update ボタンをクリックしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
50000105	HVM F/W の更新処理が正常終了後、 HVM 構成情報の取得がキャンセルされました。 Virtage Navigator の情報が最新ではないため Update ボタンをクリックしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
50000106	有効なバージョンアップキーが見つかりませんでした。 バージョンアップキーの入力を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
50000107	対象となる HVM F/W Version が存在しないため、 次のステップに進むことができません。 該当する機種を対象から外してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
50000108	キャンセルしました。 接続失敗の詳細を確認するには、 Information ボタンをクリックしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
50000109	接続可能な HVM が見つかりませんでした。 接続失敗の詳細を確認するには、 Information ボタンをクリックしてください。	—	メッセージに従い、対処してください。
5000010A	ファイル出力が正常終了しました。	—	—
5000010B	ファイル出力に失敗しました。 詳細 : {0} 出力先フォルダの状態を確認後、再度実行してください。	{0} : 詳細エラー情報	メッセージに従い、対処してください。
5000010C	HVM ファームウェア更新を終了します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対処してください。

## 11.5 ソリューション用メッセージ

ソリューションで使用されるメッセージは表 11-6 のとおりです。

表 11-6 ソリューションで使用されるメッセージ

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30060000	前の Step へ戻ると本 Step で実行した内容は失われます。 実行内容 : {0} よろしいですか？	{0}: 本 Step での実行内容	メッセージに従い, 対処してください。
30060001	{0} を終了します。 よろしいですか？	{0}: “Easy Start”	メッセージに従い, 対処してください。
30060002	警告が複数あります！ アイコンをダブルクリックすると 警告の内容を別画面で表示します。 アイコンをダブルクリックして 内容を確認してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
30060003	正常に終了しました。 対象 : {0}	{0}: 格納フォルダ名称	—
30060004	エラーが複数あります！ アイコンをダブルクリックすると エラーの内容を別画面で表示します。 アイコンをダブルクリックして 内容を確認してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
30060200	指定フォルダにファイルがありません。 指定したフォルダを確認してください。 指定フォルダ名 : {0}	{0}: 指定フォルダ名称	メッセージに従い, 対処してください。
30060201	同じ発注時番号のエントリがあります。 発注時番号 : {0} 指定したフォルダ及びファイルを確認してください。 指定ファイル名 : {1}	{0}: 発注時番号 {1}: 指定ファイル名称	メッセージに従い, 対処してください。
30060202	同じ HVM のエントリがあります。 HVM IP Address : {0} 指定したファイルを確認してください。 指定ファイル名 : {1}	{0}: 発注時番号 {1}: 指定ファイル名称	メッセージに従い, 対処してください。
30060203	指定されたブレードは HVM 初期設定をサポートしていません。 Blade Type : {0} HVM 初期設定をあらかじめ行ってください。	{0}: HVM の IP アドレス {1}: 指定ファイル名称	メッセージに従い, 対処してください。
30060204	HVM の登録台数制限 ({0} 台) を越えます。 登録必要台数 : {1} Profile から, 不要な HVM 登録を削除してください。 または, 登録が必要な HVM の選択を外してください。	{0}: HVM の登録制限台数 {1}: HVM の登録台数	メッセージに従い, 対処してください。
30060205	HVM の登録に失敗しました。 HVM IP Address : {0} HVM の電源状態やネットワーク状況を 確認してください。 内部エラーメッセージ : {1}	{0}: HVM の IP アドレス {1}: 内部エラーメッセージ	メッセージに従い, 対処してください。
30060206	{0} の対象 HVM がないため, Step4 ヘスキップします。	{0}: “Initial Setting”	—

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30060207	HVM が登録されていません。 次に進むには HVM の登録が必要です。 HVM を Profile に登録してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30060208	HVM の登録処理がユーザ要求により キャンセルされました。	—	—
30060209	更新対象 HVM 構成情報のバックアップは 事前実施しましたか？	—	メッセージに従い、対処してください。
30060300	指定の SVP IP Address が IP アドレスの形式に違反しています。 数値とドットで構成される Ipv4 アドレスを 設定してください。 (XXX. XXX. XXX. XXX)	—	メッセージに従い、対処してください。
30060301	SVP の IP Address が同じなのに User ID や Password が違っています。 指定した User ID と Password を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30060302	SVP の IP Address が同じなのに HVM の Location が重複しています。 指定した SVP IP Address と指定ファイル内の Location 設定 (<HvmConf>-<Location>) を確認してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30060399	{0} の実行を開始します。 よろしいですか？	{0}: "Connection to SVP"	メッセージに従い、対処してください。
30060400	ブレードの電源が OFF ではありません。 Partition No : {0} 警告を無視して実行した場合は、 Initial Setting をスキップします。 ブレードの電源を OFF にしてから、 再度実行してください。	{0}: 対象 Partition 番号	メッセージに従い、対処してください。
30060401	指定の搭載位置にブレードが挿入されていない、 またはブレード初期化中です。 Partition No : {0} ブレードの状態を確認してから、再度実行してください。	{0}: 対象 Partition 番号	メッセージに従い、対処してください。
30060499	{0} の実行を開始します。 よろしいですか？	{0}: "Initial Setting"	メッセージに従い、対処してください。
30060500	HVM が登録されていません。 次に進むには HVM の登録が必要です。 HVM を Profile に登録してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
30060599	{0} の実行を開始します。 よろしいですか？	{0}: "LPAR Setting"	メッセージに従い、対処してください。
30060600	実行対象から外されました。 Step : {0}	{0}: "Load HVM Setting File"	—
30060601	エビデンスファイルを出力して {0} を終了します。 よろしいですか？	{0}: "Easy Start"	メッセージに従い、対処してください。
30060602	エビデンスファイルを出力していません！ 画面を閉じて、{0} を終了してもよろしいですか？	{0}: "Easy Start"	メッセージに従い、対処してください。
30060603	エビデンスファイルの出力は正常に終了しました。 格納フォルダ : {0}	{0}: エビデンスファイル の格納フォルダ	—

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30068001	XML ファイルの解析に失敗しました。 detail : {0} 指定したファイルを確認してください。	{0}: 詳細内容	メッセージに従い, 対処してください。
30068002	設定値が正しくありません。 対象 : {0} 設定値 : {1} 指定したファイルを確認してください。	{0}: 設定項目名称 {1}: 設定値	メッセージに従い, 対処してください。
30068003	設定値が重複しています。 対象 : {0} 設定値 : {1} 指定したファイルを確認してください。	{0}: 設定項目名称 {1}: 設定値	メッセージに従い, 対処してください。
30068004	{0} の指定がないため, HVM IP アドレス情報のみで接続対象を認識します。	{0}: “ Chassis Serial Number” or “Blade Serial Number”	—
30068005	設定に必要な物理リソース情報がありません。 対象 : {0} 設定値 : {1} 指定したファイルを確認してください。	{0}: 設定項目名称 {1}: 設定値	メッセージに従い, 対処してください。
30068006	物理と仮想のスケジュールが一致しません。 対象 : {0} 設定値 : {1} 指定したファイルを確認してください。	{0}: 設定項目名称 {1}: 設定値	メッセージに従い, 対処してください。
30068007	ファイルのバージョンがサポート範囲外です。 ファイルバージョン : {0} 指定したファイルを確認してください。	{0}: 指示書のファイル	メッセージに従い, 対処してください。
30068008	必要な設定値がありません。 対象 : {0} 指定したファイルを確認してください。	{0}: 設定項目名称	メッセージに従い, 対処してください。
30068009	XML の解析に失敗しました。 detail : {0} 指定したファイルの内容が 変更されていないか確認してください。	{0}: 詳細内容	メッセージに従い, 対処してください。
30068101	ブレードの電源が OFF ではありません。 ブレードの電源を OFF にしてから, 再度実行してください。	—	メッセージに従い, 対処してください。
30068102	必要な値が設定されていません。 対象 : {0} 内容を確認し, 再度実行してください。	{0}: 設定項目名称	メッセージに従い, 対処してください。
30068103	接続対象のサーバブレードは Virtage Navigator からの BIOS 設定を サポートしていません。 SVP Ver. : {0} BIOS Ver. : {1} ファームウェアのバージョンがサポート対象か確認してください。	{0}: SVP バージョン {1}: BIOS バージョン	メッセージに従い, 対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30068104	接続対象のサーバブレードは Virtage Navigator からの HyperThreading 設定を サポートしていません。 SVP Ver. : {0} BIOS Ver. : {1} ファームウェアのバージョン, または搭載プロセッサがサポート対象か 確認してください。	{0}:SVP バージョン {1}:BIOS バージョン	メッセージに従い, 対 処してください。
30068105	ブレードの電源が OFF ではありません。 OS モードが HVM 以外に設定されているため, スキップできません。 ブレードの電源を OFF にしてから, 再度実行してください。	—	メッセージに従い, 対 処してください。
30068106	接続したサーバブレードと Partition 位置が異なりま す。 設定値 : {0} 取得値 : {1} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:指示書の設定値 {1}:既設定値	メッセージに従い, 対 処してください。
30068107	接続対象のサーバブレードに HVM がインストールされていません。 サーバブレードの構成を確認してください。	—	メッセージに従い, 対 処してください。
30068108	選択されている HVM の HVM 起動待ちを中断します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い, 対 処してください。
30068109	HVM IP Address : {0} HVM 起動待ち状態になってから, 約 {1} 分経過しました。 HVM の起動が確認出来ません。以下を確認してください。 1. 管理サーバと HVM 間のネットワーク接続に問題は無 いか, 疎通確認を行ってください。 2. HVM コンソール(シリアル接続)で, HVM が起動中にな っているか確認してください。 3. メンテナンスツールを使用して起動していないかを 確認してください。 4. BSM 連携設定でこのコンピュータの IP アドレスが, BSM IP アドレスに登録されているか確認してください。 上記の確認後, 必要であれば STOP ボタンから処理を中断 し, 再度実行を行ってください。	{0}:HVM の IP アドレス {1}:経過時間(分)	メッセージに従い, 対 処してください。
30068201	対象のサーバブレードと指示書のシリアル番号が異なり ます。 対象 : {0} 設定値 : {1} 取得値 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:指示書の設定値 {2}:既設定値	メッセージに従い, 対 処してください。
30068202	対象のサーバブレードの HyperThread 設定が 指示書の設定と異なります。 対象 : {0} 設定値 : {1} 取得値 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:指示書の設定値 {2}:既設定値	メッセージに従い, 対 処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
30068203	対象のサーバブレードと指示書の情報が異なります。 対象 : {0} 設定値 : {1} 取得値 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0} : 設定項目名称 {1} : 指示書の設定値 {2} : 既設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068204	対象のサーバブレードのリソースが指示書の情報と異なります。 対象 : {0} 設定値 : {1} 取得値 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0} : 設定項目名称 {1} : 指示書の設定値 {2} : 既設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068205	対象のサーバブレードと指示書の情報が異なります。 対象 : {0} 設定値 : {1} 取得値 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0} : 設定項目名称 {1} : 指示書の設定値 {2} : 既設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068206	対象のサーバブレードに指定の物理 PCI デバイスが存在しません。 対象 : {0} 設定値 : {1} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0} : 設定項目名称 {1} : 設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068207	対象のサーバブレードには設定対象の LPAR が既に存在しています。 対象 : {0} 設定値 : {1} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0} : 設定項目名称 {1} : 設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068208	対象のサーバブレードと設定値が重複しています。 対象 : {0} 設定値 : {1} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0} : 設定項目名称 {1} : 設定値	メッセージに従い、対処してください。
30068209	LPAR AutoAct 設定の合計数が Act できる上限数を超過しています。 対象 : {0} 設定数 : {1} 上限数 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0} : 設定項目名称 {1} : 設定値 {2} : 設定可能上限値	メッセージに従い、対処してください。
3006820B	共有 NIC の設定数が上限を超過しています。 設定数 : {0} 上限数 : {1} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0} : 設定値 {1} : 設定可能上限値	メッセージに従い、対処してください。
3006820C	LPAR に割当てできるプロセッサ数の上限を超過しています。 対象 : {0} 設定数 : {1} 上限数 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0} : 設定項目名称 {1} : 設定値 {2} : 設定可能上限値	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
3006820D	対象のサーバブレードの HVM は HvmRestart をサポートしていないため、 Reboot を実施できません。 HVM Ver. : {0} 対象 HVM がサポート対象か確認してください。	{0}:HVM バージョン	メッセージに従い、対 処してください。
3006820E	設定番号が上限数を超えています。 対象 : {0} 設定番号 : {1} 上限数 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:設定値 {2}:設定可能上限値	メッセージに従い、対 処してください。
3006820F	対象のサーバブレードと指示書の HVM 動作モードの値が 違います。 対象 : {0} 設定値 : {1} 取得値 : {2} 対象 HVM の構成を確認してください。	{0}:設定項目名称 {1}:設定値 {2}:取得値	メッセージに従い、対 処してください。
30068210	構成情報の設定に失敗しました。 通信状態を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対 処してください。
30068301	選択中の実行履歴を削除します。 よろしいですか？	—	メッセージに従い、対 処してください。
30068302	削除対象が選択されていません。	—	—

Virtage Navigator 操作において、表示されるメッセージの一部に使用する HvmSh エラーメッセージの一覧を以下に示します。

表 11-7 HvmSh エラーメッセージ一覧

メッセージ コード	メッセージ	説明	対処方法
10020001	Response Timeout.	対象のホストからの応答 がありませんでした。	指定した対象ホスト(操作先 HVM)が正常に動作し ていることを確認してください。正常に動作して いる場合は再実行してください。
10030001	Failed to bind.	Bind に失敗しました。	通信構成を確認してください。
上記以外	HVM 管理コマンド(HvmSh)ユーザズガイドを参照してください。		



## 11.6 LPAR マイグレーション用メッセージ

LPAR マイグレーションで使用されるメッセージは表 11-8 のとおりです。

表 11-8 LPAR マイグレーションで使用されるメッセージ

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
60000201	Concurrent Maintenance can not be performed on HVM with this license. {0} Check the HVM license level.	{0}:HVM IP アドレス	HVM ライセンスを確認してください。
60000301	Migration version on HVM is different between source and destination. Specify HVM that has the same major version of migration version.	–	マイグレーションバージョンのメジャーバージョンが同じ HVM を選択してください。
60000401	Some features will be limited because of migration from HVM set to Expansion mode to HVM set to Standard mode. Check HVM operating mode setting.	–	HVM の動作モードを確認してください。
60000501	The maximum activatable numbers of LPARs are activated on destination. Check the number of activated LPARs.	–	移動先 HVM で Activate している LPAR の数を確認してください。
60000601	Source HVM does not support LPAR Number Extension. MAC address may be duplicated. Specify LPAR that LPAR number is within the range from 1 to 16 at destination HVM.	–	移動元と先で LPAR 最大定義可能数を合わせてください。
60000602	Destination HVM does not support LPAR Number Extension. MAC address may be duplicated. Specify LPAR that LPAR number is within the range from 1 to 16 at source HVM.	–	移動元と先で LPAR 最大定義可能数を合わせてください。
60000701	The definable number of LPARs is different on a source and a destination HVM. Specify HVMs on which the same number of LPARs can be defined.	–	移動元と先で LPAR 最大定義可能数を合わせてください。
60001001	Chassis type is different between source and destination. Specify HVMs on blades inserted in the same type of Chassis.	–	移動先と元のシャーシタイプを合わせてください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
60001101	Blade type is different between source and destination. Specify HVMs on the same type of blade.	–	移動先と元のサーバブレードタイプを合わせてください。
60001201	Numbers of configured blades are different between source and destination due to SMP configuration. Specify HVMs on blades composed of same number of SMP configuration.	–	移動元と先でブレード間 SMP 構成を同一にしてください。
60001301	CPU frequency is different between source and destination. Specify HVMs on which processors with the same frequency are installed.	–	移動元 HVM の CPU 周波数と同じ CPU が搭載された HVM を選択してください。
60001401	The number of physical CPUs is different between source and destination. Match the installed number of physical CPUs on source and destination.	–	移動元と先で HVM の物理 CPU 数を合わせてください。
60002001	EFI version is different between source and destination. Specify HVMs on blades which same version of EFI is installed on.	–	移動先と元でブレードの EFI/BIOS のバージョンを合わせてください。
60002002	EFI version is not compatible between source and destination. Specify HVMs on blades which compatible version of EFI is installed on.	–	移動先と元でブレードの EFI/BIOS のバージョンを合わせてください。
60002101	SMT (Hyper Threading) setting is different between source and destination. Specify HVMs which SMT (Hyper Threading) setting is same.	–	移動元と先で SMT の設定を合わせてください。
60003001	The NIC port set as Migration Path does not exist. Set Migration Path in Path Setting window. HVM IP Address : {0}	{0}:HVM IP アドレス	マイグレーションパスには搭載されている NIC を指定してください。
60003002	The NIC port set as Migration Path is not set to Shared Mode. HVM IP Address : {0} Change scheduling mode of NIC or specify another Migration Path.	{0}:HVM IP アドレス	マイグレーションパスにはスケジューリングモードが共有の NIC を指定してください。
60003003	It is not recommended that management path is set as Migration Path. HVM IP Address : {0} Specify Migration Path which management path is not set as.	{0}:HVM IP アドレス	管理パスでないパスをマイグレーションパスに指定してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
60003101	The IP address is already set to another Migration Path. Set another IP address to Migration Path.	-	移動元と先でマイグレーションパスの IP アドレスを違うアドレスにしてください。
60003102	Invalid value. Unsuitable for IP address format. Specify IP address in IPv4 dotted-decimal notation (XXX.XXX.XXX.XXX).	-	マイグレーションパスの IP アドレスを確認してください。
60003201	Migration Path for destination is not belonging to the network which Migration Path for source is belonging to. Check IP Address and Subnet Mask of Migration Path.	-	移動元と先のマイグレーションパスのサブネットマスクを確認してください。
60003202	Invalid value. Unsuitable for Subnet Mask format. Specify IP address and Subnet Mask in IPv4 dotted-decimal notation (XXX.XXX.XXX.XXX).	-	マイグレーションパスのサブネットマスクを確認してください。
60003301	VLAN ID for Migration Path is different between source and destination. Check VLAN ID of Migration Path.	-	移動元と先のマイグレーションパスの VLANID を確認してください。
60003302	Invalid value. Unsuitable for VLAN ID. Specify a VLAN ID value within the range from 1 to 4000.	-	マイグレーションパスの VLANID を確認してください。
60004101	LPAR which has same name exists on destination. Change the LPAR Name to name except NO_NAME.	-	移動先の LPAR 名称を移動元の名称と違う名称に変更してください。
60004102	LPAR Name is NO_NAME. Change the LPAR Name to name except NO_NAME.	-	移動先の LPAR 名称を「NO_NAME」から変更してください。
60004201	The defined LPAR is specified as destination. Specify undefined LPAR.	-	移動先の LPAR は未定義のものを指定してください。
60004202	The undefined LPAR is specified as source. Specify defined LPAR.	-	移動元の LPAR は定義済みのものを指定してください。
60004203	The LPAR specified as source has troubles. Check the LPAR state.	-	移動元 LPAR の状態を確認してください。
60004204	The LPAR specified as source is deactivated. Specify activated LPAR.	-	移動元 LPAR を Activate するか、状態が Activated の LPAR を指定してください。
60004205	The LPAR specified as source is activated. Enable remote shutdown option or Specify deactivated LPAR.	-	移動元 LPAR を Deactivate するか、状態が Deactivated の LPAR を指定してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
60004251	The LPAR specified as source is “ACT” . Enable remote shutdown option or Specify deactivated LPAR.	–	移動元 LPAR を Deactivate するか、状態が Deactivated の LPAR を指定してください。
60004252	The LPAR specified as source is “DEACT” . Specify activated LPAR.	–	移動元 LPAR を Activate するか、状態が Activated の LPAR を指定してください。
60004253	The LPAR specified as source is “FAILURE” . Check the LPAR state.	–	移動元 LPAR の状態を確認してください。
60004254	The LPAR specified as source is “Impossible” . Confirm version of HVM firmware.	–	移動元 HVM のバージョンを確認してください。
60004255	The LPAR specified as source is “Recovery” . Execute Recovery for the LPAR.	–	移動元 LPAR を Recovery してください。
60004256	The LPAR specified as source is “Migration in progress” . Wait until the end of the migration.	–	実行中のマイグレーションの終了をお待ちください。
60004257	The LPAR specified as source is “Migration Failure” . Check the LPAR configuration.	–	移動元 LPAR の状態を確認してください。
60004258	The LPAR specified as source is “Migration WWN” . Execute Rollback for the LPAR.	–	移動元 LPAR の WWN を Rollback してください。
60004259	The LPAR specified as source is “Unknown WWN Status” . Execute Rollback for the LPAR.	–	移動元 LPAR の WWN を Rollback してください。
6000425A	The LPAR specified as source is “Rollback” . Wait until the end of the Rollback.	–	実行中の Rollback の終了をお待ちください。
6000425B	The LPAR specified as source is “Rollforward” . Wait until the end of the Rollforward.	–	実行中の Rollforward の終了をお待ちください。
6000425C	The LPAR specified as source is “ACT (Other WWNs for a HBA port are abnormal)” . Execute Rollback for LPARs with HBA ports to which abnormal WWNs are assigned.	–	移動元 HVM で WWN が異常な状態の LPAR を Rollback してください。
6000425D	The LPAR specified as source is “Undefined” . Specify defined LPAR.	–	移動元の LPAR は定義済みのものを指定してください。
6000425E	The LPAR specified as source is “Unknown” . Check the LPAR state.	–	移動元 LPAR の状態を再取得してください。
60004301	Processor resources are insufficient on destination. {0} Specify another HVM or remove unnecessary LPARs.	–	移動先 HVM で移動元 LPAR に割り当てられている数の占有 CPU を確保してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
60004401	Memory resources are insufficient on destination. {0} Specify another HVM or remove unnecessary LPARs.	-	移動先 HVM で移動元 LPAR に割り当てられているメモリサイズを確保してください。
60004501	Virtual COM console will be detached from LPAR on destination because Virtual COM port can not be secured on destination. Check the state Virtual COM is assigned on destination.	-	移動先 HVM の仮想 COM の割当て状態を確認してください。
60004601	Migration cannot be performed with this VNIC Device Type. Change VNIC Device Type.	-	移動元と先の VNIC のデバイスタイプを合わせてください。
60004701	The USB device is attached. Detach the USB device and then migrate an LPAR.	-	移動元の USB デバイスの割当てを解除 (Detach) してください。
60004801	Logical CPU IDs are different between source and destination. Specify HVMs on blades which processors of the same CPUID are installed on.	-	移動元 HVM の論理 CPUID と同じ CPU が搭載された HVM を選択してください。
60004802	Internal error occurred. Restart Virtage Navigator and retry.	-	移動先 LPAR の状態を再取得してください。
60005001	Dedicated HBA is assigned to the LPAR. Change scheduling mode of HBA.	-	HBA のスケジューリングモードを共有に変更してください。
60005101	HBA configuration is different between source and destination. Specify HVMs which HBA is configured in the same way.	-	移動元と先の HBA の I/O 構成を一致させてください。
60005102	Internal error occurred. Restart Virtage Navigator and retry.	-	Virtage Navigator を再起動してください。
60005201	Hardware ID for HBA is different between source and destination. Check Hardware ID in HBA Configuration in Migration Config Viewer and specify HVMs which Hardware IDs are same.	-	移動先に移動元と同じ HBA カードが搭載された HVM を選択してください。
60005301	HBA ports have troubles on destination. Specify HVMs which HBA state is normal.	-	移動先の HBA の状態を確認してください。
60005302	HBA will be disconnected after Migration because HBA ports are linked down on destination. Specify HVMs which HBA state is normal.	-	移動先の HBA の状態を確認してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
60005303	HBA ports have troubles or Hot-plug is being operated. When operating Hot-plug, wait until the completion. Otherwise, check if HBA ports have troubles.	-	移動元または先のHBAのホットプラグ操作が終了するのをお待ちください。ホットプラグ操作を行っていない場合はHBAの状態を確認してください。
60005304	The LPAR may fail to be migrated because HBA ports have troubles. Check HBA status.	-	移動元または先のHBAの状態を確認してください。
60005305	Failed to retrieve information about HBA configuration. Perform update action after a while.	-	移動元または先のHBAの状態を再取得してください。
60005306	The LPAR may fail to be migrated because HBA ports have troubles. Check HBA status.	-	移動元または先のHBAの状態を確認してください。
60005401	HBA firmware does not support Concurrent Maintenance. Upgrade HBA firmware version or update HBA firmware revision.	-	移動元または先のHBAのファームウェアをコンカレントメンテナンスがサポートしているバージョンにバージョンアップしてください。
60005501	Some features will be limited because of migration to HBA that has older version of firmware. Check the HBA firmware version.	-	移動先のHBAのファームウェアバージョンを確認してください。
60005601	HBA driver does not support Concurrent Maintenance. Update HBA driver.	-	移動元のHBAのドライバをコンカレントメンテナンスがサポートしているバージョンにバージョンアップしてください。
60005701	There is no available vfcID on destination. Specify another HVM or remove unnecessary LPARs.	-	移動先 HVM で1 つ以上の vfcID を空けてください。
60005801	HBA devices of Destination are not available. Check HBA status.	-	HBA の状態を確認してください。
60005901	NIC devices of Destination are not available. Check NIC status.	-	NIC の状態を確認してください。
60006001	Dedicated NIC is assigned to the LPAR. Change scheduling mode of NIC.	-	NIC のスケジューリングモードを共有に変更してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
60006101	Virtual NIC segment setting is different between source and destination. Specify HVMs which Virtual NIC segment is configured in the same way.	-	移動元と先の NIC の I/O 構成を一致させてください。
60006102	Internal error occurred. Restart Virtage Navigator and retry.	-	Virtage Navigator を再起動してください。
60006103	Inter-LPAR Communication virtual NIC is configured. Inter-LPAR Communication virtual NIC will be disconnected from this network and be connected to another network after migration. Check Virtual NIC setting.	-	仮想NICの設定を確認してください。
60006201	Hardware ID for NIC is different between source and destination. Check Hardware ID in NIC Configuration in Migration Config Viewer and specify HVMs which Hardware IDs are same.	-	移動先に移動元と同じNICが搭載されたHVMを選択してください。
60006301	NIC ports have troubles on destination. Specify HVMs which NIC state is normal.	-	移動先のNICの状態を確認してください。
60006302	NIC will be disconnected after migration because NIC ports are linked down on destination. Specify HVMs which NIC state is normal.	-	移動先のNICの状態を確認してください。
60006303	NIC ports have troubles or Hot-plug is being operated. When operating Hot-plug, wait until the completion. Otherwise, check if NIC ports have troubles.	-	移動元または先のNICのホットプラグ操作が終了するのを待ちください。ホットプラグ操作を行っていない場合はNICの状態を確認してください。
60006304	The LPAR may fail to be migrated because NIC ports have troubles. Check NIC status.	-	移動元または先のNICの状態を確認してください。
60006305	Failed to retrieve information about NIC configuration. Perform update action after a while.	-	移動元または先のNICの状態を再取得してください。
60006306	The LPAR may fail to be migrated because NIC ports have troubles. Check NIC status.	-	移動元または先のNICの状態を確認してください。
60006401	More than {0} virtual NIC segments can not be defined on destination. Check HVM operating mode setting.	{0}:最大数	移動先HVMの動作モードを確認してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
60006501	Inter-LPAR packet filtering setting is different between source and destination. Check Inter-LPAR packet filtering setting.	–	移動元と先の NIC の LPAR 間通信 パケットフィルタの設定を合わせてください。
60006601	Shared NIC ports cannot be duplicated to any LPARs on the destination server blade. {0} Check Inter-LPAR packet filtering setting.	–	移動先 HVM の動作モードを確認してください。
60006701	Shared NIC port can not be assigned to each physical NIC per controller on destination. Check shared NIC setting.	–	移動先 HVM の動作モードを確認してください。
60006801	The VNIC System No. for the destination HVM is greater than the available it's on the source HVM. VNIC System No. (Destination) : {0} Max VNIC System No. (Source) : {1} Select the destination HVM with the VNIC System No. available on the source HVM.	{0} : VNIC System No {1} : Max VNIC System No	仮想 NIC システム番号が移動元 HVM の最大値より小さい HVM を移動先を選択してください。
60006802	The VNIC System No. for the source HVM is greater than the available it's on the destination HVM. VNIC System No. (Source) : {0} Max VNIC System No. (Destination) : {1} Select the destination HVM on which the VNIC System No. for the source HVM is available.	{0} : VNIC System No {1} : Max VNIC System No	移動元の仮想 NIC システム番号より大きい最大値の HVM を移動先を選択してください。
60006901	VF NICs are assigned. Unassign the VF NICs and then execute LPAR migration.	–	VF NIC の割り当てを解除し、再度 LPAR マイグレーションを実行してください。
60006A01	One or more USBs in dedicated mode are assigned to the LPAR. Release the dedicated USBs from the LPAR.	–	LPAR から占有 USB の割り当てを解除してください。
60006B01	The Migration security strength on the source and the destination server blades isn't matched. Match the Migration security strength on the source and the destination server blades.	–	移動元と移動先サーバブレードのセキュリティ強度設定を一致させてください。
6000FF01	Internal error occurred. Restart Virtage Navigator and retry.	–	Virtage Navigator を再起動してください。
6000FF02	Internal error occurred. Restart Virtage Navigator and retry.	–	Virtage Navigator を再起動してください。
6000FF03	Internal error occurred. Restart Virtage Navigator and retry.	–	Virtage Navigator を再起動してください。



コード	メッセージ	補足内容	対処方法
6000FF04	Failed to retrieve information about HVM configuration. Check the following: 1. Confirm no problems about performing update action. 2. Confirm version of HVM firmware. 3. Confirm version of Virtage Navigator.	—	移動元と先のHVMの情報を再取得してください。 移動元と先のHVMのファームウェアバージョンを確認してください。 Virtage Navigator を再起動してください。
6000FF05	Retrieve undefined value. Check the following: 1. Confirm no problems about performing update action. 2. Confirm version of HVM firmware. 3. Confirm version of Virtage Navigator.	—	移動元と先のHVMの情報を再取得してください。 移動元と先のHVMのファームウェアバージョンを確認してください。 Virtage Navigator を再起動してください。
65000000	Save setting of Migration Paths. Are you sure?	—	—
65000001	Invalid {0} Select valid {0}	{0}:PCI アドレス	有効なPCI アドレスを選択してください。
65000002	Invalid {0} Input valid {0}	{0}: IP アドレス	有効な IP アドレスを入力してください。
65000003	Invalid {0} Input valid {0}	{0}:サブネットマスク	有効なサブネットマスクを入力してください。
65000004	Invalid {0} Input valid {0}	{0}:VLAN ID	有効な VLAN ID を入力してください。
65000005	Invalid {0} Input valid {0}	{0}:名称	有効なマイグレーションパスの名称を入力してください。
65000006	No Migration Path is selected.HVM IP Address : {0} Select Migration Path.	{0}:HVM IP アドレス	マイグレーションパスを選択してください。
65000007	Some input values are invalid. Input and save valid values.	—	有効な値を入力、保存してください。
65000008	Failed to save Migration Paths. Detail : {0} Check disk space and disk access status.	{0}:詳細内容	ディスクの空き容量とディスクのアクセス状態を確認してください。
65000009	There are no removable rows. Management Path can not be removed. Reselect removed rows.	—	削除する行を再度選択してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
6500000A	{0} already exists for this HVM. Don't set same names for Migration Paths on an HVM. HVM IP Address : {1} {0} : {2} Input another {0}.	{0}:マイグレーションパス名称 {1}:HVM IP アドレス {2}:設定名称	ほかの名称を入力してください.
6500000B	More Migration Paths can not be added. The maximum number of registerable Migration Paths for a HVM is {0}	{0}:最大値	—
6500000C	Changed setting of Migration Paths is not saved. Are you sure?	—	メッセージに従い, 対処してください.
6500000D	Same as HVM IP Address. Input another {0}.	{0}:IP アドレス	メッセージに従い, 対処してください.
6500000E	Migration in progress will be canceled. Are you sure?	—	メッセージに従い, 対処してください.
6500000F	An error occurred while canceling. Detail : {0}	{0}:詳細内容	メッセージに従い, 対処してください.
65000010	A timeout period for migration will be changed. Timeout Value : {0} Are you sure?	{0}:タイムアウト値	メッセージに従い, 対処してください.
65000011	An error occurred while changing a timeout period. Detail : {0}	{0}:詳細内容	—
65000012	Rolling back a WWPN and a WWNN for a selected LPAR will start. LPAR No. : {0} Are you sure?	{0}:LPAR 番号	メッセージに従い, 対処してください.
65000013	An error occurred while rolling back a WWN for a source LPAR. Detail : {0}	{0}:詳細内容	—
65000014	An error occurred while setting HBA Support Check. Detail : {0}	{0}:詳細内容	—
65000015	An error occurred while changing a Storage Login timeout. Detail : {0}	{0}:詳細内容	—
65000016	An error occurred while changing a Migration Options. Detail : {0}	{0}:詳細内容	—
65000017	An error occurred while changing a VRAM transfer setting. Detail : {0}	{0}:詳細内容	—

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
66000001	The path storing Storage Navigator Modular2 CLI is not set. Set the path in Path textbox in Storage Navigator Setting in Migration Option menu in Option window.	—	Storage Navigator Modular 2 CLI が格納されているパスを設定してください。
66000002	Virtage Navigator cannot access to Storage Navigator Modular2 CLI. Check a set path in Path textbox in Storage Navigator Setting in Migration Option menu in Option window.	—	Option ウィンドウの Migration Option メニューの Storage Navigator setting にある Path テキストボックスに設定されたパスを確認してください。
66000003	The migration WWN with the error icon is already registered. Check if the migration WWN is registered or not in the WWN List.	—	WWN List でそのマイグレーション WWN が登録されているか確認してください。
66000004	The migration WWN with the error icon isn't registered. Check if the migration WWN is registered or not in the WWN List.	—	WWN List でそのマイグレーション WWN が登録されているか確認してください。
66000006	The configuration data after the execution cannot be retrieved from the storage machine. Check the connection between the storage machine and Storage Navigator Modular2 and then retry.	—	ストレージマシンと Storage Navigator Modular 2 の接続を確認し、再実施してください。
66000007	The data of storage machine registered to the Storage Navigator failed to be gotten. The following error occurred on Storage Navigator. Array Unit Name: {0} Result: {1} Detail: {2} Check the following error code and message.	{0}: ユニット名 {1}: 応答結果 {2}: 詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000008	The configuration data retrieved from the storage machine is invalid. Array Unit Name: {0} Result: {1} Check the version and the state of the Storage Navigator.	{0}: ユニット名 {1}: 応答結果	Storage Navigator Modular 2 のバージョンと状態を確認してください。
6600000A	The number of characters for the nickname is invalid. Length: {0} Please input within {0} characters.	{0}: 文字数	文字数制限に従い、ニックネームを再設定してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
6600000B	One or more unsuitable characters are used for the nickname. Invalid Character: {0}	{0}: 設定値	適切な文字のみを使用してニックネームを設定してください。
6600000C	The data of all storage machines registered to the Storage Navigator failed to be gotten. Result: {0} Detail: {1} Check the following error code and message.	{0}: 応答結果 {1}: 詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。
6600000D	The data of one or more storage machines registered to the Storage Navigator failed to be gotten. Error Count: {0} Take any of the following measures. 1. Check the connection between the storage machines which failed to be updated and then retry. 2. Uncheck the checkboxes for the storage machines not to update in Storage Selection group box and then retry.	{0}: エラー数	以下のいずれかの対処をしてください。 1. Update に失敗したストレージマシンの接続を確認し、再実施してください 2. Storage Selection グループボックスで Update しないストレージマシンのチェックボックスからチェックを外し、再実施してください。
6600000E	The data of storage machine registered to the Storage Navigator failed to be gotten. The following error occurred. Array Unit Name: {0} Result: {1} Detail: {2} Check the following error code and message.	{0}: ユニット名 {1}: 応答結果 {2}: 詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。
6600000F	The data for registering the migration WWN cannot be written on the configuration data on the storage machine. The following error occurred on Virtage Navigator. Array Unit Name: {0} Result: {1} Detail: {2} Check the following error code and message.	{0}: ユニット名 {1}: 応答結果 {2}: 詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
66000010	<p>The configuration of storage on the storage machine cannot be backed up.</p> <p>The following error occurred on Storage Navigator.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result: {1}</p> <p>Detail: {2}</p> <p>Check the following error code and message.</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: 応答結果</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000011	<p>The configuration of storage on the storage machine cannot be backed up.</p> <p>The following error occurred.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result: {1}</p> <p>Detail: {2}</p> <p>Check the following error code and message.</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: 応答結果</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000013	<p>The migration WWN with the error icon isn't registered.</p> <p>Check if the storage data is updated from another terminal or not.</p>	—	ほかの端末からストレージデータが更新されていないか確認してください。
66000014	<p>The migration WWN with the error icon isn't removed.</p> <p>Check if the storage data is updated from another terminal or not.</p>	—	ほかの端末からストレージデータが更新されていないか確認してください。
66000015	<p>The nickname for the migration WWN with the error icon isn't changed.</p> <p>Check if the storage data is updated from another terminal or not.</p>	—	ほかの端末からストレージデータが更新されていないか確認してください。
66000016	<p>The migration WWN with the error icon isn't registered.</p> <p>Because the configuration data cannot be retrieved from the storage machine. The following error occurred on Storage Navigator.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result: {1}</p> <p>Detail: {2}</p> <p>Check the following error code and message.</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: ステータス</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	エラーコードとメッセージを確認してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
66000017	<p>The migration WWN with the error icon isn't removed. Because the configuration data cannot be retrieved from the storage machine. The following error occurred on Storage Navigator.</p> <p>Array Unit Name: {0} Result: {1} Detail: {2}</p> <p>Check the following error code and message.</p>	<p>{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容</p>	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000018	<p>The nickname for the migration WWN with the error icon isn't changed. Because the configuration data cannot be retrieved from the storage machine. The following error occurred on Storage Navigator.</p> <p>Array Unit Name: {0} Result: {1} Detail: {2}</p> <p>Check the following error code and message.</p>	<p>{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容</p>	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000019	<p>The migration WWN with the error icon isn't registered. Because the configuration data retrieved from the storage machine is invalid.</p> <p>Array Unit Name: {0} Result : {1} Detail : {2}</p> <p>Check the version and the state of the Storage Navigator.</p>	<p>{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容</p>	Storage Navigator Modular2のバージョンまたは状態を確認してください。
6600001A	<p>The migration WWN with the error icon isn't removed. Because the configuration data retrieved from the storage machine is invalid.</p> <p>Array Unit Name: {0} Result : {1} Detail : {2}</p> <p>Check the version and the state of the Storage Navigator.</p>	<p>{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容</p>	Storage Navigator Modular2のバージョンまたは状態を確認してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
6600001B	<p>The nickname for the migration WWN with the error icon isn't changed.</p> <p>Because the configuration data retrieved from the storage machine is invalid.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result : {1}</p> <p>Detail : {2}</p> <p>Check the version and the state of the Storage Navigator.</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: ステータス</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	Storage Navigator Modular2 のバージョンまたは状態を確認してください。
6600001C	<p>The migration WWN with the error icon isn't registered.</p> <p>Because the data for registering the migration WWN cannot be written on the configuration data on the storage machine.</p> <p>The following error occurred on Storage Navigator.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result: {1}</p> <p>Detail: {2}</p> <p>Check the following error code and message.</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: ステータス</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	エラーコードとメッセージを確認してください。
6600001D	<p>The migration WWN with the error icon isn't removed.</p> <p>Because the data for unregistering the migration WWN cannot be written on the configuration data on the storage machine.</p> <p>The following error occurred on Storage Navigator.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result: {1}</p> <p>Detail: {2}</p> <p>Check the following error code and message.</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: ステータス</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	エラーコードとメッセージを確認してください。
6600001E	<p>The nickname for the migration WWN with the error icon isn't changed.</p> <p>Because the data for changing the migration WWN nickname cannot be written on the configuration data on the storage machine.</p> <p>The following error occurred on Storage Navigator.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result: {1}</p> <p>Detail: {2}</p> <p>Check the following error code and message.</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: ステータス</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	エラーコードとメッセージを確認してください。
6600001F	File output process has normally ended.	—	—

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
66000020	Failed to execute file output process. Detail : {0} Check output destination folder and status of computer running Virtage Navigator, and then retry the failed operation.	{0}: 詳細内容	出力先フォルダと Virtage Navigator が動作しているマシンの状態を確認し、失敗した操作を再度実施してください。
66000021	Failed to log in to the Storage Navigator. Array Unit Name: {0} Result: {1} Detail : {2} Check the following error code and message.	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000022	Failed to log out of the Storage Navigator. Array Unit Name: {0} Result: {1} Detail : {2} Check the following error code and message.	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000023	Failed to log in to the Storage Navigator. Array Unit Name: {0} Result: {1} Detail : {2} Check the following error code and message.	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000024	Failed to log out of the Storage Navigator. Array Unit Name: {0} Result: {1} Detail : {2} Check the following error code and message.	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000025	Failed to import the file. Detail : {0}	{0}: 詳細内容	ファイルの状態を確認し、再度実施してください。
66000026	The migration WWN with the error icon isn't registered. 1. It's possible that the password set for the Administration Mode is wrong. Check if you have set the correct password (for the Administration Mode) or not. 2. It's possible that an error occurred while registering the migration WWN/removing the migration WWN/changing the nickname. Check the state of the Storage Navigator or the storage machine and then retry.	—	1. 設定した Administration Mode 用のパスワードを確認してください。 2. Storage Navigator Modular 2 とストレージマシンの状態を確認し、再度実施してください。



コード	メッセージ	補足内容	対処方法
66000027	<p>The migration WWN with the error icon isn't removed.</p> <p>1. It's possible that the password set for the Administration Mode is wrong.</p> <p>Check if you have set the correct password (for the Administration Mode) or not.</p> <p>2. It's possible that an error occurred while registering the migration WWN/removing the migration WWN/changing the nickname.</p> <p>Check the state of the Storage Navigator or the storage machine and then retry.</p>	—	<p>1. 設定した Administration Mode 用のパスワードを確認してください。</p> <p>2. Storage Navigator Modular 2 とストレージマシンの状態を確認し、再度実施してください。</p>
66000028	<p>The nickname for the migration WWN with the error icon isn't changed.</p> <p>1. It's possible that the password set for the Administration Mode is wrong.</p> <p>Check if you have set the correct password (for the Administration Mode) or not.</p> <p>2. It's possible that an error occurred while registering the migration WWN/removing the migration WWN/changing the nickname.</p> <p>Check the state of the Storage Navigator or the storage machine and then retry.</p>	—	<p>1. 設定した Administration Mode 用のパスワードを確認してください。</p> <p>2. Storage Navigator Modular 2 とストレージマシンの状態を確認し、再度実施してください。</p>
66000029	<p>The Password Protection is disabled in the storage machine.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result : {1}</p> <p>Detail : {2}</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: ステータス</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	—
6600002A	<p>Failed to load the password data for the storage machines.</p> <p>The file might be broken.</p> <p>Input the password data in {0} window.</p>	—	<p>ストレージマシンのパスワードを直接入力してください。</p>
6600002B	<p>Failed to save the password data for the storage machines.</p> <p>Return : {0}</p> <p>Retry the failed operation.</p>	{0}: 応答結果	<p>失敗した操作を再度実施してください。</p>

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
6600002C	Failed to input a password for the Administration Mode. Array Unit Name: {0} Result : {1} Detail : {2} Check if you have set the password for the Administration Mode or not.	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	Administration Mode 用のパスワードを設定したか確認してください。
6600002D	The Account Authentication is disabled in the storage machine. Array Unit Name: {0} Result : {1} Detail : {2}	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	—
6600002E	The configuration data after the execution cannot be retrieved from the storage machine. Array Unit Name: {0} Result : {1} Detail : {2} Check the connection between the storage machine and Storage Navigator Modular2 and then retry.	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	ストレージマシンと Storage Navigator Modular 2 の接続を確認し、再実施してください。
6600002F	The process has been cancelled by your operation.	—	—
66000030	Are you sure you proceed with this cancellation?	—	—
66000031	The data of storage machine registered to the Storage Navigator failed to be gotten. Array Unit Name: {0} Result : {1} Detail : {2} Check if the storage machine is being logged into with another application tool, and then retry.	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	ほかのアプリケーションツールでストレージマシンにログインしていないか確認し、再度実施してください。
66000032	The migration WWN with the error icon isn't registered. Array Unit Name: {0} Result : {1} Detail : {2} Check if the storage machine is being logged into with another application tool, and then retry.	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	ほかのアプリケーションツールでストレージマシンにログインしていないか確認し、再度実施してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
66000033	<p>The migration WWN with the error icon isn't removed.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result : {1}</p> <p>Detail : {2}</p> <p>Check if the storage machine is being logged into with another application tool, and then retry.</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: ステータス</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	<p>ほかのアプリケーションツールでストレージマシンにログインしていないか確認し、再度実施してください。</p>
66000034	<p>The nickname for the migration WWN with the error icon isn't changed.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result : {1}</p> <p>Detail : {2}</p> <p>Check if the storage machine is being logged into with another application tool, and then retry.</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: ステータス</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	<p>ほかのアプリケーションツールでストレージマシンにログインしていないか確認し、再度実施してください。</p>
66000035	<p>The migration WWN with the error icon isn't registered.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result : {1}</p> <p>Detail : {2}</p> <p>It's possible that any/both of the following items are fulfilled.</p> <p>1. Input an incorrect user ID and password.</p> <p>2. Type any keys or click in the window to register/change/remove a user ID and a password for Password Protection or Account Authentication.</p> <p>Retry without taking the above actions.</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: ステータス</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	<p>メッセージに従い、対処してください。</p>
66000036	<p>The migration WWN with the error icon isn't removed.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result : {1}</p> <p>Detail : {2}</p> <p>It's possible that any/both of the following items are fulfilled.</p> <p>1. Input an incorrect user ID and password.</p> <p>2. Type any keys or click in the window to register/change/remove a user ID and a password for Password Protection or Account Authentication.</p> <p>Retry without taking the above actions.</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: ステータス</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	<p>メッセージに従い、対処してください。</p>

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
66000037	<p>The nickname for the migration WWN with the error icon isn't changed.</p> <p>Array Unit Name: {0}</p> <p>Result : {1}</p> <p>Detail : {2}</p> <p>It's possible that any/both of the following items are fulfilled.</p> <p>1. Input an incorrect user ID and password.</p> <p>2. Type any keys or click in the window to register/change/remove a user ID and a password for Password Protection or Account Authentication.</p> <p>Retry without taking the above actions.</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: ステータス</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	<p>メッセージに従い、対処してください。</p>
66000038	<p>The data of storage machine registered to the Storage Navigator failed to be gotten.</p> <p>Array Unit Name : {0}</p> <p>Result : {1}</p> <p>Detail : {2}</p> <p>Check the setting for Account Authentication / Password Protection</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: ステータス</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	<p>Account Authentication、または Password protection の設定を確認してください。</p>
66000039	<p>The migration WWN with the error icon isn't registered.</p> <p>Array Unit Name : {0}</p> <p>Result : {1}</p> <p>Detail : {2}</p> <p>Check the setting for Account Authentication / Password Protection</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: ステータス</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	<p>Account Authentication、または Password protection の設定を確認してください。</p>
66000040	<p>The migration WWN with the error icon isn't removed.</p> <p>Array Unit Name : {0}</p> <p>Result : {1}</p> <p>Detail : {2}</p> <p>Check the setting for Account Authentication / Password Protection</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: ステータス</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	<p>Account Authentication、または Password protection の設定を確認してください。</p>
66000041	<p>The nickname for the migration WWN with the error icon isn't changed.</p> <p>Array Unit Name : {0}</p> <p>Result : {1}</p> <p>Detail : {2}</p> <p>Check the setting for Account Authentication / Password Protection</p>	<p>{0}: ユニット名</p> <p>{1}: ステータス</p> <p>{2}: 詳細内容</p>	<p>Account Authentication、または Password protection の設定を確認してください。</p>

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
66000042	All processes have completed. The number of WWNs: {0}	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	—
66000043	Failed to input a password for the Administration Mode. Array Unit Name : {0} Result : {1} Detail : {2} Check if you have set the password for the Administration Mode or not. Also, check if the maximum registerable number of WWPNS and migration WWPNS are already registered or not.	{0}: ユニット名 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	Administration Mode のパスワードを設定しているか確認してください。 また、最大登録可能数分の WWPNS とマイグレーション WWPNS が既に登録されていないか確認してください。
66000046	Processing timed out because multiple processes were running. Retry the failed operation after a while.	—	しばらくしてから失敗した操作を再度実施してください。
66000047	Failed to retrieve the data for WWNs. Result : {0} Click Update button and then retry:	{0}: 結果	Update ボタンをクリックし、再度実施してください。
66000048	The data of storage machine registered to the Storage Navigator failed to be gotten. Array Unit Name : {0} Result : {1} Detail : {2} It's possible that any/both of the following items are fulfilled. 1. Input an incorrect user ID and password. 2. Type any keys or click in the window to register/change/remove a user ID and a password for Password Protection or Account Authentication. Retry without taking the above actions.	{0}: ユニット名 {1}: 結果 {2}: 詳細内容	メッセージに従い、対処してください。
66000049	The data of storage machine registered to the Storage Navigator failed to be gotten. Array Unit Name : {0} Result : {1} Detail : {2} Set the parameters for Account Authentication for the storage machine in the Password Setting window.	{0}: ユニット名 {1}: 結果 {2}: 詳細内容	Password Setting ウィンドウで、ストレージマシンに対し、Account Authentication 用のパラメータを設定してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
6600004A	The migration WWN with the error icon isn't registered, because Password Protection for the storage machine is enabled.  Set the parameters for Password Protection for the storage machine in the Password Setting window.	{0}: ユニット名 {1}: 結果 {2}: 詳細内容	Password Setting ウィンドウで、ストレージマシンに対し、Password Protection 用のパラメータを設定してください。
6600004B	The migration WWN with the error icon isn't removed, because Password Protection for the storage machine is enabled.  Array Unit Name : {0} Result : {1} Detail : {2}  Set the parameters for Password Protection for the storage machine in the Password Setting window.	{0}: ユニット名 {1}: 結果 {2}: 詳細内容	Password Setting ウィンドウで、ストレージマシンに対し、Password Protection 用のパラメータを設定してください。
6600004C	The nickname for the migration WWN with the error icon isn't changed, because Password Protection for the storage machine is enabled.  Array Unit Name : {0} Result : {1} Detail : {2}  Set the parameters for Password Protection for the storage machine in the Password Setting window.	{0}: ユニット名 {1}: 結果 {2}: 詳細内容	Password Setting ウィンドウで、ストレージマシンに対し、Password Protection 用のパラメータを設定してください。
66000551	An error occurred while renewing the data for the registered storage machines in the Storage Navigator.  Result Code: {0} Detail: {1}  Check the following error code and message.	{0}: 応答結果 {1}: 詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000552	An error occurred while renewing the data for the registered storage machines in the Storage Navigator.  Result Code: {0} Detail: {1}  Check the following error code and message.	{0}: 応答結果 {1}: 詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。
66000553	No storage machines will be registered and this procedure to register WWNs will be also quit.	—	—
66000554	Could not add Storage. ({0})  The following error occurred on Storage Navigator. Result : {1} Detail : {2}  Check the following error code and message.	{0}: 設定値 {1}: ステータス {2}: 詳細内容	エラーコードとメッセージを確認してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
66001000	Are you sure?	—	—
66001001	Unsuitable values are set. Check the input characters.	—	入力値を確認してください。
66001002	{0} isn't set.	{0}:Administration Mode/Security Type	—
66001003	Invalid {0}. reason : {1} Input valid {0}	{0}:パスワード {1}:詳細内容	有効なパスワードを入力してください。
66001004	Invalid {0}. reason : {1} Input valid {0}	{0}:ユーザ ID {1}:詳細内容	有効なユーザ ID を入力してください。
66001005	Invalid {0}. reason : {1} Input valid {0}	{0}:パスワード {1}:詳細内容	有効なパスワードを入力してください。
66001006	There are some storage machines for which {0} isn't set. You cannot operate storage machines for which {0} isn't set. If there are no problems, click OK button.	{0}:設定値	OK ボタンをクリックしてください。
66001007	Invalid file. Filename : {0} Select a valid file.	{0}:ファイル名称	有効なファイルを選択してください。
66001008	Export Success. Filename : {0}	{0}:ファイル名称	—
66001009	Import Success. Filename : {0}	{0}:ファイル名称	—
6600100A	No values will be set. You cannot register Migration WWNs without the settings for Administration Mode, Password Protection, and Account Authentication. Are you sure?	—	—

## 11.7 Remote LPAR Control 用メッセージ

Remote LPAR Control で使用されるメッセージは表 11-9 のとおりです。

表 11-9 Remote LPAR Control で使用されるメッセージ

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
71000000	サービスを起動しました。	—	—
71000001	サービスを停止しました。	—	—
71000002	サービスの起動で内部障害が発生しました。 {0} サービスの稼働状態を確認して下さい。	{0} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
71000003	サービスの停止で内部障害が発生しました。 {0} サービスの稼働状態を確認して下さい。	{0} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
71000004	サービス処理で内部障害が発生しました。 {0} サービスの稼働状態を確認して下さい。	{0} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
71000005	ユーザ処理の停止で内部障害が発生しました。 {0} サービスの稼働状態を確認して下さい。	{0} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
71000006	許可しない Web サーバからの接続がありました。 IP address : {0} 接続可能 IP アドレスの設定を確認してください。	{0} : IP アドレス	メッセージに従い、対処してください。
71000007	不正なデータを受信しました。	—	—
71000008	ユーザの要求処理で内部障害が発生しました。 {0} サービスの稼働状態を確認して下さい。	{0} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
71000009	ユーザの取得に失敗しました。 ユーザ情報を確認して下さい。	—	メッセージに従い、対処してください。
7100000A	許可しない LPAR の操作要求がありました。 LparName : {0} Operation : {1} ユーザ情報を確認して下さい。	{0} : LPAR 名称 {1} : 操作内容	メッセージに従い、対処してください。
7100000B	操作要求の LPAR が登録されていません。 LparName : {0} Operation : {1} HVM 情報の Update を実施してから、 ユーザの LPAR 情報を確認してください。	{0} : LPAR 名称 {1} : 操作内容	メッセージに従い、対処してください。
7100000C	Login が完了しました。	—	—
7100000D	Login が失敗しました。 {0}	{0} : エラー内容	問い合わせがあった場合は、ユーザ ID とパスワードを確認してください。
7100000E	Logout が完了しました。	—	—
7100000F	Logout が失敗しました。 {0}	{0} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
71000011	Update が完了しました。	—	—
71000012	Update が失敗しました。 {0}	{0} : エラー内容	問い合わせがあった場合は、管理サーバと Web サーバ間のネットワーク状況を確認してください。
71000013	{0} の Act が完了しました。	{0} : LPAR 名称	—
71000014	{0} の Act が失敗しました。 {1} LPAR の状態を確認して下さい。	{0} : LPAR 名称 {1} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。



コード	メッセージ	補足内容	対処方法
71000015	{0} の Deact が完了しました。	{0} : LPAR 名称	—
71000016	{0} の Deact が失敗しました。 {1} LPAR の状態を確認して下さい。	{0} : LPAR 名称 {1} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
71000017	{0} の Dump が完了しました。	{0} : LPAR 名称	—
71000018	{0} の Dump が失敗しました。 {1} LPAR の状態を確認して下さい。	{0} : LPAR 名称 {1} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
7100001B	{0} の Snapshot が完了しました。	{0} : LPAR 名称	—
7100001C	{0} の Snapshot が失敗しました。 {1} HVM の状態を確認して下さい。	{0} : LPAR 名称 {1} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
7100001D	不正な要求を受信しました。 Command ID : {0} Web サーバーからの受信データを確認して下さい。	{0} : コマンド ID	メッセージに従い、対処してください。
7100001E	ユーザの要求処理で内部障害が発生しました。 LparName : {0} Operation : {1} {2} サービスの稼働状態を確認して下さい。	{0} : LPAR 名称 {1} : コマンド ID {2} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
7100001F	サービス処理で内部障害が発生しました。 {0} サービスの稼働状態を確認して下さい。	{0} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
71000020	接続タイムアウトにより、切断しました。	—	—
71000021	接続タイムアウトによる切断に失敗しました。 {0} サービスの稼働状態を確認して下さい。	{0} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
71000022	ユーザ認証により、Login が失敗しました。 ユーザ情報を確認して下さい。	—	メッセージに従い、対処してください。
71000023	接続最大ユーザ数を越えたため、Login が失敗しました。	—	問い合わせがあった場合は、接続最大ユーザ数を大きくしてください。
71000024	{0} の Snapshot が失敗しました。 HVM Web システムの User ID, Password を確認して下さい。	{0} : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
71000025	Act 状態のため、{0} の Act に失敗しました。	{0} : LPAR 名称	—
71000026	Deact 状態のため、{0} の Deact に失敗しました。	{0} : LPAR 名称	—
71000027	Disconnect が完了しました。	—	—
71000028	Disconnect が失敗しました。 {0} サービスの稼働状態を確認して下さい。	{0} : エラー内容	メッセージに従い、対処してください。
71000029	{0} の Snapshot が失敗しました。 しばらく経ってから、再度実行してください。	{0} : LPAR 名称	メッセージに従い、対処してください。
7100002B	同一ユーザがログイン中のため、Login が失敗しました。	—	—
75000000	選択した User ID を削除します。 よろしいですか？	—	—
75000001	ユーザ情報を登録します。 よろしいですか？	—	—
75000002	ユーザ情報を変更します。 よろしいですか？	—	—
75000003	この User ID はすでに登録されています。 User ID を変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
75000004	ユーザ情報の登録に失敗しました。 設定値を確認後、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。

コード	メッセージ	補足内容	対処方法
75000005	サービスの起動に失敗しました。 Option ウィンドウで設定したポート番号を確認後、 再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
75000006	サービスの停止に失敗しました。 Virtage Navigator を再起動後、再実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
75000007	接続しているユーザが選択されていません。 接続しているユーザを選択し、再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
75000008	Disconnect に失敗しました。 再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
75000009	選択したユーザのアクセスを停止します。 よろしいですか？	—	—
7500000A	HVM Web システムの User ID と Password を変更します。 よろしいですか？	—	—
7500000B	HVM Web システムの User ID と Password を変更せずに 終了します。 よろしいですか？	—	—
7500000C	接続中のユーザが存在します。 サービスを停止しますがよろしいですか？	—	—
7500000D	{0} の削除に失敗しました。 ユーザの接続状態を確認してから 再度実行してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
7500000E	ファイル出力が正常終了しました。	—	—
7500000F	ファイル出力に失敗しました。 詳細： {0} 出力先フォルダの状態を確認後、再度実行してください。	{0} : エラー詳細	メッセージに従い、対処してください。
75000010	重複している Host Name があります。 重複しないように Host Name を変更してください。	—	メッセージに従い、対処してください。
75000011	{0} の登録に失敗しました。 ユーザの接続状態を確認してから 再度実行してください。	{0} : ユーザ名	メッセージに従い、対処してください。
75000012	登録可能な LPAR 数を超えたため、登録に失敗しました。 登録 LPAR 数を {0} 以下にしてください。	{0} : LPAR 数	メッセージに従い、対処してください。
75000013	{0} に不正な文字が登録されています。 {1} に使用できる文字は、'0' ~ '9', 'a' ~ 'z', 'A' ~ 'Z', '-', '_' です。 {2} の先頭に使える文字は、'a' ~ 'z', 'A' ~ 'Z' となります。	{0} : ユーザ名/ホスト名 {1} : ユーザ名/ホスト名 {2} : ユーザ名/ホスト名	メッセージに従い、対処してください。
75000014	サービスを停止します。 よろしいですか？	—	—

## 12 変更来歴

Virtage Navigator ユーザーズガイド 操作リファレンス編の変更来歴を以下に示します。

表 12-1 Virtage Navigator ユーザーズガイド 操作リファレンス編 変更来歴

Version	Revision	章	変更内容
V01-00	1.01	—	初版
V01-01	1.10	全般	新規ウインドウ・表示項目・操作などの項目に、“導入/変更 Ver.” 欄を追加し、導入バージョンまたは更新バージョンを記載しました。
		5	Virtage Navigator V01-01 機能追加に合わせ、内容の変更を行いました。
		6	
		7	
		5	<b>【名称変更】</b> (1)No. 7 RT View 列 View ボタン→Realtime View 列 View ボタン (2)No. 8 Hist View 列 View ボタン→History View 列 View ボタン (3)No. 11 Setting 列 Setting ボタン→Threshold 列 Threshold ボタン (4)No. 15 Setting ボタン→Threshold ボタン (5)No. 28 RealTime ボタン→Realtime ボタン (6)No. 44 HVM Monitor RT Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウインドウ →HVM Monitor Realtime Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウインドウ (7)No. 45 メニューリスト(Line Mode)→メニューリスト(Graph Style) (8)No. 53 メニューリスト(Graph Mode)→メニューリスト(Usage Rate) (9)No. 54 Service Rate→Service Rate Base (10)No. 55 System→System Base (11)No. 59 メニューリスト(Graph Change) →メニューリスト(Data Change) (12)No. 73 メニューリスト(Line Mode) →メニューリスト(Graph Style) (13)No. 105 メニューリスト(Line Mode) →メニューリスト(Graph Style) (14)No. 112 メニューリスト(Graph Mode) →メニューリスト(Usage Rate) (15)No. 113 Service Rate→Service Rate Base (16)No. 114 System→System Base (17)No. 129 メニューリスト(Line Mode) →メニューリスト(Graph Style) (18)No. 136 メニューリスト(Graph Mode) →メニューリスト(Usage Rate) (19)No. 137 Service Rate→Service Rate Base (20)No. 138 System→System Base (21)No. 165 メニューリスト(Line Mode) →メニューリスト(Graph Style) (22)No. 183 メニューリスト(Line Mode) →メニューリスト(Graph Style) (23)No. 190 メニューリスト(Graph Mode) →メニューリスト(Usage Rate) (24)No. 191 Service Rate→Service Rate Base (25)No. 192 System→System Base (26)No. 263 Monitor Setting Management ウインドウ

		<p>→Monitor Threshold Management ウィンドウ</p> <p>(27)No. 273 Threshold Check Count テキストボックス</p> <p>→Threshold Count(1-100)テキストボックス</p> <p>(28)No. 277 Caution テキストボックス (Physical CPU Threshold)</p> <p>→Caution(1-100)テキストボックス (Physical CPU Threshold)</p> <p>(29)No. 278 Error テキストボックス (Physical CPU Threshold)</p> <p>→Error(1-100)テキストボックス (Physical CPU Threshold)</p> <p>(30)No. 280 Caution テキストボックス (Physical CPU Threshold⊗Insuff))</p> <p>→Caution(1-999)テキストボックス (Physical CPU Threshold⊗Insuff))</p> <p>(31)No. 281 Error テキストボックス (Physical CPU Threshold⊗Insuff))</p> <p>→Error(1-999)テキストボックス (Physical CPU Threshold⊗Insuff))</p> <p>(32)No. 288 LPAR チェックボックス nn(nn=01~16)</p> <p>→LPAR チェックボックス nn(nn=01~60)</p> <p>(33)No. 289 Service Rate ON チェックボックス</p> <p>→Service Rate Base ON チェックボックス</p> <p>(34)No. 290 System ON チェックボックス</p> <p>→System Base ON チェックボックス</p> <p>(35)No. 295 Service Caution テキストボックス</p> <p>→Service Caution(1-999)列テキストボックス</p> <p>(36)No. 296 Service Error テキストボックス</p> <p>→Service Error(1-999)列テキストボックス</p> <p>(37)No. 297 System Caution テキストボックス</p> <p>→System Caution(1-100)列テキストボックス</p> <p>(38)No. 298 System Error テキストボックス</p> <p>→System Error(1-100)列テキストボックス</p> <p>(39)No. 299 Insuff Caution テキストボックス</p> <p>→Insuff Caution(1-100)列テキストボックス</p> <p>(40)No. 300 Insuff Error テキストボックス</p> <p>→Insuff Error(1-100)列テキストボックス</p> <p>(41)No. 321 Threshold Monitoring Mail Report フレーム</p> <p>→Mail Report フレーム</p> <p>(42)No. 338 Operation フレーム (Mode Setting タブ)</p> <p>→Operation フレーム (Monitoring Mode タブ)</p> <p>(43)No. 344 HVM Monitor RT Viewer[ Multi ]ウィンドウ</p> <p>→HVM Monitor Realtime Viewer[ Multi ]ウィンドウ</p> <p>(44)No. 346 メニューリスト (Line Mode)</p> <p>→メニューリスト (Graph Style)</p> <p><b>【位置変更】</b></p> <p>(2) No. 62 メニューリスト (Data Change) の Insuff</p> <p>→メニューリスト (Insuff)</p> <p>(2)No. 118 メニューリスト (Data Change) の Insuff</p> <p>→メニューリスト (Insuff)</p> <p>(3)No. 145 メニューリスト (Data Change) の Insuff</p> <p>→メニューリスト (Insuff)</p> <p>(4)No. 171 メニューリスト (Data Change) の Insuff</p> <p>→メニューリスト (Insuff)</p> <p>(5)No. 196 メニューリスト (Data Change) の Insuff</p> <p>→メニューリスト (Insuff)</p> <p>(6)No. 234 Enable Auto Average History Log チェックボックス</p>
--	--	--

		<p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Auto Average History Log フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Log Setting タブ)</p> <p>(7) No. 235 Setting Time For Average コンボボックス</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Auto Average History Log フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Log Setting タブ)</p> <p>(8) No. 236 Save ボタン</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Auto Average History Log フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Log Setting タブ)</p> <p>(9) No. 271 One Threshold Mode ラジオボタン</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Mode フレーム</p> <p>(10) No. 272 Two Threshold Mode ラジオボタン</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Mode フレーム</p> <p>(11) No. 273 Threshold Count (1-100) テキストボックス</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Mode フレーム</p> <p>(12) No. 274 Save ボタン</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Mode フレーム</p> <p>(13) No. 277 Caution (1-100) テキストボックス (Physical CPU Threshold)</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ) の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(14) No. 278 Error (1-100) テキストボックス (Physical CPU Threshold)</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ) の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(15) No. 279 ON チェックボックス (Physical CPU Threshold)</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ) の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(16) No. 280 Caution (1-999) テキストボックス (Physical CPU Threshold⊗Insuff))</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ) の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(17) No. 281 Error (1-999) テキストボックス (Physical CPU Threshold⊗Insuff))</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ) の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(18) No. 282 ON チェックボックス (Physical CPU Threshold⊗Insuff))</p> <p>Operation フレーム (Threshold Setting タブ) の Threshold Monitoring フレーム</p> <p>→ Operation フレーム (Physical CPU Threshold タブ) の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(19) No. 283 Save ボタン</p>
--	--	---

		<p>Monitor Setting Management ウィンドウ</p> <p>→Operation フレーム(Physical CPU Threshold タブ)の Physical CPU Threshold Setting フレーム</p> <p>(20)No. 287 ALL チェックボックス</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(21)No. 288 LPAR チェックボックス nn(nn=01~60)</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(22)No. 289 Service Rate Base ON チェックボックス</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ)の LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(23)No. 290 System Rate Base ON チェックボックス</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(24)No. 291 Insuff ON チェックボックス</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(25)No. 292 All Setting Mode チェックボックス</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(26)No. 293 リスト</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(27)No. 294 ON 列チェックボックス</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(28)No. 295 Service Caution(1-999)列テキストボックス</p> <p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム</p> <p>→Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(29)No. 296 Service Error(1-999)列テキストボックス</p>
--	--	---

			<p>Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム  →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(30)No. 297 System Caution(1-999)列テキストボックス  Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム  →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(31)No. 298 System Error(1-999)列テキストボックス  Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム  →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(32)No. 299 Insuff Caution(1-999)列テキストボックス  Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム  →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(33)No. 300 Insuff Caution(1-999)列テキストボックス  Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム  →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(34)No. 301 Save ボタン  Operation フレーム(Threshold Setting タブ) Threshold Monitoring フレームの Logical CPU Threshold フレーム  →Operation フレーム(LPAR Threshold タブ) LPAR Threshold Setting フレームの LPAR Threshold フレーム</p> <p>(35)No. 321 Mail Report フレーム  Operation フレーム(Threshold Setting タブ)  →Operation フレーム(Mail タブ)</p> <p>(36)No. 322 Enable Mail Report チェックボックス  Operation フレーム(Threshold Setting タブ)  →Operation フレーム(Mail タブ)</p> <p>(37)No. 322 Save ボタン  Operation フレーム(Threshold Setting タブ)  →Operation フレーム(Mail タブ)</p>
		7	<p><b>【名称変更】</b></p> <p>(1)No. 51 Migration ボタン→Migration Execute ボタン  (2)No. 51 Recovery ボタン→Recovery Execute ボタン</p> <p><b>【位置移動】</b></p> <p>(2) No. 50 Show Config ボタン  Target Selection フレーム→Migration ウィンドウ右下</p> <p>(2)No. 148 Show Config ボタン  Target Selection フレーム→Add Migration ウィンドウ右下</p>
V02-00	2.00	5	<p><b>【名称変更】</b></p> <p>(1)No. 7 HVM Monitor Realtime Viewer ウィンドウ→CPU Realtime Viewer ウィンドウ  (2)No. 8 HVM Monitor History Viewer ウィンドウ→CPU History Viewer ウィンドウ</p>

			<p>(3)No. 28 HVM Monitor Realtime Viewer ウィンドウ→CPU Realtime Viewer ウィンドウ  (4)No. 29 HVM Monitor History Viewer ウィンドウ→CPU History Viewer ウィンドウ  (5)No. 44 HVM Monitor Realtime Viewer ウィンドウ→CPU Realtime Viewer ウィンドウ</p> <p><b>【機能追加】</b>  (1)No. 72 NIC View フレーム  (2)No. 73 View ボタン  (3)No. 128～No. 193 NIC Realtime Viewer ウィンドウ  (4)No. 272～No. 335 NIC History Viewer ウィンドウ</p> <p><b>【位置移動】</b>  (1)No. 365 Save ボタン</p>
		4	LPAR 設定機能を追加しました。
V02-01	2. 10	4	<p><b>【名称変更】</b>  (1)No. 220 「HBA card count」 → 「HBA count」  (2)No. 512 「Shared Virtual FC Port WWN Information メニュー」 → 「Shared Virtual FC Port WWN Information / Boot Function Setting メニュー」</p> <p><b>【機能追加】</b>  (1)No. 79～No. 80 「CLI IP アドレスメニュー」  (2)No. 221～No. 222 「Port ラジオボタン」、「card ラジオボタン」  (2)No. 519 「Boot Function」  (3)No. 548～No. 549 「HVM CLI メニュー」  (4)No. 606～No. 607 「MultiSort チェックボックス」  (5)No. 633～No. 645 「Boot Setting スクリーン」  (6)No. 259 「&lt;&lt; Prev. ボタン」</p>
		8	ファームウェア更新機能を追加しました。
		11	V02-01 対応のメッセージに更新しました。
V02-02	2. 20	4	<p><b>【機能追加】</b>  (1) No. 399 「View Data メニュー」  (2) No. 458 「Mapping Info ボタン」  (3) No. 459～No. 472 「PCI Device Mapping Information ウィンドウ」  (4) No. 500 「Assign Mode メニュー」  (5) No. 563 「HVM Operating Mode」  (6) No. 578 「NTP」  (7) No. 584 「Split Style メニュー」  (8) No. 585 「View Style メニュー」  (9)No. 604 「HVM Reboot ボタン」  (10)No. 605～607 「HVM Reboot ウィンドウ」</p>
		5	<p><b>【機能追加・機能変更】</b>  (1)No. 2 「HVM List フレーム」  (2)No. 78 「System Base」  (3)No. 79 「Resource Base」  (4)No. 94 「All」  (5)No. 95 「50」  (6)No. 96 「20」  (7)No. 97 「10」  (8)No. 99 「All」  (9)No. 100 「50」  (10)No. 101 「20」  (11)No. 102 「10」  (12)No. 103～106 「Top」</p>



			(13)No. 115 「Each CPU」 (14)No. 116～152 「Each CPU Realtime Viewer ウィンドウ」 (15)No. 153 「Reset Color」 (16)No. 154～No. 156 「レジェンド」 (17)No. 164 「Bar」 (18)No. 170 「Resource Base」 (19)No. 179～No. 183 「Scale」 (20)No. 184～No. 186 「Value」 (21)No. 192 「Reset Color」 (22)No. 193～No. 195 「レジェンド」 (23)No. 328～No. 329 「Usage Rate」 (24)No. 341 「Reset Color」 (25)No. 342～No. 344 「レジェンド」 (26)No. 357 「Resource Base」 (27)No. 371 「Reset Color」 (28)No. 372～No. 374 「レジェンド」 (29)No. 487 「コンボボックス」 (30)No. 529 「Resource Base ON チェックボックス」 (31)No. 535 「Resource Caution(1-100)列テキストボックス」 (32)No. 536 「Resource Error(1-100)列テキストボックス」
		11	V02-02 対応のメッセージに更新しました。 以下、追加または変更したコードです。 20000824, 20000825, 20000826, 20000827, 20001101, 20001102, 20001103, 30020111, 30020305, 300206F1, 30020908, 30020909, 3002090A, 3002090B, 3002090C, 3002090D, 30021208, 30021222, 30021223, 30021224, 30021225, 3002133A, 3002133B, 3002133C, 3002133D
		2. 21	5 Each CPU Realtime Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウの表示条件を追加しました。
			11 20000827 のメッセージを修正しました。
V02-03	2. 30	5	<b>【機能追加・機能変更】</b> (1)No. 60 「CPU」 (2)No. 87 「メニューリスト(Scale)」 (3)No. 92～99 「メニューリスト(Scale)」 (4)No. 124 「View Snap Graph」 (5)No. 188 「メニューリスト(Scale)」 (6)No. 193～198 「メニューリスト(Scale)」 (7)No. 208 「View Snap Graph」 (8)No. 211～310 「CPU Realtime Snap Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウ」 (9)No. 344～357 「メニューリスト(Scale)」 (10)No. 358 「メニューリスト(Scale)」 (11)No. 395～408 「メニューリスト(Scale)」 (12)No. 409 「メニューリスト(Scale)」 (13)No. 421～512 「NIC Realtime Snap Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウ」 (14)No. 526 「CPU」 (15)No. 563～567 「メニューリスト(Scale)」 (16)No. 568～575 「メニューリスト(Scale)」 (17)No. 582 「View Bar Graph」 (18)No. 607～611 「メニューリスト(Scale)」 (19)No. 612～617 「メニューリスト(Scale)」 (20)No. 623 「View Bar Graph」 (21)No. 628～750 「CPU History Bar Viewer[HVM_ID : HVM_IP]ウィンドウ」

			(22)No. 796～809 「メニューリスト (Scale)」 (23)No. 810～815 「メニューリスト (Scale)」 (24)No. 822 「View Bar Graph」 (25)No. 840～853 「メニューリスト (Scale)」 (26)No. 854～859 「メニューリスト (Scale)」 (27)No. 866 「View Bar Graph」 (28)No. 867～983 「NIC History Bar Viewer [HVM_ID : HVM_IP] ウィンドウ」
		10	ソリューションタブの説明を追加しました。
		11	V02-03 対応のメッセージに更新しました。 以下、追加または変更したコードです。 10000002, 10000300, 20001201, 200012FF, 20030507, 30060000, 30060001, 30060002, 30060003, 30060004, 30060200, 30060201, 30060202, 30060203, 30060204, 30060205, 30060206, 30060207, 30060208, 30060209, 30060300, 30060301, 30060302, 30060399, 30060400, 30060401, 30060499, 30060500, 30060599, 30060600, 30060601, 30060602, 30060603, 30068001, 30068002, 30068003, 30068004, 30068005, 30068006, 30068007, 30068008, 30068009, 30068101, 30068102, 30068103, 30068104, 30068105, 30068106, 30068107, 30068108, 30068109, 30068201, 30068202, 30068203, 30068204, 30068205, 30068206, 30068207, 30068208, 30068209, 3006820B, 3006820C, 3006820D, 3006820E, 30068210, 30068301, 30068302
V02-04/A	2. 40	2	<b>【機能追加】</b> (1) No. 8 「Trouble (D) Alt+D メニュー」 (2) No. 55～74 「Trouble ウィンドウ」
		4	<b>【機能追加】</b> (1) No. 274 「Date And Time」 (2) No. 496～499 「Set/Reset ボタン」 (3) No. 509 「Device Type」 (4) No. 565 「SVP IP Address」 (5) No. 616～639 「Date And Time スクリーン」 (6) No. 646 「PhyCPU C-State (>=C3)」 (7) No. 647 「USB Auto Allocation to USB」 (8) No. 648 「Save Changed Config Format」
		6	<b>【機能追加】</b> (1) No. 144 「Show Deactivated チェックボックス」
		7	<b>【機能変更】</b> (1) No. 7 「Show LPAR History ボタン」
		11	メッセージ一覧の表を機能ごとに分割しました。
			V02-04/A 対応のメッセージに更新しました。 以下、追加または変更したコードです。 10002001, 10002002, 10002003, 10002004, 10002005, 30020505, 30020B00, 30020B01, 30020B02, 30020B03, 3002133E, 3002133F, 30021340, 30021341, 3006820F

V03-00/A	3.01	4	<b>【機能追加】</b> (1) No. 726 「R-KVM Application コンボボックス」 (2) No. 742 「R-KVM Application」
		5	<b>【機能追加】</b> (1) No. 73、235、742 「HBA ボタン」 (2) No. 515～716、1186～1415 「HBA モニタリング」 (3) No. 1432 「ALL」 (4) No. 1433 「Interval」 (5) No. 1441～1471 「Auto Backup」 (6) No. 1477～1495 「Manual Backup」 <b>【機能変更】</b> (1) No. 58～60、No. 224～226、No. 728～730、No. 841～843 「Data Change」 (2) No. 1437～1439 「Monitoring Mode」 (3) No. 1472 「Manual Backup」 (4) No. 1497 「Export CSV」 (5) No. 1513 「History Clear」
V03-00/B	3.02	–	Revision を 3.02 にしました。
V03-00/D	3.04	4	<b>【機能追加】</b> (1) No. 363 「Processor Node」 (2) No. 364 「Memory Node」
V03-00/E	3.05	7	<b>【機能追加】</b> (1) No. 3～5 「Mode Selection フレーム」 (2) No. 6 「Migration Menu フレーム」 (3) No. 9 「Path Setting ボタン」 (4) No. 15 「Change Mode ボタン」 (5) No. 79～167 「Migration[Concurrent Maintenance]ウインドウ」 (6) No. 262～274 「Migration Path Setting ウインドウ」 <b>【機能変更】</b> (1) No. 7 「Migration ボタン」 (2) No. 14 「Migration[Shutdown]ウインドウ」
		11	表 10-1 を修正しました。
	3.05/A	–	Revision を 3.05/A にしました。
V03-01	3.10	2	<b>【機能追加】</b> (1) No. 29～30 「Storage Login Setting」
		7	<b>【機能追加】</b> (1) No. 10 「WWN Setting ボタン」 (2) No. 276～359 「WWN Setting」
		11	マイグレーション用メッセージを追加しました。

V03-02	3. 20	-	「重要なお知らせ」に他社ソフトウェアのインストールについての記載を追加しました。
		2	<b>【機能追加】</b> (1) No. 6-8 「Operation Mode」 (2) No. 34-37 「Storage Login Setting メニュー」 (3) No. 38-40 「Memory Transfer メニュー」
		4	<b>【機能追加】</b> (1) No. 724-727 「Attach/Detach ボタン」 (2) No. 728-731 「Set/Reset ボタン」
		5	<b>【機能追加】</b> (1) No. 61 「Group (Core/Thread)」 (2) No. 228 「Group (Core/Thread)」 (3) No. 733 「Group (Core/Thread)」 (4) No. 847 「Group (Core/Thread)」
		9	Remote LPAR Control タブの説明を追加しました。
		11	メッセージ一覧の表を機能ごとに分割しました。 V03-02 対応のメッセージに更新しました。 以下、追加または変更したコードです。 10000034, 10000035, 10000036, 10002006, 10002007, 30021343, 30021344, 30021345, 30021346, 30021402, 30021403, 30021404, 30021405, 30021406, 30068109, 60000201, 60000301, 60000401, 60000501, 60000601, 60000602, 60000701, 60001001, 60001101, 60001201, 60001301, 60001401, 60002001, 60002002, 60002101, 60003001, 60003002, 60003003, 60003101, 60003102, 60003201, 60003202, 60003301, 60003302, 60004101, 60004102, 60004201, 60004202, 60004203, 60004204, 60004205, 60004251, 60004252, 60004253, 60004254, 60004255, 60004256, 60004257, 60004258, 60004259, 6000425A, 6000425B, 6000425C, 6000425D, 6000425E, 60004301, 60004401, 60004501, 60004601, 60004701, 60004801, 60004802, 60005001, 60005101, 60005102, 60005201, 60005301, 60005302, 60005303, 60005304, 60005305, 60005306, 60005401, 60005501, 60005601, 60005701, 60005801, 60005901, 60006001, 60006101, 60006102, 60006103, 60006201, 60006301, 60006302, 60006303, 60006304, 60006305, 60006306, 60006401, 60006501, 60006601, 60006701, 60006801, 60006802, 6000FF01, 6000FF02, 6000FF03, 6000FF04, 6000FF05, 65000001, 65000002, 65000003, 65000004, 65000005, 65000006, 65000007, 65000008, 65000009, 6500000A, 6600000B, 6500000C, 6500000D, 6500000E, 6500000F, 65000010, 65000011, 65000012, 65000013, 65000014, 65000015, 65000016, 65000017, 66000001, 66000002, 66000003, 66000004, 66000006, 66000007, 66000008, 6600000A, 6600000C, 6600000D, 6600000E, 6600000F, 66000010, 66000011, 66000013, 66000014, 66000015, 66000016, 66000017, 66000018, 66000019, 6600001A, 6600001B, 6600001C, 6600001D, 6600001E, 66000020, 66000021, 66000022, 66000023, 66000024, 66000025, 66000026, 66000027, 66000028, 6600002A, 6600002B, 6600002C, 6600002E, 6600002F, 66000030, 66000030, 66000031, 66000032, 66000033, 66000034, 66000038, 66000039, 66000040, 66000041, 66000042, 66000043, 66000046, 66000047, 66000049, 6600004A, 6600004B, 6600004C, 66000551, 66000552, 66000554, 66001001, 66001002, 66001003, 66001004, 66001005, 66001006, 66001007, 66001008, 66001009, 71000000, 71000001, 71000002, 71000003, 71000004, 71000005, 71000006, 71000007, 71000008, 71000009, 7100000A, 7100000B, 7100000C, 7100000D, 7100000E, 7100000F, 71000011, 71000012, 71000013, 71000014, 71000015, 71000016, 71000017, 71000018, 7100001B, 7100001C, 7100001D, 7100000E, 7100001F, 71000020, 71000021, 71000022, 71000023, 71000024, 71000025, 71000026, 71000027, 71000028, 71000029, 7100002B, 75000000, 75000001, 75000002, 75000003, 75000004, 75000005, 75000006, 75000007, 75000008, 75000009,

			7500000A, 7500000B, 7500000C, 7500000D, 7500000E, 7500000F, 75000010, 75000011, 75000012, 75000013, 75000014
	3. 20/A	-	Revision を 3. 20/A にしました。
V03-02/A	3. 20/B	4	【誤記修正】 No. 412 「Save Config ボタン」
		5	【誤記修正】 No. 223 「View Snap Graph」 No. 313 「メニューリスト (Scale)」 No. 325 「View Snap Graph」 No. 617～619 「メニューリスト (Value)」 No. 798 「メニューリスト (Scale)」 No. 1624 「CPU Realtime Viewer [ Multi ] ウィンドウ」
		11	V03-02/A 対応のメッセージに更新しました。 以下、追加または変更したコードです。 60001301
V03-03	3. 30	4	【機能追加】 No. 531 「TXRATE」 No. 664～665 「Select Source time フレーム」 No. 666～667 「Zone フレーム」 No. 668 「Select LPAR フレーム」
		11	V03-03 対応のメッセージに更新しました。 以下、追加または変更したコードです。 30020B04, 60001301, 60006901
V03-04	3. 40	2	【機能追加】 No. 11～13 「Trouble メニュー」 No. 75 「Trouble ウィンドウ (単独 HVM 用)」 No. 78 「Different file each date」 No. 79 「All data to One File」 No. 98-128 「Trouble ウィンドウ (複数 HVM 用)」
		4	【機能追加】 No. 802 「HTTP/HTTPS ラジオボタン」
		5	【機能追加】 No. 282 「View Each CPU」 No. 283 「View Bar Graph」 No. 284-298 「Each CPU History Viewer ウィンドウ」 No. 341 「View Bar Graph」
		11	V03-04 対応のメッセージに更新しました。 以下、追加または変更したコードです。 10000037, 20000828, 20000829, 20000830, 30020112, 30020113, 30020114, 30020115, 30020116, 30020117, 30020118, 30020205, 30020504, 30020505, 30021226, 60006A01
V03-04/A	3. 41	5	【機能追加】 No. 214～228 「メニューリスト (CPU Sort)」
		11	V03-04/A 対応のメッセージに更新しました。 以下、追加または変更したコードです。 60006601

V03-05	3. 50	4	<p>【機能追加】</p> <p>No.347～357「NUMA Memory Allocation ウィンドウ」</p> <p>No.382「Guest NUMA」</p> <p>【機能変更】</p> <p>No.346「Memory」</p> <p>No.619「BSM Access/Mgmt I/F」</p> <p>【説明変更】</p> <p>No.374「Processor Node」</p> <p>No.375「Memory Node」</p> <p>No.529「Device Type」</p> <p>No.601「SVP IP Address」</p> <p>No.602「Alert Language」</p> <p>No.608「BSMx IP Address」</p> <p>No.609「BSMx Alert Port」</p>
		5	「表 5-1 モニタリング条件」に示す条件を変更しました。
V03-06	3. 60	2	<p>【機能追加】</p> <p>No.6「Security Alt+S メニュー」</p> <p>No.15「Packet(L) Alt+L メニュー」</p> <p>No.74～78「Authentication Information File Setting メニュー」</p> <p>No.82～96「Security Setting ウィンドウ」</p> <p>No.151～175「Trouble (Packet)ウィンドウ」</p> <p>【機能変更】</p> <p>No.12「Trouble メニュー」</p>
		3	<p>【機能追加】</p> <p>No.18～31「Target Information フレーム」</p>
		11	<p>V03-06 対応のメッセージに更新しました。</p> <p>以下、追加または変更したコードです。</p> <p>10003000, 10003001, 10003002, 10003003, 10003004, 10003005, 10003006, 10003007, 10003008, 10003009, 1000300A, 1000300B, 1000300C, 1000300D, 1000300E, 1000300F, 10003FFF, 30021226, 60006B01</p>